

# スタイルコート

## 取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味


**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号


**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>


**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 桁・折板屋根は重量物です。必要人数の確保をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 本製品は、1階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
- 強風が屋根を吹上げるおそれがある場所への設置はしないでください。
- 冬季アルミシャッター表面に付着した水分が凍結した場合、正常な動作ができませんので溶けてから開閉作業をしてください。故障や異音発生の原因になります。
- 屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。
- スプレー式シリコン系潤滑剤は、現場で手配してください。
- 屋根材に接触する部分へ使用するシーリング材は、弊社指定のアルコール系シーリング材を現場で手配してください。指定のシーリング材は下記になります。
  - ・信越化学工業(株)「シーラント72」
  - ・GE東芝シリコーン(株)「トスシール380」
  - ・東レ・ダウコーニング・シリコーン(株)「SE960」

## <施工上のご注意>

### ⚠ 注意

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 施工終了後は、シャッター・パネルの開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

## <施工上のご注意>

### ⚠ 注意

- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 施工には、別途過電流保護付漏電ブレーカーおよび埋設用PF管、電線ケーブル、アース棒が必要になりますので、用意してください。
- 電源用電線ケーブルは必ず、過電流保護付漏電ブレーカーに接続してください。
- 電動シャッターには必ず、アース（D種接地工事）をとってください。
- 次のような場所にはワイヤレス壁スイッチを設置しないでください。
  - ・シャッターの開閉が見えない場所
  - ・湿気が多い場所、屋外など直接雨に濡れるおそれがある場所
  - ・直射日光があたる場所、暖房近くなどの高温になる可能性がある場所
  - ・腐食性ガスや可燃性ガスが発生する場所、薬品を常時使用する場所

## <基礎工事について>

### ⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

# INDEX

1	施工前の重要確認事項	7
1.	1. 施工の前にご確認ください	7
2	梱包明細表	15
3	基本寸法	35
1.	1. 基本寸法図	35
2.	2. 断面納まり図	42
4	屋根の施工	51
1.	1. 施工前確認	51
2.	2. 柱の位置出しとベース材の配置	52
3.	3. 基礎配線	68
4.	4. ベース材の取付け	69
5.	5. 桁・梁の配置確認	72
6.	6. 補強桁・調整桁の取付けと桁の連結	76
7.	7. タイトフレームの取付け	80
8.	8. 桁の組立て	82
9.	9. 止水クッション材の取付け	86
10.	10. 横樋桁用の取付け	88
11.	11. 柱・桁の取付け	90
12.	12. 前後梁の取付け	93
13.	13. 横樋梁用・幕板梁用の取付け	95
14.	14. 採光梁・中骨の取付け	98
15.	15. 追加梁の取付け <b>オプション</b>	101
16.	16. 屋根材の取付け	103
17.	17. 幕板の取付け	108
18.	18. 幕板の連結	109
19.	19. 縦樋の取付け	110
5	目隠材の取付け	115
1.	1. 施工前確認	115
2.	2. 目隠材の納まり	116
3.	3. 目隠材上枠前の取付け	118
4.	4. 目隠材側枠の取付け	119
5.	5. 目隠端部材A・目隠材の取付け	120
6.	6. FIX中間パネル・換気扇用中間パネルの取付け	121
7.	7. 目隠端部材Bの取付け	122
8.	8. 目隠材上枠後・ベース材Bカバーの取付け	123
9.	9. 目隠材Bカバーの取付け	124
10.	10. 目隠オプションの取付け <b>オプション</b>	125
11.	11. 換気扇の取付け <b>オプション</b>	126

# INDEX

<b>6</b>	<b>機能柱・袖・目隠材の取付け</b> .....	127
1.	施工前確認 .....	127
2.	目隠材の納まり .....	128
3.	目隠材上枠前の取付け .....	130
4.	目隠材側枠の取付け .....	131
5.	目隠端部材A・目隠材の取付け .....	132
6.	目隠端部材Bの取付け .....	133
7.	目隠材上枠後・ベース材Bカバーの取付け .....	134
8.	目隠材Bカバーの取付け .....	135
<b>7</b>	<b>上げ下げ窓の取付け</b> <b>オプション</b> .....	137
1.	施工前確認 .....	137
2.	目隠材上枠前の取付け .....	138
3.	側枠上げ下げ窓の取付け .....	139
4.	上げ下げ窓パネルの取付け .....	140
5.	上枠後上げ下げ窓の取付け .....	142
<b>8</b>	<b>レールの取付け</b> .....	143
1.	施工前確認 .....	143
2.	下レール連結材の取付け .....	144
3.	吊元枠・戸当り枠SBの取付け .....	144
4.	上レールA・上レール戸袋用の取付け .....	146
5.	スモーカーの取付け .....	147
6.	上レールBの取付け .....	148
7.	下レール戸袋用の取付け .....	149
8.	下レール直線用の取付け .....	151
9.	戸当り枠・連結枠・吊元枠の吊込み .....	152
10.	戸当り枠SAの取付け .....	153
11.	下レールのシーリング .....	154
<b>9</b>	<b>パネルの取付け</b> .....	155
1.	施工前確認 .....	155
2.	錠の取付け .....	156
3.	パネルの吊込み .....	157
4.	パネルストッパーおよびパネル下キャップの取付け .....	158
5.	吊元ストッパーの取付け .....	158
6.	戸当りストッパーおよびストッパーガイドの取付け .....	159
7.	上枠カバーおよび枠カバーの取付け .....	160
8.	パネルの調整 .....	161

■ 10 シャッター取付部材の取付け	163
1. 施工前確認	163
2. シャッター取付用横部材の取付け	164
3. シャッター取付用縦部材の取付け	166
■ 11 キューブ連棟の取付け <b>オプション</b>	167
1. 施工前確認	168
2. 基本寸法	168
3. 屋根部の組立て	168
4. 梁支え材の取付け	168
5. CP連棟用水切り材の取付け	170
6. キューブポート本体の追加施工	171
■ 12 基礎の施工	173
■ 13 シャッター本体の取付け	175
1. 施工前確認	175
2. 化粧まぐさの取付け	176
3. 外枠の取付け	177
4. シャッター本体の取付け	178
5. ガイドレールの取付け	179
6. スラットの横ズレ確認	181
7. ケースの取付け	182
8. 停電時開閉ハンドルの取付け	183
9. 停電時開閉機構の使い方	184
10. ワイヤレス壁スイッチの取付け	185
11. 追加リモコンの登録 <b>オプション</b>	186
12. カードリモコン・ワイヤレス壁スイッチからの操作方法	187
13. 作動確認	188
14. 施工完了確認チェックリスト	188
■ 14 棚の取付け <b>オプション</b>	189
1. 施工前確認	189
2. 基本寸法図	190
3. 棚受け柱キャップの取付け	190
4. 棚受け金具の取付け	191
5. 棚受け材の取付け	192
6. 棚板の取付け	193

# INDEX

■ 15 テーブルの取付け	<b>オプション</b>	.....	195
1. 施工前確認	.....	195	195
2. テーブル腰壁取付台座の取付け	.....	196	196
3. テーブル取付金具の取付け	.....	198	198
4. 天板の取付け	.....	198	198
5. テーブル脚・テーブルアジャスターの組立て	.....	199	199
6. テーブル脚の取付け	.....	199	199
■ 16 内装パネルの取付け	<b>オプション</b>	.....	201
1. 施工前確認	.....	201	201
2. 基本寸法図	.....	203	203
3. 内装パネル横（天井用）の取付け	.....	203	203
4. 内装パネル縦（目隠用）の取付け	.....	207	207

# 1 施工前の重要確認事項

## 1. 施工の前にご確認ください

1  
施工前の重要  
確認事項

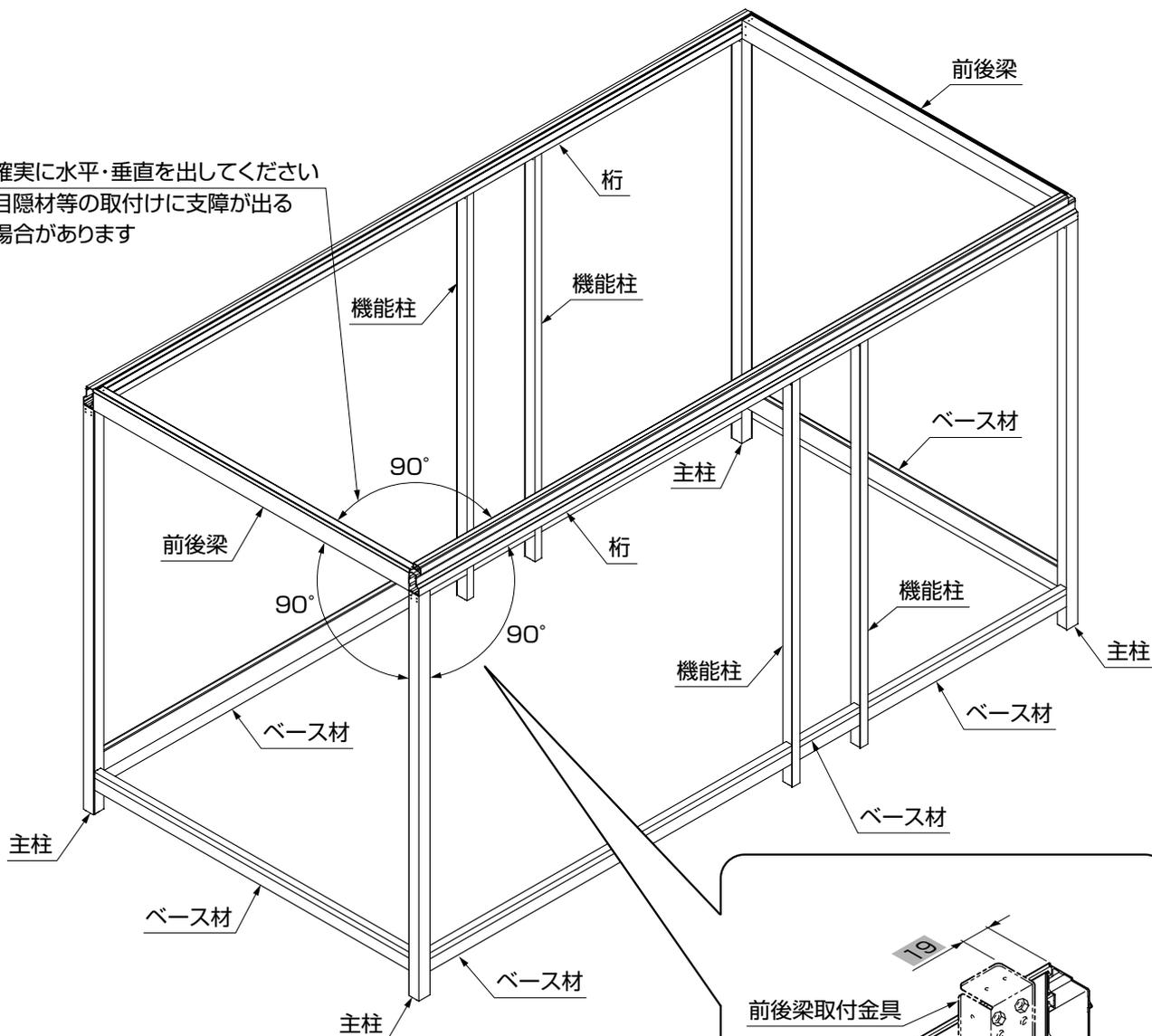
### 1-1 部材の水平・垂直

※主柱・機能柱・ベース材・桁・前後梁の「水平」「垂直」に注意して施工してください。

#### ポイント

- 目隠材の取付けや折戸パネル・シャッターの開閉およびオプション類の取付けに支障が出る場合があります。
- 特に桁と桁取付金具、前後梁取付金具の取付け位置に注意してください。

確実に水平・垂直を出してください  
目隠材等の取付けに支障が出る  
場合があります



前後梁取付金具

桁取付金具

# 1. つづき

## 1-2 シーリング処理

※指定の箇所に必ずシーリングし、ヘラで押さえてください。

### ポイント

- シーリングが不十分な場合、雨漏りの原因になります。

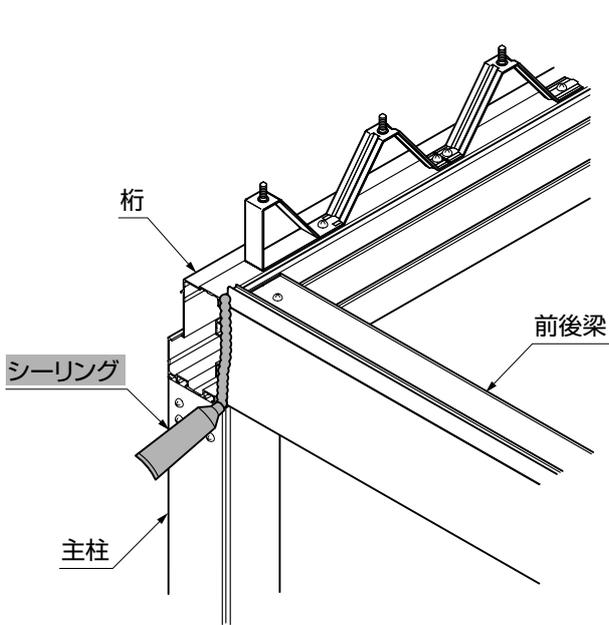


図1-1 桁・前後梁部シーリング箇所

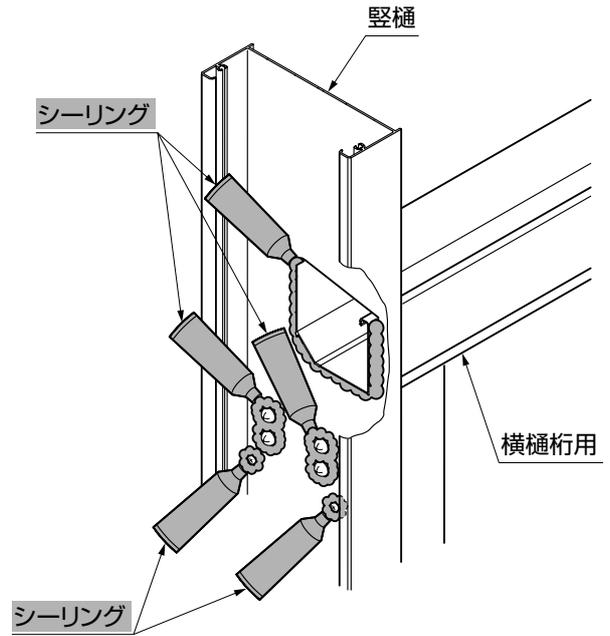


図1-2 縦樋部シーリング箇所

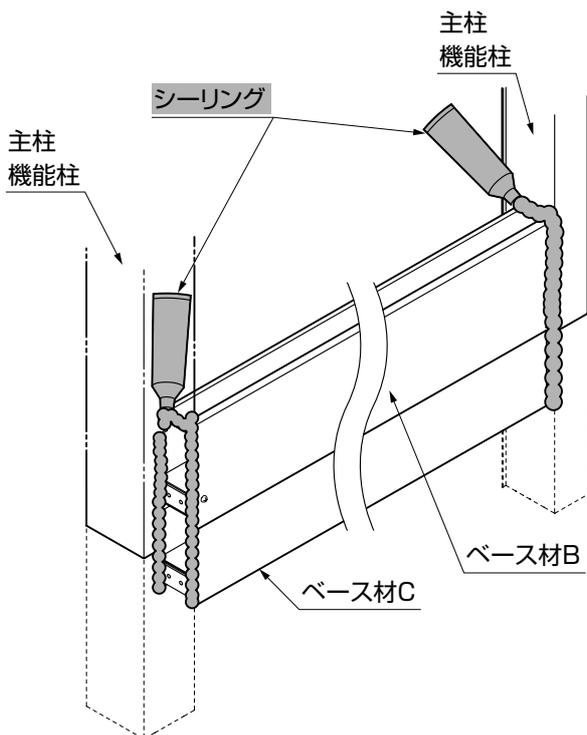


図1-3 目隠材ベース材部シーリング箇所

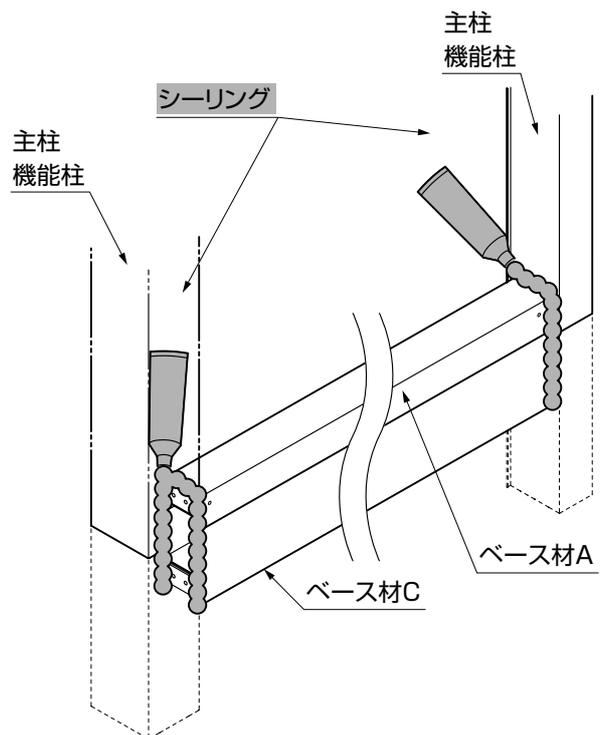


図1-4 折戸パネルベース材部シーリング箇所

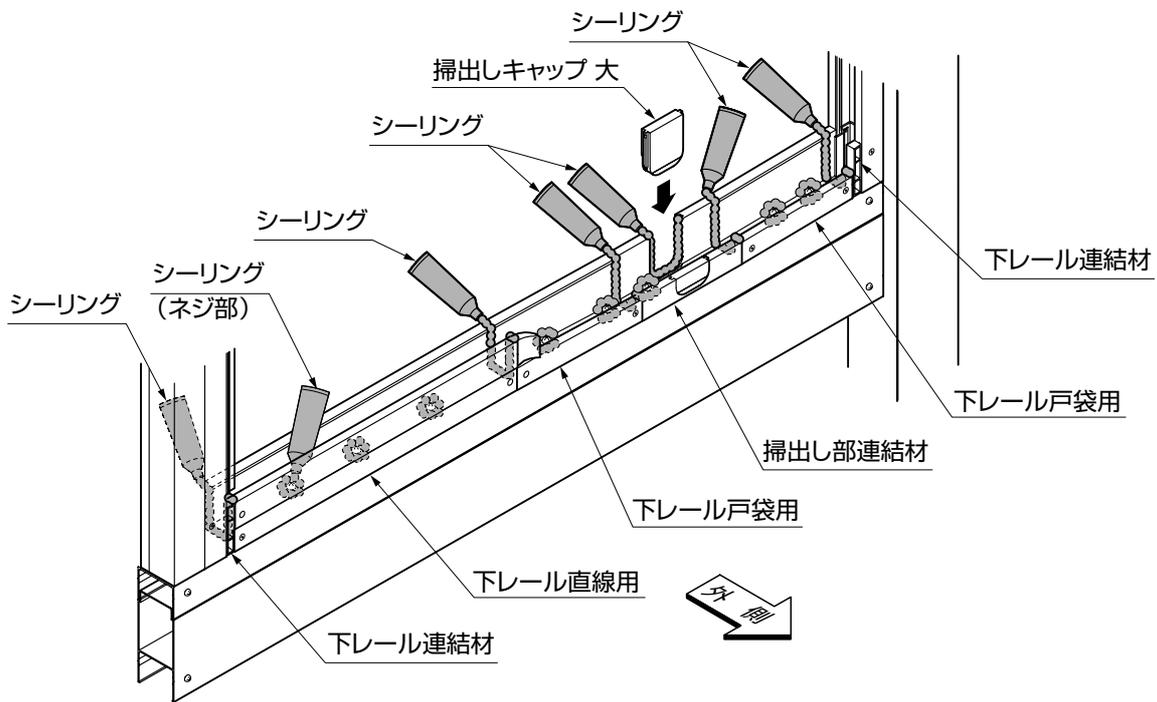


図1-5 折戸パネル下レール部シーリング箇所  
下レールが土間仕上げ面より露出する場合

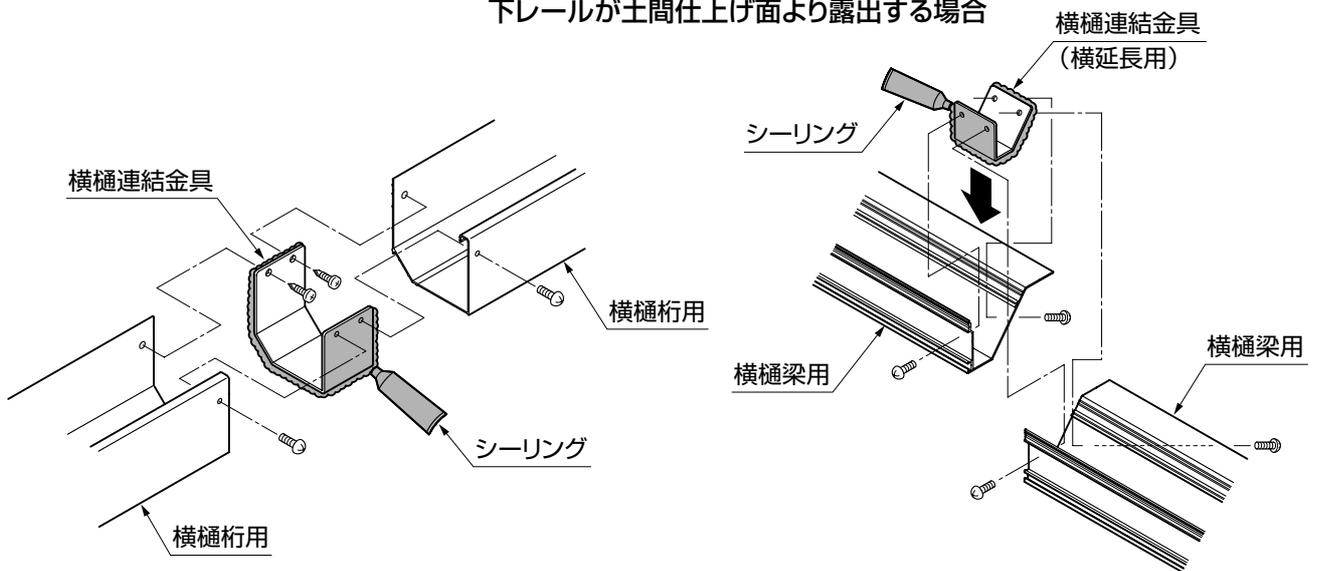


図1-6 横樋桁用部シーリング箇所

図1-7 横樋梁用部シーリング箇所

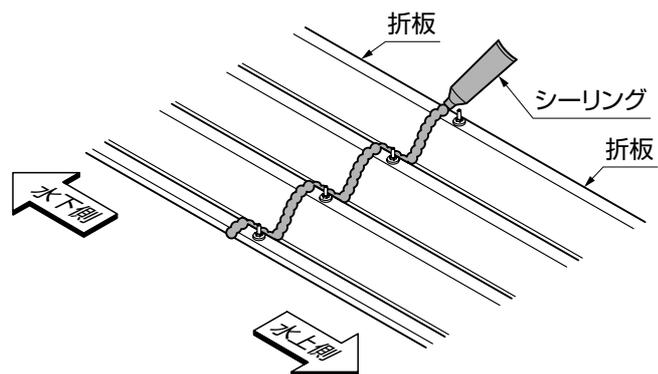


図1-8 横延長折板部シーリング箇所

# 1. つづき

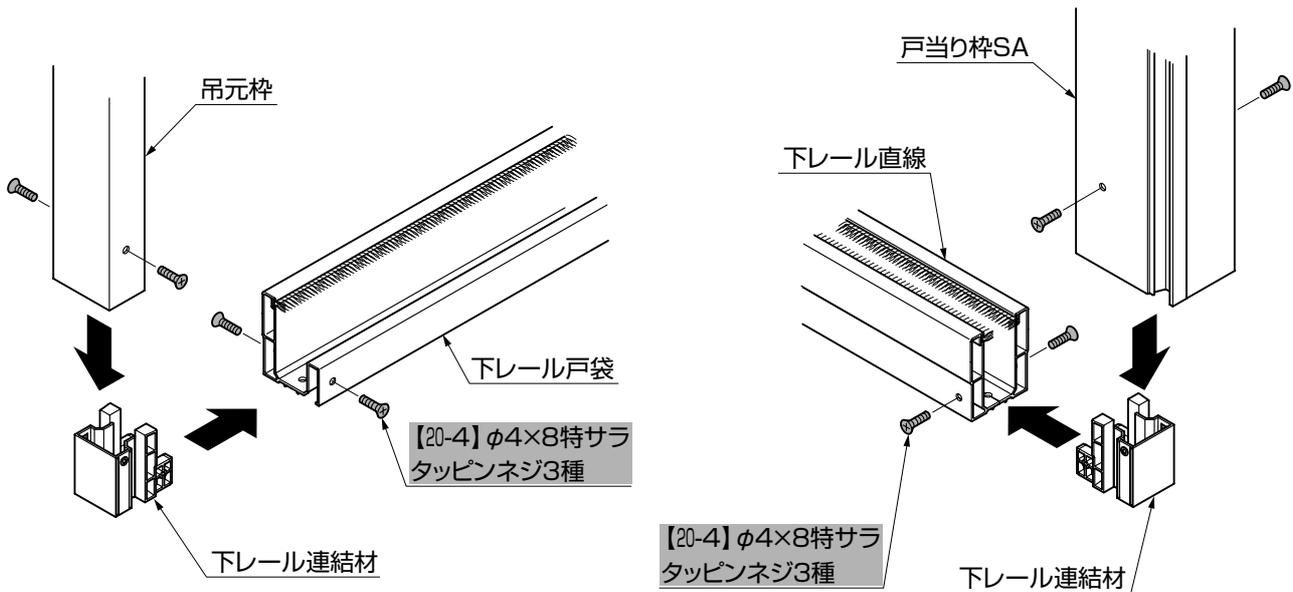
## 1-3 各部材の取付け

### (1) $\phi 4 \times 8$ 特サラタッピンネジ3種使用箇所

※レールの各部材の取付けにあたって、下記の部所には必ず **指定のネジ** を使用してください。

#### ポイント

●指定のネジ以外で取付けた場合、レール変形等の不具合が生じる場合があります。



### (2) $\phi 4 \times 8$ トラスタッピンネジ3種D=8使用箇所

※レールの各部材の取付けにあたって、下記の部所には必ず **指定のネジ** を使用してください。

#### ポイント

●指定のネジ以外で取付けた場合、レール変形等の不具合が生じる場合があります。

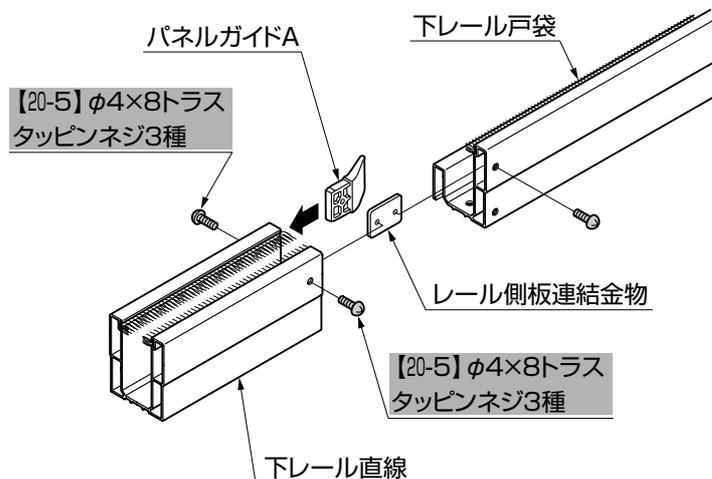


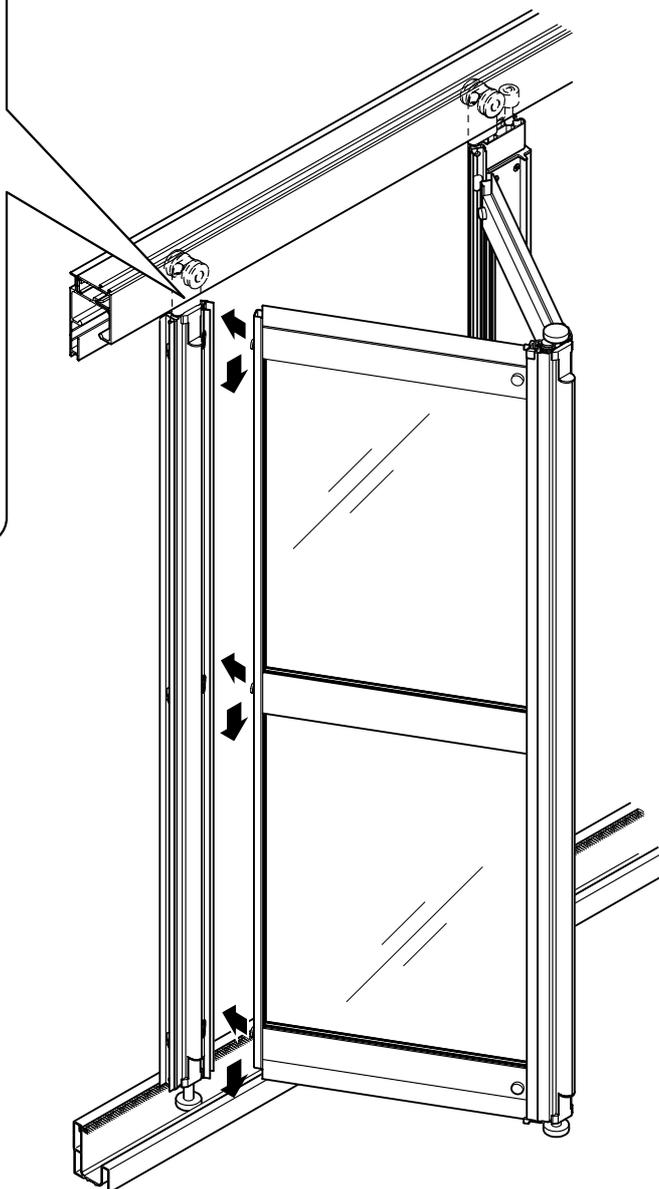
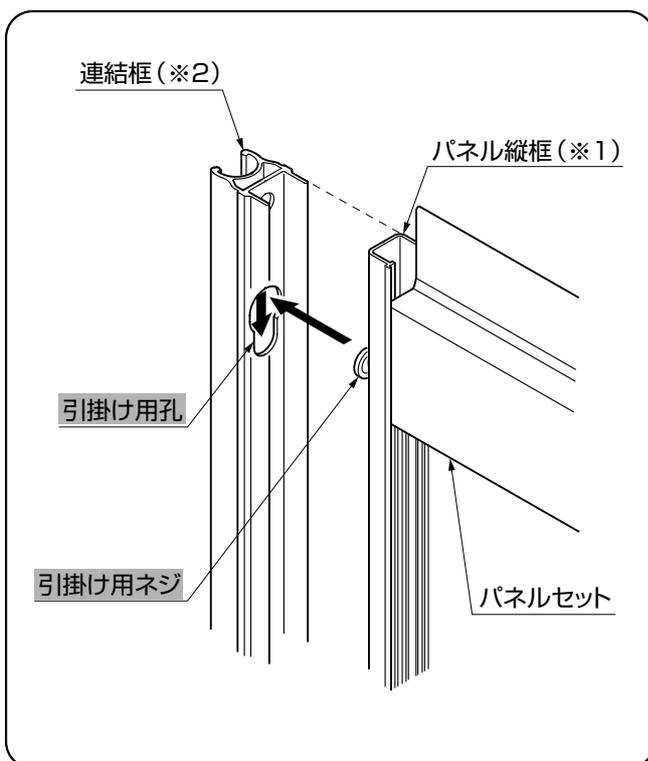
図1-9 下レール連結部

## 1-4 パネルの吊込み

※パネルセットの吊込み時は、パネル縦框上端(※1)と連結框上端(※2)を揃えてからパネルセットを引掛け孔に挿入し、下へスライドしてください。このとき、パネルの3ヶ所の引掛け用ネジの頭が引掛け孔に完全に引掛かっていることを確認してください。

### ⚠ 注意

●パネルの吊込みの引掛かりが不完全な場合、パネルが脱落したり、破損し、事故につながるおそれがあります。



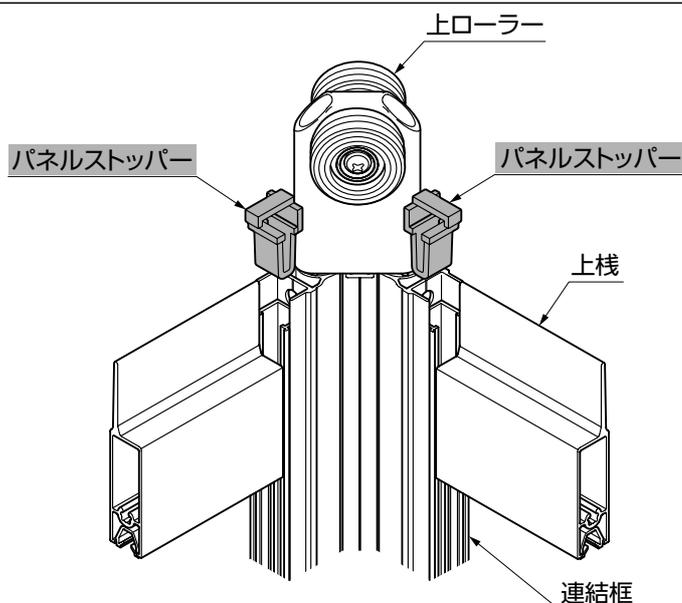
# 1. つづき

## 1-5 パネルストッパーの取付け

※すべてのパネルの吊込み完了後、連結框上部に **パネルストッパー** を取付けてください。

### ⚠ 注意

●パネルストッパーを取付けていない場合、開閉時や強風時にパネルが脱落し、事故につながるおそれがあります。

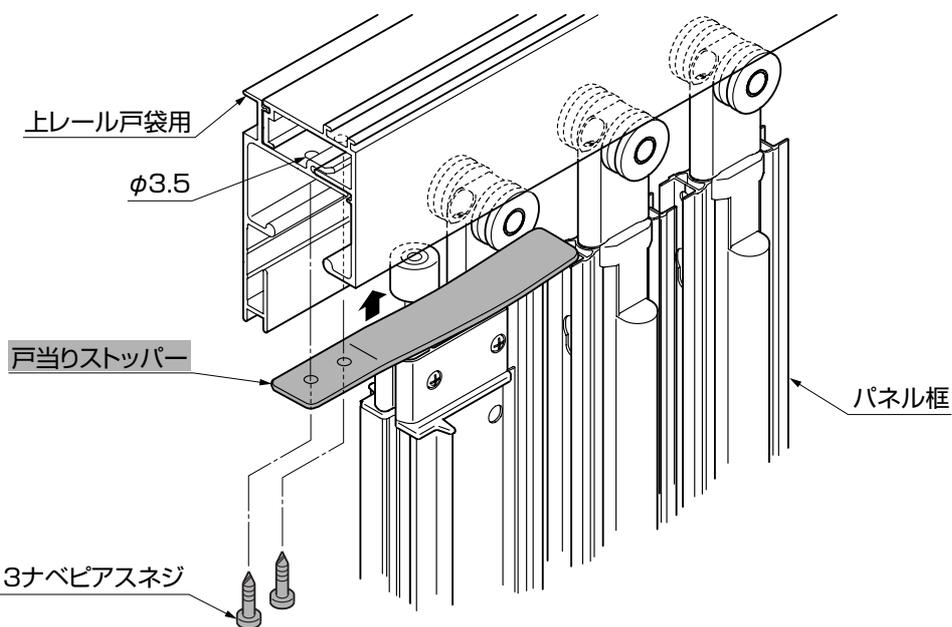


## 1-6 戸当りストッパーの取付け

※すべてのパネル吊込み後、**戸当りストッパー** を必ず所定の位置に取付けてください。

### 🔑 ポイント

●戸当りストッパーを所定の位置に取付けないと、パネルを閉めるときに戸袋からパネルがスムーズに出なくなり、破損の原因になります。



## 1-7 潤滑剤の塗布

※施工完了後、上下レール内(※4)と上下ローラー等(※4)やパネル連結部に、市販の **スプレー式シリコン系潤滑剤** を吹き付け、パネルがスムーズに開閉できることを確認してください。

### ポイント

- スプレー式シリコン系潤滑剤は、現場で手配してください。

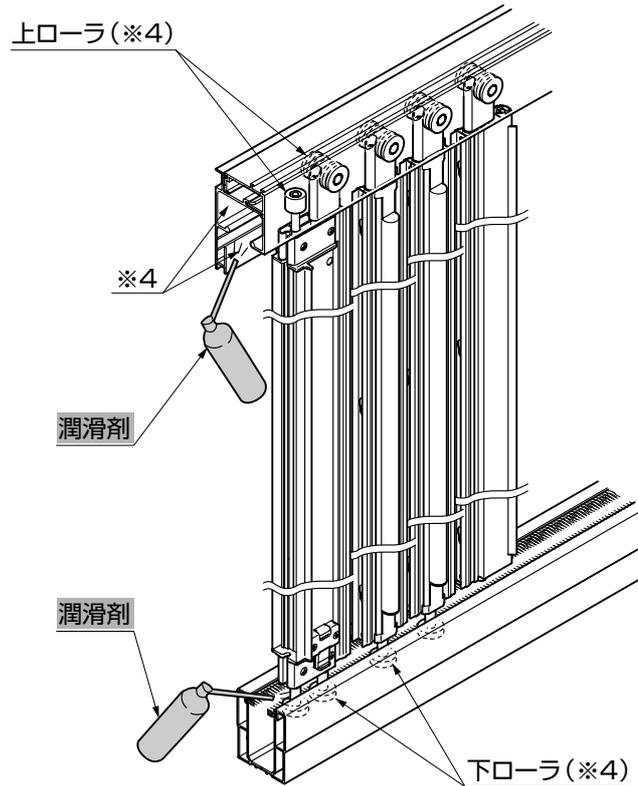


図1-10 ローラー部

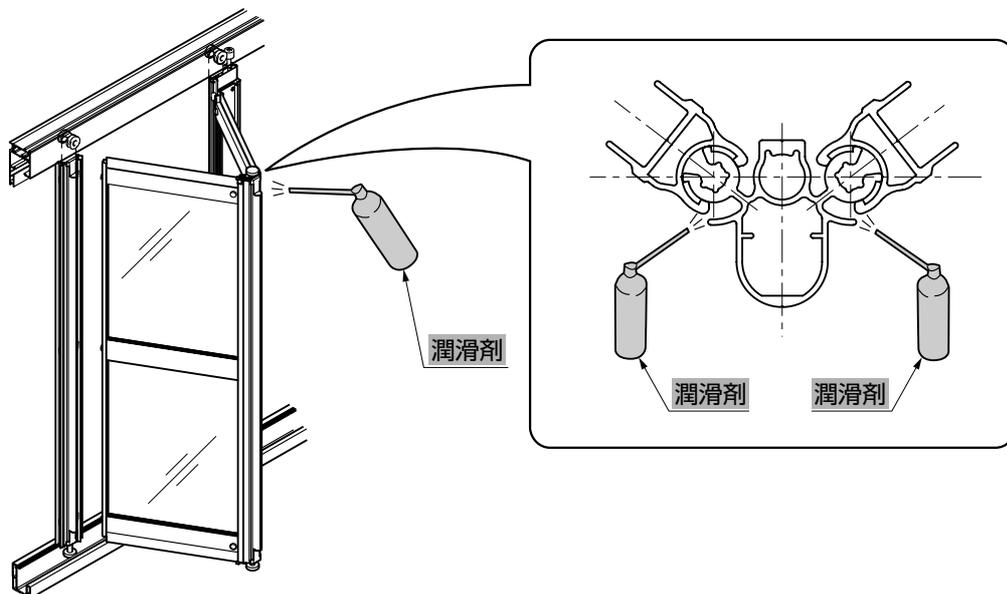


図1-11 パネル連結部

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## 2 梱包明細表

### 【1】 支柱セット

名 称	略 図	員 数
支柱 右用		2
支柱 左用		2

### 【2】 中間支柱セット

名 称	略 図	員 数
中間支柱		2

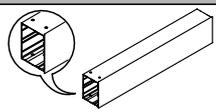
### 【3】 縦樋セット

名 称	略 図	員 数
縦樋 右用		2
縦樋 左用		2
縦樋カバー		4

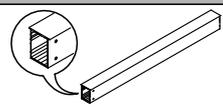
### 【4】 横延長縦樋セット

名 称	略 図	員 数
縦樋 右用		1
縦樋 左用		1
縦樋 横延長水上・右用		1
縦樋 横延長水上・左用		1
縦樋 横延長中間		2
縦樋カバー		2
縦樋カバー（横延長）		4

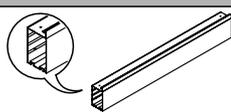
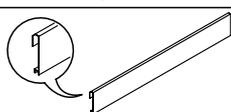
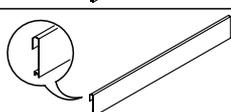
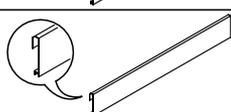
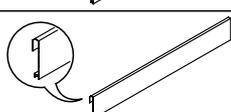
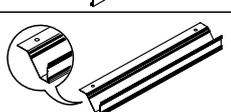
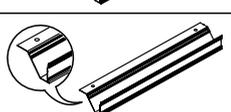
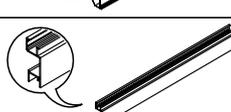
【5】袖・中間柱セット

名 称	略 図	員 数
袖・中間柱		1

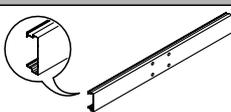
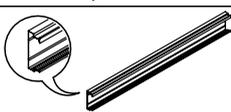
【6】機能柱セット

名 称	略 図	員 数
機能柱		4

【7】前後梁セット

名 称	略 図	員 数		
		標 準	横延長標準	横延長延長
前後梁		2	2	2
幕板梁用 右用		1	—	—
幕板梁用 左用		1	—	—
幕板梁用（横延長） 右用		—	1	1
幕板梁用（横延長） 右用		—	1	1
横樋梁用		2	—	—
横樋梁用（横延長） 水下・右用		—	1	—
横樋梁用（横延長） 水下・左用		—	1	—
横樋梁用（横延長） 水上・右用		—	—	1
横樋梁用（横延長） 水上・左用		—	—	1
幕板調整材		—	—	2

【8】採光梁セット

名 称	略 図	員 数
採光梁 右用		1
採光梁 左用		1

**【8】採光梁セット つづき**

名 称	略 図	員 数
採光梁カバー		2
中骨		2

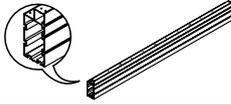
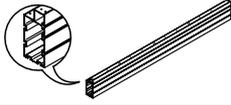
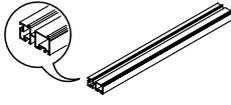
**【9】追加梁セット**
**オプション**

名 称	略 図	員 数
追加梁		1
採光梁カバー		1
採光梁取付金具		2
【9-1】 M8×20四角ボルト		2
【9-2】 M8平座金		3
【9-3】 M8バネ座金		3
【9-4】 M8六角ナット		3
【9-5】 φ4×12トラスタッピンネジ		7
【9-6】 φ4×13ナベピアスネジ		3
【9-7】 φ4×25ナベピアスネジ		3

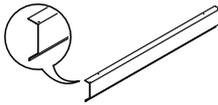
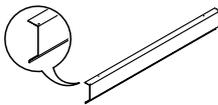
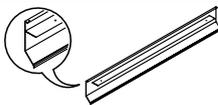
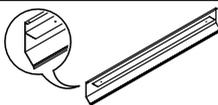
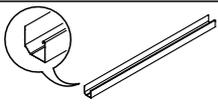
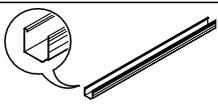
**【10】桁 標準セット**

名 称	略 図	員 数	
		標準標準右 標準縦延長右	標準標準左 標準縦延長左
桁 水上用 右用		1	—
桁 水上用 左用		—	1
桁 水下用 右用		—	1
桁 水下用 左用		1	—
補強桁 右用		1	—
補強桁 左用		—	1

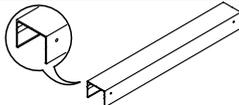
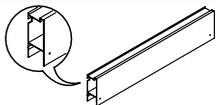
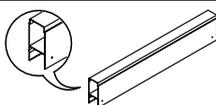
【11】桁 中間セット

名 称	略 図	員 数	
		中間標準右 中間縦延長右	中間標準左 中間縦延長左
桁 中間 右用		1	—
桁 中間 左用		—	1
調整桁		1	1

【12】長さセット

名 称	略 図	員 数	
		標準標準右 標準縦延長右	標準標準左 標準縦延長左
幕板 水上用 右用		1	—
幕板 水上用 左用		—	1
幕板 水下用 右用		—	1
幕板 水下用 左用		1	—
横樋 桁用 右用		1	1
横樋 桁用 左用		1	1

【13】ベース材セット

名 称	略 図	員 数		
		目隠・機能・袖	折 戸	シャッター
ベース材A		—	1	1
ベース材B		1	—	—
ベース材C		1	1	—

**【14】屋根材セット**

名 称	略 図	員 数	
		1枚入	2枚入
折板屋根材		1	2

**【15】ペフ付屋根材セット**
**オプション**

名 称	略 図	員 数	
		1枚入	2枚入
折板屋根材		1	2

**【16】ポリカ屋根材セット**

名 称	略 図	員 数	
		標 準	横延長
ポリカ折板屋根材		1	2

**【17】折板部品セット**

名 称	略 図	員 数				
		標準 L54	標準 L60	縦延長 L74	追加横延長 L60	追加横延長 L74
タイトフレーム中間用		16	18	22	9	11
タイトフレームエンド用		2	2	4	1	2
ケラバ		2	2	—	1	—
端部用ナット付笠ワッシャー		54	60	74	30	37
端部用パッキン		54	60	74	30	37
端部用ルーフボルトキャップ		54	60	74	30	37
【17-1】φ5×12ナベタッピンネジ3種		72	80	98	40	49

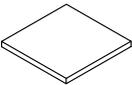
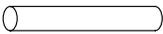
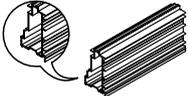
【18】部品セット

名 称	略 図	員 数				
		標準 L54	標準 L60	縦延長 L74	横延長 L60	横延長 L74
桁取付金具		4	4	4	6	6
前後梁固定金具 右用		2	2	2	4	4
前後梁固定金具 左用		2	2	2	4	4
ベース材取付金具		30	30	30	36	36
機能柱取付金具		4	4	4	4	4
中間柱取付金具		—	—	—	1	1
機能柱固定金具 右用		4	4	4	4	4
機能柱固定金具 左用		4	4	4	4	4
採光梁取付金具		4	4	4	8	8
幕板取付金具		4	4	4	4	4
幕板連結金具		—	—	2	—	2
横樋連結金具		—	—	2	—	2
横樋連結金具 横延長用		—	—	—	2	2
幕板取付金具 横延長用・右用		—	—	—	2	2
幕板取付金具 横延長用・左用		—	—	—	2	2

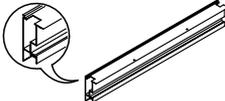
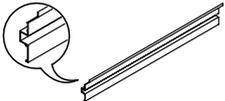
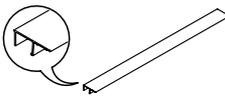
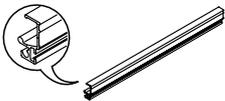
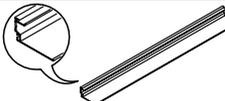
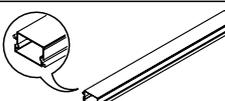
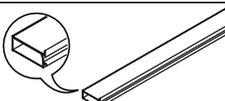
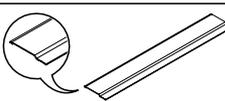
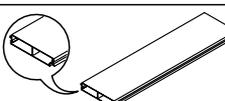
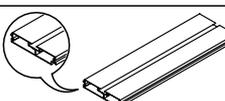
**【18】 部品セット (つづき)**

名 称	略 図	員 数				
		標準 L54	標準 L60	縦延長 L74	横延長 L60	横延長 L74
縦樋キャップ		4	4	4	2	2
縦樋受けキャップ		4	4	4	6	6
止水クッション材 折板中間用		16	18	22	18	22
止水クッション材 折板端部水下用		2	2	2	2	2
止水クッション材 折板端部水上用		2	2	2	2	2
止水クッション材 採光梁端面用		—	—	—	2	2
止水クッション材 幕板連結部用		—	—	—	2	2
止水パッキン 桁用右		2	2	2	2	2
止水パッキン 桁用左		2	2	2	2	2
止水パッキン 梁用		4	4	4	8	8
止水パッキン 中間桁用右		—	—	—	1	1
止水パッキン 中間桁用左		—	—	—	1	1
止水クッション材 桁ボルト溝用		8	8	8	16	16
中間用折板固定用部品		20	22	26	44	52
中間用ルーフボルトキャップ		20	22	26	44	52

## 【18】部品セット(つづき)

名 称	略 図	員 数				
		標準 L54	標準 L60	縦延長 L74	横延長 L60	横延長 L74
止水パッキン 横樋梁用・屋根用		6	8	8	35	39
仮止めテープ		1	1	1	1	1
止水パッキン 折板用		20	22	26	22	26
アンカー棒		8	8	8	11	11
幕板竖樋連結金具		—	—	—	2	2
止水パッキン調整桁		—	—	—	2	2
止水パッキン横樋梁用		2	2	2	4	4
桁連結スリーブ		—	—	2	—	3
92° エルボ φ40		4	4	4	6	6
接着剤		1	1	1	1	1
ブチルコーキング		1	1	1	2	2
【18-1】 M8×20四角ボルト		34	34	34	62	62
【18-2】 M8平座金		35	35	35	65	65
【18-3】 M8バネ座金		35	35	35	65	65
【18-4】 M8六角ナット		35	35	35	65	65
【18-5】 φ4×13ナベピアスネジ		77	80	93	107	120
【18-6】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		152	152	209	209	282
【18-7】 φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		59	59	59	92	92
【18-8】 φ4×25ナベピアスネジ		14	14	23	37	53
取付説明書 施工フロー (D442)	—	1	1	1	1	1
取付説明書 (D406)	—	1	1	1	1	1
取扱説明書 (UD088)	—	1	1	1	1	1

【19】機能・袖（目隠材）セット

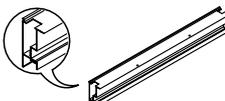
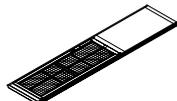
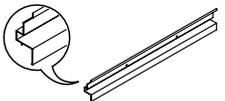
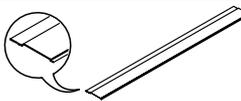
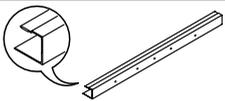
名 称	略 図	員 数			
		本体色		マテリアルカラー	
		D05	D03	D05	D03
目隠材上枠前		1	1	1	1
目隠材上枠後		1	1	1	1
ベース材Bカバー		1	1	1	1
目隠材側枠A		1	1	1	1
目隠材側枠B		1	1	1	1
目隠材Bカバー		—	—	2	—
目隠端部材A		1	1	1	1
目隠端部材B		1	1	1	1
目隠側枠Bカバー		1	1	1	1
目隠材A		2	2	2	2
目隠材B		2	—	2	—

【20】機能・袖（上げ下げ窓）セット

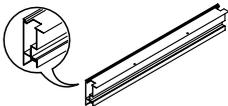
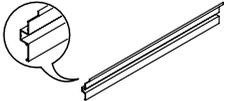
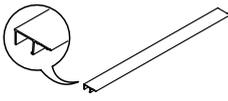
オプション

【20】機能・袖（上げ下げ窓）セット（つづき）

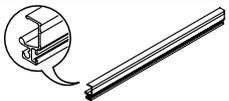
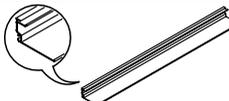
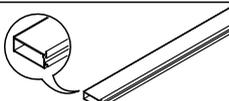
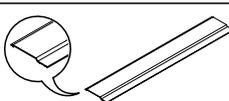
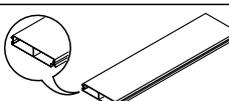
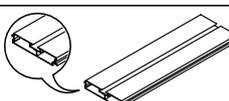
オプション

名 称	略 図	員 数	名 称	略 図	員 数
		D05			D05
目隠材上枠前		1	上げ下げ窓パネル		1
上枠後上げ下げ窓		1	目隠側枠Bカバー		2
側枠上げ下げ窓		2			

【21】目隠材 上下枠セット

名 称	略 図	員 数
上枠前		1
上枠後		1
ベース材Bカバー		1

【22】目隠材 端部セット

名 称	略 図	員 数	
		本体色	マテリアルカラー
目隠側枠A		1	1
目隠側枠B		1	1
目隠材Bカバー		—	1
目隠端部材A		1	1
目隠端部材B		1	1
目隠側枠Bカバー		1	1
目隠材A		4	4
目隠材B		1	1

**【23】目隠材 中間セット 本体色**

名 称	略 図	員 数					
		D04	D06	D08	D12	FIX中間	換気扇用中間 オプション
目隠材A		2	4	5	8	1	1
目隠材B		2	2	3	4	—	—
中間FIX用目隠材		—	—	—	—	2	2
FIX中間パネル		—	—	—	—	1	—
換気扇用中間パネル		—	—	—	—	—	1

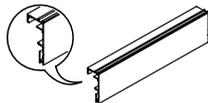
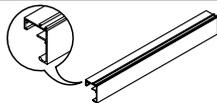
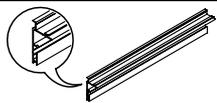
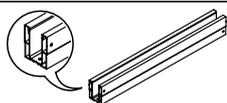
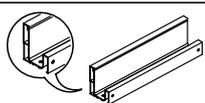
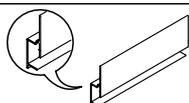
**【24】目隠材 中間セット マテリアルカラー**

名 称	略 図	員 数					
		D04	D06	D08	D12	FIX中間	換気扇用中間 オプション
目隠材A		2	4	5	8	1	1
目隠材B		2	2	3	4	—	—
中間FIX用目隠材		—	—	—	—	2	2
目隠材Bカバー		2	2	3	4	—	—
FIX中間パネル		—	—	—	—	1	—
換気扇用中間パネル		—	—	—	—	—	1

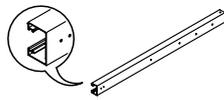
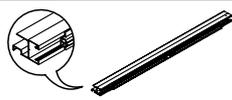
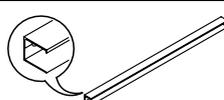
## 【25】正面・背面部品セット

名 称	略 図	員 数	
		正面・背面部品	
		袖なし	袖あり
ベース材取付金具		—	4
中間柱取付金具		—	1
アンカー棒		—	1
【25-1】 M8×20四角ボルト		—	4
【25-2】 M8平座金		—	5
【25-3】 M8バネ座金		—	5
【25-4】 M8六角ナット		—	5
【25-5】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		—	14
【25-6】 φ5×12トラスタッピンネジ3種		—	5
【25-7】 φ4×13ナベピアスネジ		87	110
【25-8】 φ4×8トラスタッピンネジ1種		24	24
【25-9】 M4×12バインド小ネジ		5	5
【25-10】 φ4×12トラスタッピンネジ1種		10	10
【25-11】 φ4×19ナベピアスネジ		24	24

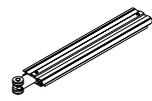
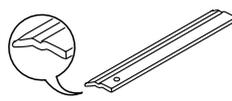
## 【26】桁レール 外収納セット

名 称	略 図	員 数
上レールA		1
上レール戸袋用		1
上レールB		1
下レール 直線用		1
下レール 戸袋用		2
上棧カバー		3

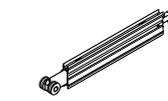
【27】戸当り・吊元枠セット

名 称	略 図	員 数	
		右外(錠付)	左外(錠付)
吊元枠		1	1
戸当枠SA 右用		—	1
戸当枠SA 左用		1	—
戸当枠SB		1	1
ネジカバー 戸当枠SA用		1	1

【28】戸当り・吊元枠セット 錠付

名 称	略 図	員 数	
		右外(錠付)	左外(錠付)
吊元枠		1	1
戸当り枠 錠付		1	1
吊元ストッパー		1	1

【29】連結枠セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入	4本入
連結枠		1	4

【30】パネル 外収納セット

名 称	略 図	員 数
パネル		1
パネルストッパー		2

【30】パネル 外収納セット (つづき)

名 称	略 図	員 数
パネル下キャップ		2
パネル挿入注意書き	—	1

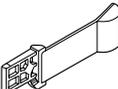
【31】ロックパネル（外収納）セット

名 称	略 図	員 数
ロックパネル		1
パネルストッパー		2
パネル下キャップ		2
パネル挿入注意書き	—	1

【32】錠セット

名 称	略 図	員 数	
		1個入	2個入
シリンダーユニット		1	2
サムターン座		1	2
サムターンツマミ		1	2
小鍵		1	2
【32-1】 M3×10サラ小ネジ		1	2
【32-2】 M3×10ナベ小ネジ		2	4
【32-3】 M4×16サラ小ネジ		1	2

【33】側面部品セット

名 称	略 図	員 数						
		側面右部品			側面左部品			側面部品
		目隠・折戸	折戸・折戸	袖・折戸・折戸	目隠・折戸	折戸・折戸	袖・折戸・折戸	
ベース材取付金具		—	—	4	—	—	4	—
中間柱取付金具		—	—	1	—	—	1	—
アンカー棒		—	—	1	—	—	1	—
スモーカー A勝手		1	2	2	—	—	—	—

**【33】側面部品セット つづき**

名 称	略 図	員 数						
		側面右部品			側面左部品			側面部品
		目隠・折戸	折戸・折戸	袖・折戸・折戸	目隠・折戸	折戸・折戸	袖・折戸・折戸	
スモーカー B勝手		—	—	—	1	2	2	—
φ5用プッシュボタン		9	18	18	9	18	18	—
下レール連結材		2	4	4	2	4	4	—
レール側板連結金物		1	2	2	1	2	2	—
戸当りストッパー		1	2	2	1	2	2	—
ストッパーガイド		1	2	2	1	2	2	—
パネルガイドA		1	2	2	1	2	2	—
ロック枠カバーA		1	2	2	1	2	2	—
ロック枠カバーB		1	2	2	1	2	2	—
連結枠カバーA		2	4	4	2	4	4	—
連結枠カバーB		2	4	4	2	4	4	—
掃出し部連結材		1	2	2	1	2	2	—
掃出し部キャップ 大		1	2	2	1	2	2	—
掃出し部キャップ 小		1	2	2	1	2	2	—

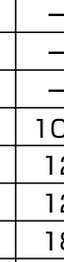
【33】側面部品セット (つづき)

名 称	略 図	員 数						
		側面右部品			側面左部品			側面部品
		目隠・折戸	折戸・折戸	袖・折戸・折戸	目隠・折戸	折戸・折戸	袖・折戸・折戸	
パネル吊元クッションゴム		3	6	6	3	6	6	—
【33-1】 M8×20四角ボルト		—	—	4	—	—	4	—
【33-2】 M8平座金 ミガキ丸		—	—	5	—	—	5	—
【33-3】 M8バネ座金 2号		—	—	5	—	—	5	—
【33-4】 M8六角ナット2種		—	—	5	—	—	5	—
【33-5】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		—	—	14	—	—	14	—
【33-6】 φ5×12トラスタッピンネジ3種		—	—	5	—	—	5	—
【33-7】 φ4×13ナベピアスネジ		103	103	124	103	103	124	99
【33-8】 φ4×19ナベピアスネジ		12	22	22	12	22	22	—
【33-9】 φ4×8(+ )トラスタッピンネジ3種 D=8		12	21	21	12	21	21	—
【33-10】 φ4×8(+ )特サラタッピンネジ3種		18	34	34	18	34	34	—
【33-11】 φ4×20(+ )特サラタッピンネジ3種		2	3	3	2	3	3	—

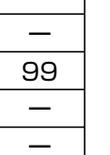
【34】シャッター取付部材セット

名 称	略 図	員 数
シャッター取付用横部材A		1
シャッター取付用横部材B		1
シャッター取付用縦部材		2
ネジカバーシャッター取付用縦部材		2

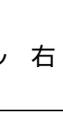
【35】シャッター内部付枠セット

名 称	略 図	員 数
化粧まぐさ		1
外枠 右		1
外枠 左		1

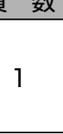
【36】シャッター電動内部付本体セット

名 称	略 図	員 数
シャッター本体		1

【36】シャッター電動内部付本体セット つづき

名 称	略 図	員 数
ケース 正面		1
ケースカバー		2
停電時開閉操作ハンドル		1
ワイヤレス壁スイッチ		1
カードリモコン		1
【36-1】 φ3×15ナベタッピンネジ		2

【37】シャッター電動ガイドレールセット

名 称	略 図	員 数
電動ガイドレール 右		1
電動ガイドレール 左		1
ガイドレール抜け防止金具		2

**【38】キューブ連棟部品セット**

**オプション**

名 称	略 図	員 数	
		水切	部品
CP連棟用水切り材		1	—
CP固定金具 右用		—	2
CP固定金具 左用		—	2
雨樋カバー端部キャップ CP連棟		—	2
【38-1】φ4×13 (+) ナベピアスネジ D=8.2		—	11
【38-2】φ5×12 (+) トラストッピンネジ3種 D=10		—	5
【38-3】M8×100六角ボルト		—	4
【38-4】M8×75六角ボルト		—	4
【38-5】M8袋ナット		—	8
【38-6】座金 大		—	8
【38-7】M8平座金		—	18
【38-8】M8バネ座金		—	10

**【39】棚脚セット**

**オプション**

名 称	略 図	員 数
棚受け柱		3
棚受け材		9
棚受け金具		18
棚受け柱キャップ		3
棚受け金具取付用裏板		19
【39-1】M5×8 (+)トラス小ネジ		19
【39-2】φ4×12トラストッピンネジ3種		4
【39-3】φ4×19ナベピアスネジ		19
【39-4】φ4.1×25木ネジ		38

**【40】棚板セット**

**オプション**

名 称	略 図	員 数
棚板		1

**【41】テーブル板セット**

**オプション**

名 称	略 図	員 数
テーブル天板		1

【42】 テーブル脚セット

オプション

名 称	略 図	員 数
テーブル腰壁取付台座		1
テーブル腰壁取付台座フタ		1
テーブル 脚		2
テーブル アジャスター		2
テーブル取付金具B		6

【42】 テーブル脚セット (つづき)

オプション

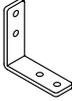
名 称	略 図	員 数
テーブル取付金具C		4
丁番		2
テーブル台座用端部カバー		2
【42-1】 φ4×12トラスタップピンネジ3種		5
【42-2】 φ4×19ナベピアスネジ		6
【42-3】 φ4.1×25サラ木ネジ		7
【42-4】 φ4×20特サラタップピンネジ1種		9
【42-5】 φ4×19サラピアスネジ		5
【42-6】 φ4×12特サラタップピンネジ3種 D=6		34

【43】 内装パネル 枠材セット

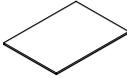
オプション

名 称	略 図	員 数	
		横	縦
内装用枠材A		2	—
内装用枠材B 天井用		2	—
内装用枠材B 目隠面用		—	5
内装用枠材C		1	—
内装用枠材D		—	2
内装用枠材E		2	—
内装用枠材F		—	2

**【43】 内装パネル 枠材セット (つづき)**
**オプション**

名 称	略 図	員 数	
		横	縦
内装用枠材固定金具		6	20
内装用枠材受け金具		—	10
内装用枠材受け金具裏板		—	11
【43-1】 M5×8 (+) トラス小ネジ		—	11
【43-2】 φ4×12トラスタッピンネジ3種		33	63
【43-3】 φ4×13ナベビアスネジ		9	—
【43-4】 φ4×19ナベビアスネジ		—	11
【43-5】 φ5×16トラスタッピンネジ3種		—	11

**【44】 追加リモコンセット**
**オプション**

名 称	略 図	員 数
内装パネル面材		2

**【45】 目隠しオプションセット**
**オプション**

名 称	略 図	員 数	
		Lアングル	フック
Lアングル		4	—
フック		—	4
金具取付用裏板		4	4
【45-1】 M5×8トラス小ネジ		5	5
【45-2】 φ4×19ナベビアスネジ		5	5

**【46】 追加リモコンセット**
**オプション**

名 称	略 図	員 数
カードリモコン		1

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

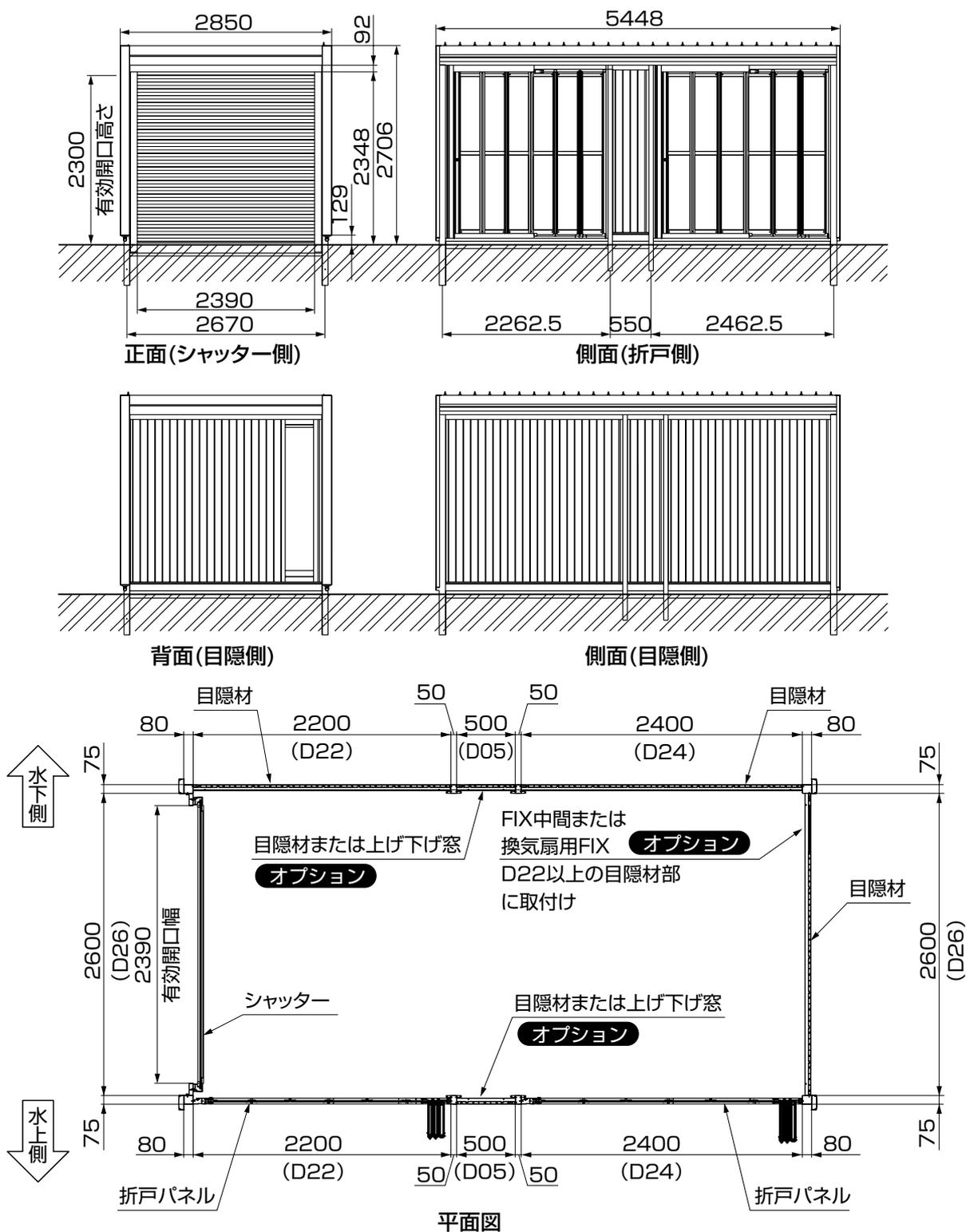
### 3 基本寸法

#### 1. 基本寸法図

##### 1-1 28-54

※この図は、右勝手です。左勝手はこの図の対称になります。

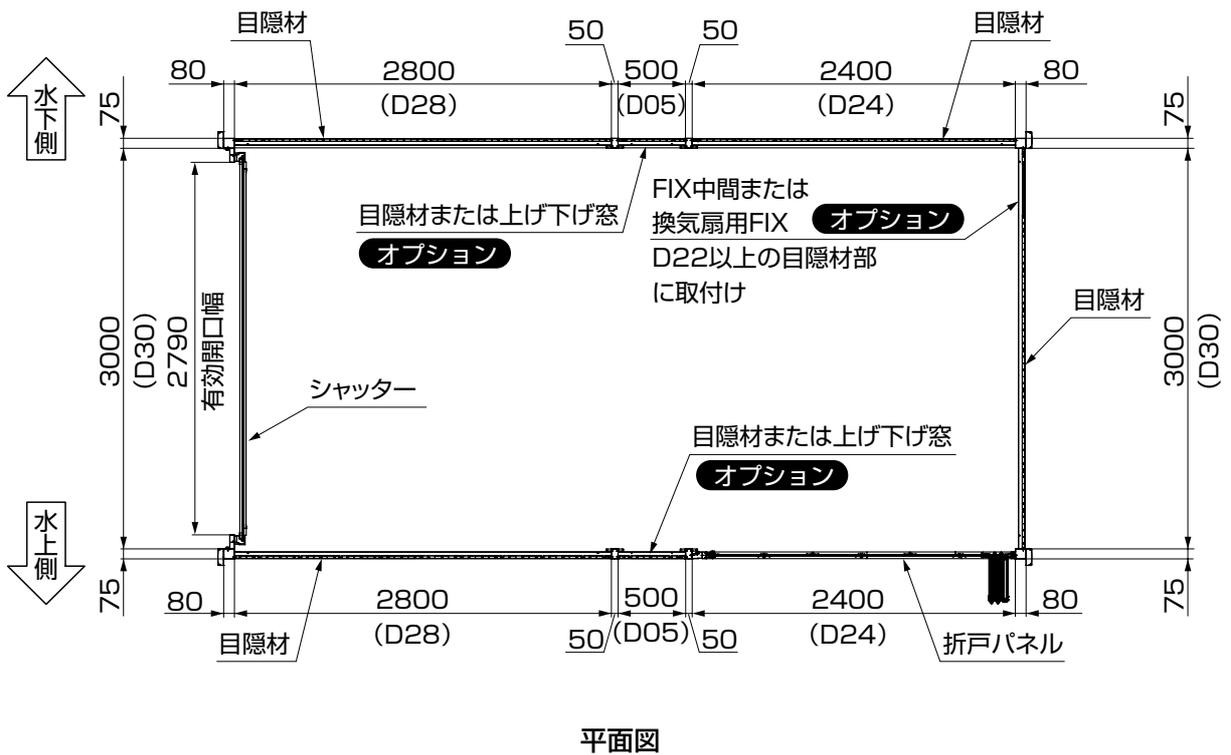
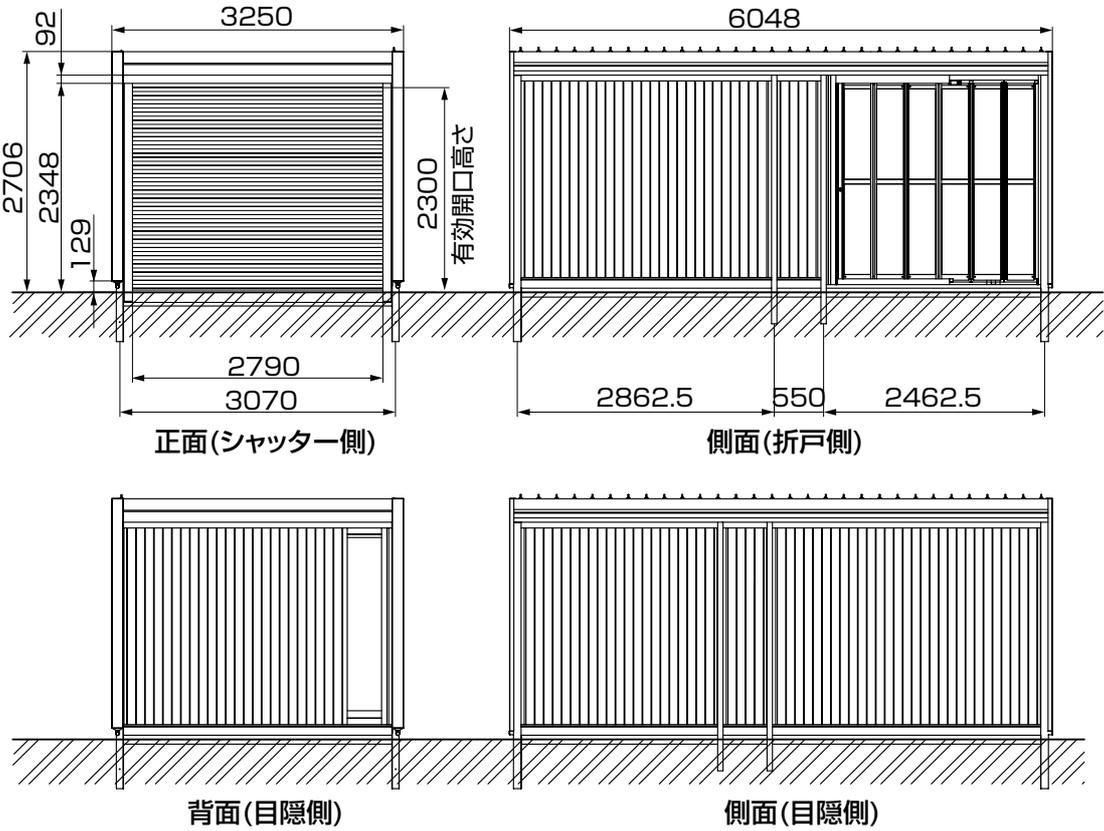
※折戸パネル取付け側が水上側になります。



# 1. (つづき)

## 1-2 32-60

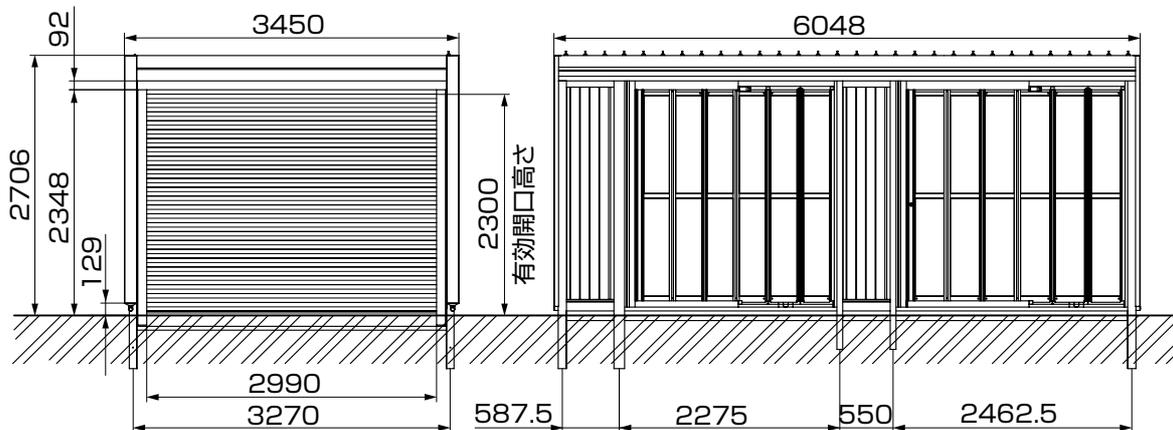
※この図は、右勝手です。左勝手はこの図の対称になります。  
 ※折戸パネル取付け側が水上側になります。



### 1-3 34-60

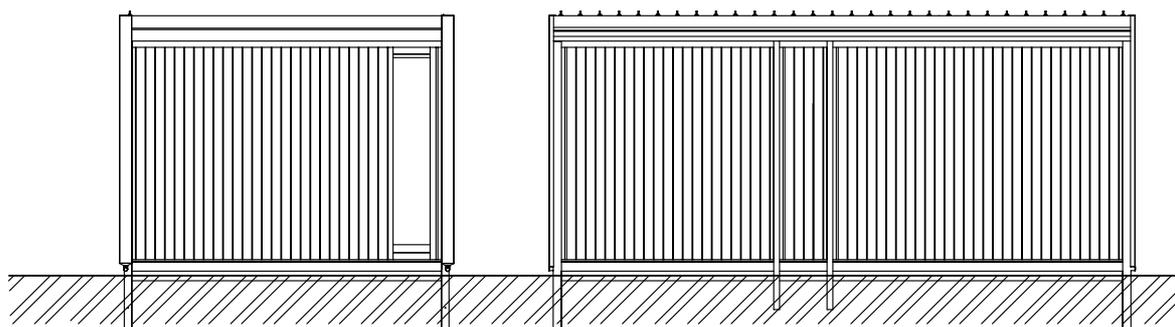
※この図は、右勝手です。左勝手はこの図の対称になります。

※折戸パネル取付け側が水上側になります。



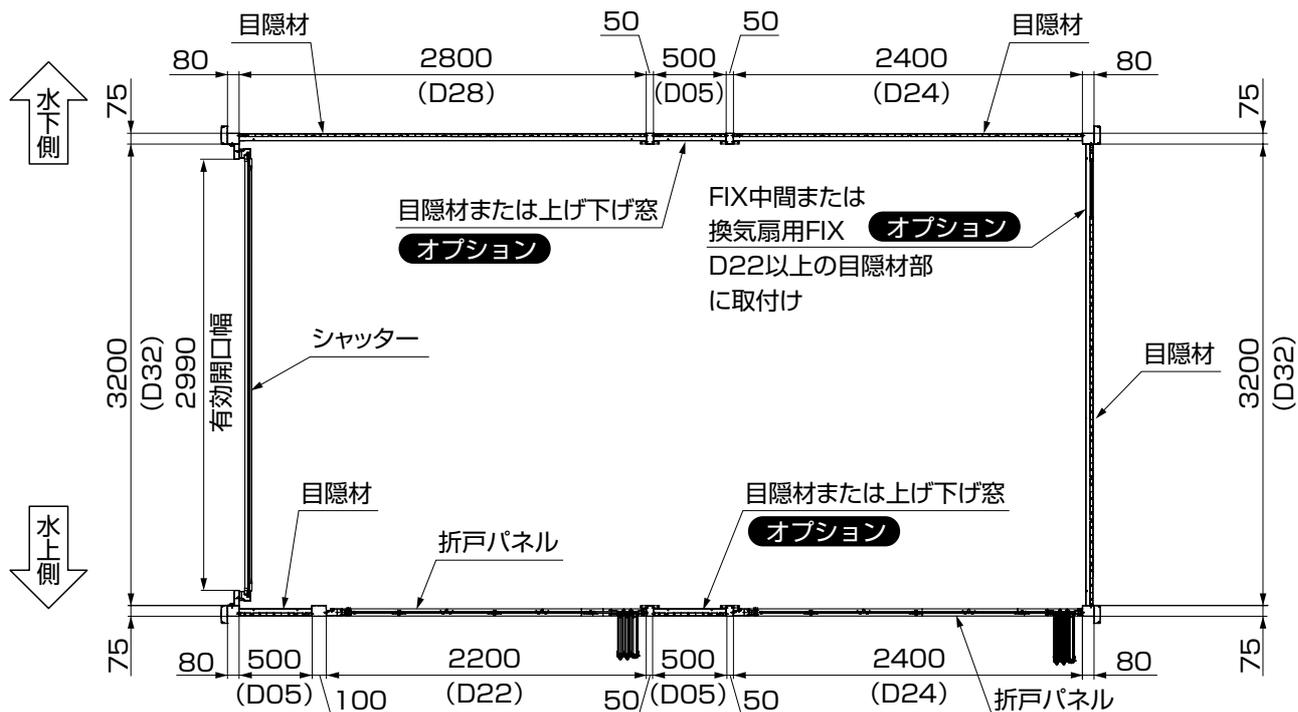
正面(シャッター側)

側面(折戸側)



背面(目隠側)

側面(目隠側)

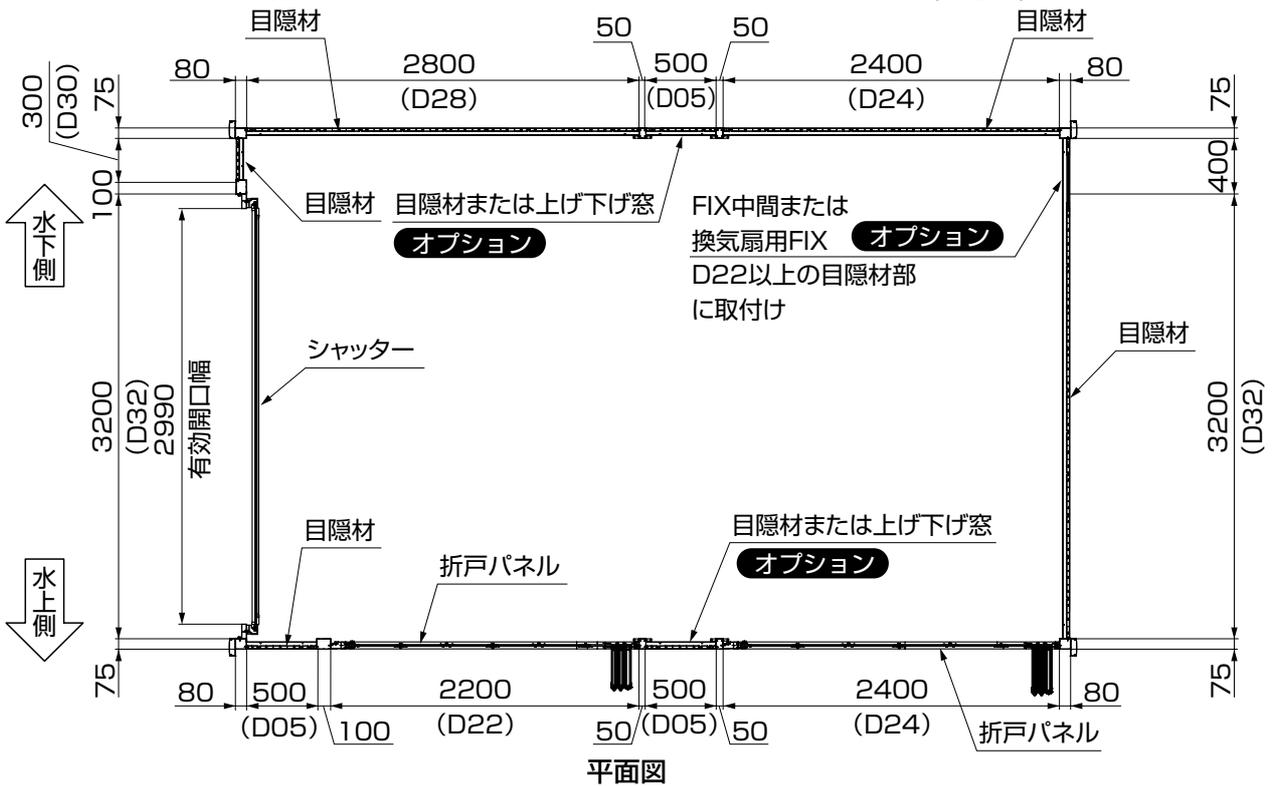
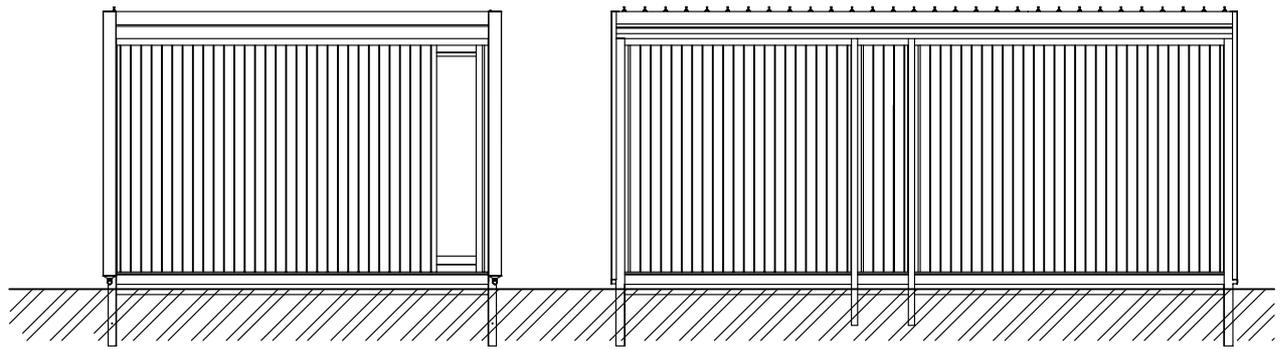
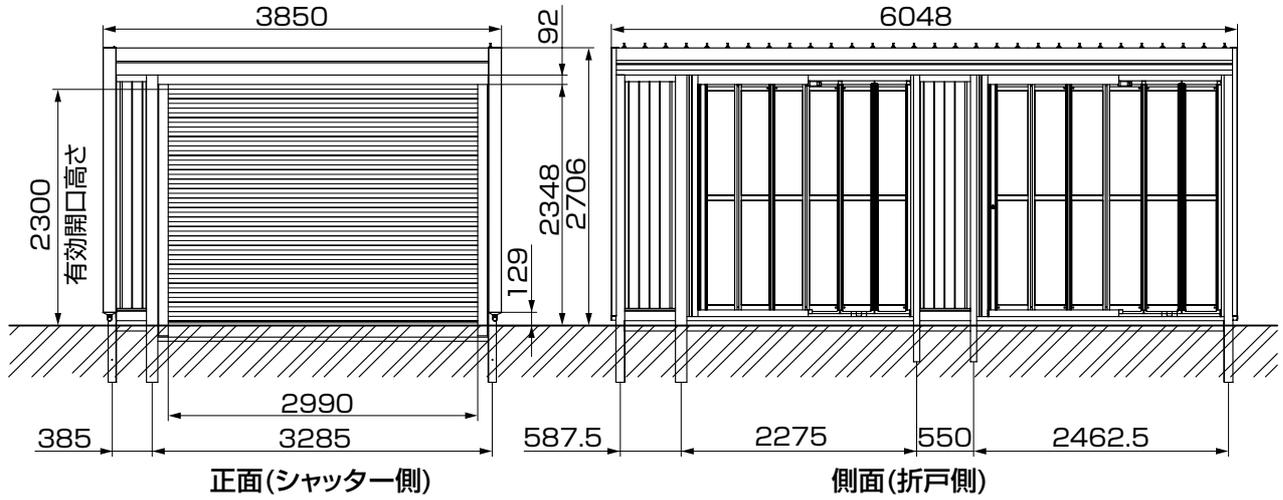


平面図

# 1. (つづき)

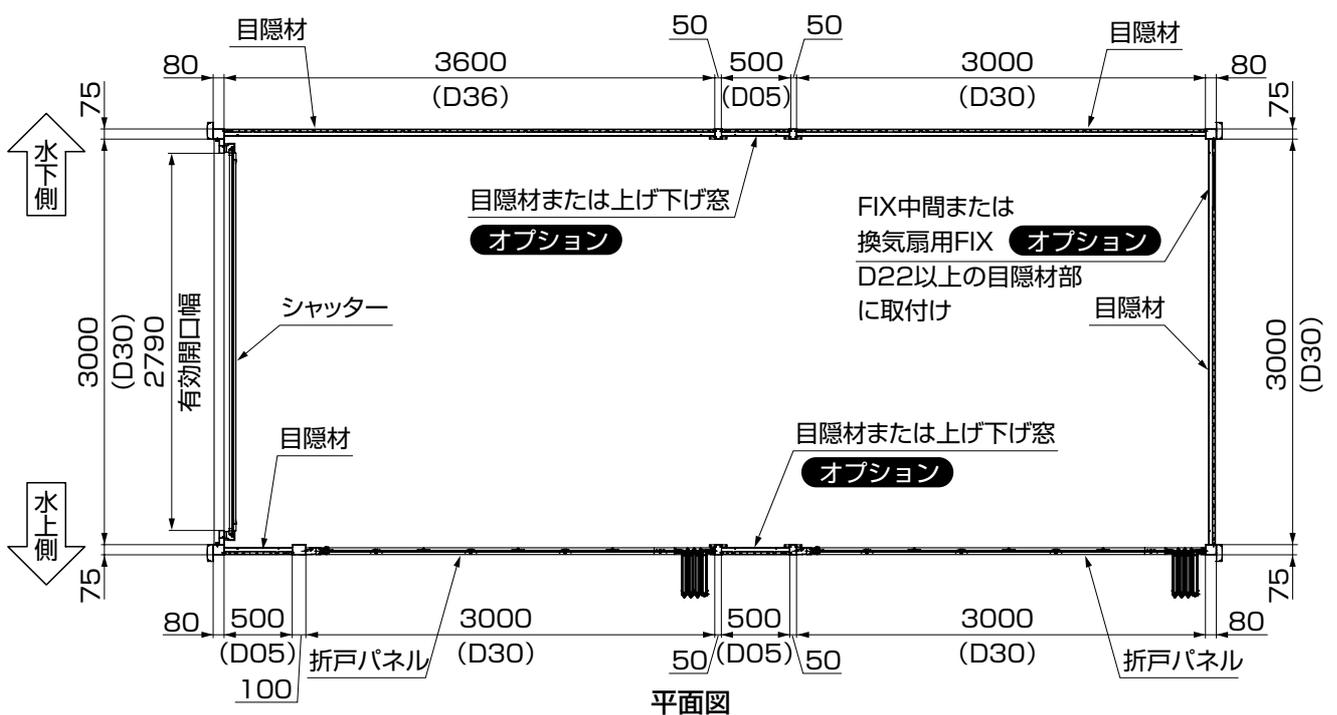
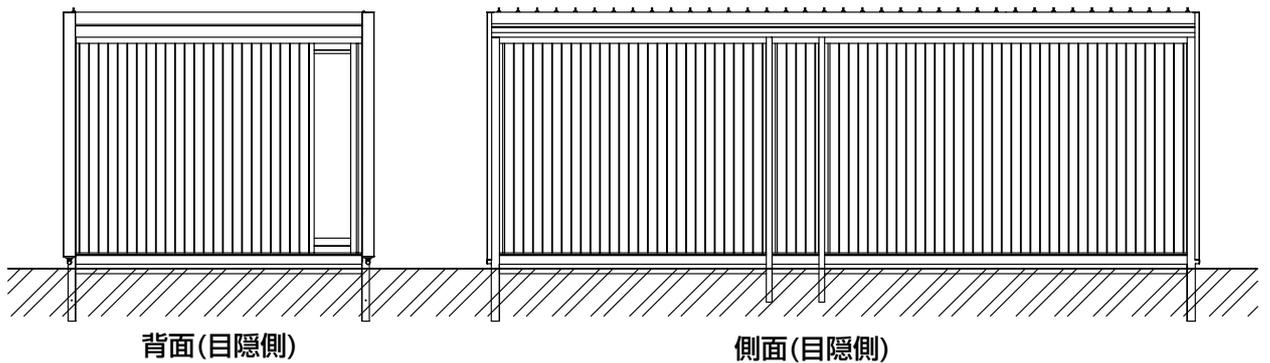
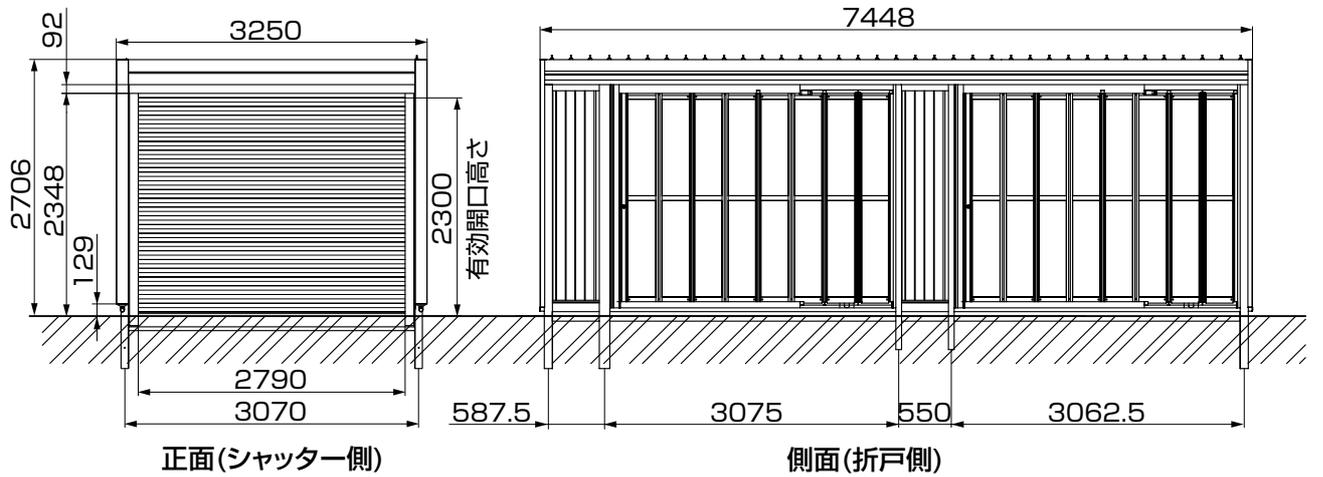
## 1-4 38-60

※この図は、右勝手です。左勝手はこの図の対称になります。  
 ※折戸パネル取付け側が水上側になります。



## 1-5 32-74

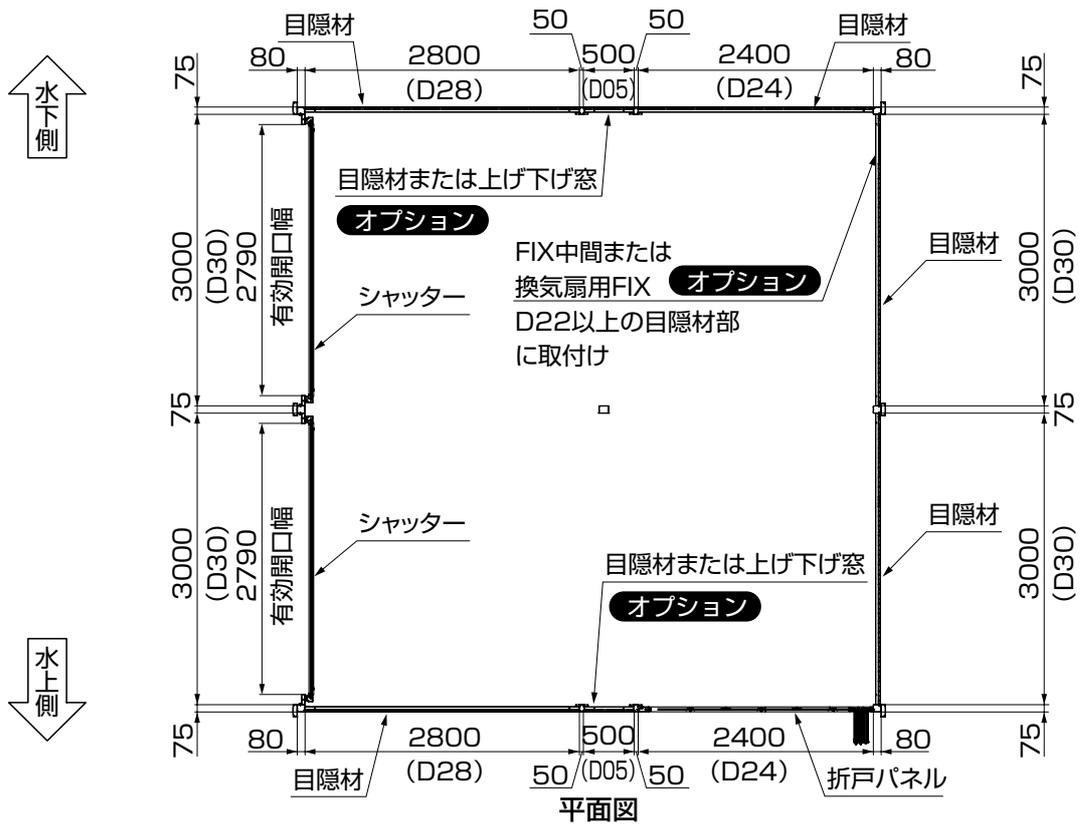
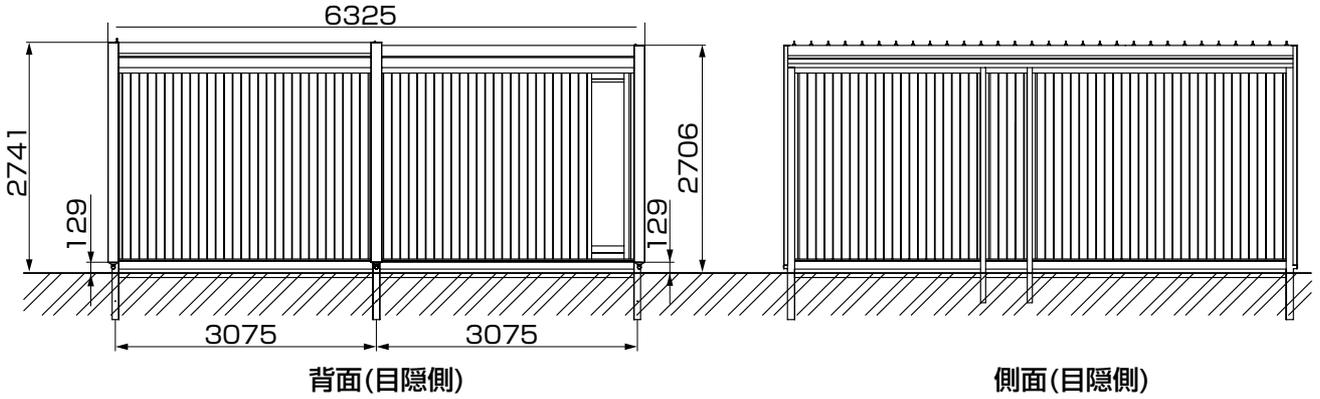
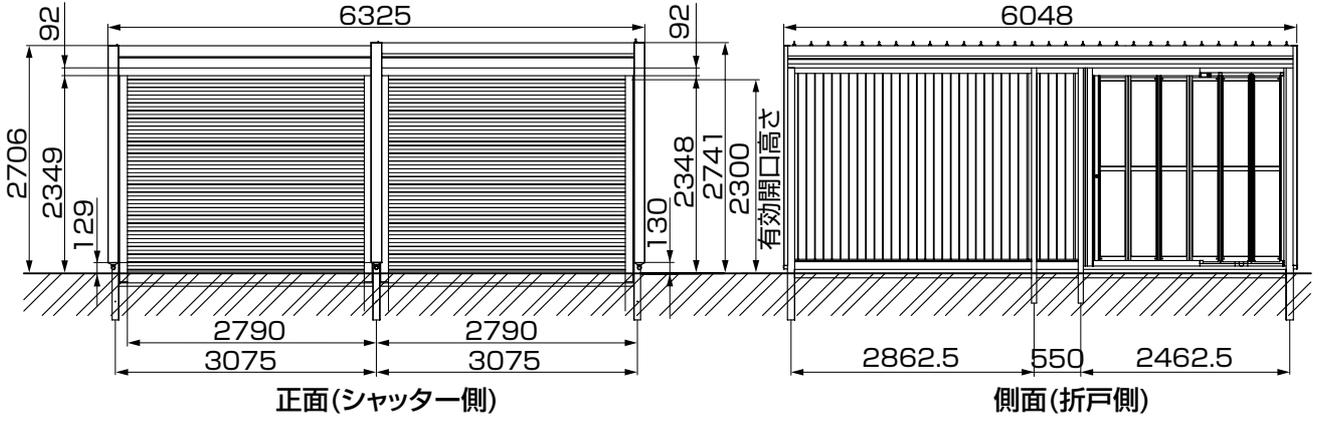
※この図は、右勝手です。左勝手はこの図の対称になります。  
 ※折戸パネル取付け側が水上側になります。



# 1. (つづき)

## 1-6 63-60

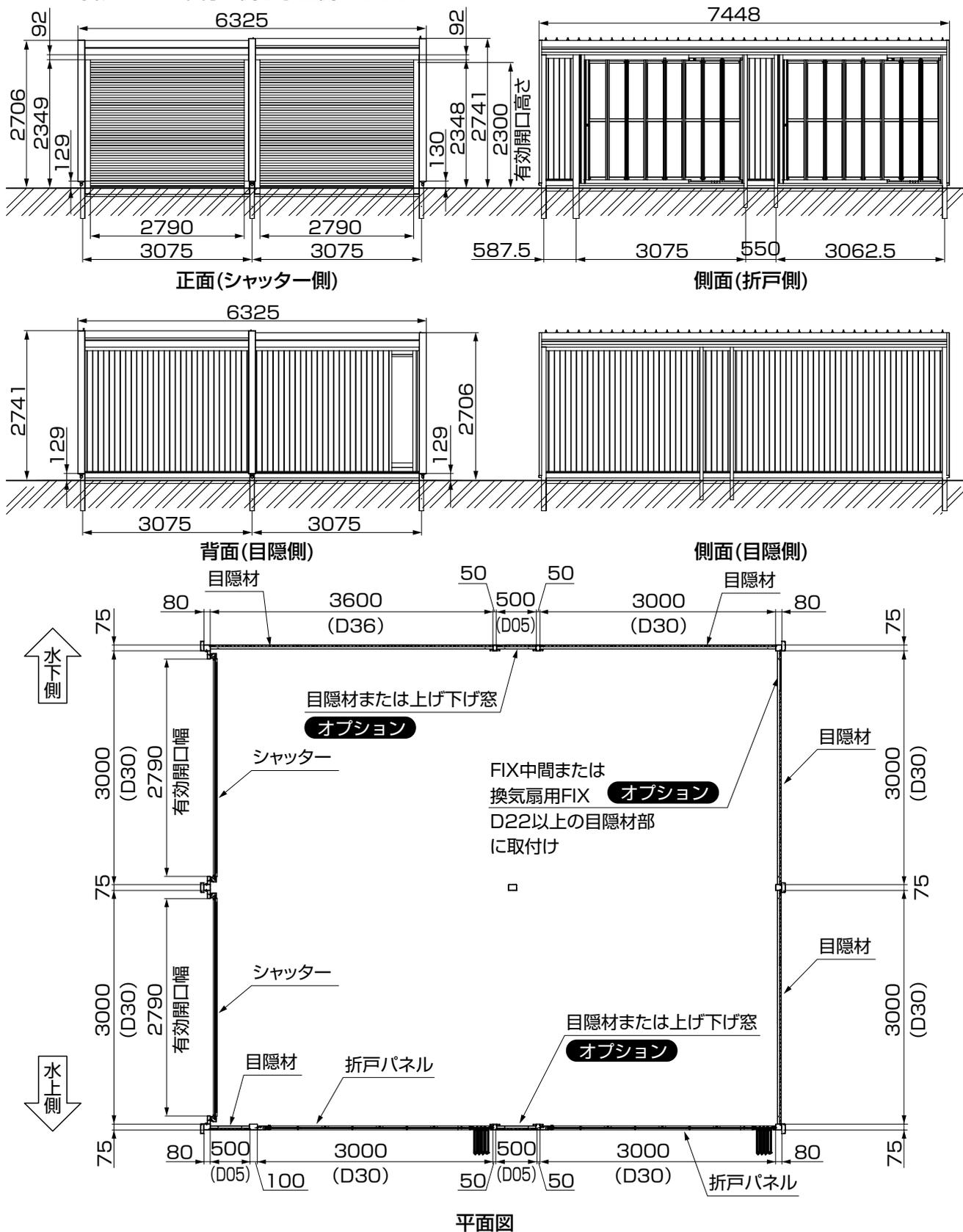
※この図は、右勝手です。左勝手はこの図の対称になります。  
 ※折戸パネル取付け側が水上側になります。



## 1-7 63-74

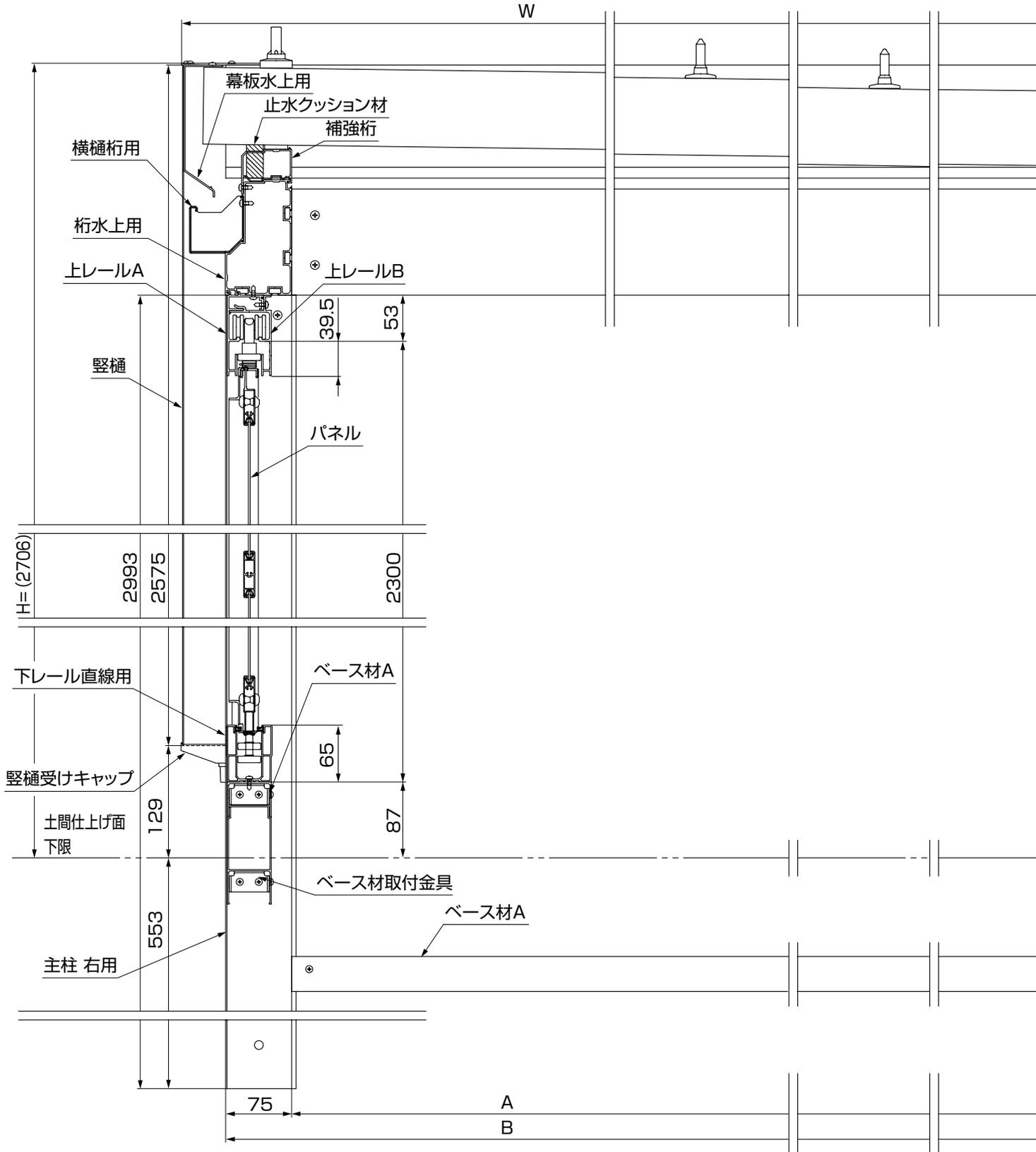
※この図は、右勝手です。左勝手はこの図の対称になります。

※折戸パネル取付け側が水上側になります。



## 2. 断面・納まり図

### 2-1 標準・縦延長間口断面納まり



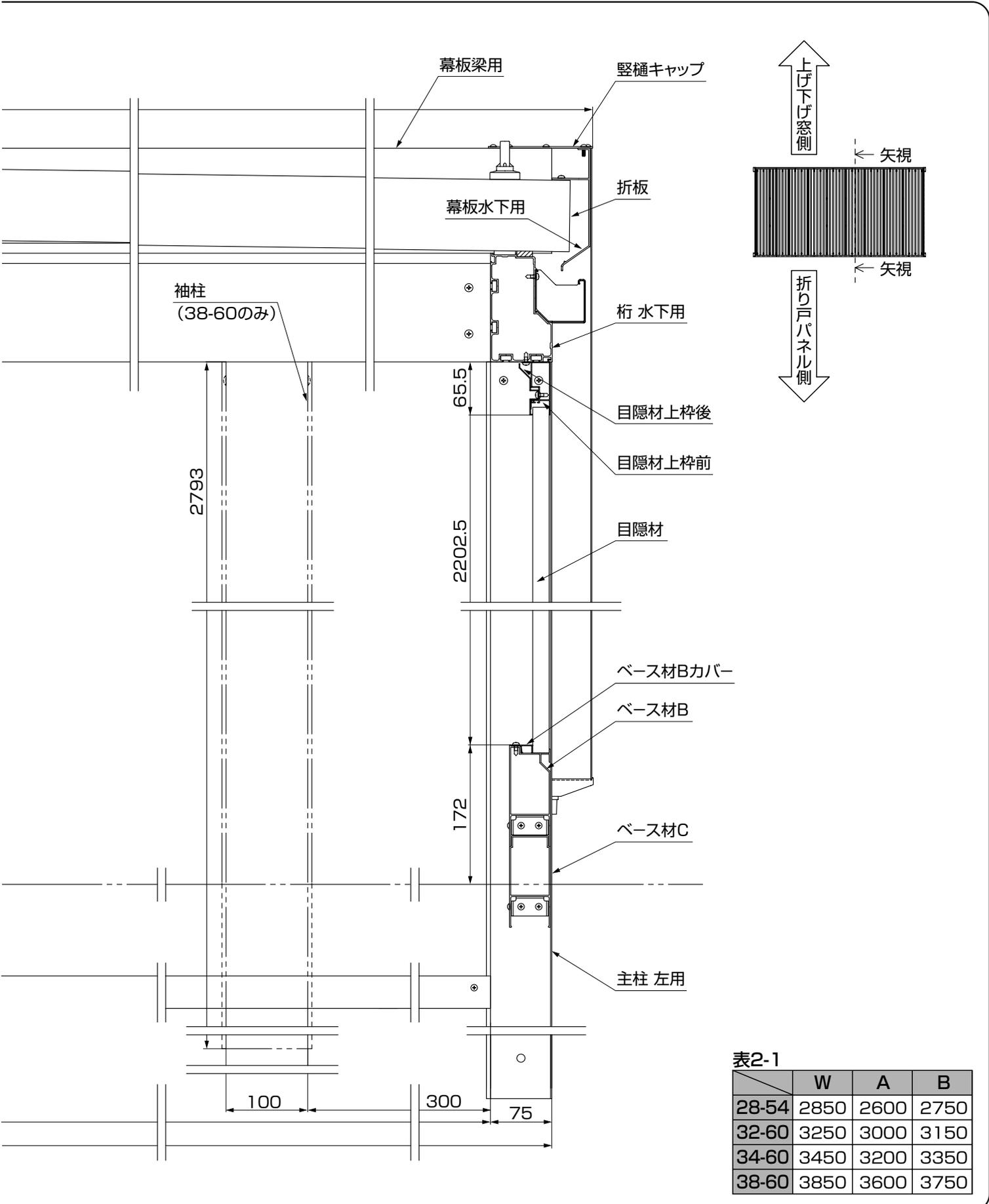
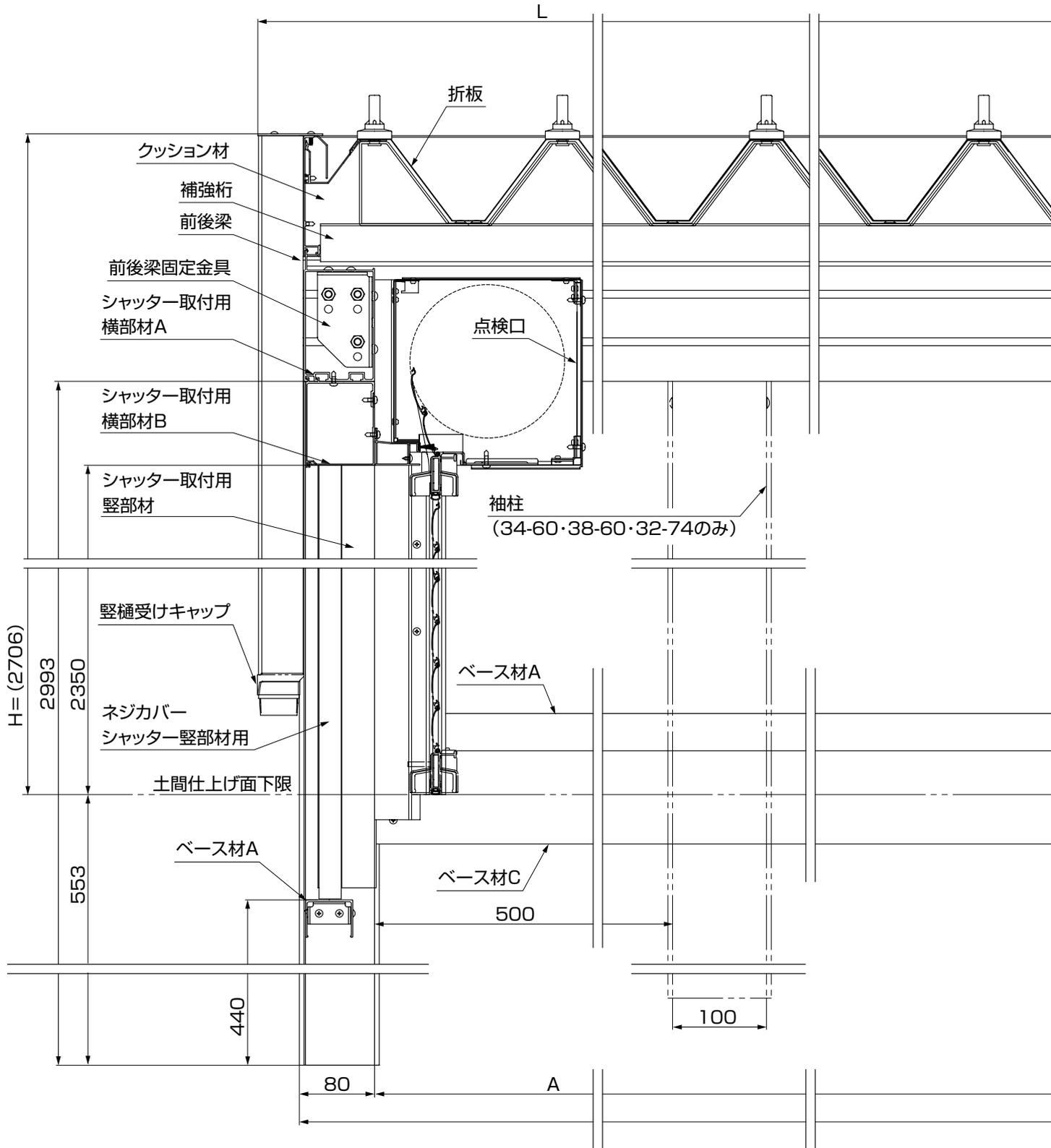


表2-1

	W	A	B
28-54	2850	2600	2750
32-60	3250	3000	3150
34-60	3450	3200	3350
38-60	3850	3600	3750

## 2. (つづき)

### 2-2 標準縦延長奥行断面納まり



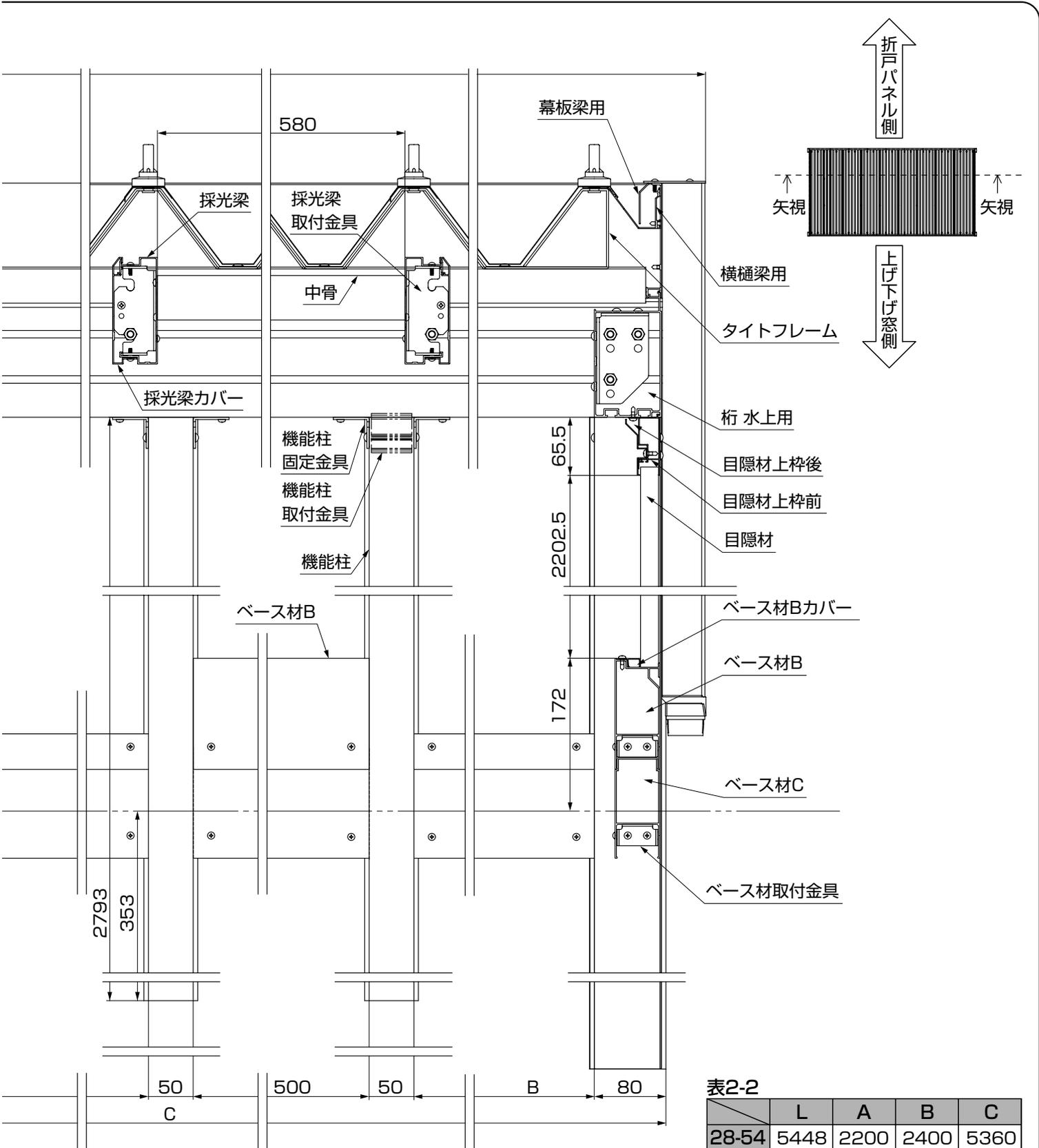
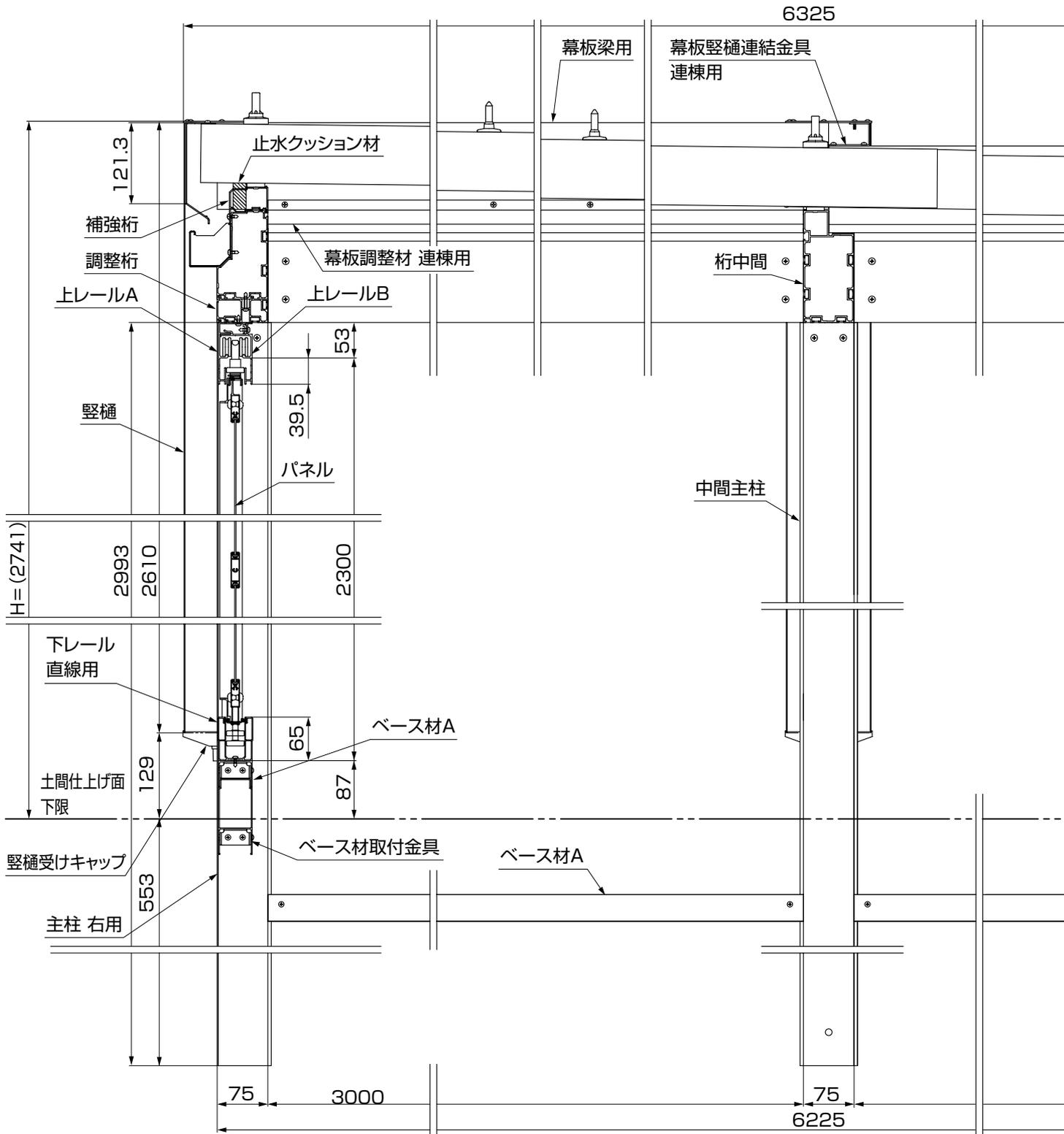


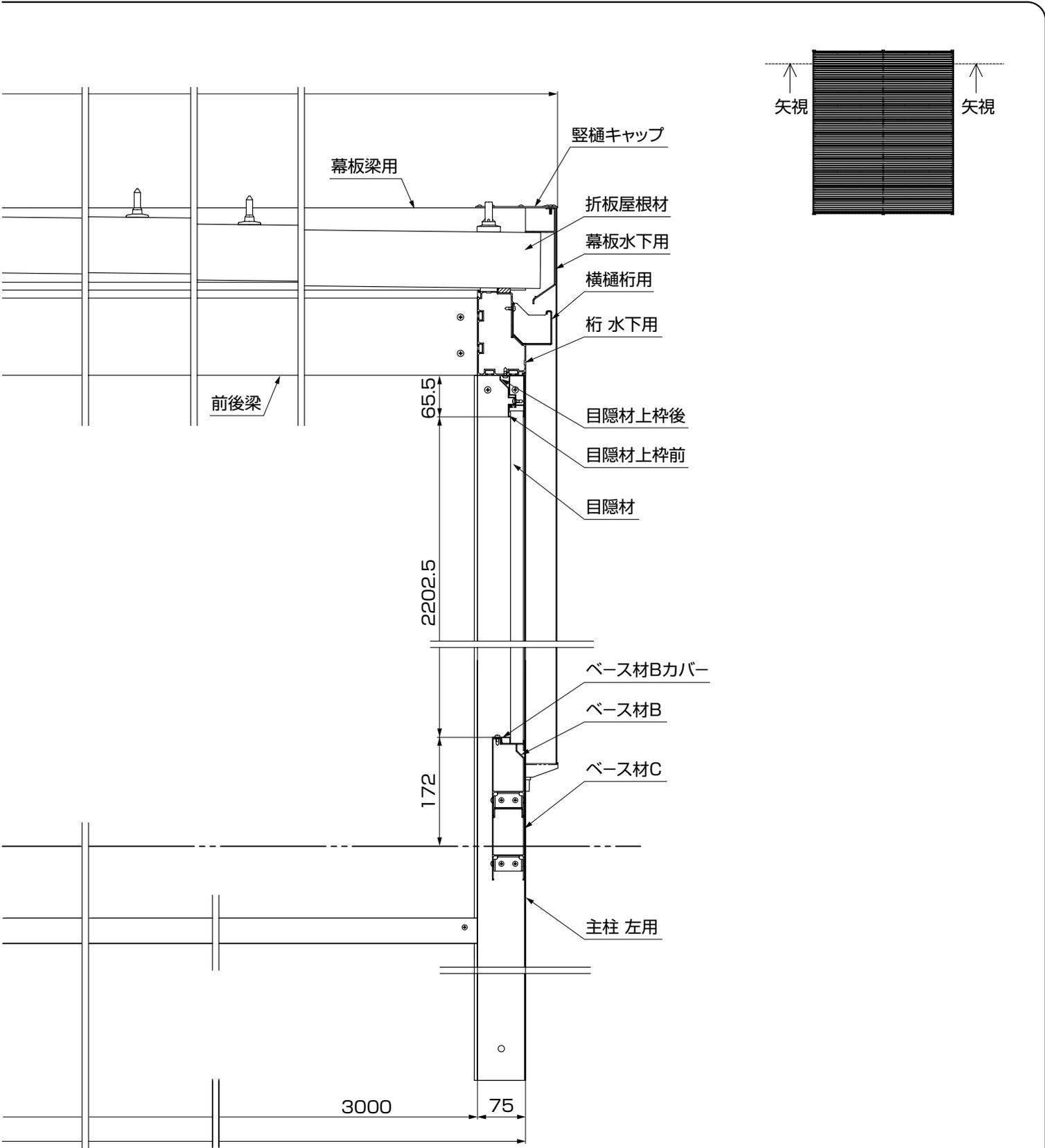
表2-2

	L	A	B	C
28-54	5448	2200	2400	5360
32-60	6048	2800	2400	5960
34-60	6048	2800	2400	5960
38-60	6048	2800	2400	5960
32-74	7448	3600	3000	7360

## 2. (つづき)

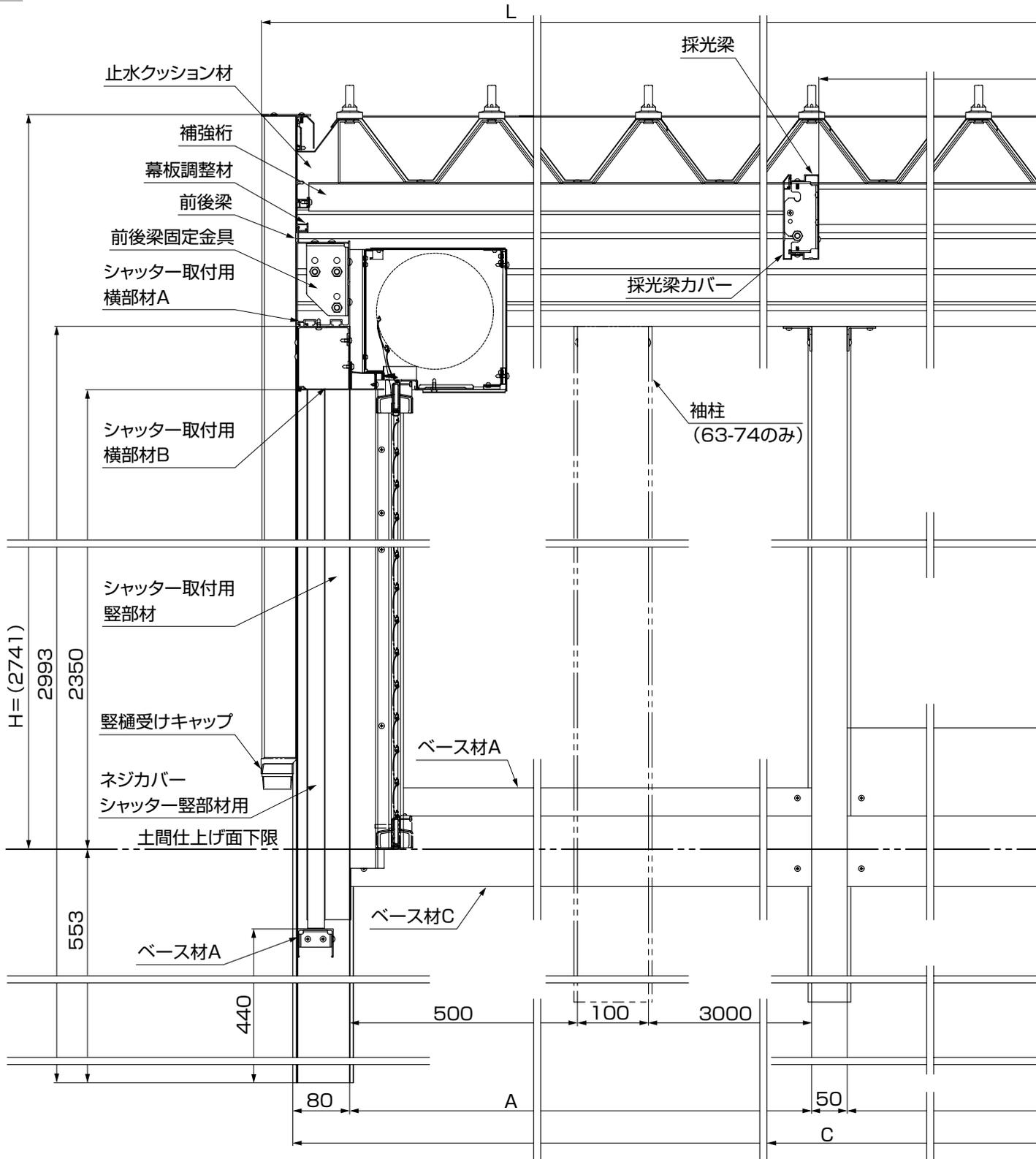
### 2-3 横延長・縦延長間口断面納まり





## 2. (つづき)

### 2-4 横延長・縦延長奥行き断面納まり



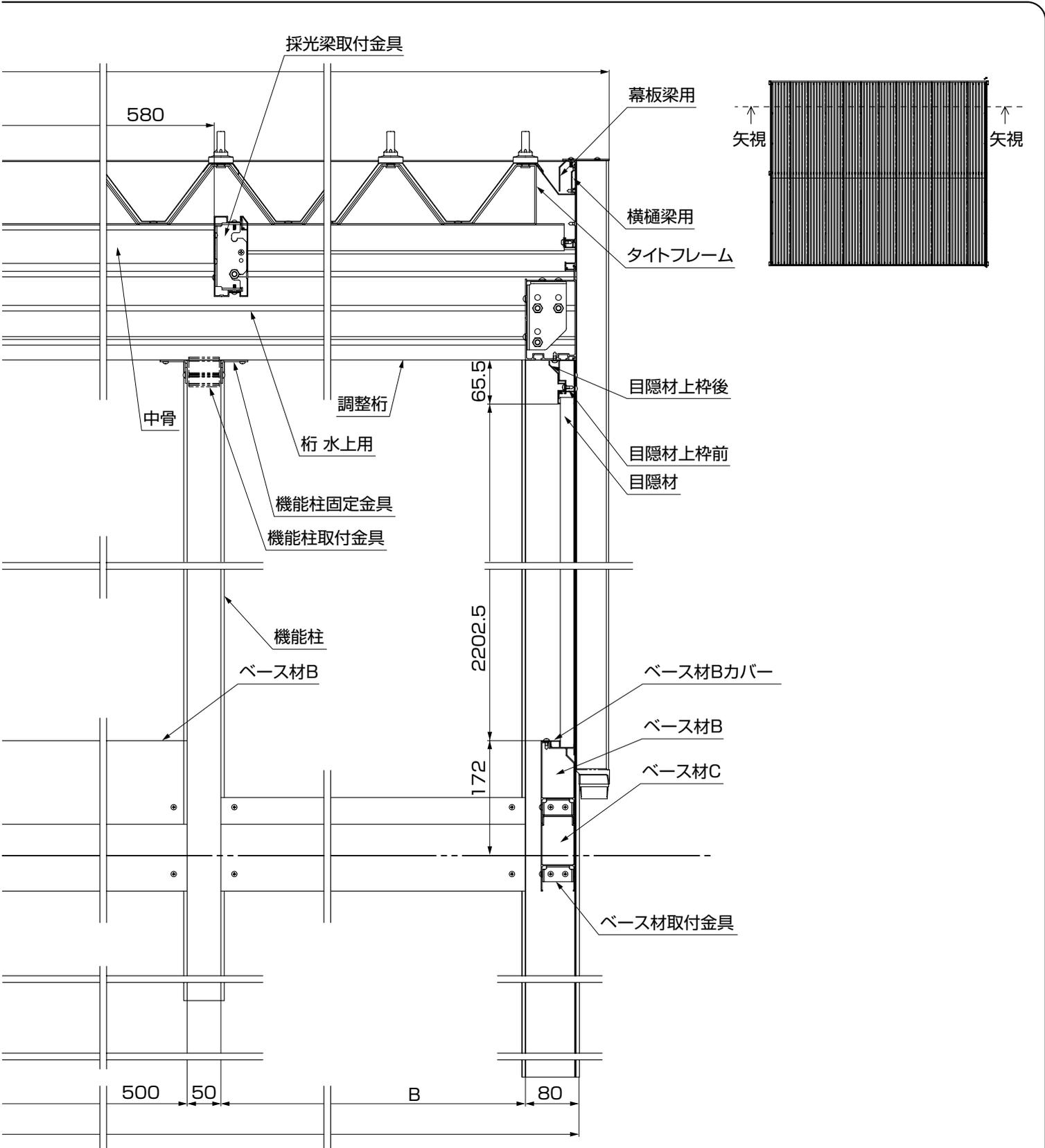


表2-3

	L	A	B	C
63-60	6048	2800	2400	5360
63-74	7448	3600	3000	7360

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

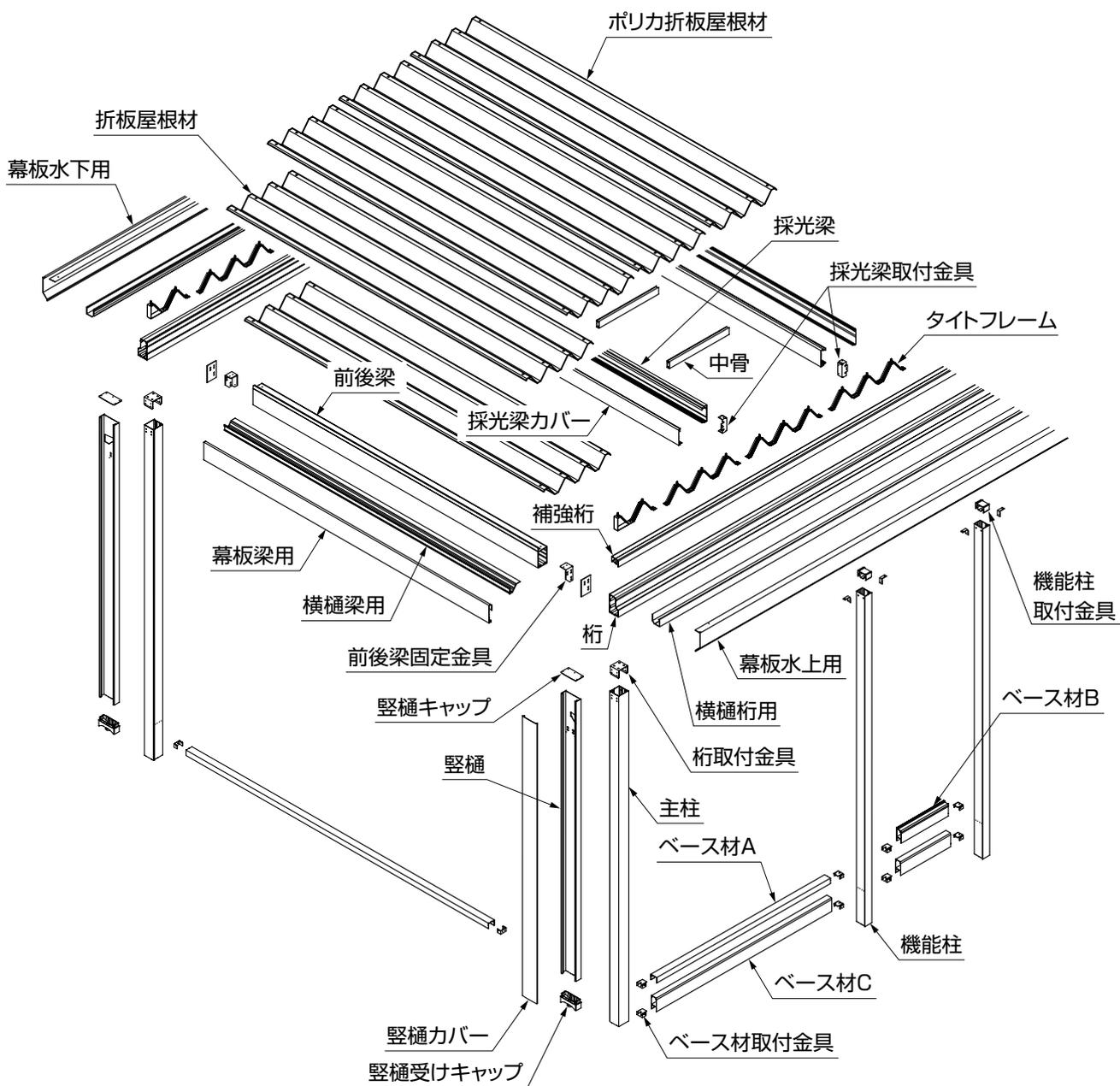
.....

.....

## 4 屋根の施工

### 1. 施工前確認

※図は基本仕様を示します。

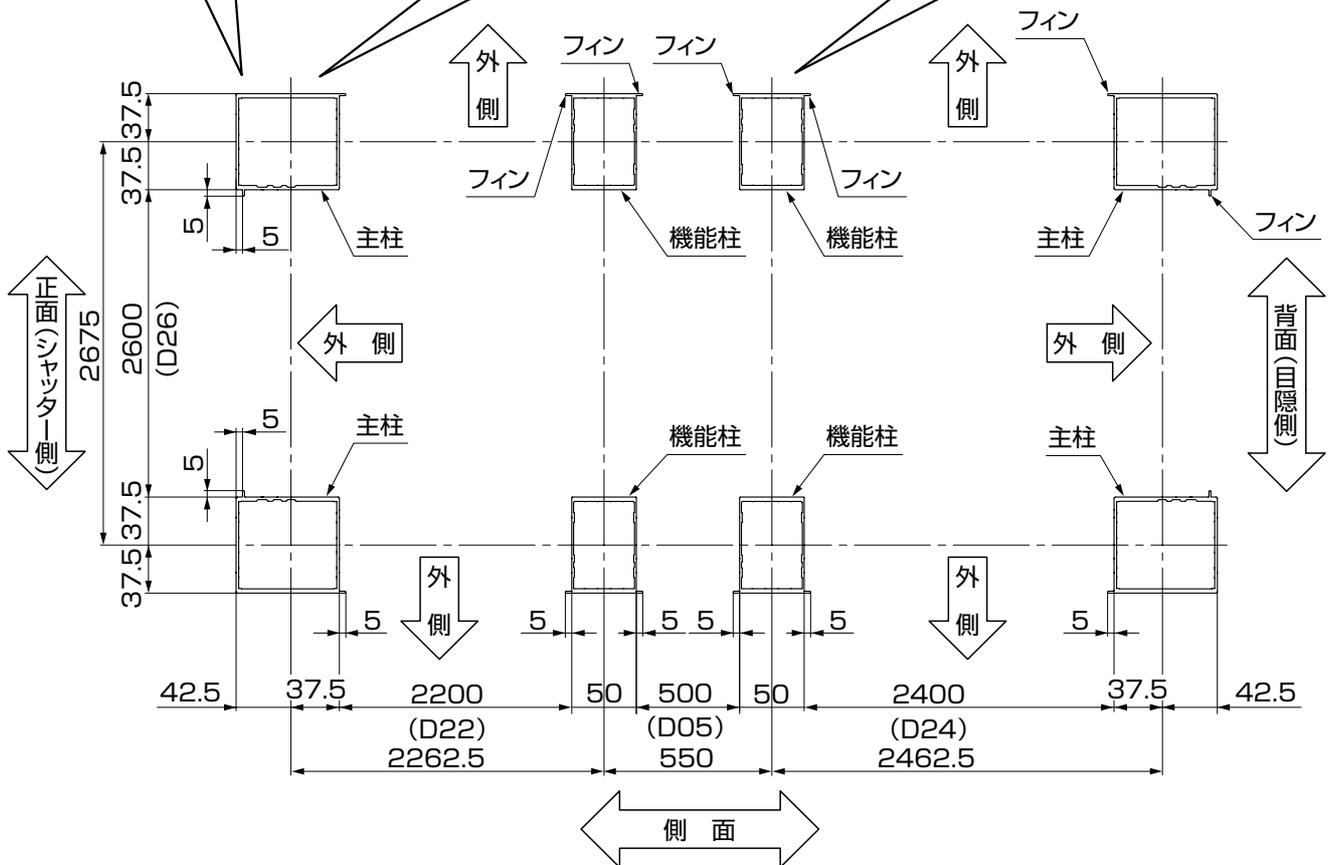
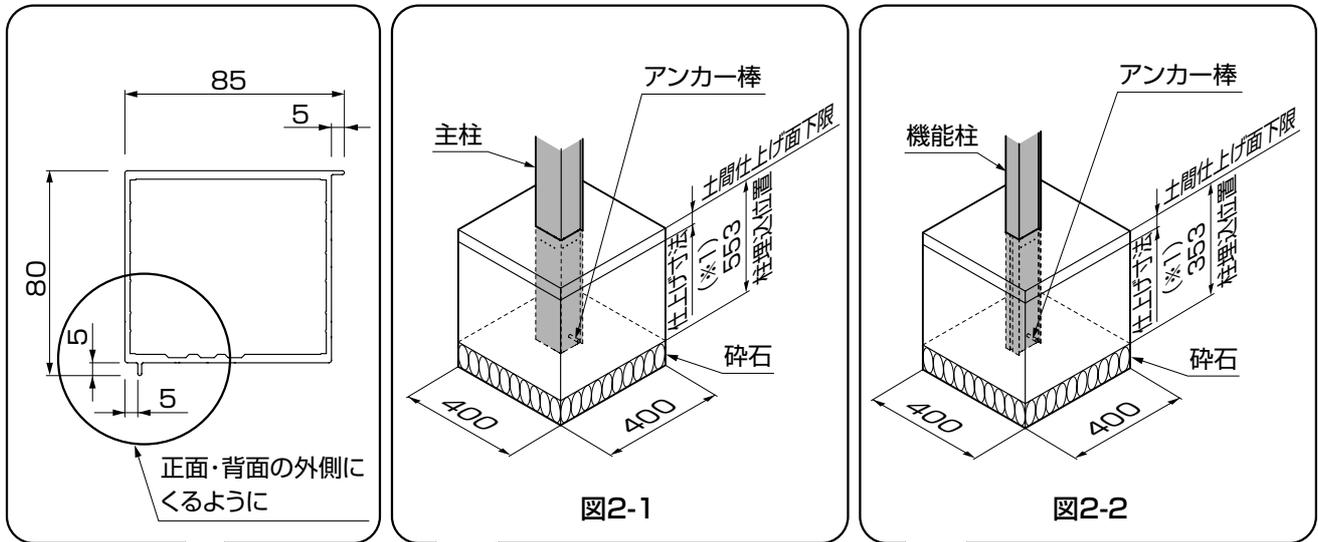


①屋根の施工前に各部材を確認してください。

## 2. 柱の位置出しとベース材の配置

### 2-1 28-54の場合の柱位置

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。



①主柱・機能柱の埋込み位置を出し、柱基礎孔を掘り込んでください。

#### ポイント

- 主柱・機能柱には向きがあります。図を参照して設置してください。(図2-1、図2-2参照)
- 機能柱は、正面(シャッター側)に100mm寄っています。側面中央位置ではないのでご注意ください。
- G.L仕上げ寸法(※1)は屋根の取付け、土間仕上げ位置確認を参考にしてください。

## 2-2 28-54の場合のベース材配置

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。

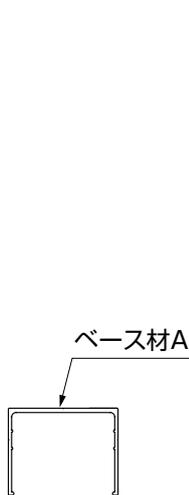


図2-3  
ベース材シャッター

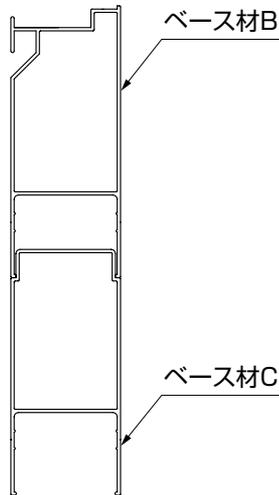


図2-4  
ベース材目隠・機能柱・袖

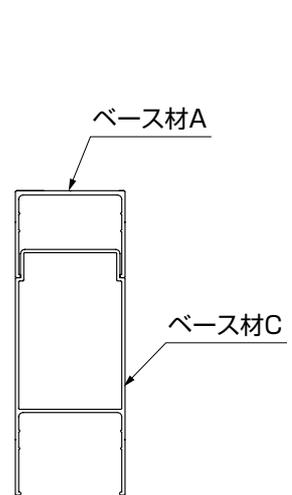
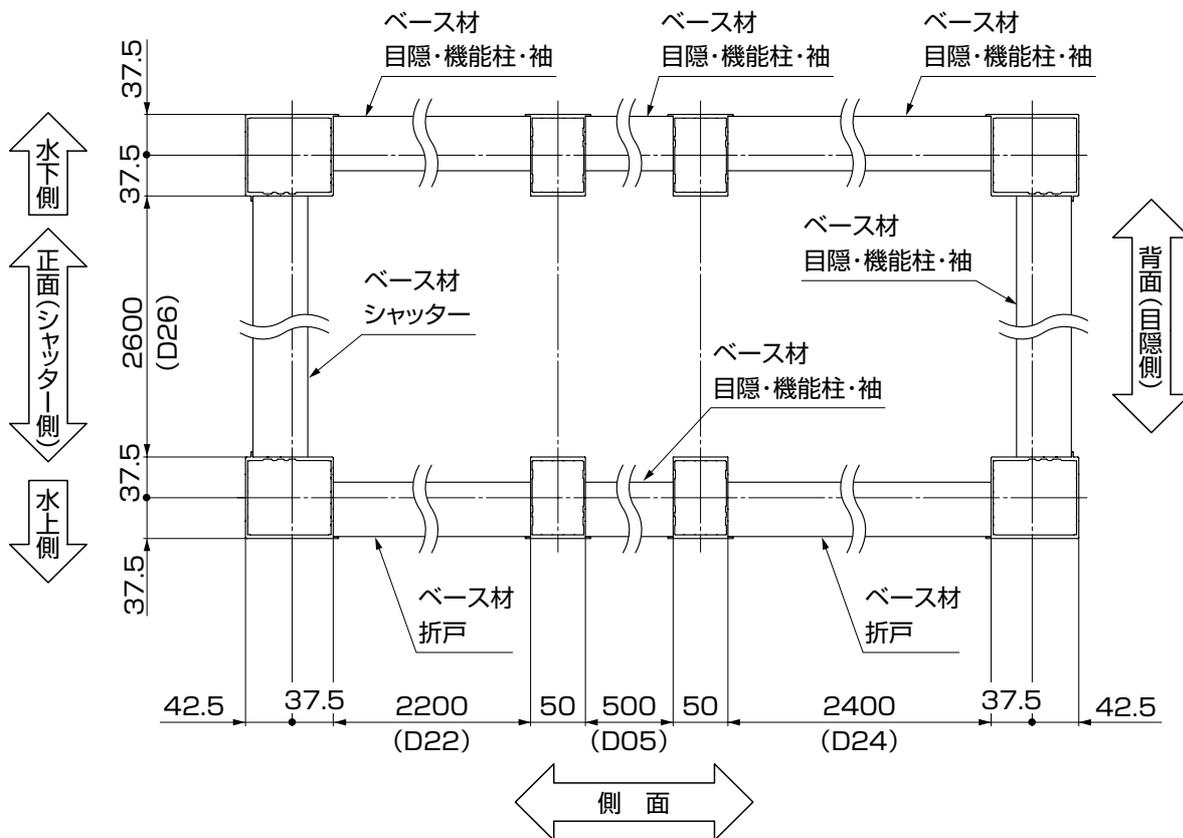


図2-5  
ベース材折戸



①ベース材の配置を確認してください。

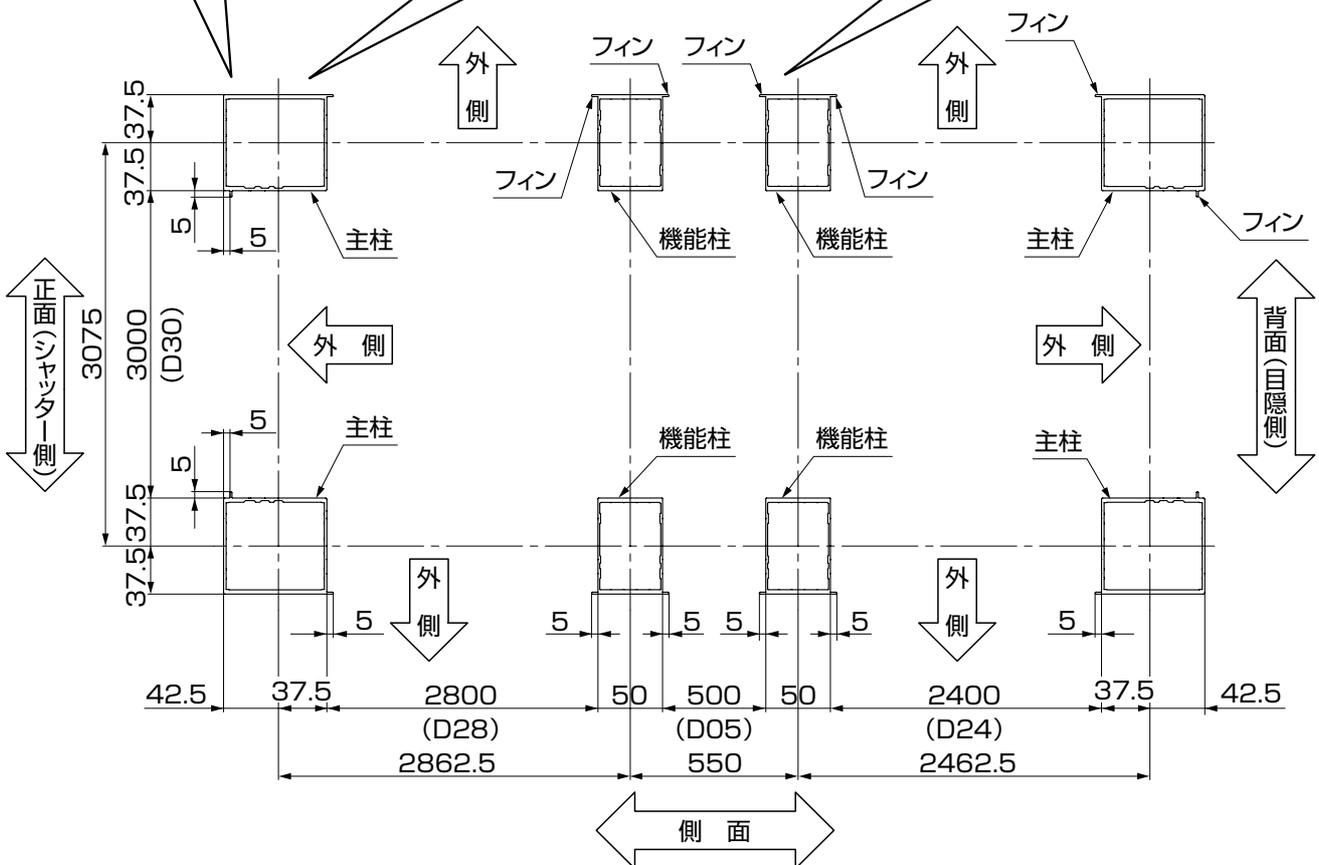
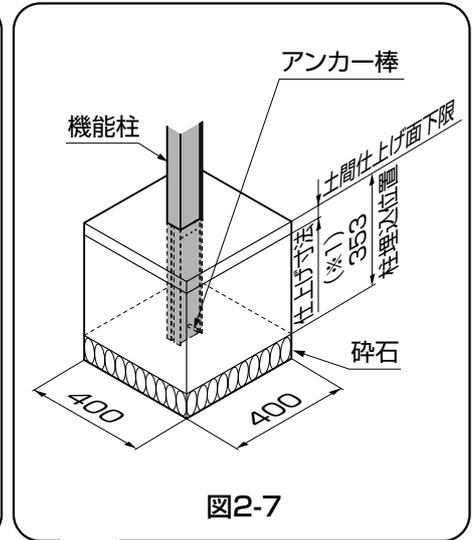
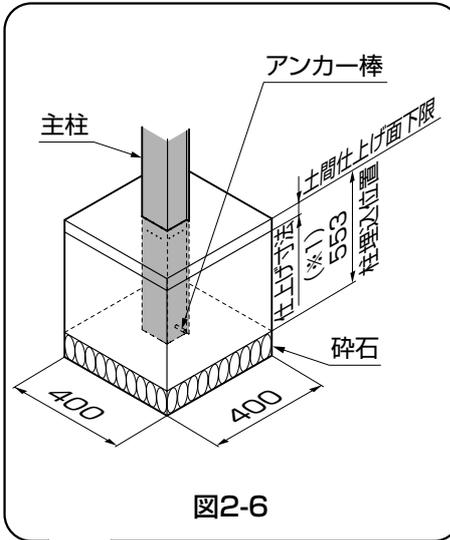
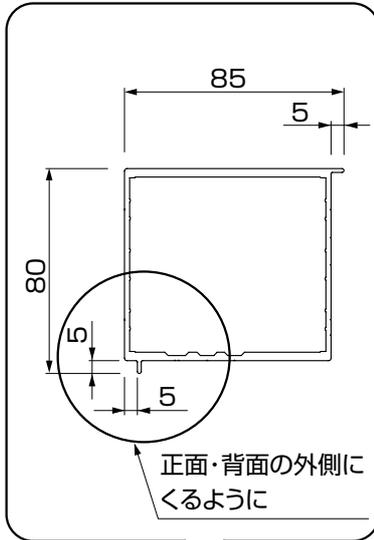
### ポイント

- ベース材には種類があります。（図2-3、図2-4、図2-5参照）
- ベース材の取付けは「4.ベース材の取付け」を参照してください。

## 2. (つづき)

### 2-3 32-60の場合の柱位置

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。



①主柱・機能柱の埋込み位置を出し、柱基礎孔を掘り込んでください。

#### ポイント

- 主柱・機能柱には向きがあります。図を参照して設置してください。(図2-6、図2-7参照)
- 機能柱は、背面(目隠側)に200mm寄っています。側面中央位置ではないのでご注意ください。
- G.L仕上げ寸法(※1)は屋根の取付け、土間仕上げ位置確認を参考にしてください。

## 2-4 32-60の場合のベース材配置

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。

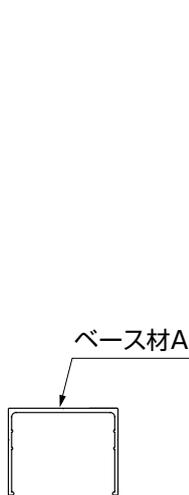


図2-8  
ベース材シャッター

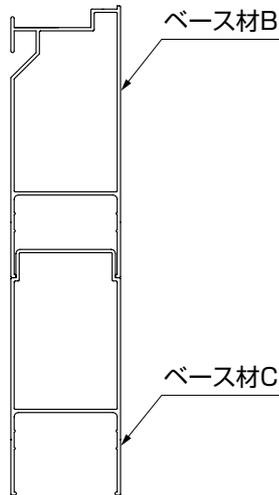


図2-9  
ベース材目隠・機能柱・袖

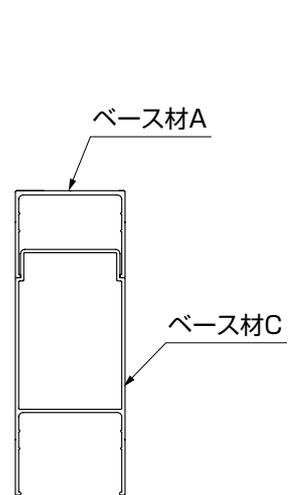
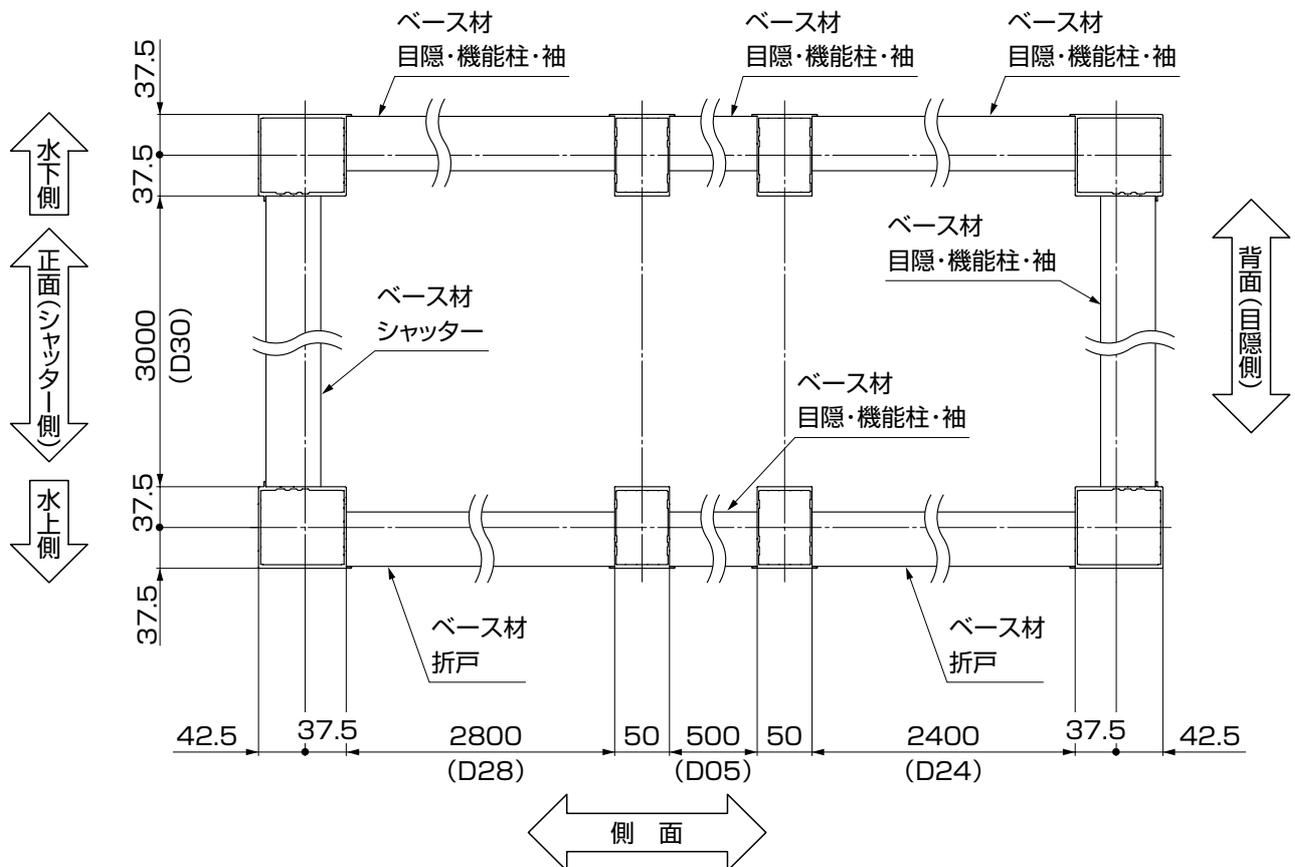


図2-10  
ベース材折戸



①ベース材の配置を確認してください。

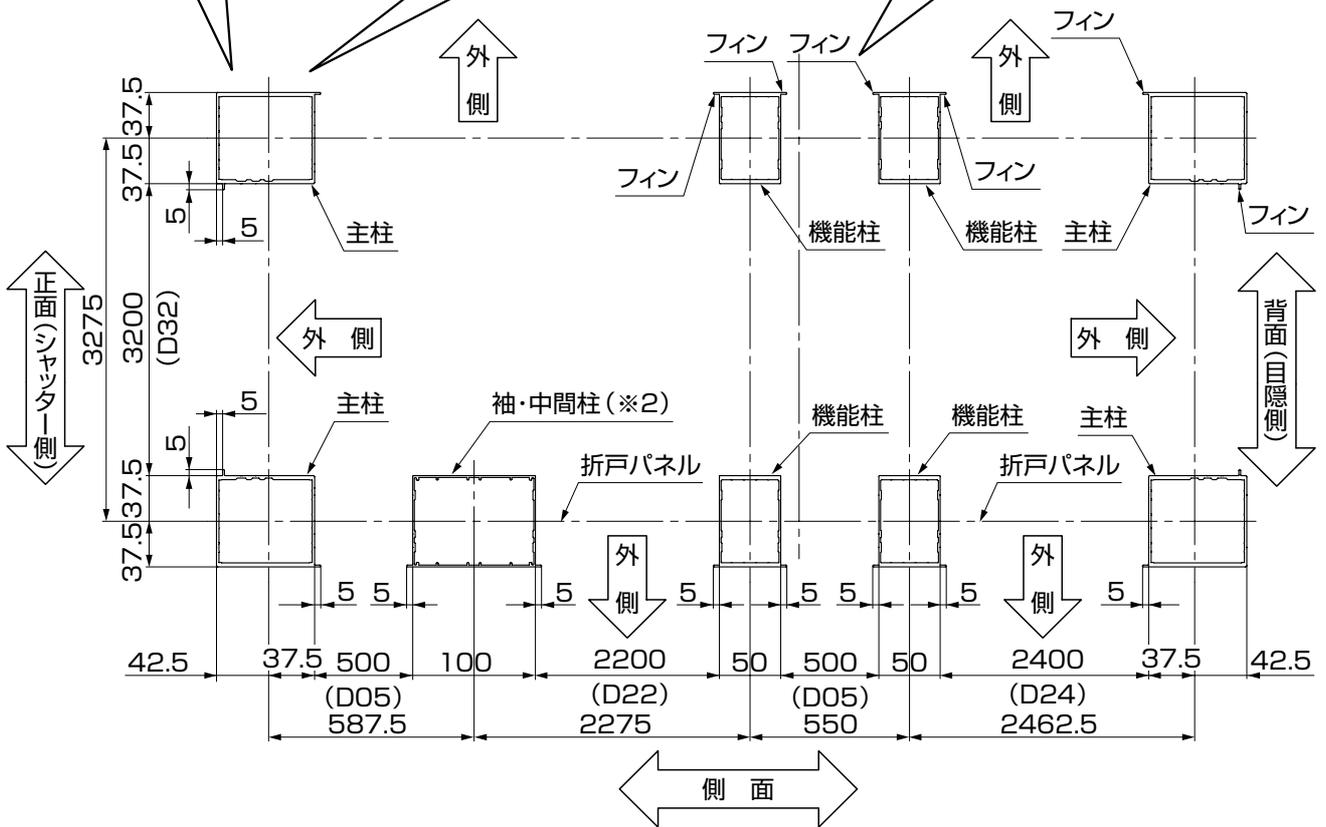
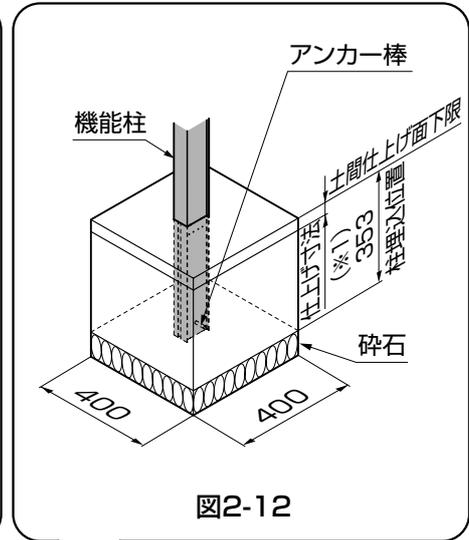
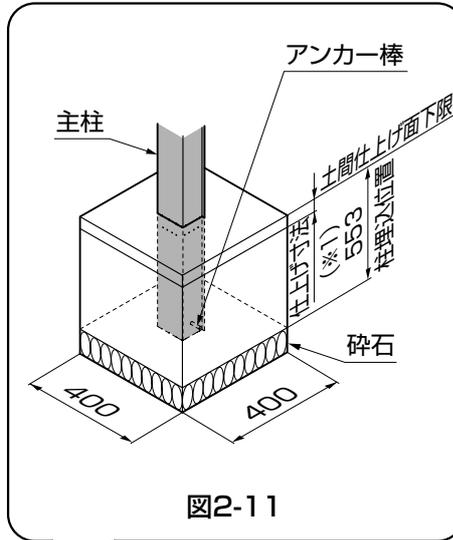
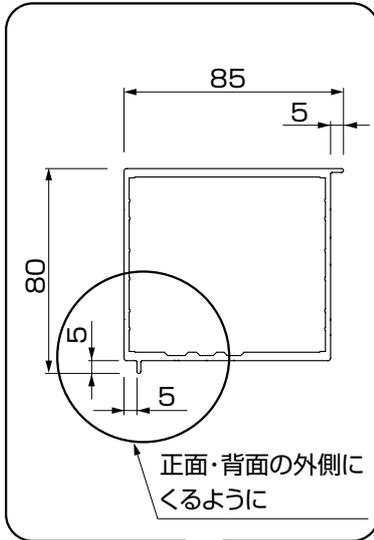
### ポイント

- ベース材には種類があります。(図2-8、図2-9、図2-10参照)
- ベース材の取付けは「4.ベース材の取付け」を参照してください。

## 2. (つづき)

### 2-5 34-60の場合の柱位置

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。



①主柱・機能柱の埋込み位置を出し、柱基礎孔を掘り込んでください。

#### ポイント

- 主柱・機能柱には向きがあります。図を参照して設置してください。(図2-11、図2-12参照)
- 折戸パネル取付け側の正面(シャッター側)に袖・中間柱(※2)が取付きます。
- G.L仕上げ寸法(※1)は屋根の取付け、土間仕上げ位置確認を参考にしてください。

## 2-6 34-60の場合のベース材配置

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。



図2-13  
ベース材シャッター

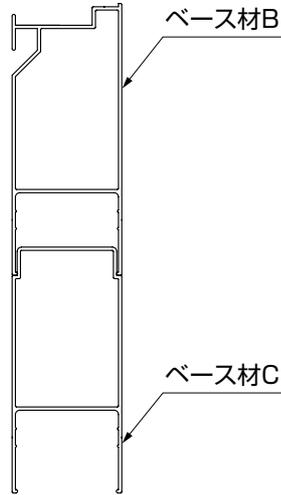


図2-14  
ベース材目隠・機能柱・袖

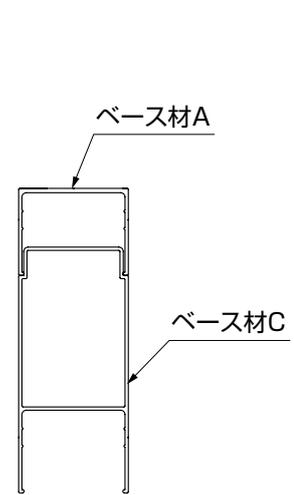
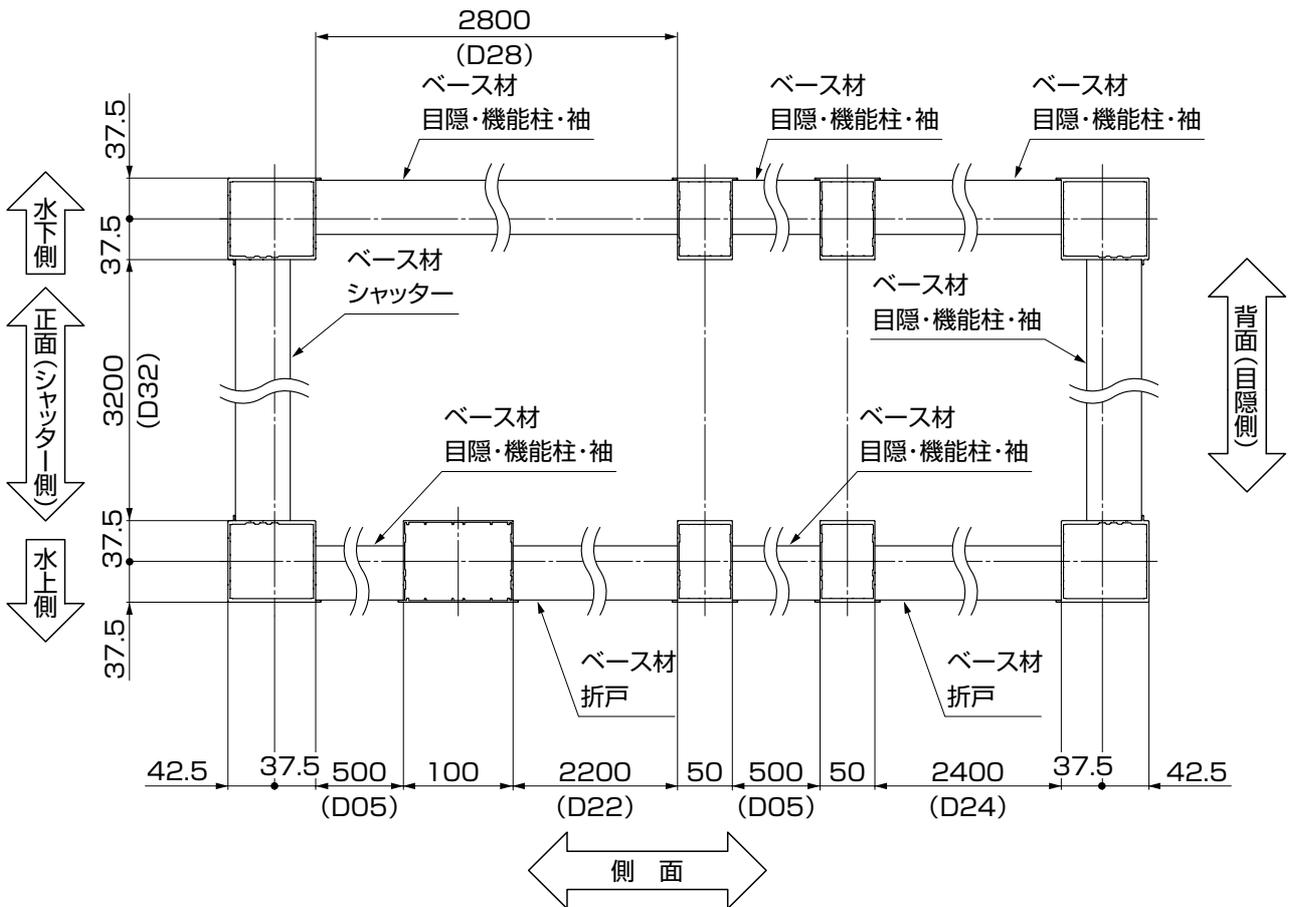


図2-15  
ベース材折戸



①ベース材の配置を確認してください。

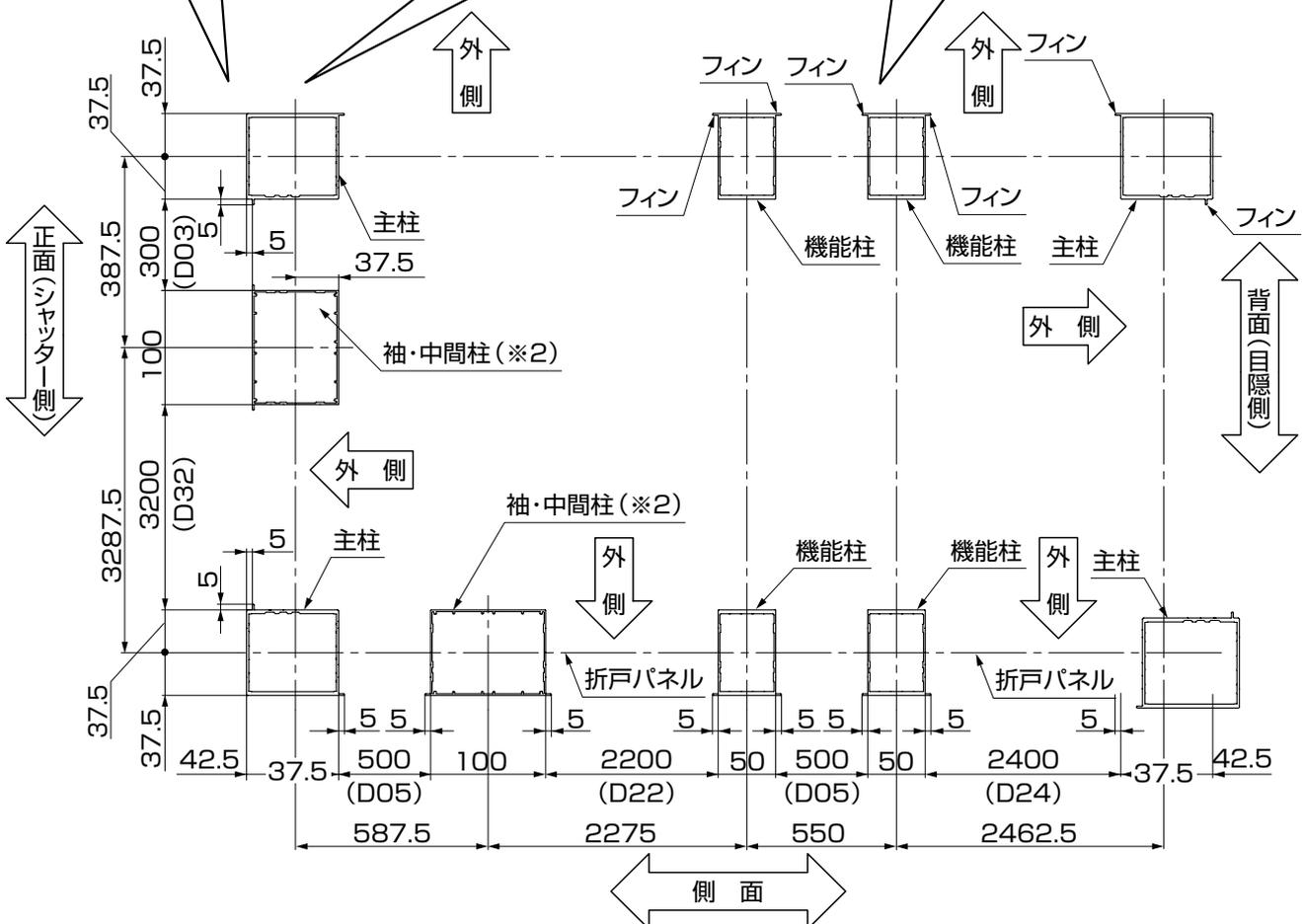
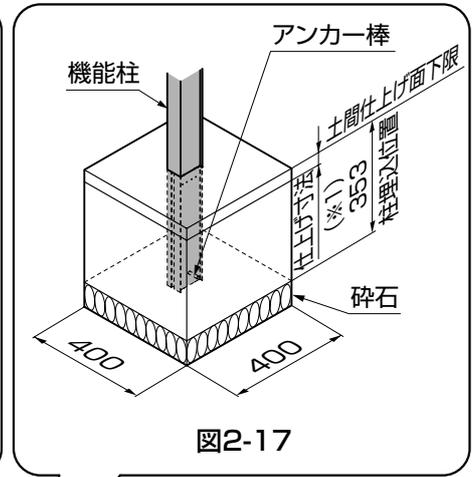
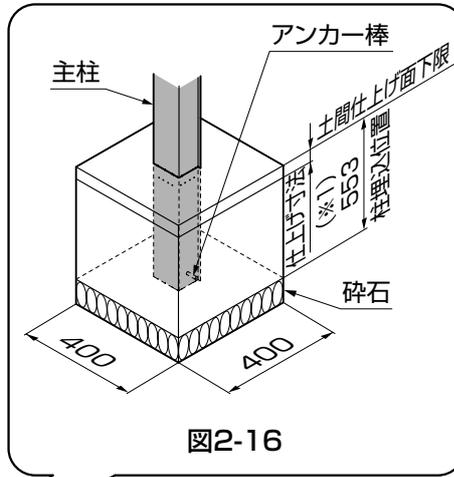
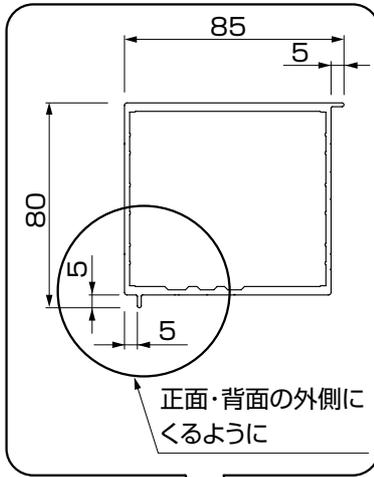
### ポイント

- ベース材には種類があります。(図2-13、図2-14、図2-15参照)
- ベース材の取付けは「4.ベース材の取付け」を参照してください。

## 2. (つづき)

### 2-7 38-60の場合の柱位置

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。



①主柱・機能柱の埋込み位置を出し、柱基礎孔を掘り込んでください。

#### ポイント

- 主柱・機能柱には向きがあります。図を参照して設置してください。(図2-16、図2-17参照)
- 折戸パネル取付け側の正面(シャッター側)に袖・中間柱(※2)が取付きます。
- 正面(シャッター側)に袖・中間柱(※2)が取付きます。
- G.L仕上げ寸法(※1)は屋根の取付け、土間仕上げ位置確認を参考にしてください。



## 2. (つづき)

### 2-9 32-74の場合の柱位置

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。

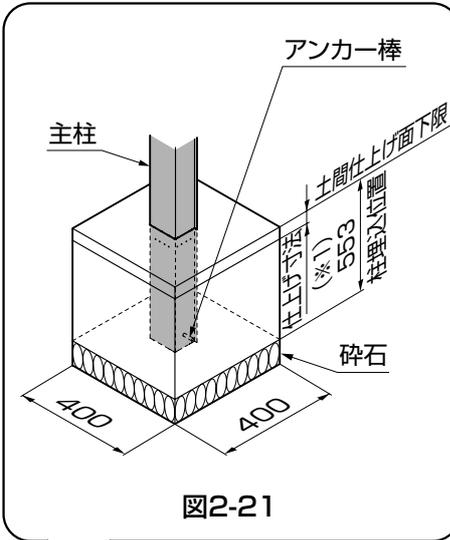
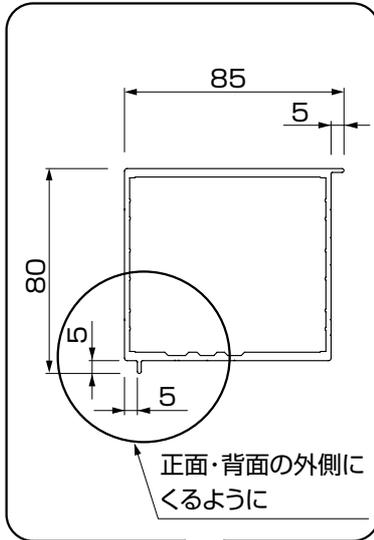


図2-21

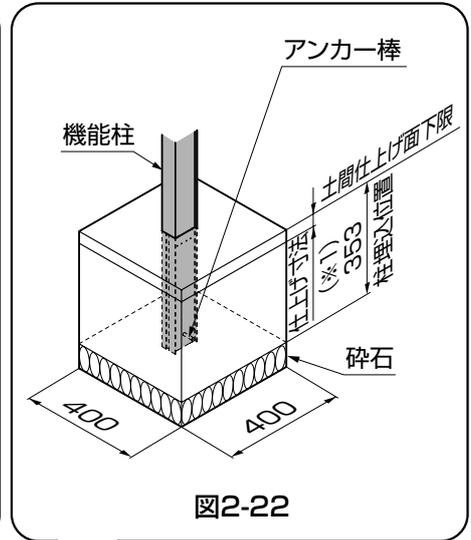
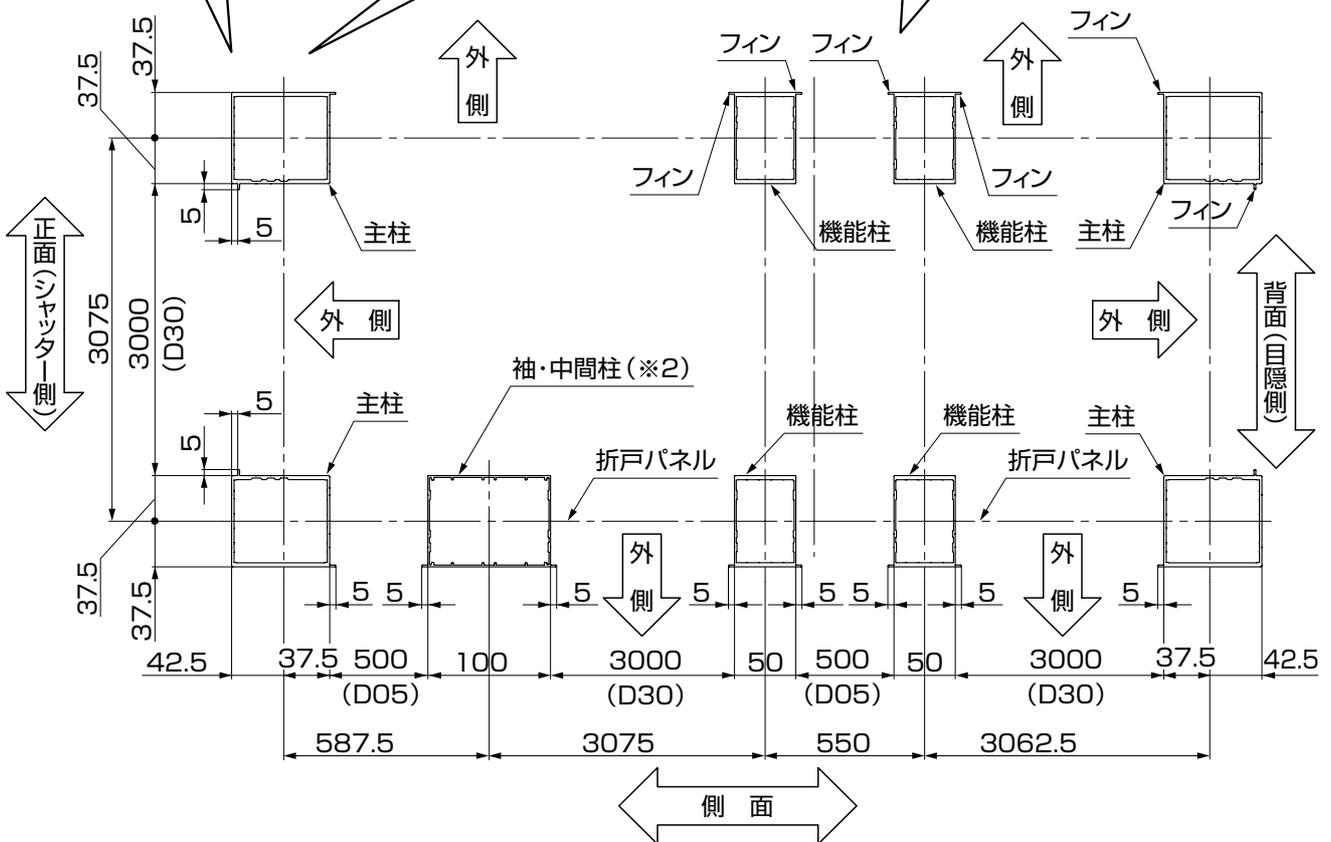


図2-22



①主柱・機能柱の埋込み位置を出し、柱基礎孔を掘り込んでください。

#### ポイント

- 主柱・機能柱には向きがあります。図を参照して設置してください。(図2-21、図2-22参照)
- 折戸パネル取付け側の正面(シャッター側)に袖・中間柱(※2)が取付きます。
- G.L仕上げ寸法(※1)は屋根の取付け、土間仕上げ位置確認を参考にしてください。

## 2-10 32-74の場合のベース材配置

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。

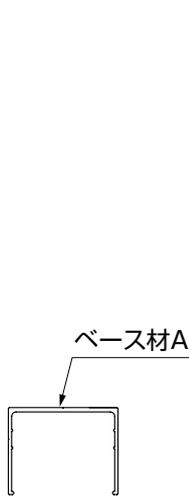


図2-23  
ベース材シャッター

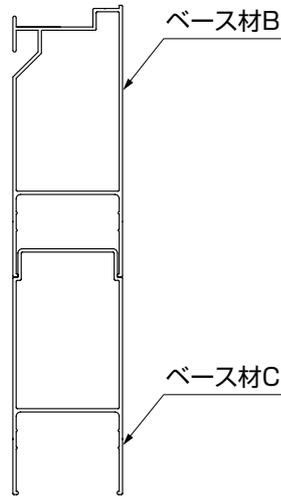


図2-24  
ベース材目隠・機能柱・袖

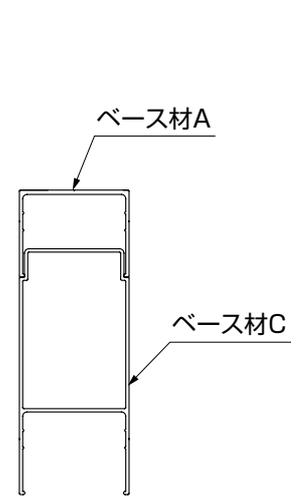
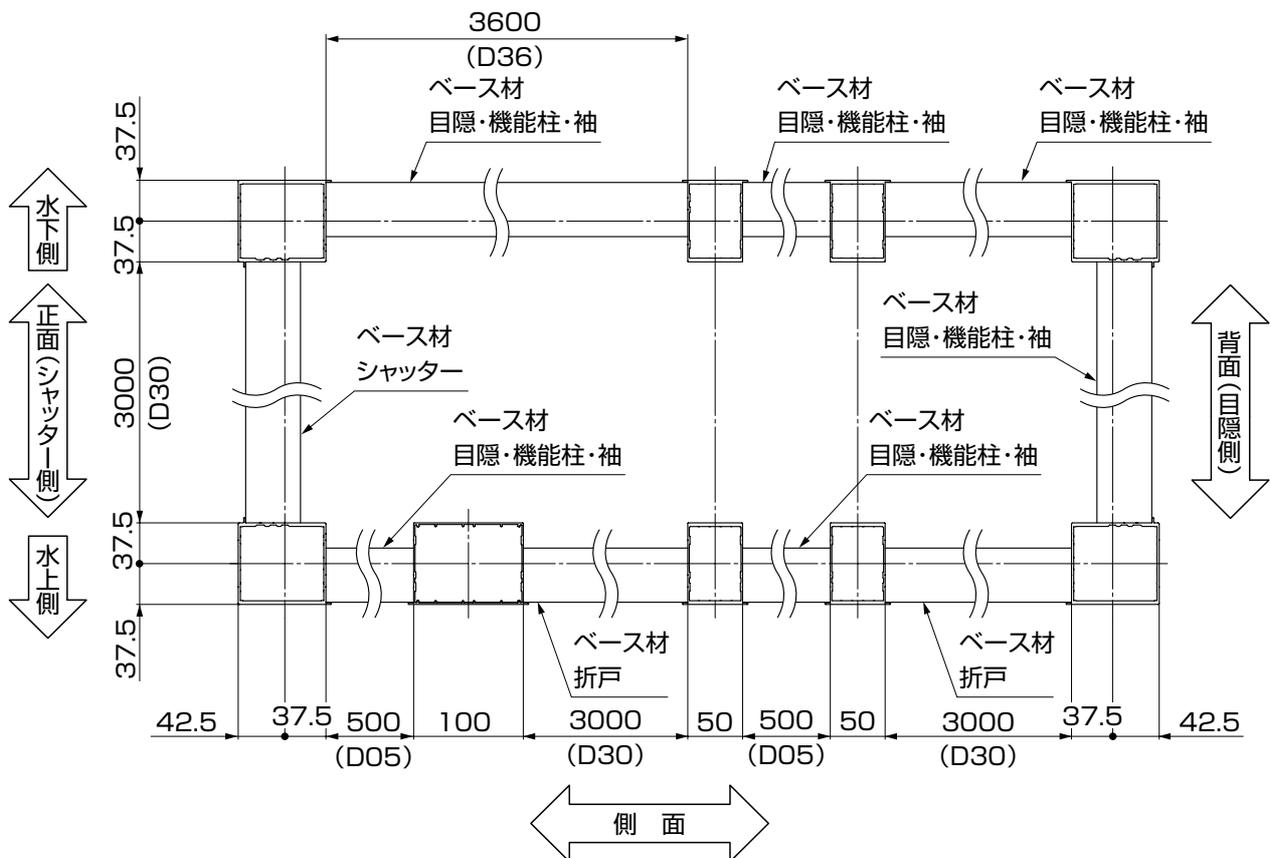


図2-25  
ベース材折戸



①ベース材の配置を確認してください。

### ポイント

- ベース材には種類があります。(図2-23、図2-24、図2-25参照)
- ベース材の取付けは「4.ベース材の取付け」を参照してください。



## 2-12 63-60の場合のベース材配置

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。



図2-28  
ベース材シャッター

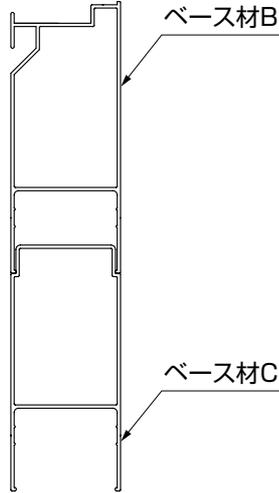


図2-29  
ベース材目隠・機能柱・袖

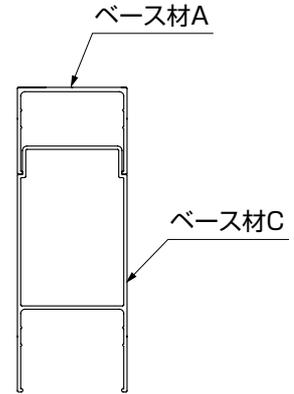
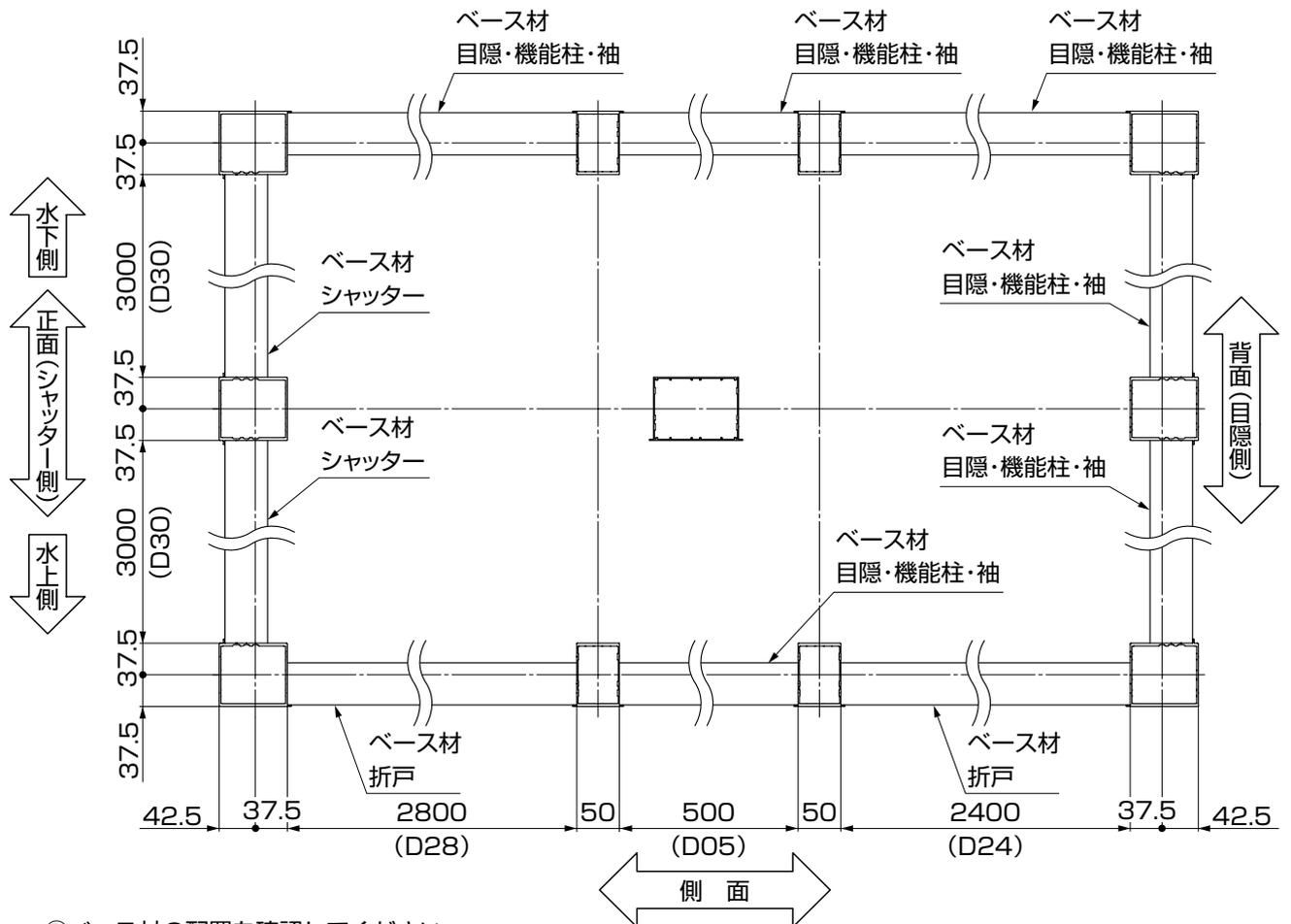


図2-30  
ベース材折戸



①ベース材の配置を確認してください。

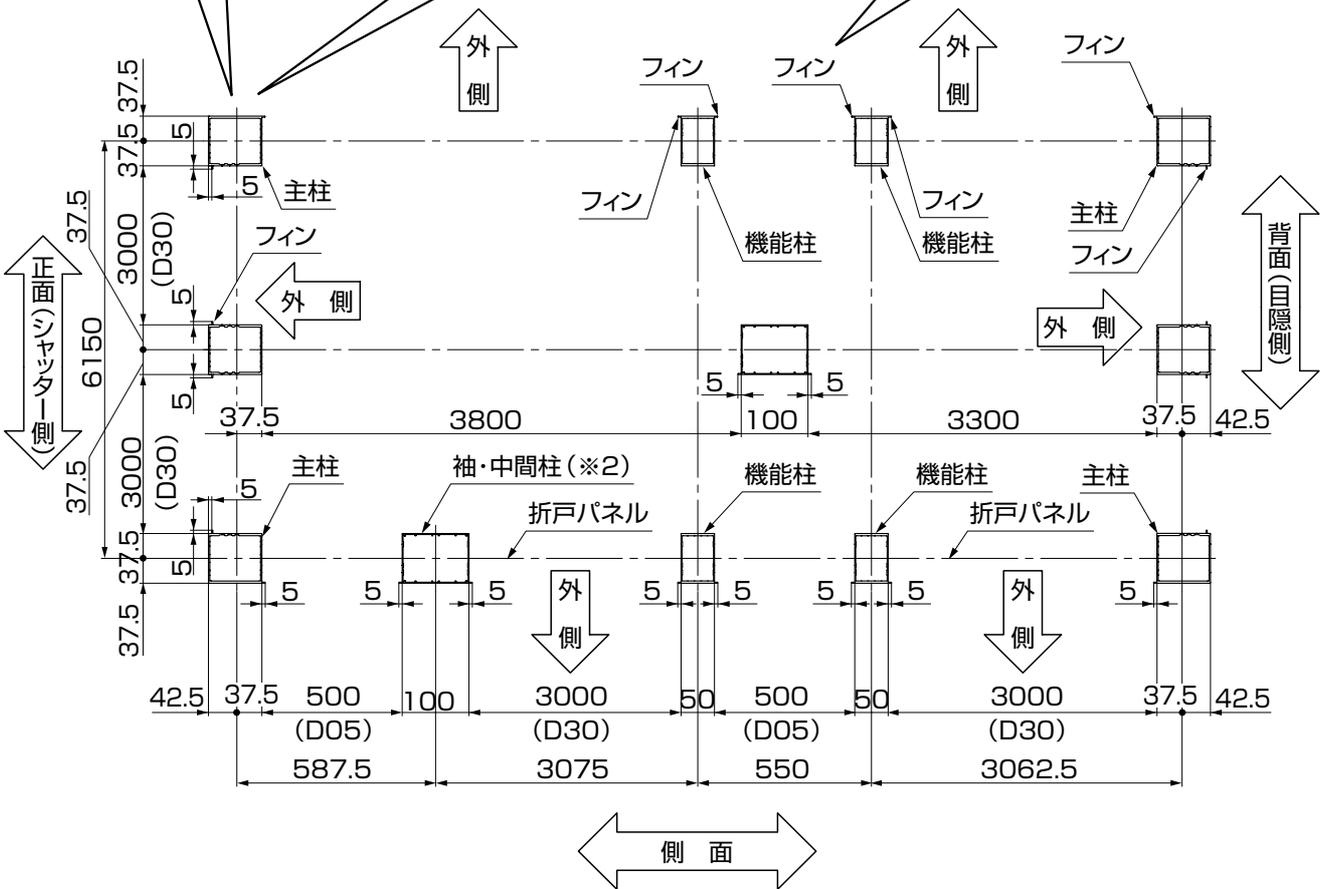
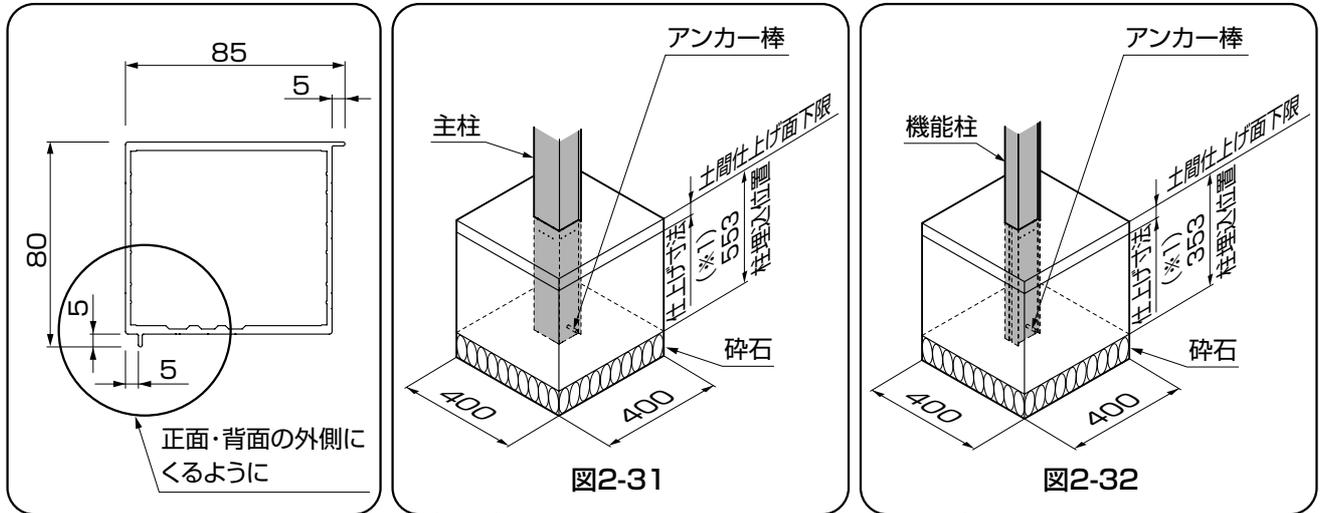
### ポイント

- ベース材には種類があります。(図2-28、図2-29、図2-30参照)
- ベース材の取付けは「4.ベース材の取付け」を参照してください。

## 2. (つづき)

### 2-13 63-74の場合の柱位置

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。



①主柱・機能柱・袖・中間柱の埋込み位置を出し、柱基礎孔を掘り込んでください。

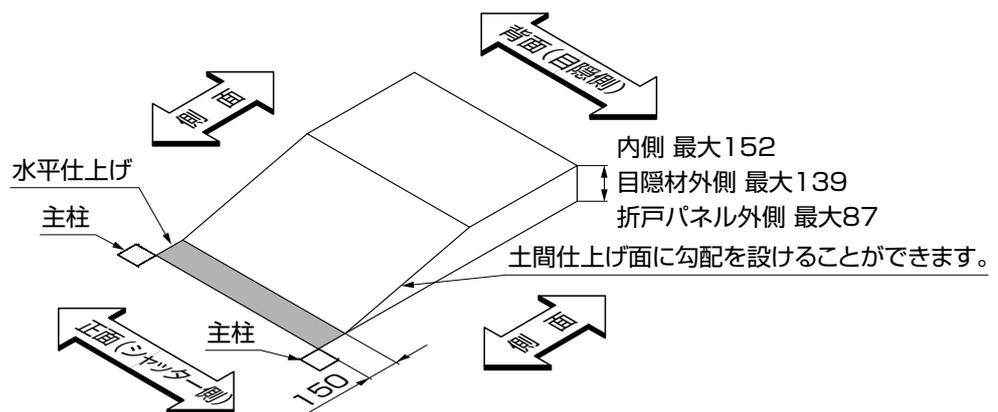
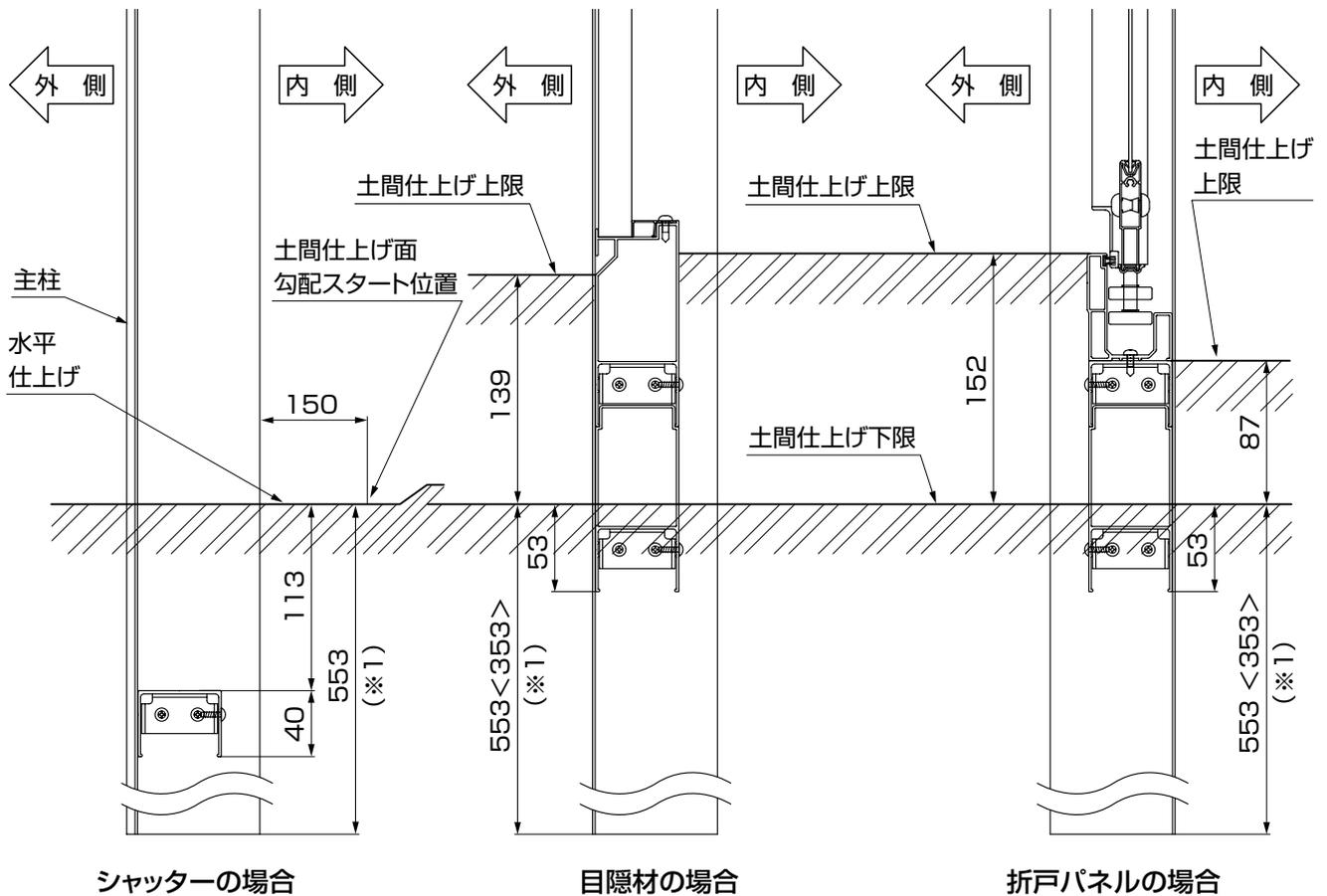
#### ポイント

- 主柱・機能柱・袖・中間柱には向きがあります。図を参照して設置してください。(図2-31、図2-32参照)
- 折戸パネル取付け側の正面(シャッター側)に袖・中間柱(※2)が取付きます。
- G.L仕上げ寸法(※1)は屋根の取付け、土間仕上げ位置確認を参考にしてください。





## 2-16 土間仕上げ位置確認



①G.L面、土間仕上げ面を確認して、柱埋込高さを調整してください。

### ポイント

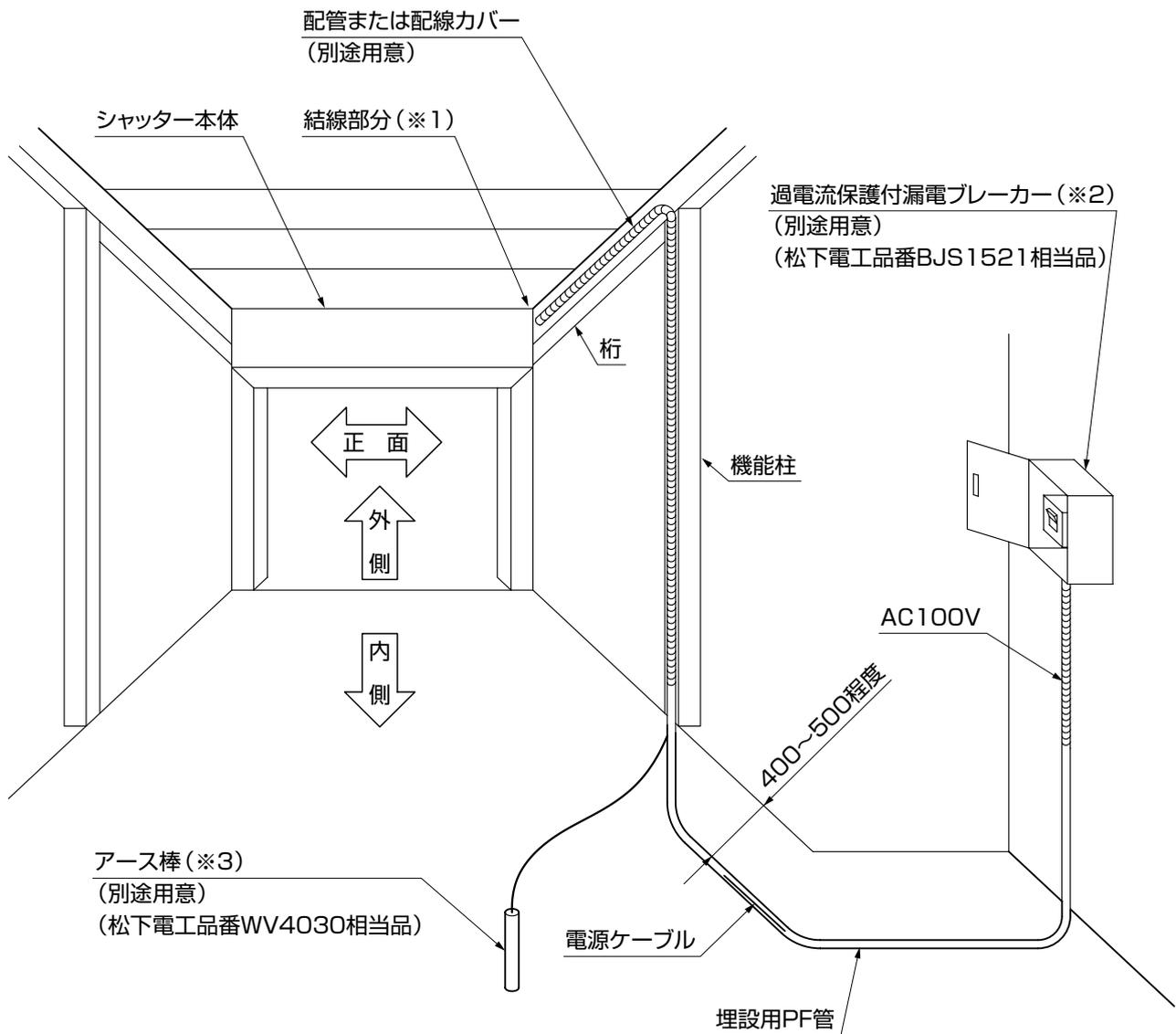
- G.L面土間仕上げは、目隠材・折戸パネル・シャッター等を取付けた後に行なってください。
- 土間仕上げ面に勾配を設けることができます。
- 支柱内側150mmは必ず水平に仕上げてください。シャッター取付けに不具合が生じる場合があります。

### 補足

- ※1は、柱埋込寸法を表しています。< >内寸法は機能柱の寸法です。

### 3. 基礎配線

※AC100Vの施工に関しては、電気工事有資格者に依頼してください。



①シャッター本体脇で結線ができるように100V電源を本体内に引き込んでください。(※1)

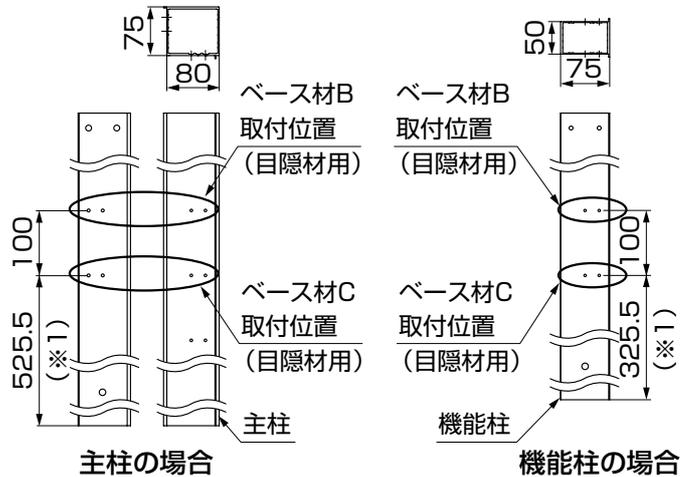
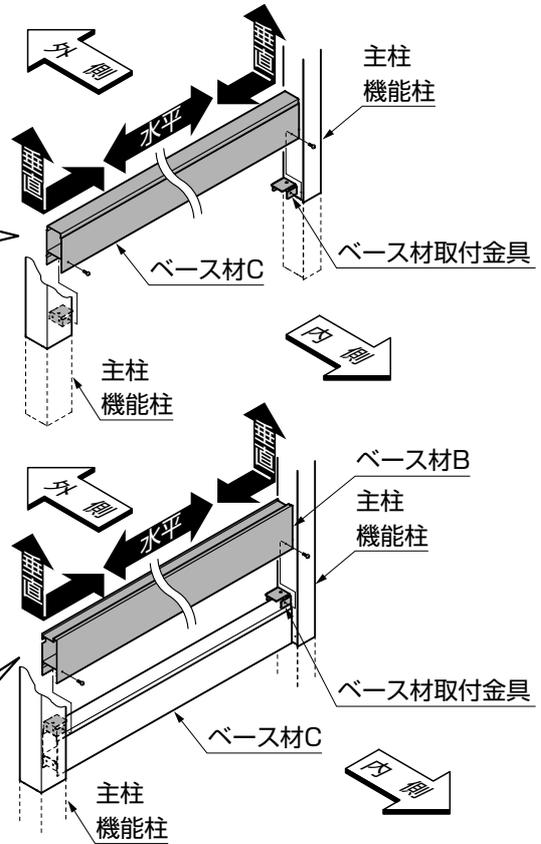
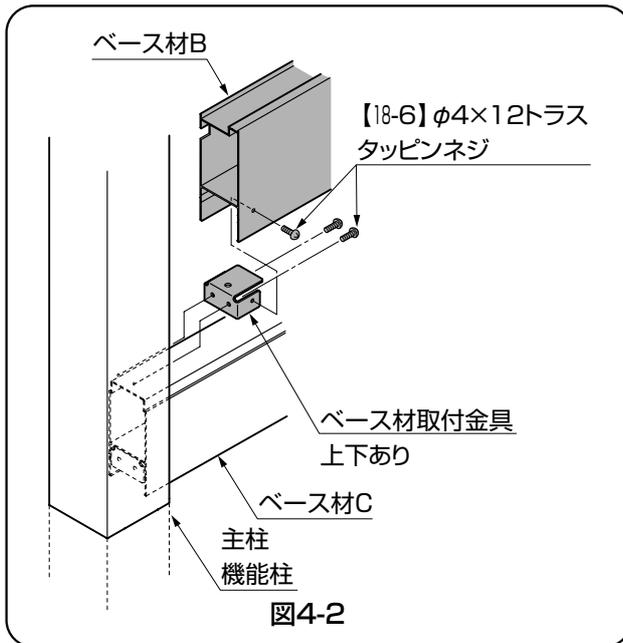
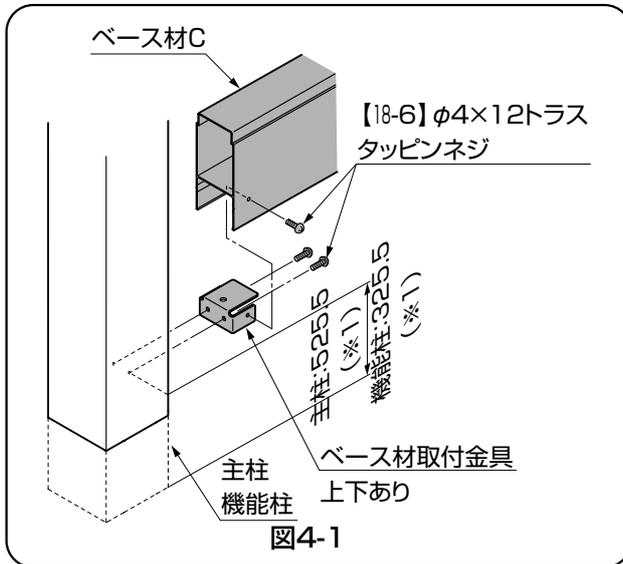
#### ポイント

- 施工には、過電流保護付漏電ブレーカーおよび埋設用PF管、電線ケーブル、アース棒が必要になりますので別途用意してください。
- 電源用電線ケーブルは必ず過電流保護付漏電ブレーカーに接続してください。(※2)
- D種接地工事を行なってください。(※3)
- シャッターへの結線は、シャッターを取付ける際に行なってください。



## 4. (つづき)

### 4-2 目隠材の場合



- ①ベース材取付金具を【18-6】で主柱と機能柱に取付けてください。
- ②ベース材Cを【18-6】でベース材取付金具に取付けてください。(図4-1参照)

#### ポイント

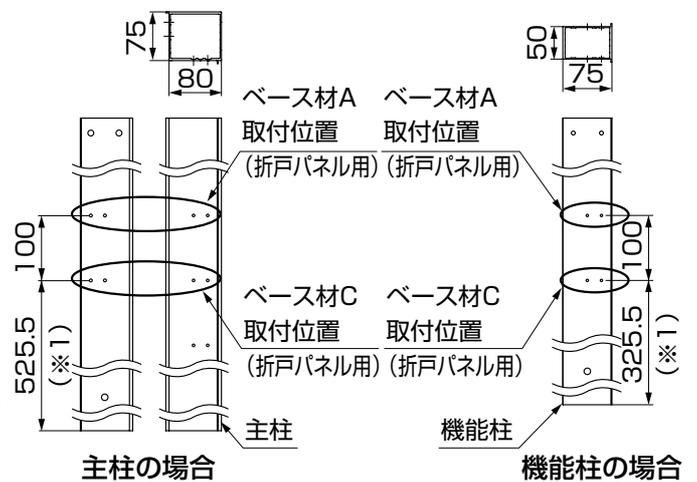
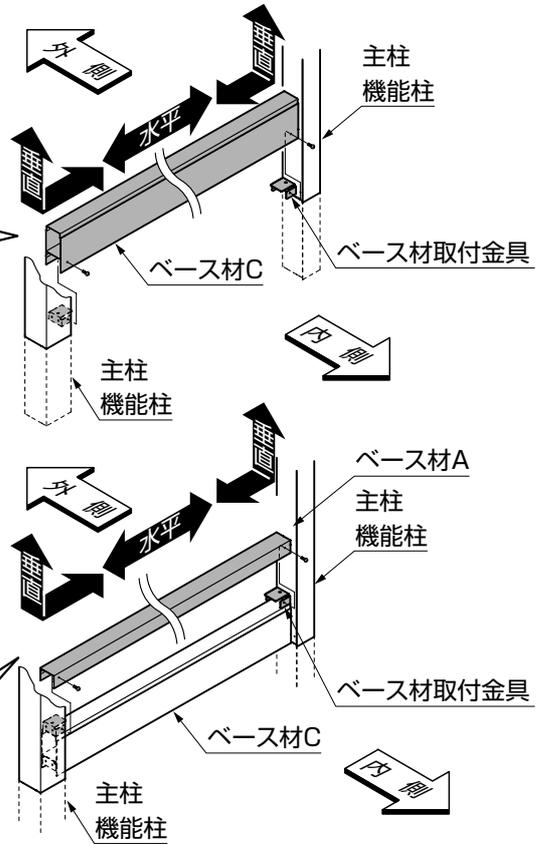
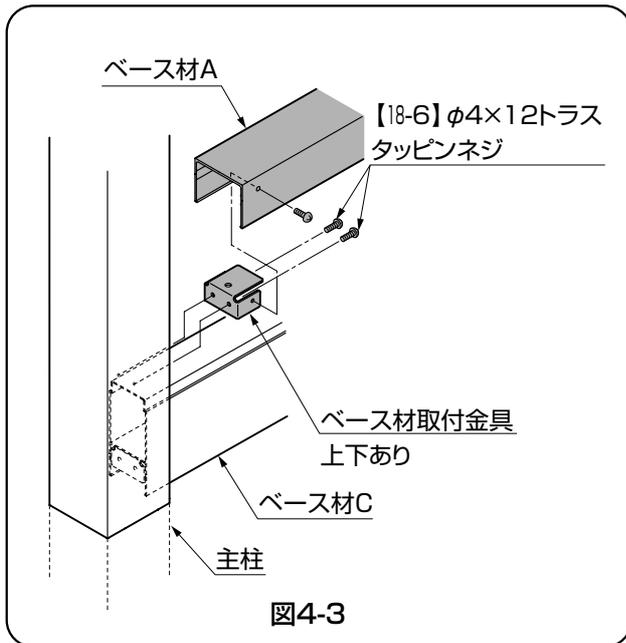
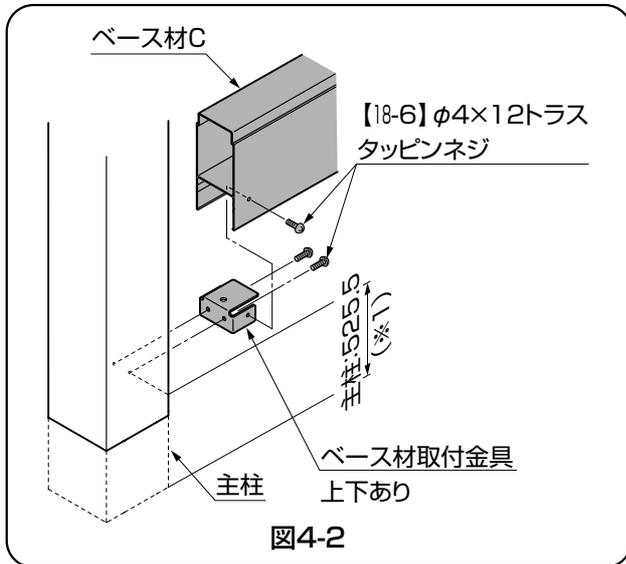
- 主柱・機能柱・ベース材の垂直・水平を確認してください。
- ベース材取付金具の取付け位置を確認して取付けてください。(\*1)
- 袖ありの場合、ベース材取付金具は正面・背面部品セットの中に入ってます。

- ③ベース材Cの上にベース材取付金具を【18-6】で主柱と機能柱に取付けてください。
- ④ベース材Bを【18-6】でベース材取付金具に取付けてください。(図4-2参照)

#### ポイント

- 主柱・機能柱・ベース材の垂直・水平を確認してください。

## 4-3 折戸パネルの場合



- ①ベース材取付金具を【18-6】で主柱と機能柱に取付けてください。
- ②ベース材Cを【18-6】でベース材取付金具に取付けてください。(図4-3参照)

### ポイント

- 主柱・機能柱・ベース材の垂直・水平を確認してください。
- ベース材取付金具の取付け位置を確認して取付けてください。(※1)

- ③ベース材取付金具を【18-6】で主柱と機能柱に取付けてください。
- ④ベース材Aを【18-6】でベース材取付金具に取付けてください。(図4-4参照)

### ポイント

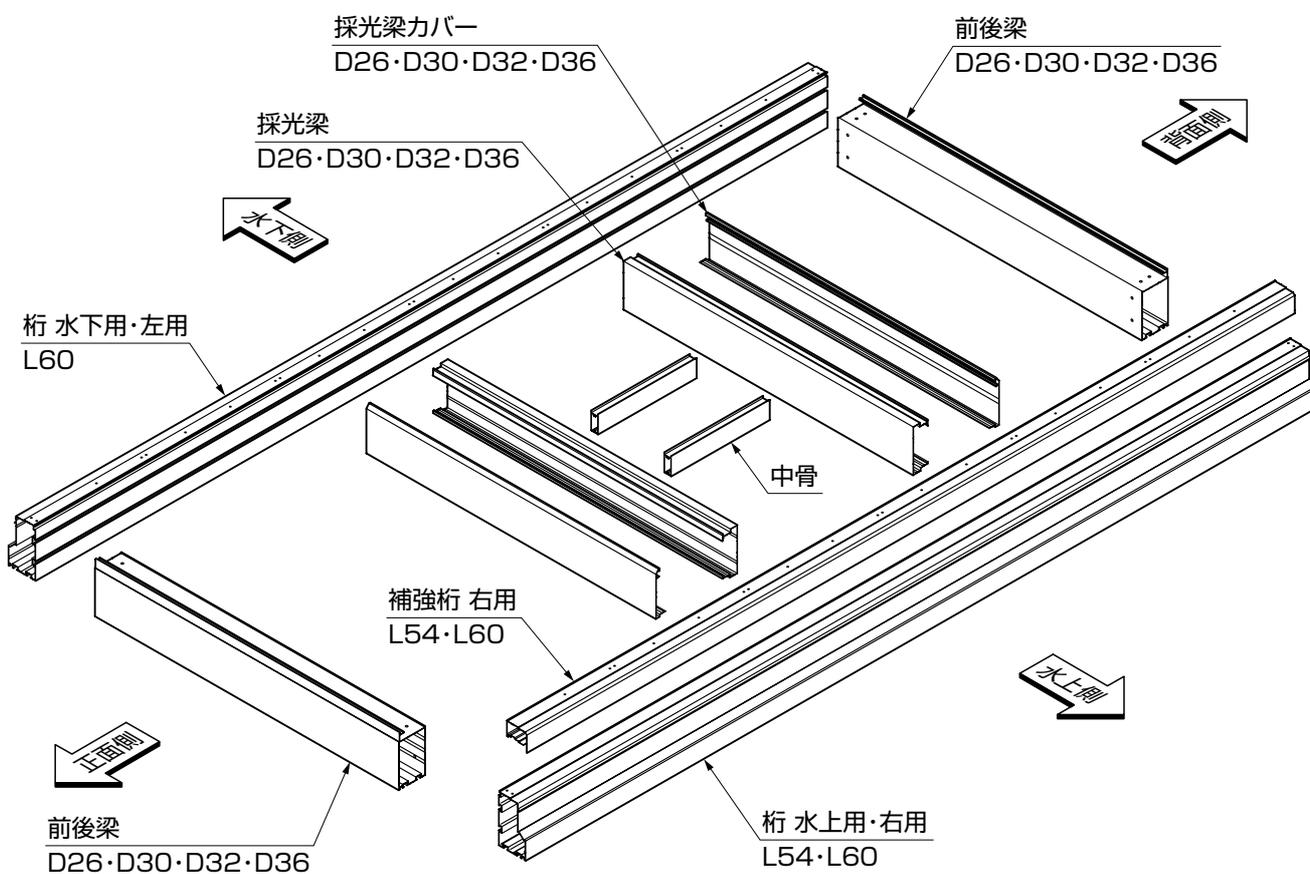
- 主柱・機能柱・ベース材の垂直・水平を確認してください。

## 5. 桁・梁の配置確認

### 5-1 28-54・32-60・34-60・38-60の場合

※標準の場合です。

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。

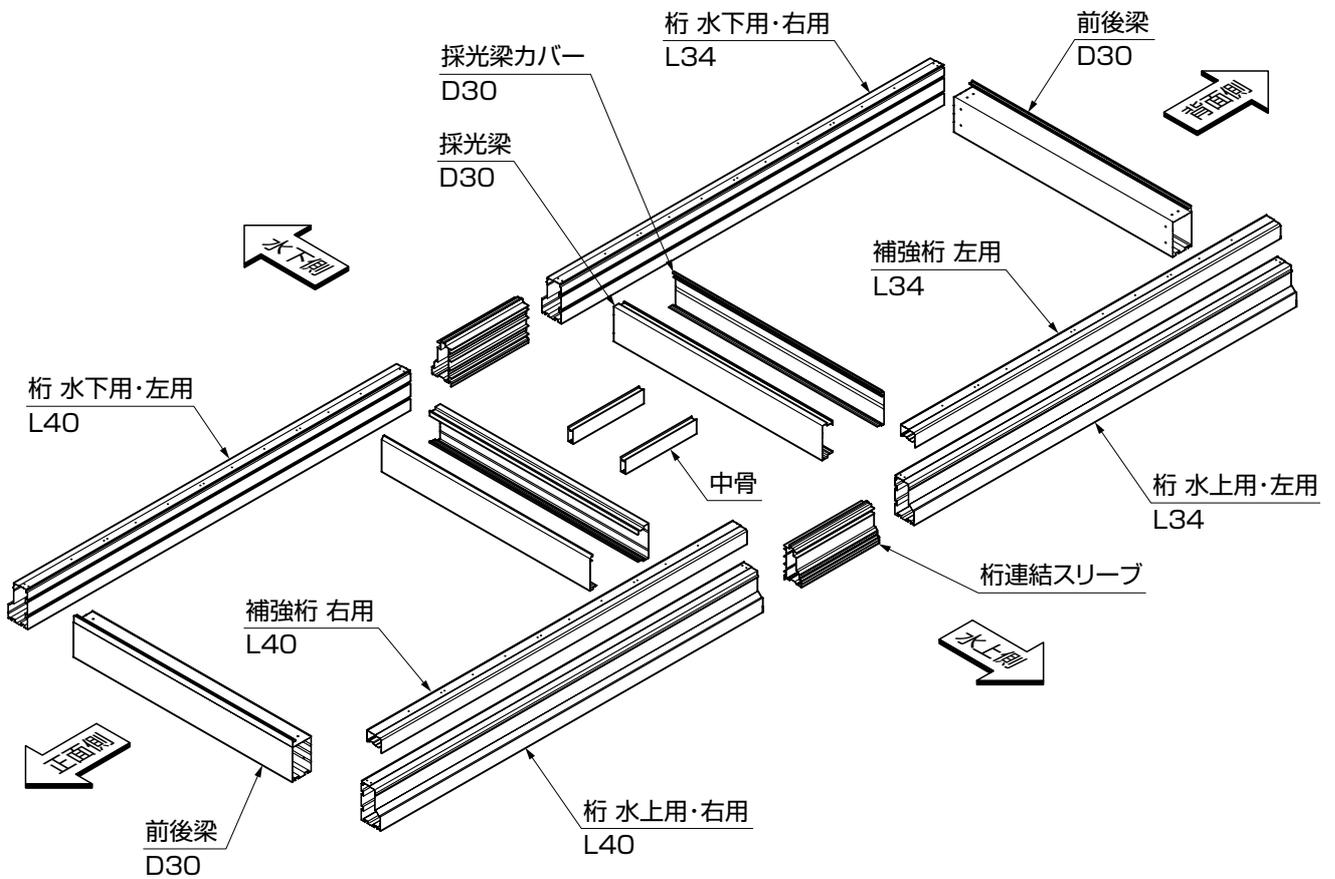


①桁・梁の配置を確認してください。

## 5-2 32-74の場合

※縦横延長の場合です。

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。



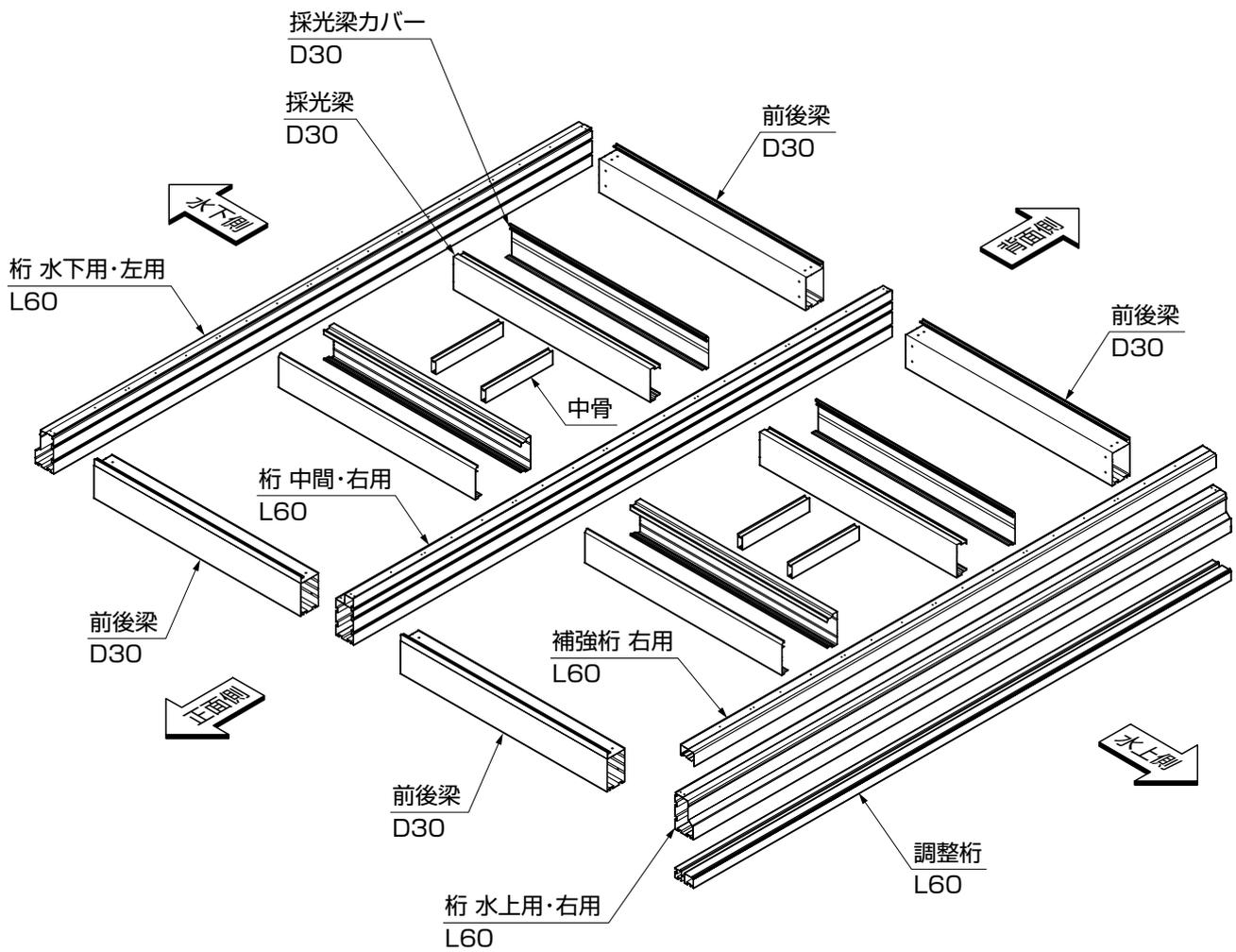
① 桁・梁の配置を確認してください。

## 5. (つづき)

### 5-3 63-60の場合

※横延長の場合です。

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。

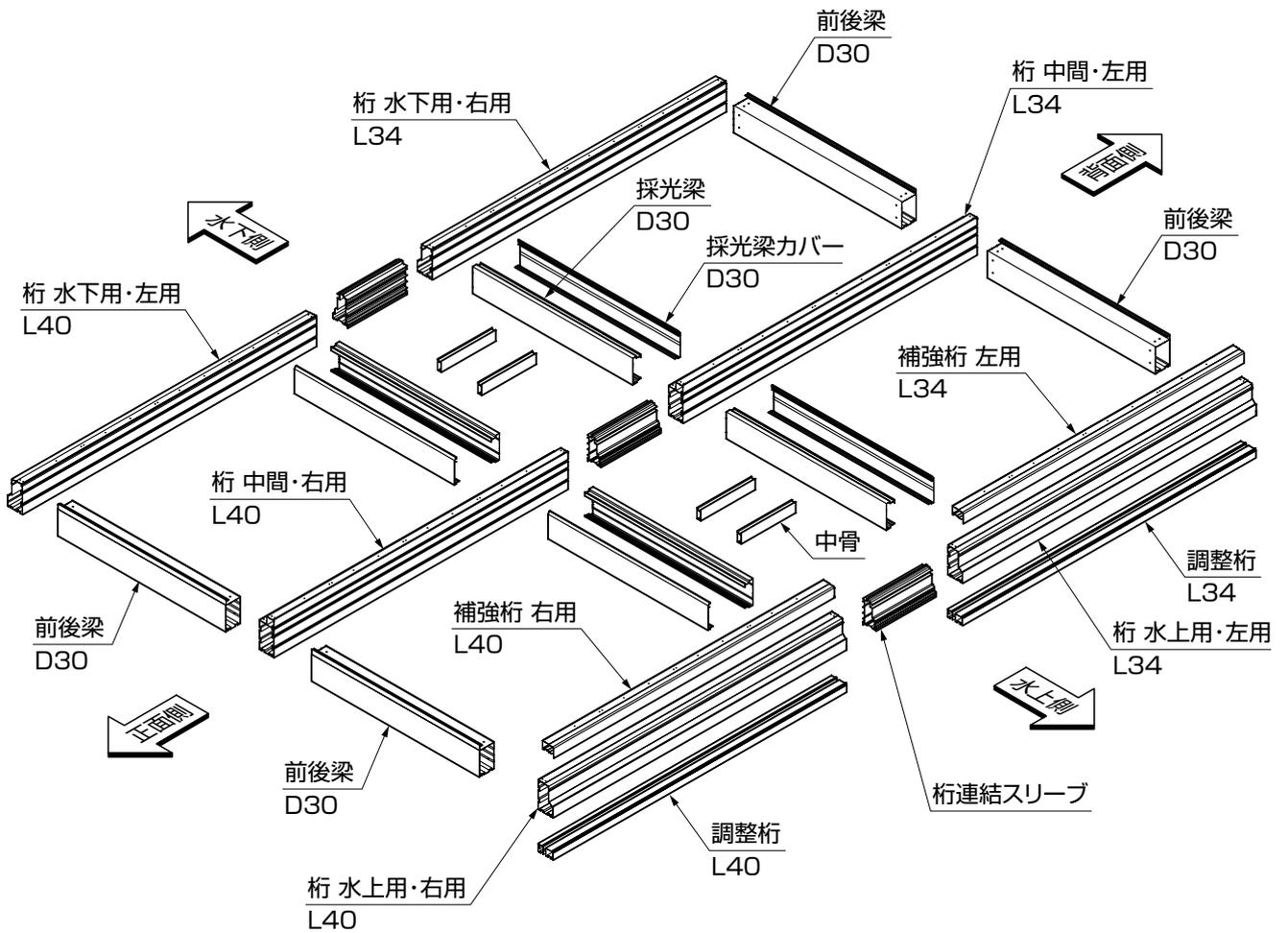


①桁・梁の配置を確認してください。

## 5-4 63-74の場合

※縦横延長の場合です。

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。

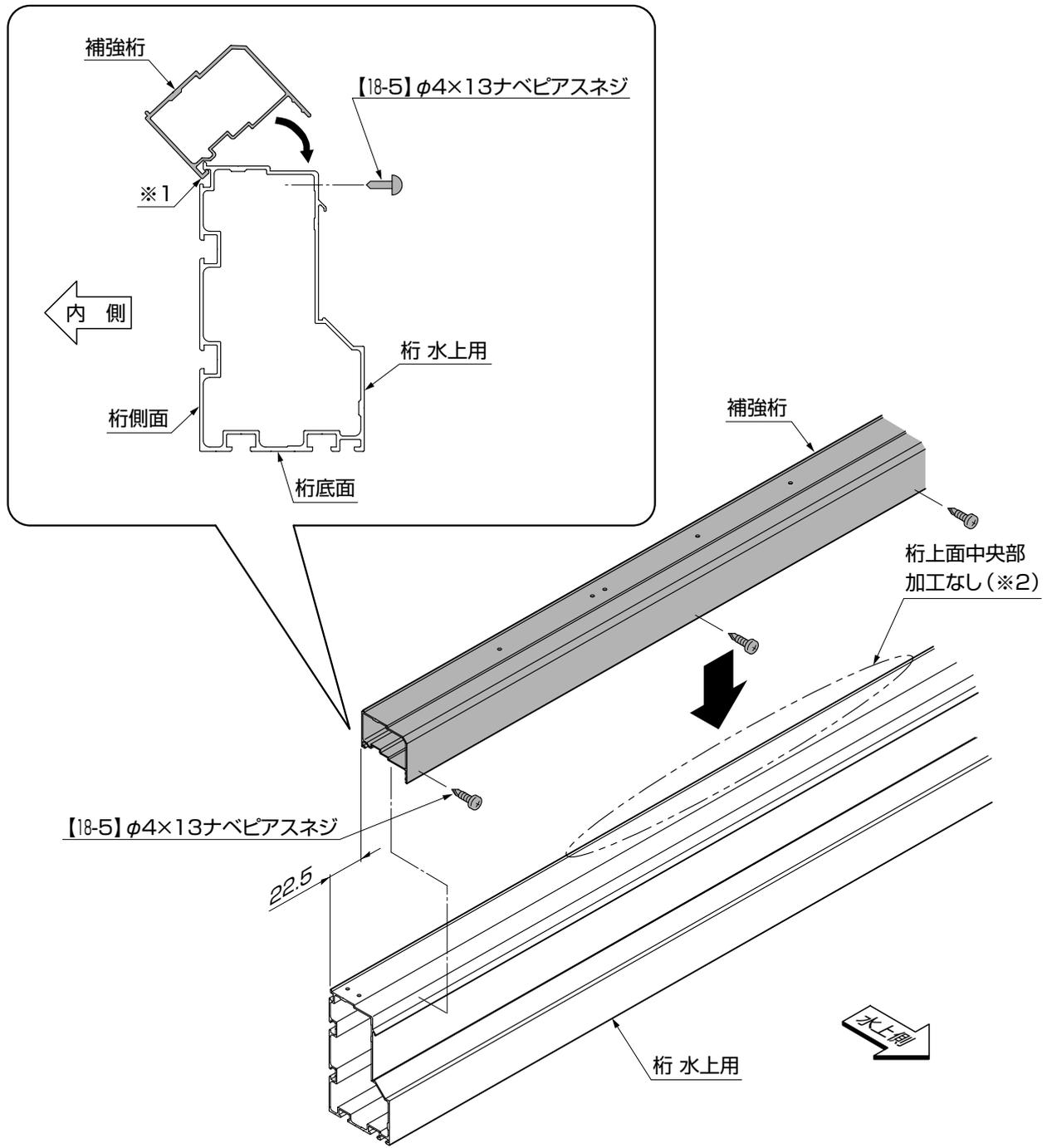


①桁・梁の配置を確認してください。

## 6. 補強桁・調整桁の取付けと桁の連結

### 6-1 28-54・32-60・34-60・38-60・63-60の補強桁の取付け

※標準・横延長の場合です。



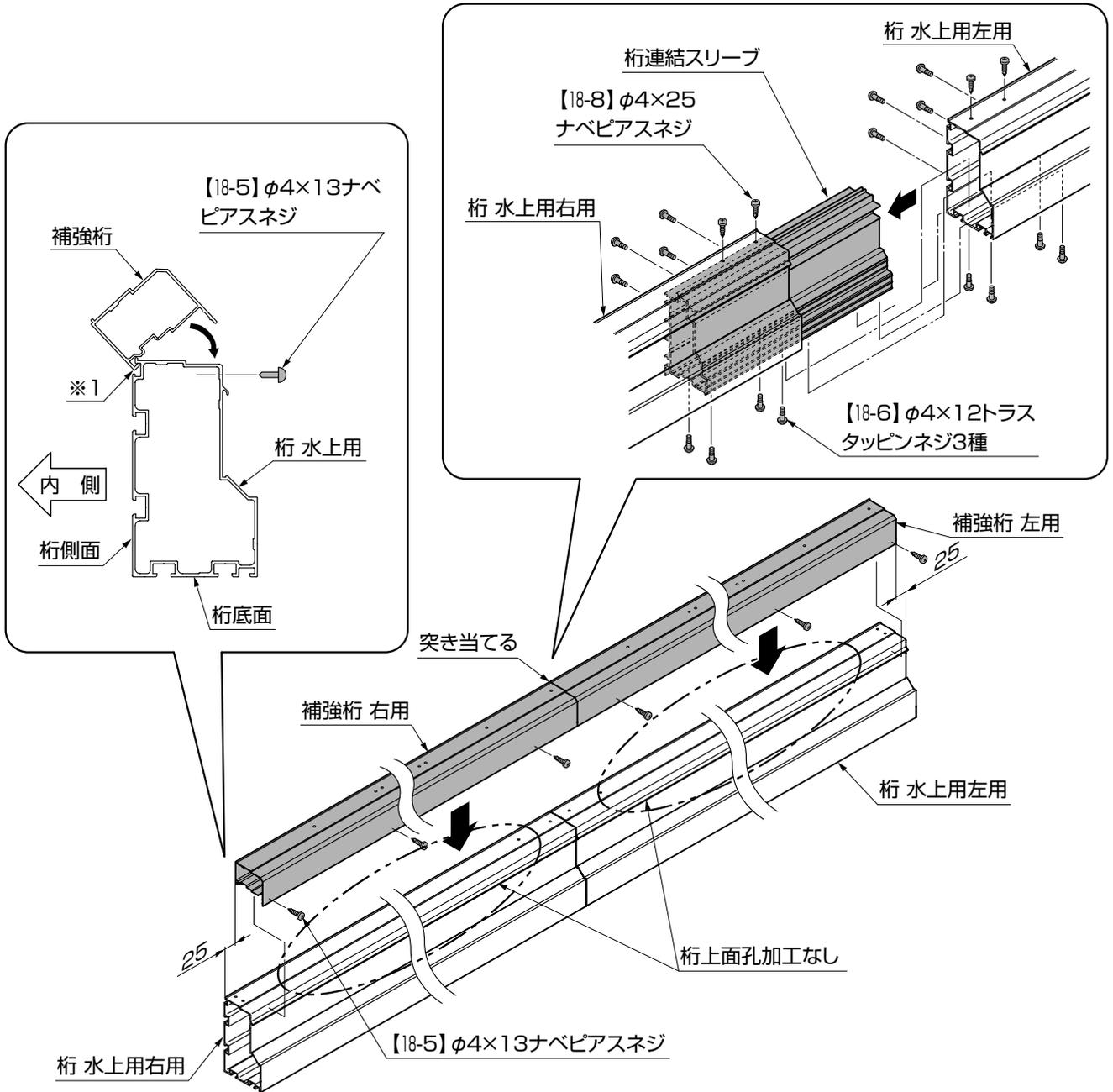
①桁水上用に補強桁を【18-5】で取付けてください。

**ポイント**

- 補強桁は、桁水上用のみの取付けです。
- 内側を引っ掛けて、矢印方向に倒すように取付けてください。(※1)
- 桁水上用には桁上面中央部に加工がありません。(※2)

## 6-2 32-74・63-74の補強桁の取付けと桁の連結

※縦延長の場合の取付けです。



①桁と桁連結スリーブを【18-6】、【18-8】で連結してください。

### ポイント

●桁水下用も同様に連結してください。

②桁水上用に補強桁を【18-5】で取付けてください。

### ポイント

●補強桁は、桁水上用のみの取付けです。

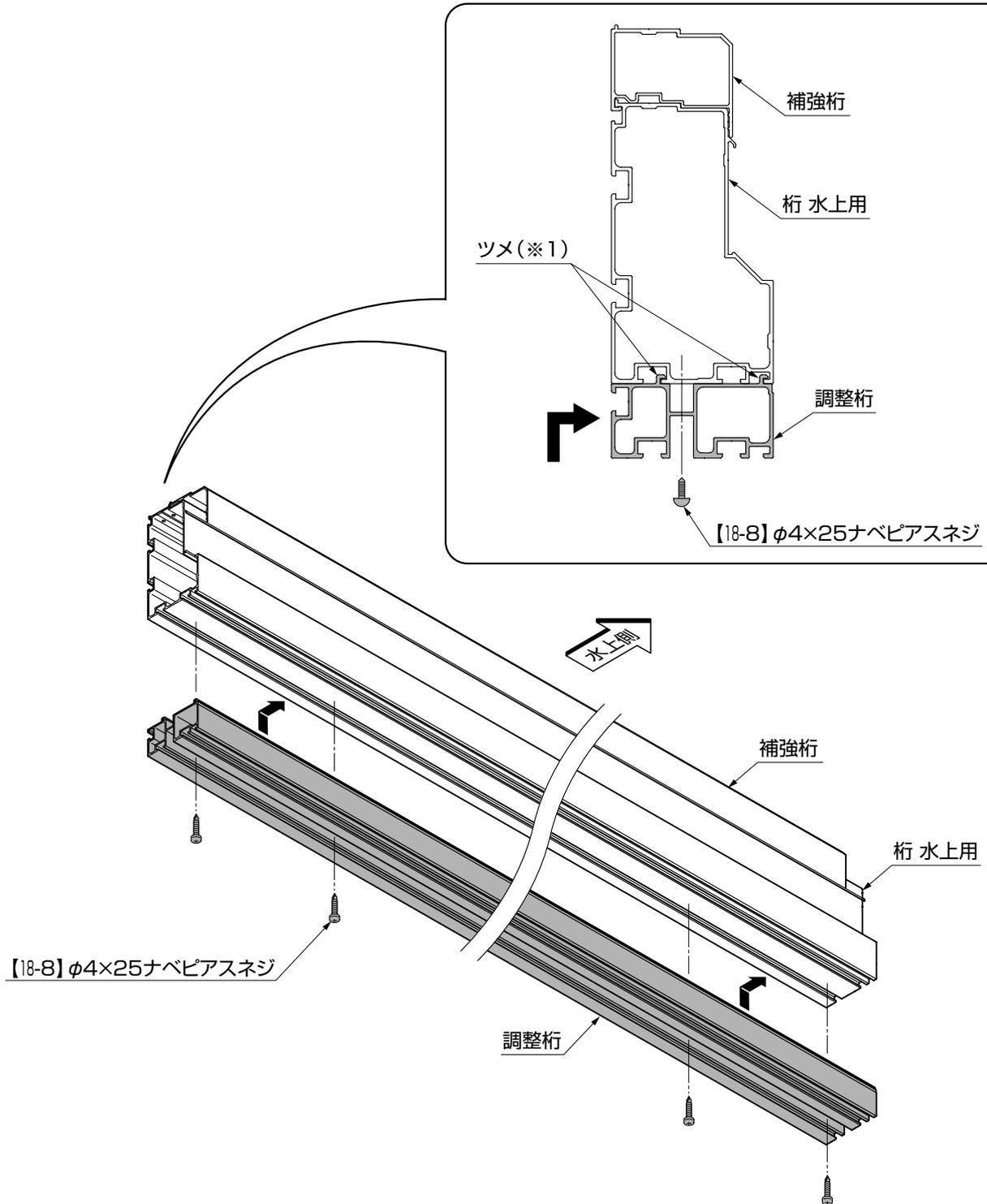
●内側を引っ掛けて、矢印方向に倒すように取付けてください。(※1)

●桁水上用には桁上面中央部に加工がありません。(※2)

## 6. (つづき)

### 6-3 63-74・63-74の調整桁の取付け

※横延長の場合です。



①調整桁のツメ(※1)を桁底部の溝に引っ掛けて【18-8】で固定してください。

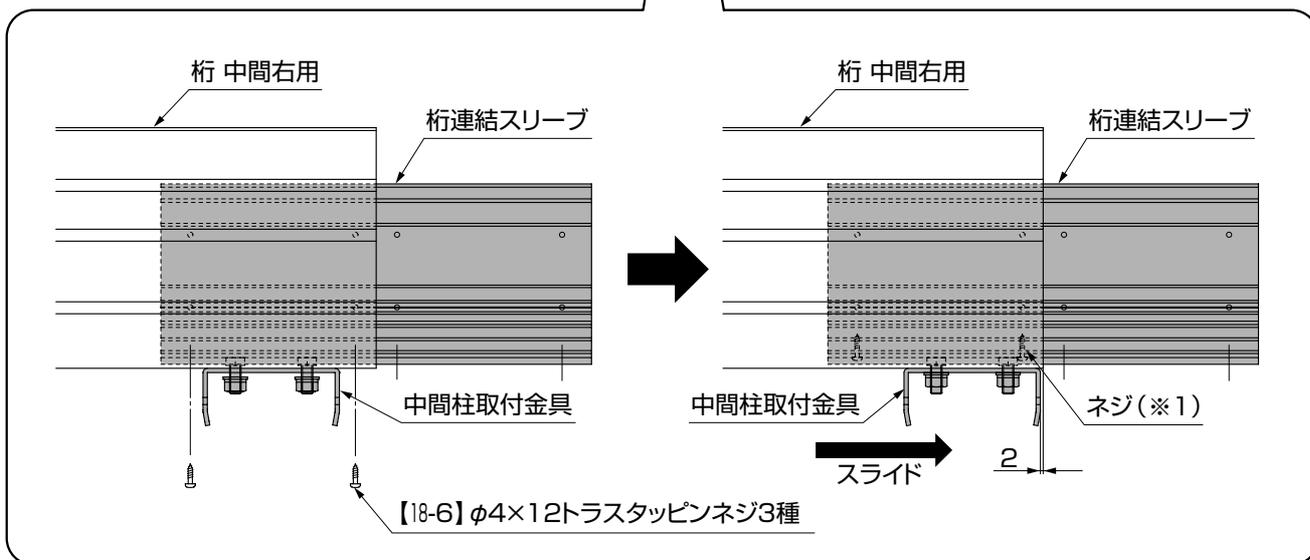
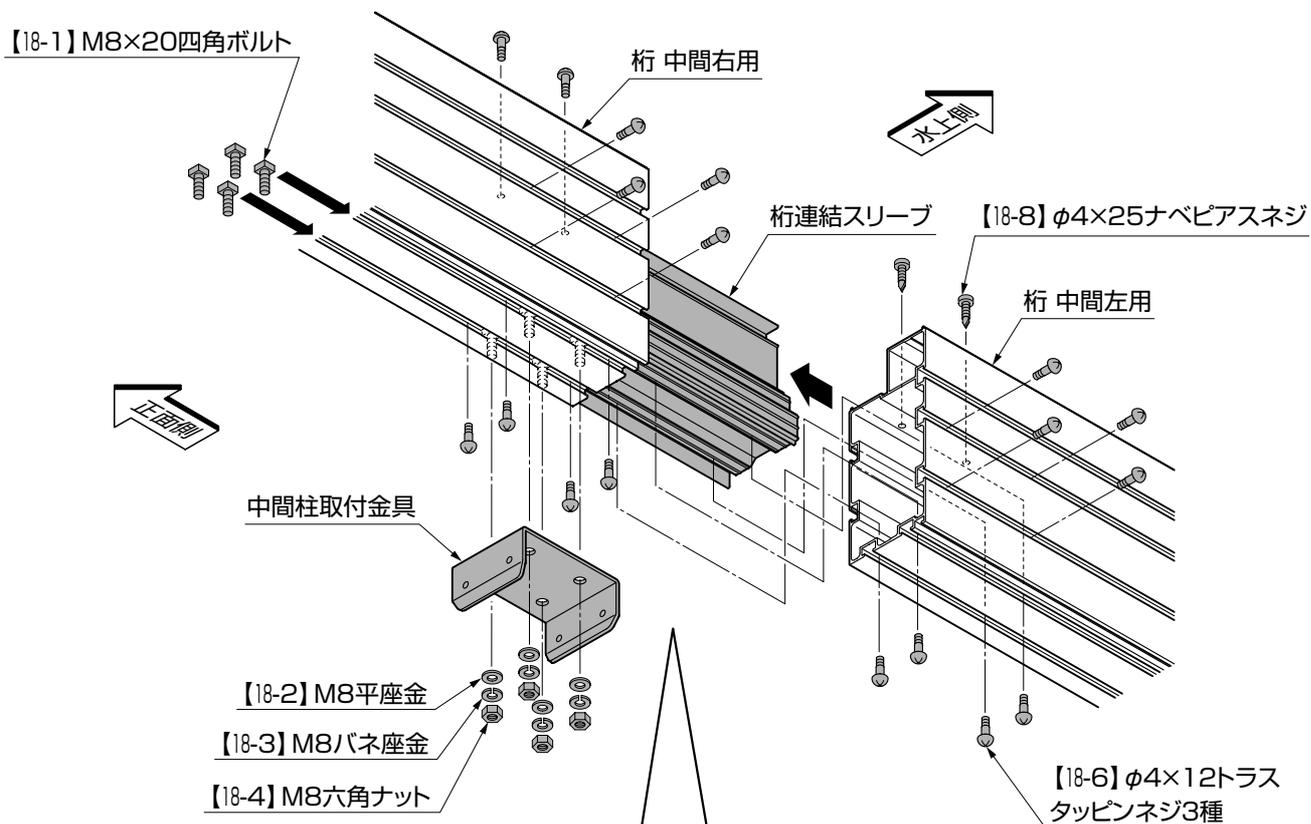
#### ポイント

- L74の場合は、桁を連結した後に調整桁を取付けてください。
- 調整桁は、桁水上用のみの取付けです。

## 6-4 63-74の桁 中間の連結

※縦横延長の場合です。

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。



- ①桁 中間の底面の溝に【18-1】をスライドしながら入れ、【18-2】、【18-3】、【18-4】で中間桁取付金具を仮止めしてください。
- ②桁 中間に桁連結スリーブを【18-6】、【18-8】で連結してください。
- ③中間桁取付金具をネジ(※1)があたって、それ以上動かない位置までスライドしてから、しっかりと固定してください。

## 7. タイプフレームの取付け

### 7-1 L54・L60の場合

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。

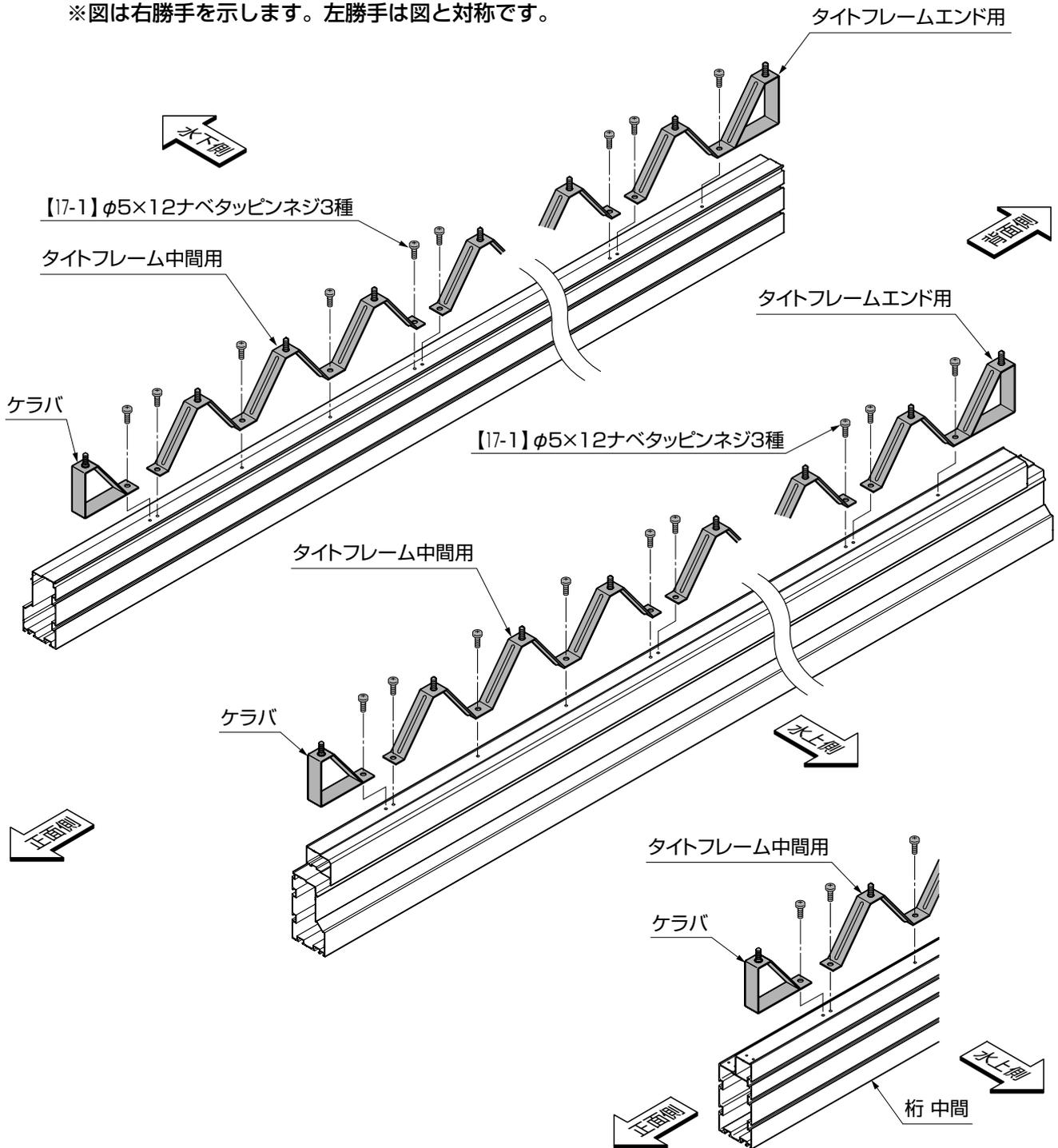


図7-1 W63の場合

①桁上部にケラバとタイトフレームエンド用とタイトフレーム中間用を【17-1】で取付けてください。

#### ポイント

- 正面側にケラバを、背面側にタイトフレームエンド用を取付けてください。
- W63の場合は、桁中間にもタイトフレームを取付けてください。(図7-1参照)

## 7-2 L74の場合

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。

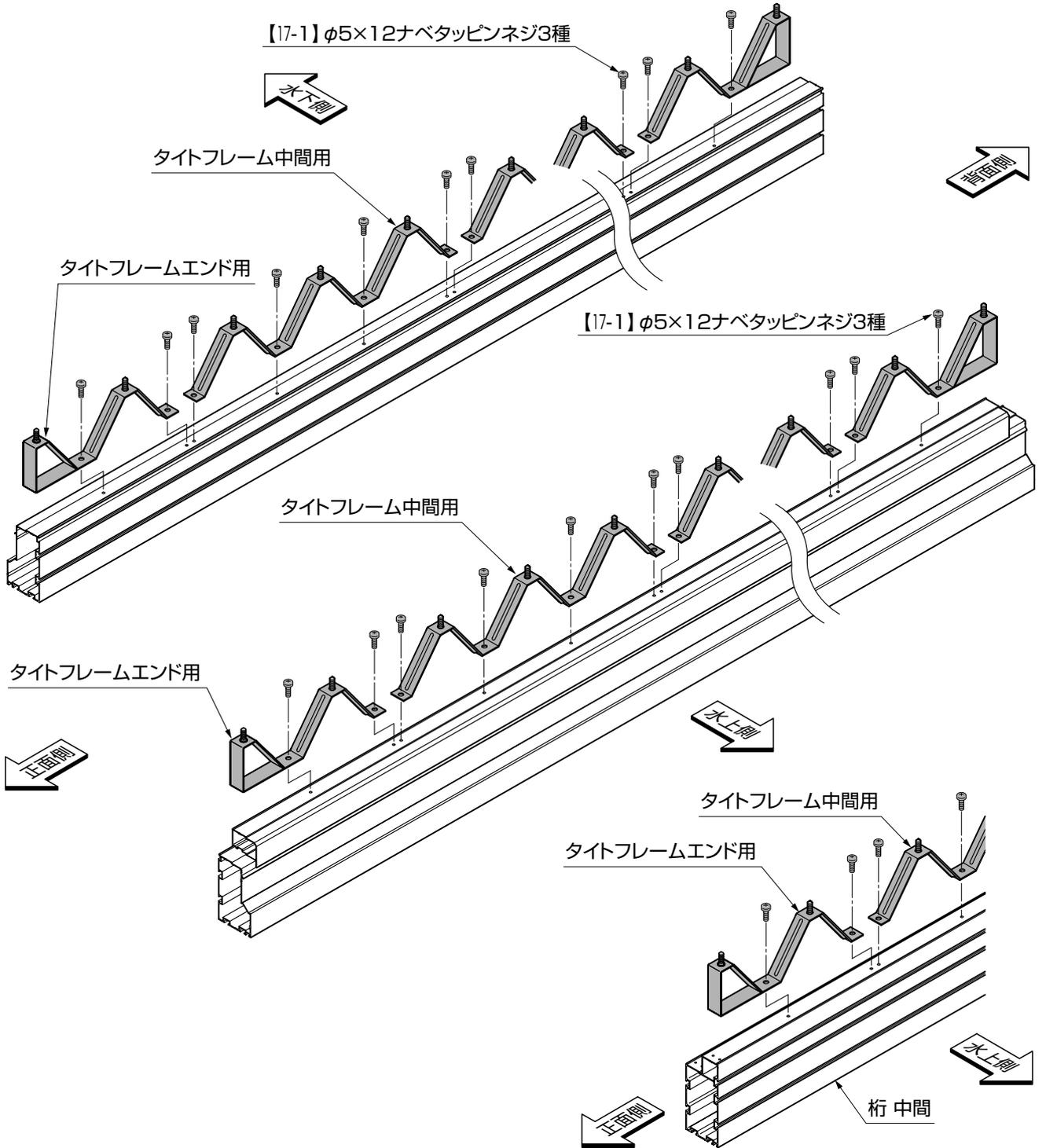


図7-2 W63の場合

①桁上部にタイトフレームエンド用とタイトフレーム中間用を【17-1】で取付けてください。

**ポイント**

●W63の場合は、桁 中間にもタイトフレームを取付けてください。(図7-2参照)

## 8. 桁の組立て

### 8-1 桁取付金具の位置確認

※図は右勝手・桁水上用を示します。左勝手および桁水下用は図と対称です。

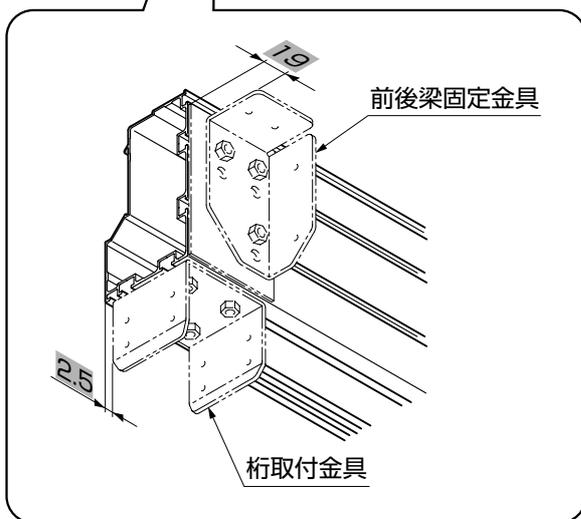
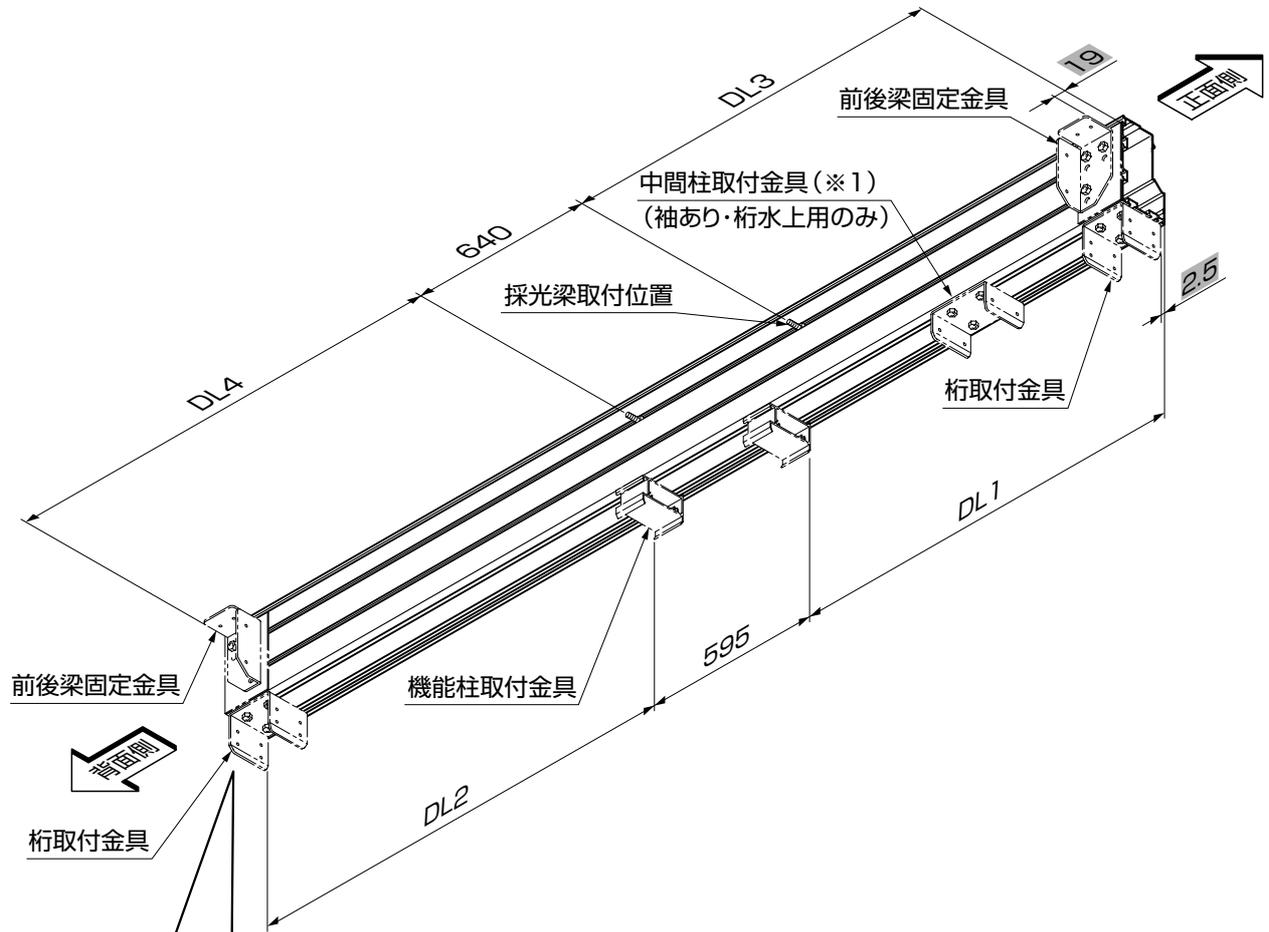


表8-1

	DL1	DL2	DL3	DL4
L54	2282.5	2482.5	2260	2460
L60	2882.5	2482.5	2860	2460
L74	3682.5	3082.5	3660	3060

①それぞれの金具が付く位置を確認してください。

#### ポイント

●中間柱取付金具(※1)は、34-60・38-60・63-74の場合の袖あり・桁水上用のみの取付けです。

## 8-2 28-54・32-60・34-60・32-74の場合 63-60水下用・63-74水下用の場合

※標準・縦延長・横延長水下用の場合です。

※図は右勝手・桁水上用を示します。左勝手および桁水下用は図と対称です。

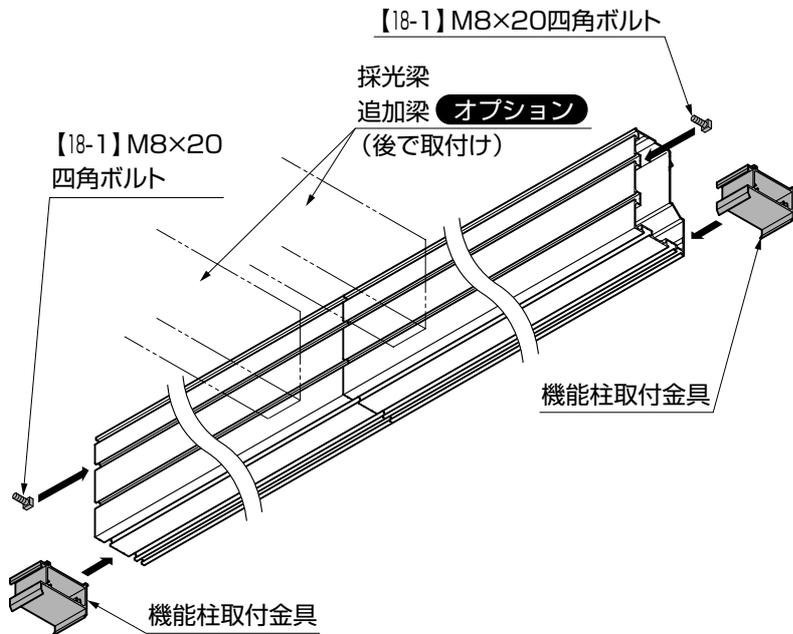


図8-1

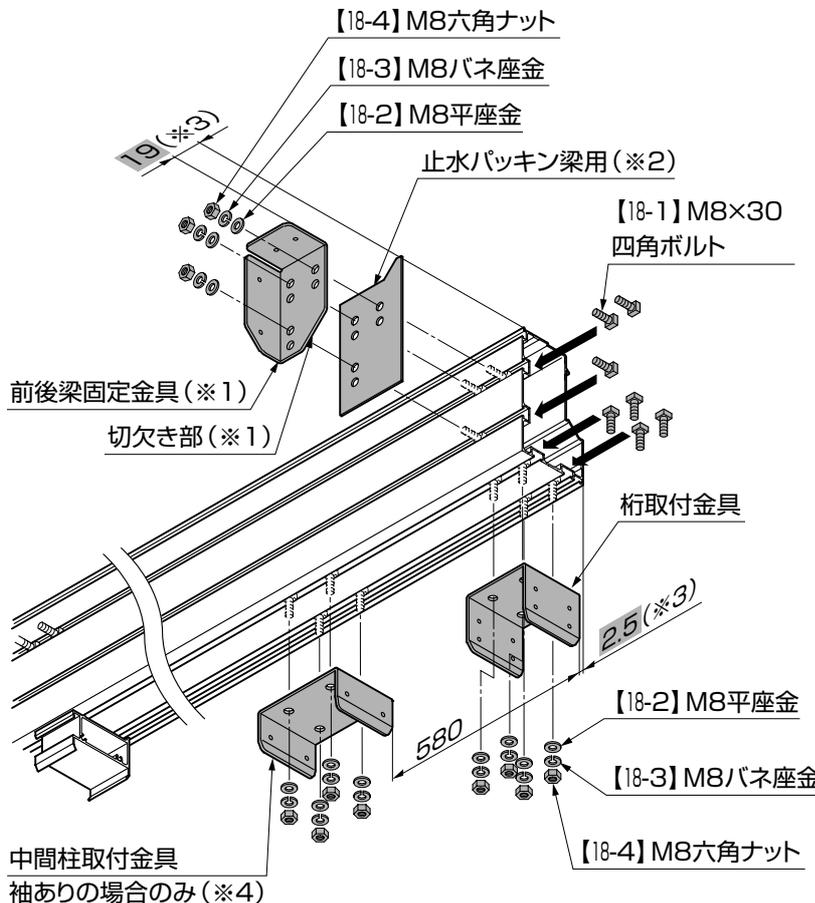


図8-2

- ① 桁側面の溝に【18-1】、桁底面の溝に機能柱取付金具を各1個ずつ両側面からスライドしながら入れてください。(図8-1参照)

### ポイント

- 【18-1】は採光梁・追加梁 **オプション** の取付けに必要となりますので初めに必ず取付けてください。

- ② 桁側面の溝に【18-1】をスライドしながら入れ、止水パッキン梁用を貼り、【18-2】、【18-3】、【18-4】で前後梁固定金具を固定してください。(図8-2参照)
- ③ 桁底面の溝に【18-1】をスライドしながら入れ、【18-2】、【18-3】、【18-4】で桁取付金具と中間柱取付金具を固定してください。

### ポイント

- 桁端部から桁取付金具、前後梁固定金具の位置に注意してください。シャッターの取付けに不具合が出る場合があります。(※3)
- 前後梁固定金具には向きがあります。前後梁固定金具切欠き部が桁端部になるように取付けてください。(※1)
- 止水パッキン梁用には向きがあります。前後梁固定金具の孔位置に合わせて取付けてください。(※2)
- 中間柱取付金具は34-60・38-60・32-74の場合のみの取付けです。(※4)

## 8. (つづき)

### 8-3 63-60中間用・63-74中間用の場合

※横延長中間用の場合です。

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。

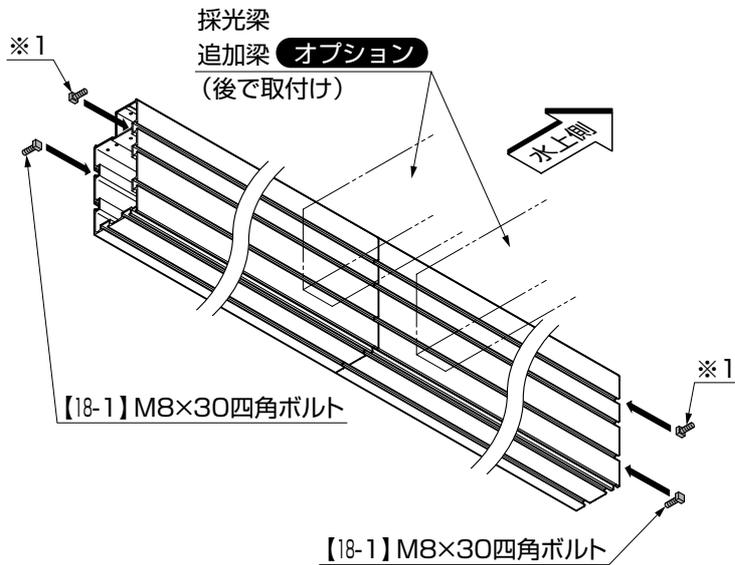


図8-3

- ①桁側面の溝に【18-1】を各1個ずつ両側面からスライドしながら入れてください。(図8-3参照)

#### ポイント

- 水上側は【18-1】の取付け位置が異なります。ご確認ください。(※1)
- 【18-1】は採光梁・追加梁 **オプション** の取付けに必要となりますので初めに必ず取付けてください。

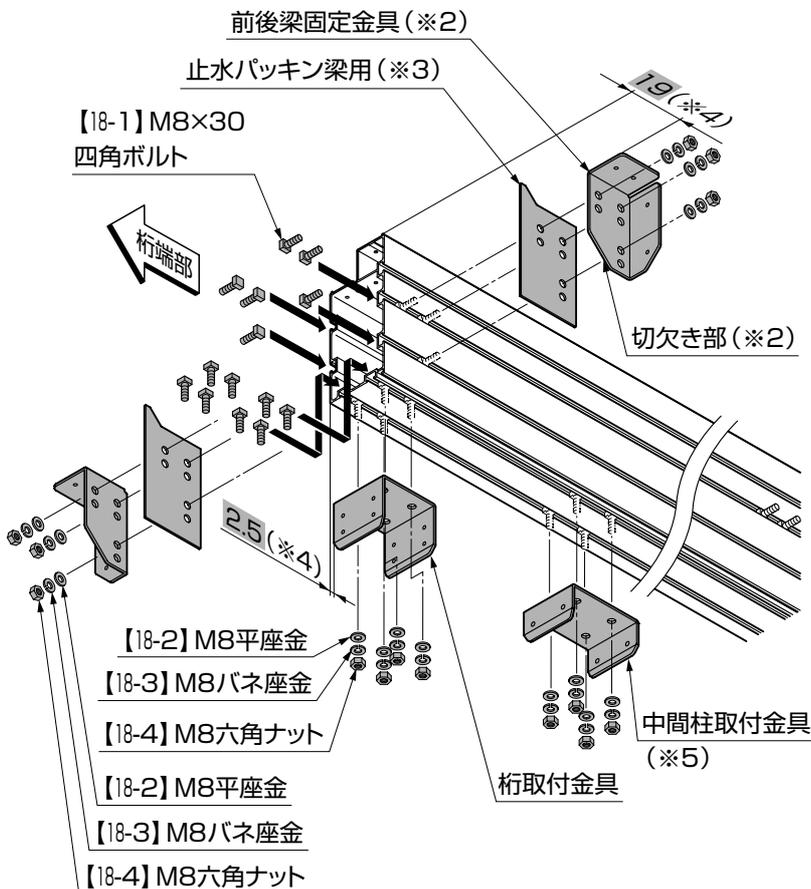


図8-4

- ②桁側面の溝に【18-1】をスライドしながら入れ、止水パッキン梁用を貼り、【18-2】、【18-3】、【18-4】で前後梁固定金具を固定してください。(図8-4参照)

- ③桁底面の溝に【18-1】をスライドしながら入れ、【18-2】、【18-3】、【18-4】で桁取付金具と中間柱取付金具を固定してください。

#### ポイント

- 桁端部から桁取付金具、前後梁固定金具の位置に注意してください。シャッターの取付けに不具合が出る場合があります。(※4)
- 前後梁固定金具には向きがあります。前後梁固定金具切欠き部が桁端部に来るように取付けてください。(※2)
- 止水パッキン梁用には向きがあります。前後梁固定金具の孔位置に合わせて取付けてください。(※3)
- 63-74の場合は、「6-4 63-74の桁中間の連結」で中間柱取付金具を取付けてください。(※5)

## 8-4 63-60水上用・63-74水上用の場合

※横延長水上用の場合です。

※図は右勝手を示します。左勝手は図と対称です。

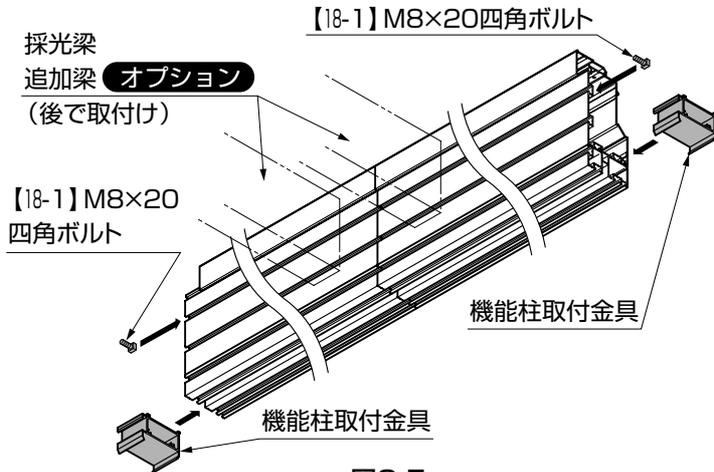


図8-5

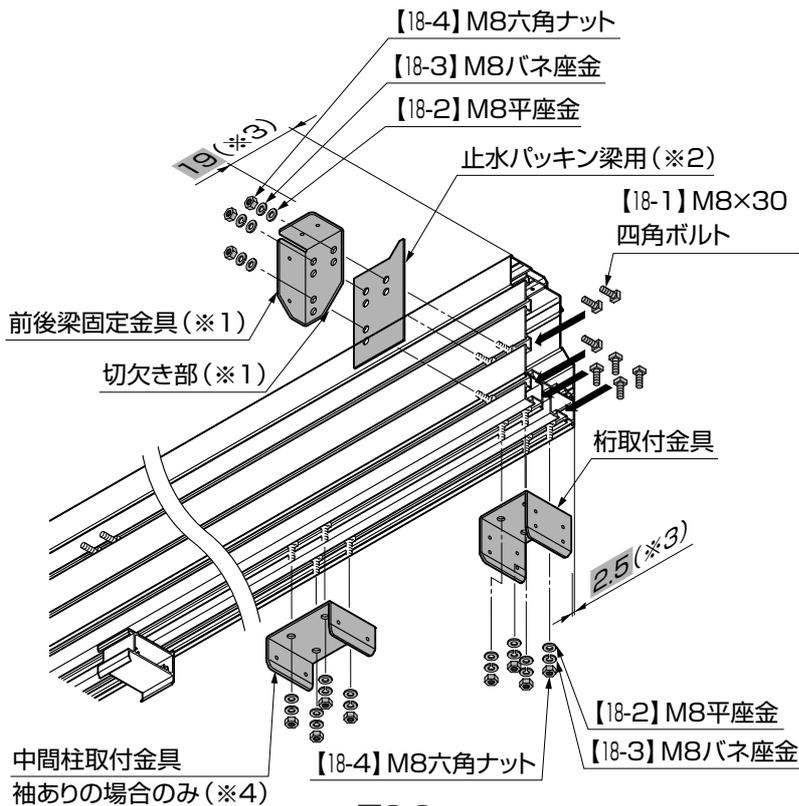


図8-6

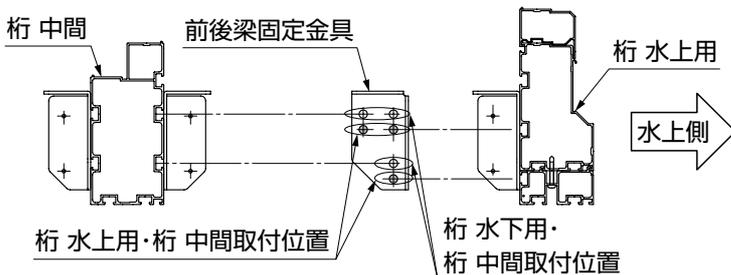


図8-7

- ① 桁側面の溝に【18-1】、桁底面の溝に機能柱取付金具を各1個ずつ両側面からスライドしながら入れてください。(図8-5参照)

### ポイント

- 【18-1】は採光梁・追加梁 オプションの取付けに必要となりますので初めに必ず取付けてください。

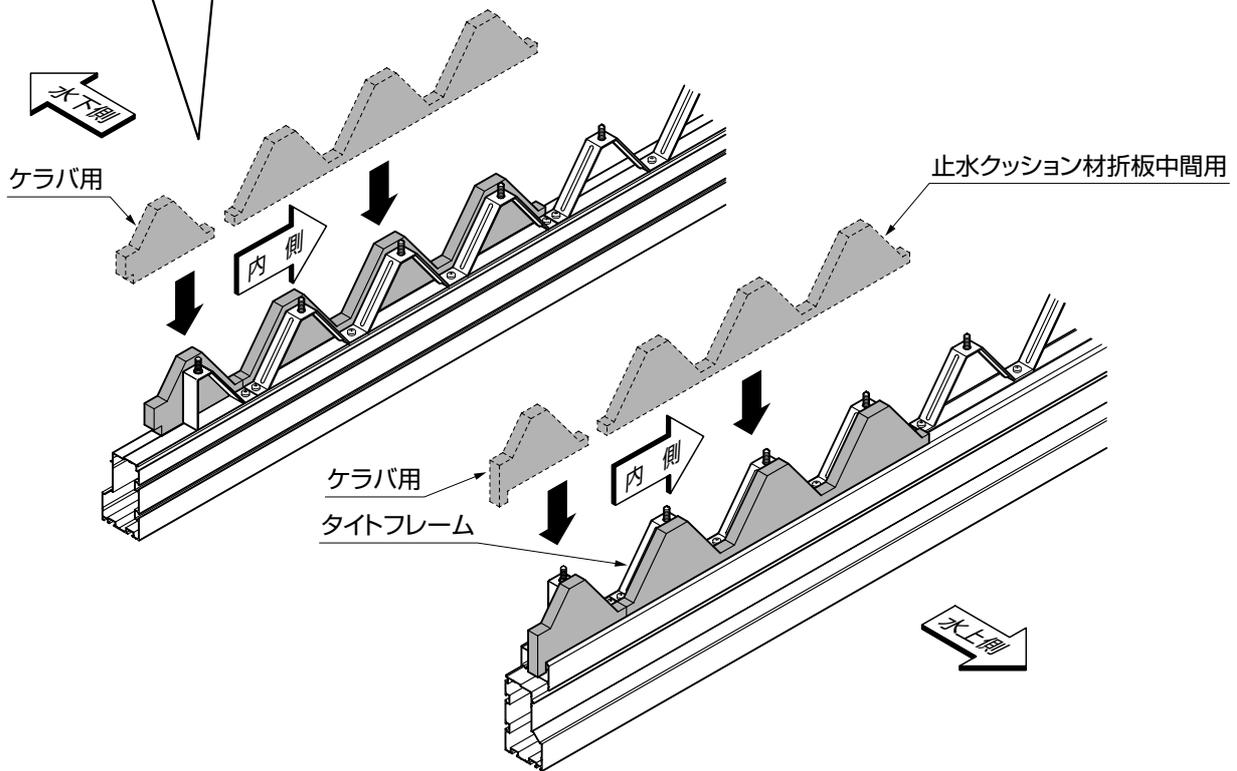
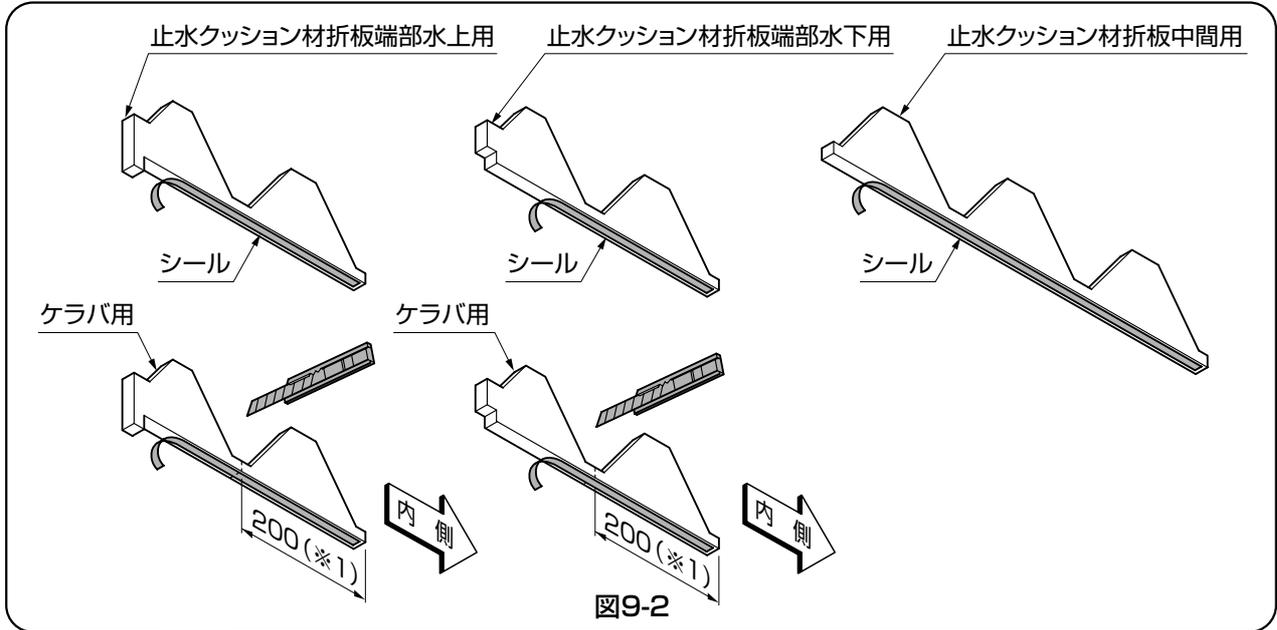
- ② 桁側面の溝に【18-1】をスライドしながら入れ、止水パッキン梁用を貼り、【18-2】、【18-3】、【18-4】で前後梁固定金具を固定してください。(図8-6参照)
- ③ 桁底面の溝に【18-1】をスライドしながら入れ、【18-2】、【18-3】、【18-4】で桁取付金具を固定してください。

### ポイント

- 桁端部から桁取付金具、前後梁固定金具の位置に注意してください。シャッターの取付けに不具合が出る場合があります。(※3)
- 前後梁固定金具の取付け位置が異なりますのでご確認ください。(図8-7参照)
- 前後梁固定金具には向きがあります。前後梁固定金具切欠き部が桁端部になるように取付けてください。(※1)
- 止水パッキン梁用には向きがあります。前後梁固定金具の孔位置に合わせて取付けてください。(※2)
- 中間柱取付金具は63-74の場合のみの取付けです。(※4)

## 9. 止水クッション材の取付け

### 9-1 L54・60の場合



①タイトフレームの外側にケラバ用、端部用と中間用の止水クッション材をそれぞれ貼付けてください。(図9-1参照)

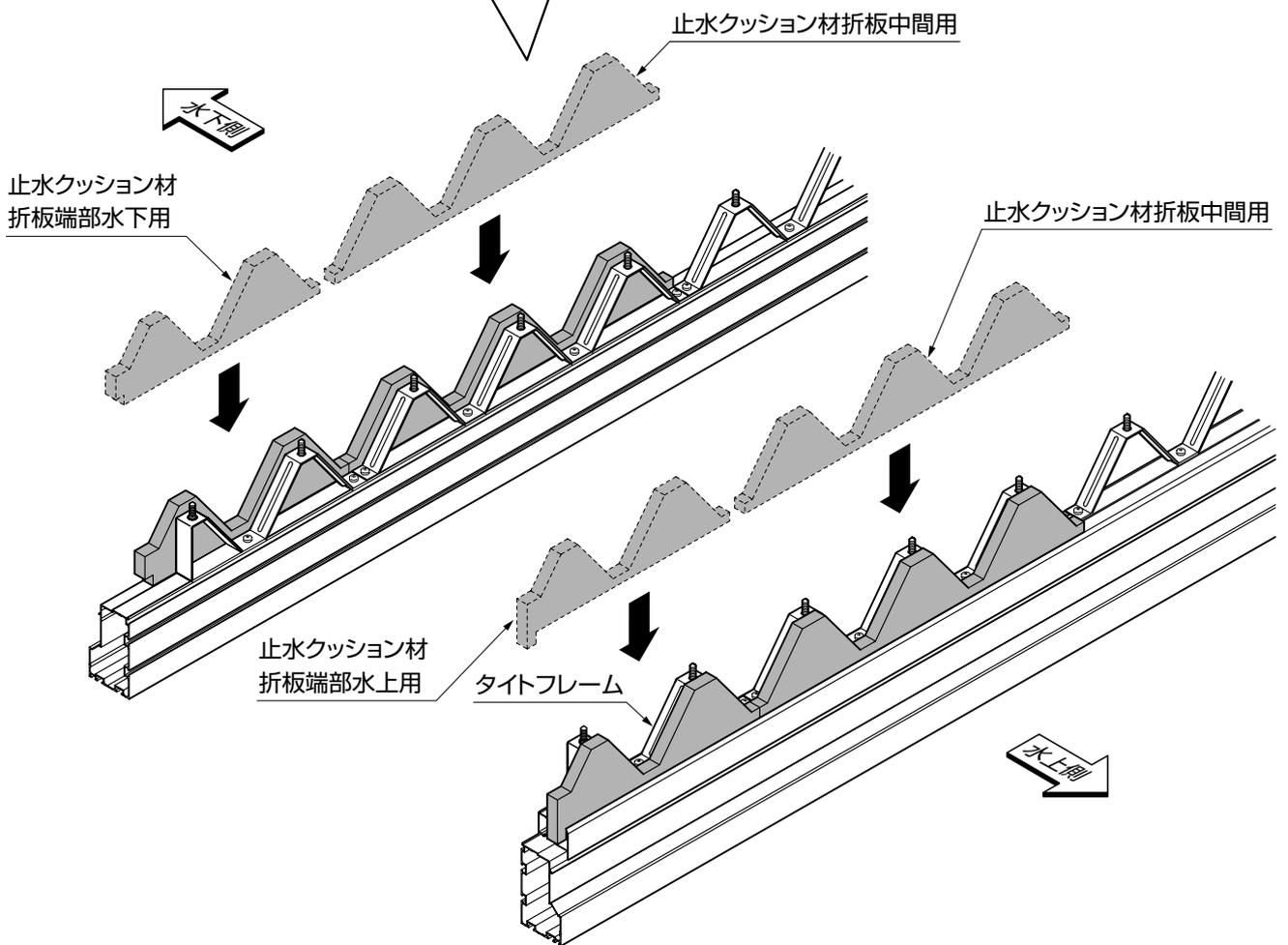
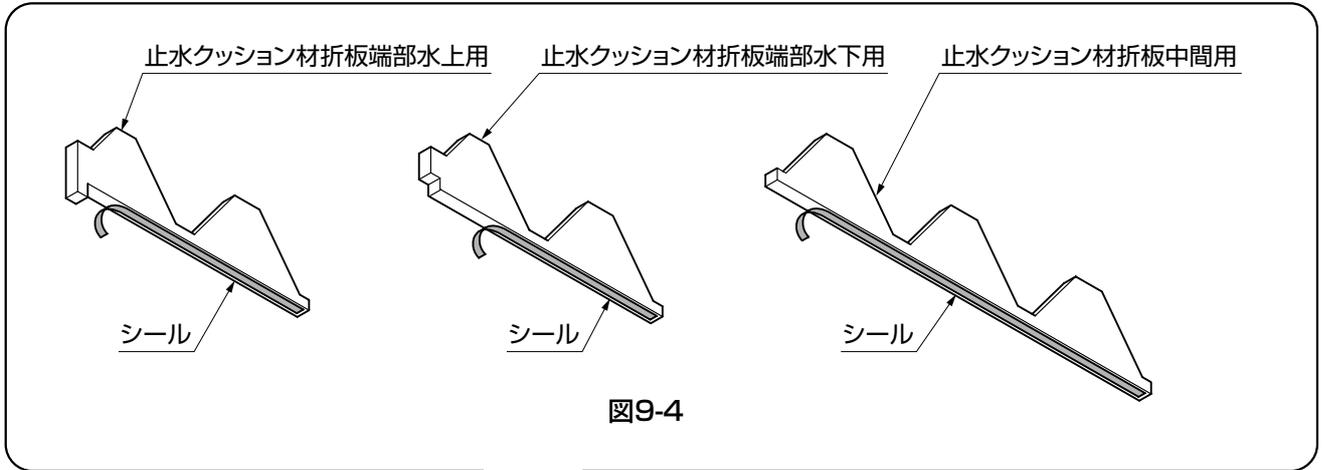
#### ポイント

- ケラバ用は、端部用の止水クッション材を内側から200mm(※1)カットして使用してください。

#### 補足

- 止水クッション材下面のシールをはがしてから取付けてください。(図9-2参照)

## 9-2 L74の場合



①タイトフレームの外側に端部用と中間用の止水クッション材をそれぞれ貼付けてください。(図9-3参照)

### 補足

●止水クッション材下面のシールをはがしてから取付けてください。(図9-4参照)

## 10. 横樋用の取付け

### 10-1 L54・L60の場合

※標準の場合です。

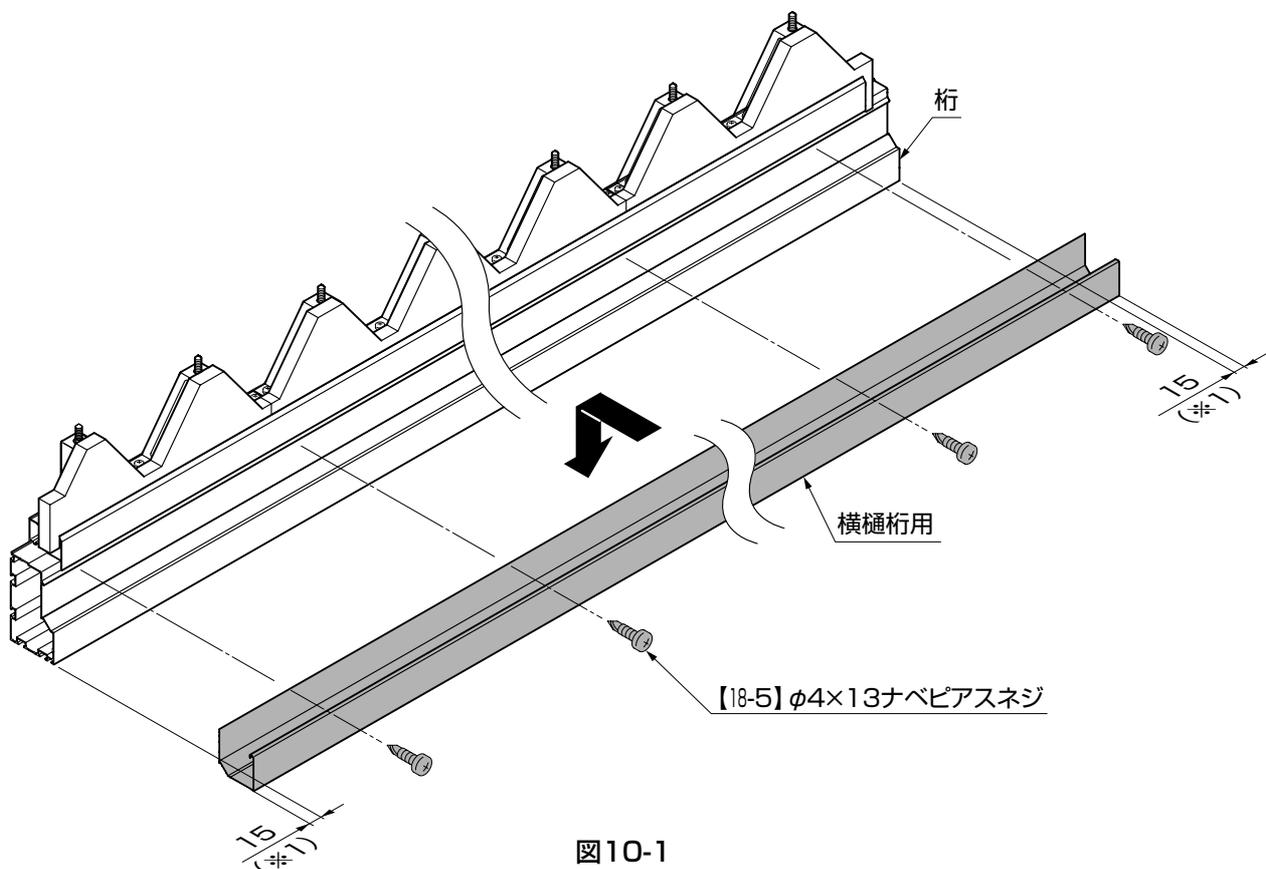


図10-1

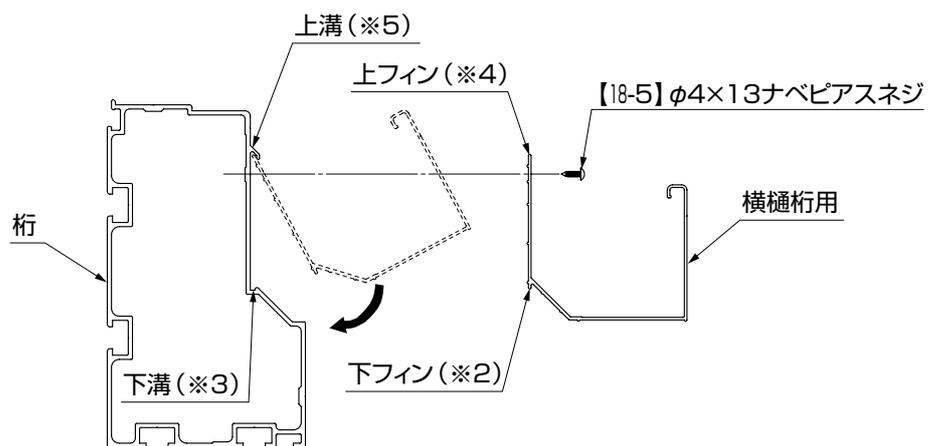


図10-2

① 桁に【18-5】で横樋用を取付けてください。(図10-1参照)

#### ポイント

- 横樋用は桁よりも片側15mmはり出した位置に取付けてください。(※1)
- 横樋用の上フィン(※4)を桁の上溝(※5)に下から入れ、横樋用の下フィン(※2)を桁の下溝(※3)にひっかけるように取付けてください。(図10-2参照)

## 10-2 L74の場合

※縦延長の場合です。

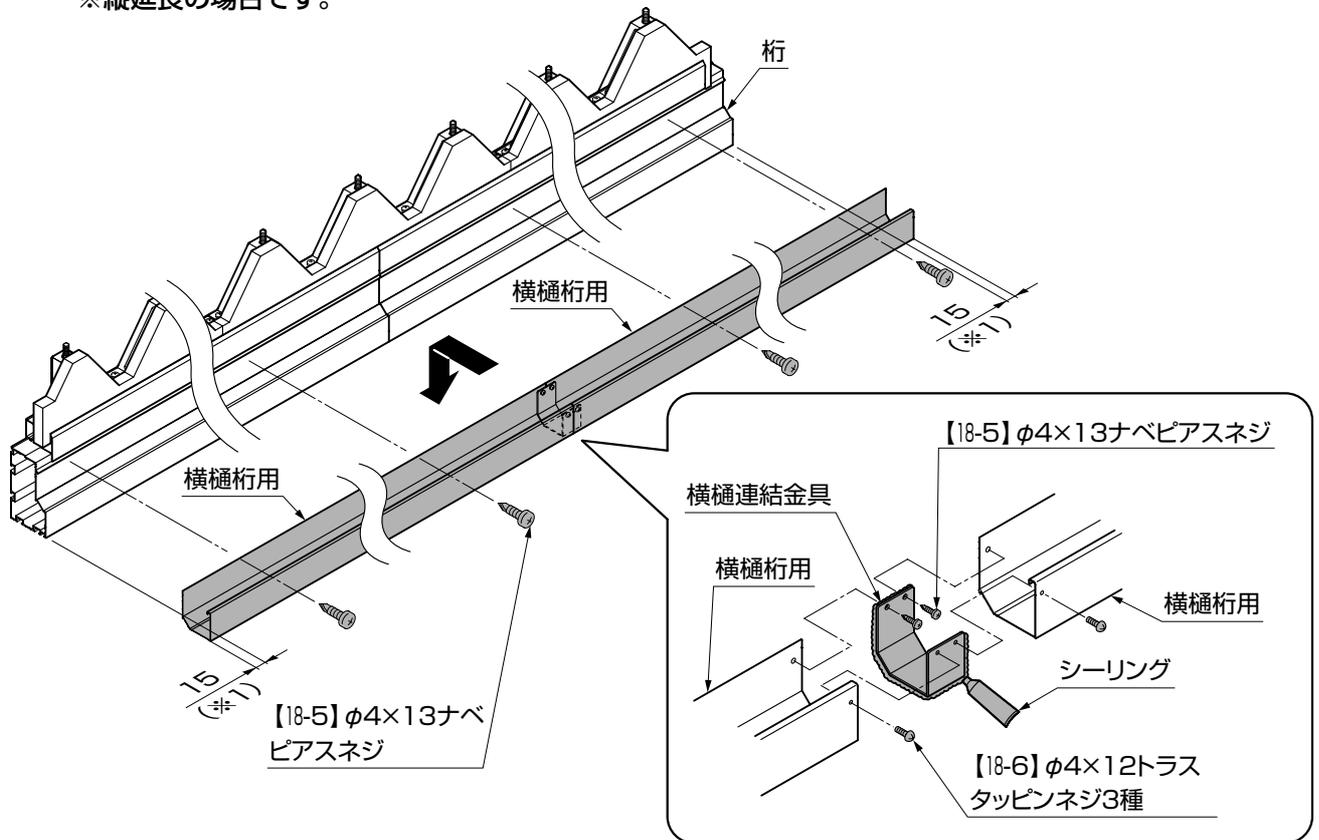


図10-3

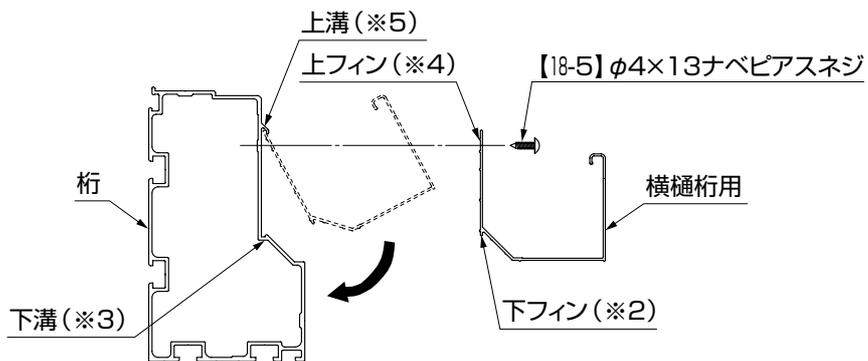


図10-4

①桁に【18-5】で横樋桁用を取付けてください。(図10-3参照)

### ポイント

- 横樋桁用は桁よりも片側15mmはり出した位置に取付けてください。(※1)
- 横樋桁用の上フィン(※4)を桁の上溝(※5)に下から入れ、横樋桁用の下フィン(※2)を桁の下溝(※3)にひっかけるように取付けてください。(図10-4参照)

②横樋連結金具を使い【18-5】、【18-6】で横樋を連結してください。

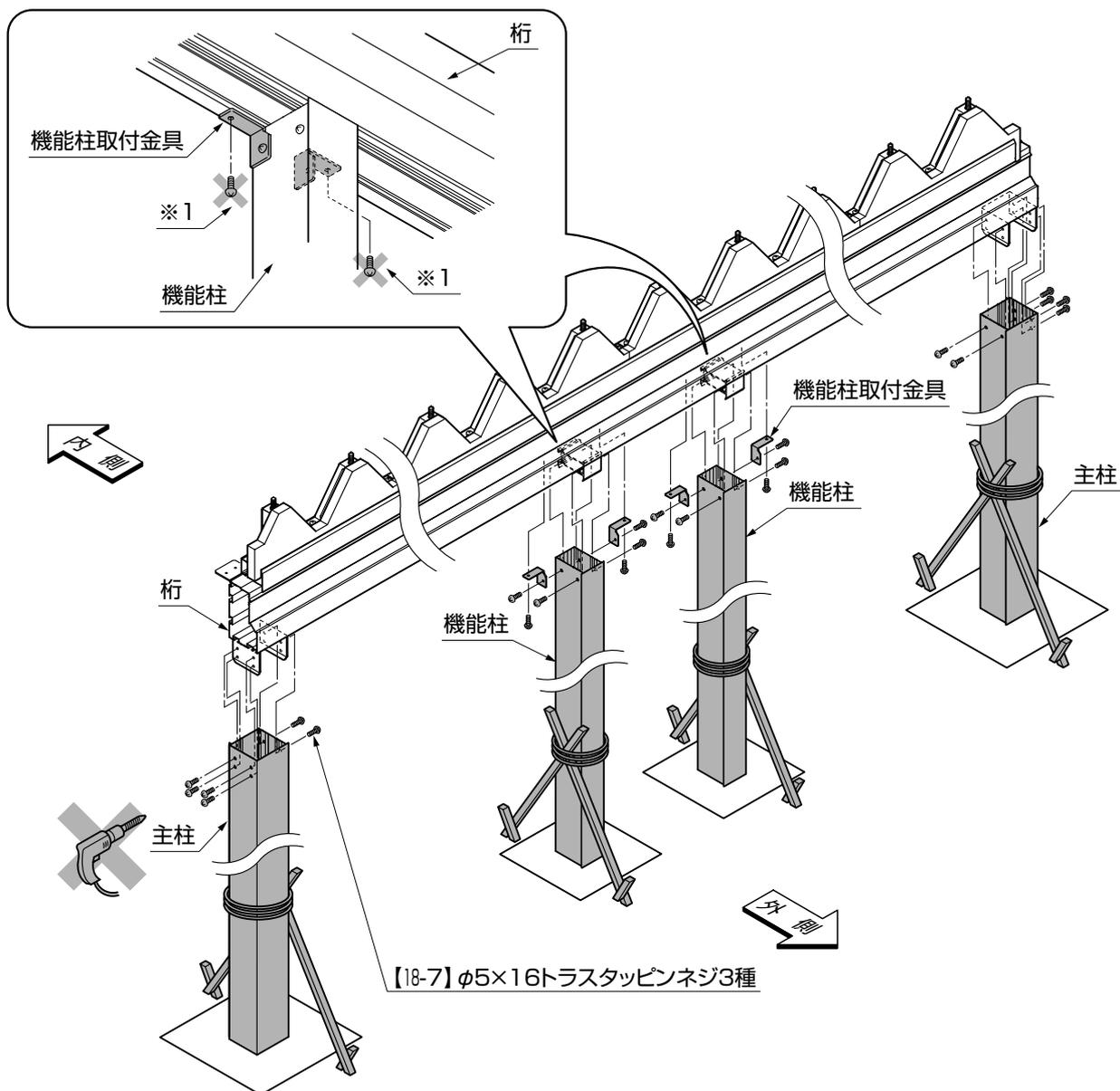
### ポイント

- 横樋連結金具と横樋桁用の接触部分にシーリングをしてください。(図10-3参照)

## 11. 柱・桁の取付け

### 11-1 柱・桁の取付け

- (1) 28-54・32-60・63-60の場合  
34-60・38-60・32-74・63-74の水下側の場合  
※袖なしの場合です。



- ① 桁両端の桁取付金具に【18-7】で主柱を取付けてください。

#### ポイント

- ロープあるいは添え木を使用して主柱、機能柱を固定してください。
- 電動ドライバーを使用しないでください。

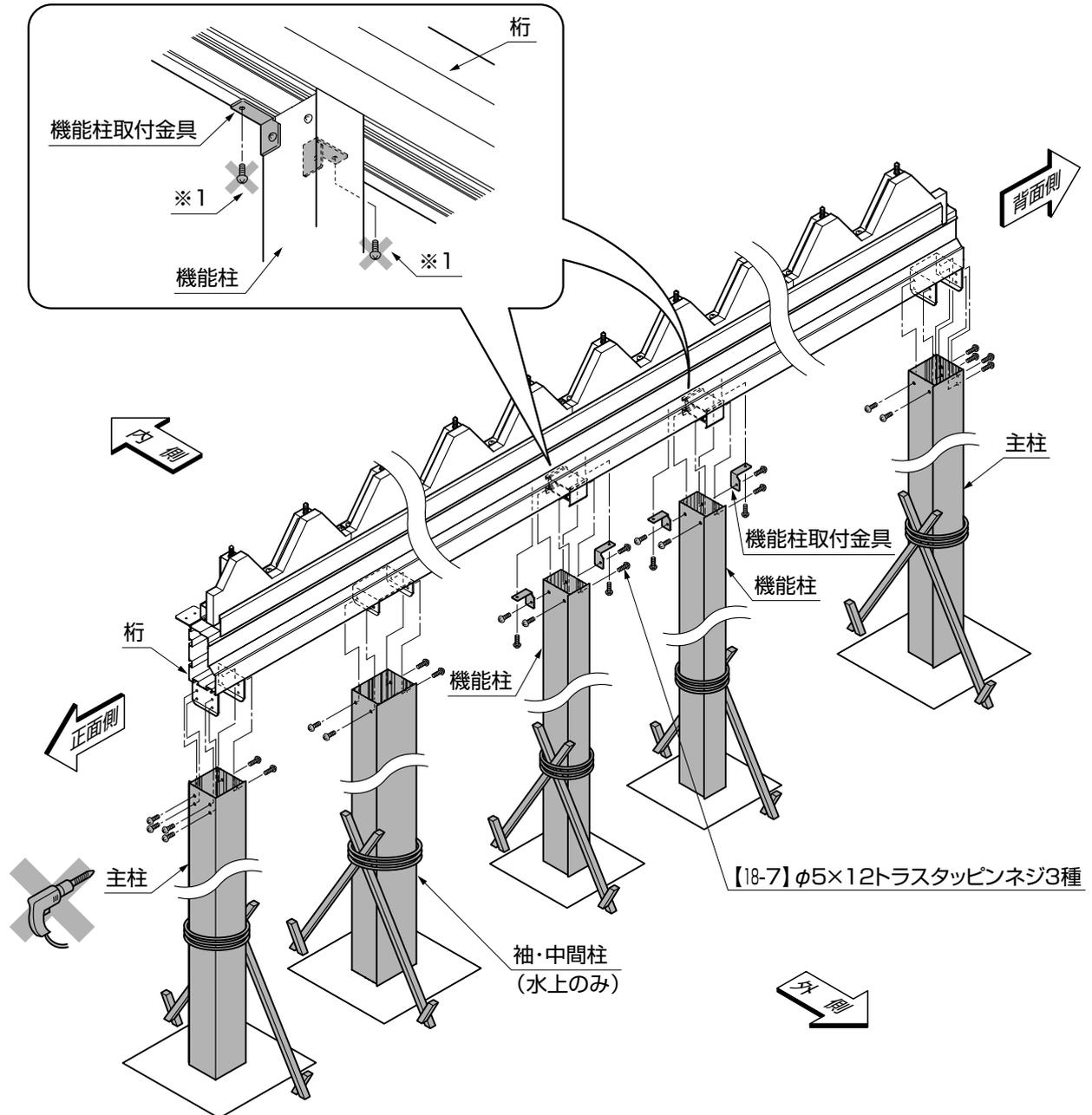
- ② 桁中央部の機能柱取付金具に【18-7】で機能柱を取付け、同時に機能柱取付金具を機能柱に取付けてください。

#### ポイント

- 機能柱取付金具と桁は「5 目隠材の取付け」で取付けますのでここでは取付けないでください。(※1)

## (2) 34-60・38-60・32-74・63-74の水上側の場合

※袖ありの場合です。



- ①桁両端の桁取付金具に【18-7】で主柱を取付けてください。
- ②正面側の中間柱取付金具に【18-7】で袖・中間柱を取付けてください。

### ポイント

- 袖・中間柱は、桁水上用のみです。袖中間柱は正面側に取付けてください。
- ロープあるいは添え木を使用して主柱、機能柱を固定してください。
- 電動ドライバーを使用しないでください。

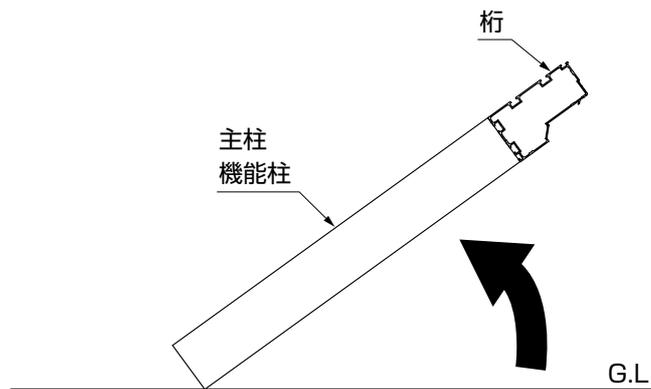
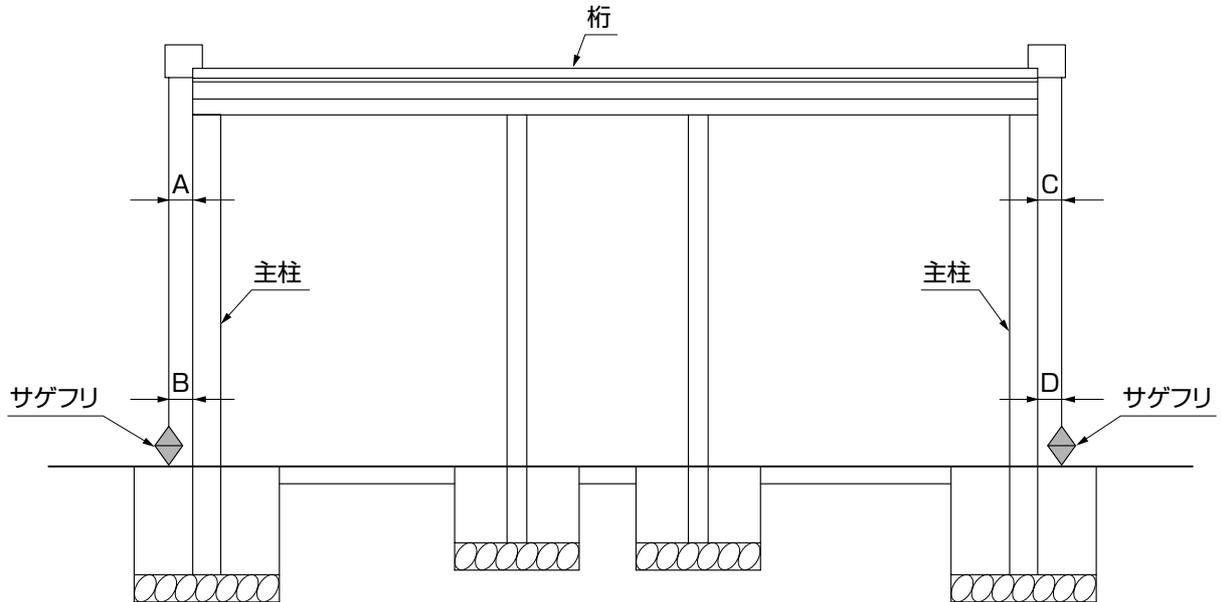
- ③桁中央部の機能柱取付金具に【18-7】で機能柱を取付け、同時に機能柱取付金具を機能柱に取付けてください。

### ポイント

- 機能柱取付金具と桁は「5 目隠材の取付け」で取付けますのでここでは取付けないでください。(※1)

## 11. (つづき)

### 11-2 柱の倒れ



①測定はサゲフリを使用して、主柱の上端と下端、A部とB部、C部とD部を測定してください。

#### ポイント

- 柱の倒れは±3mmの範囲にしてください。
- 主柱の上端と下端の相対寸法差が3mmを超えた場合、シャッターが取付けられなかったり、シャッター取付け後に異音やキズが発生して正常に作動しなくなる場合があります。

#### 補足

- 組立てるスペースがある場合は、G.Lで主柱・機能柱を桁に取付けてから立てる方が施工しやすくなります。

## 12. 前後梁の取付け

### 12-1 W28・32・34・63の場合

※袖なしの場合です。

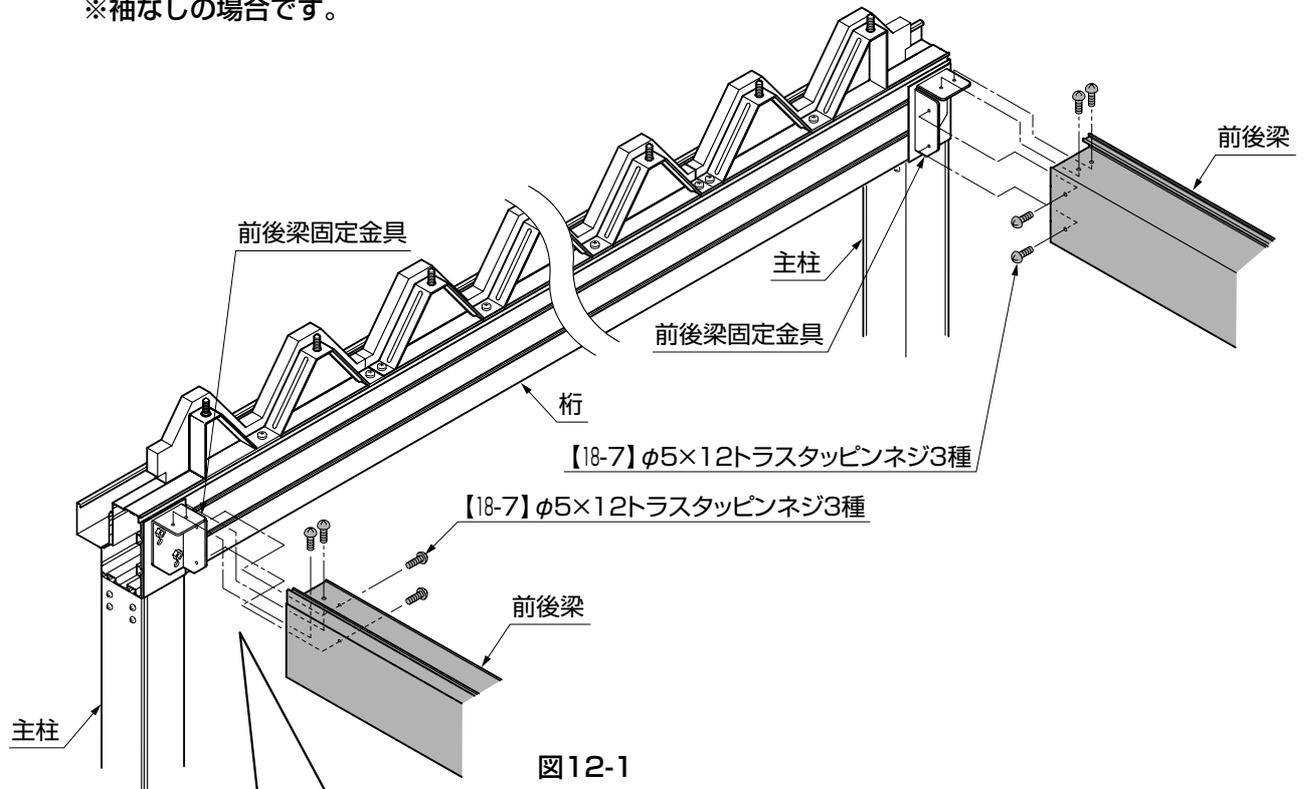


図12-1

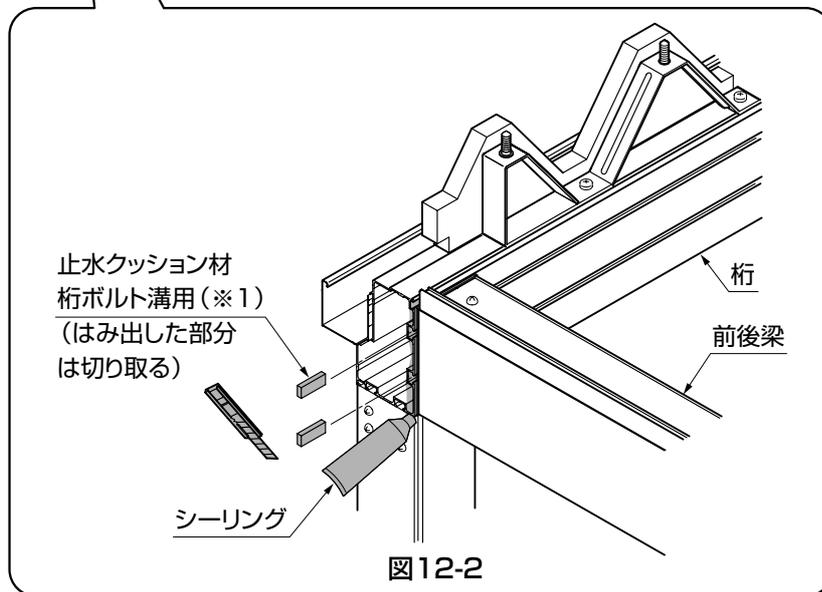


図12-2

①桁に取付けた前後梁固定金具に【18-7】で前後梁を取付けてください。(図12-1参照)

#### 🔑ポイント

●電動ドライバーは使用しないでください。

②前後梁を取付けた後に、止水クッション材桁ボルト溝用を桁のボルト溝部に入れ、桁との接着面にシーリングをしてください。(図12-2参照)

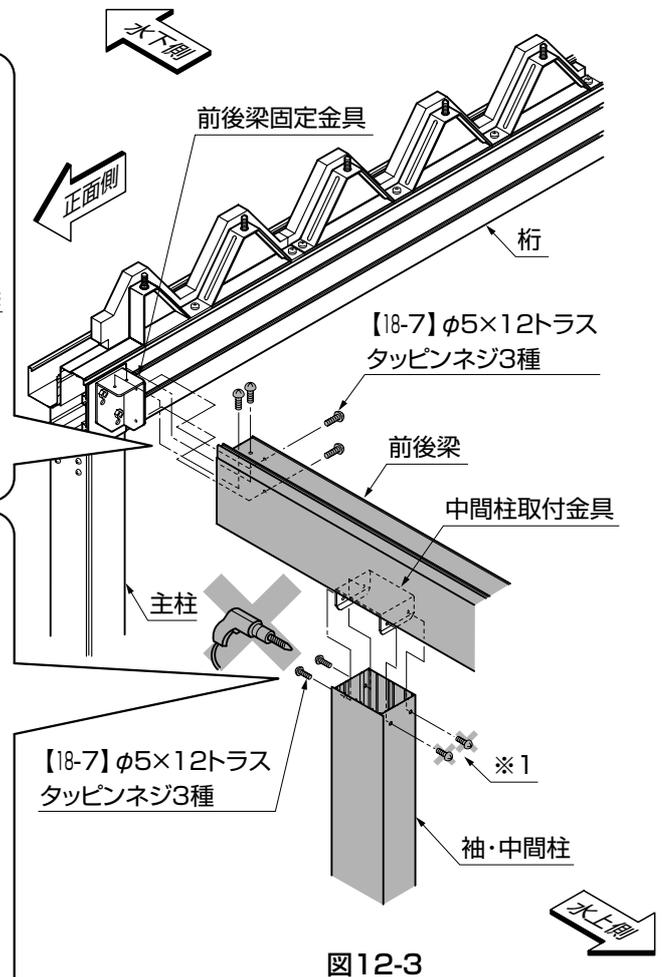
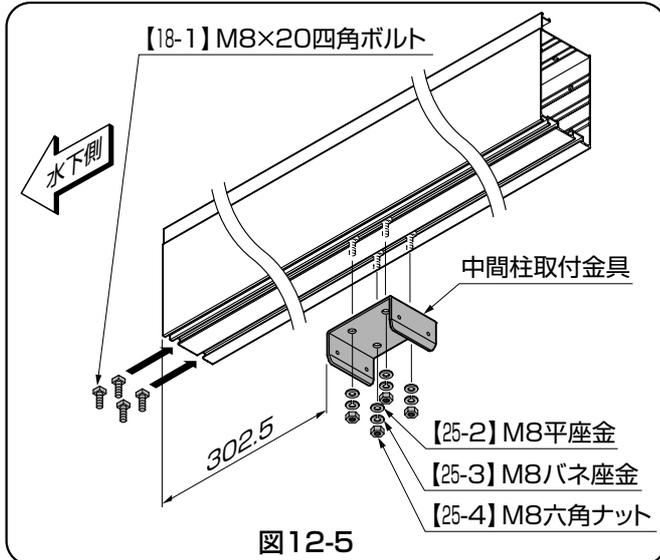
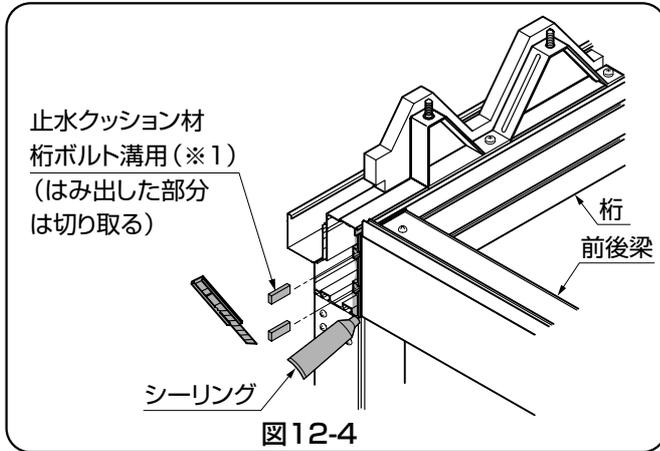
#### 🔑ポイント

●桁からはみ出した止水クッション材桁ボルト溝用は切り取ってください。(※1)

## 12. (つづき)

### 12-2 W38の場合

※袖ありの場合です。



- ①前後梁に底面に【25-1】をスライドさせて入れ、中間柱取付金具を【25-2】、【25-3】、【25-4】で取付けてください。(図12-5参照)

#### ポイント

- 中間柱取付金具は正面水下側に取付けてください。

- ②前後梁に取付けた中間柱取付金具に袖と中間柱を取付けてください。(図12-3参照)  
③桁に取付けた前後梁固定金具に【18-7】で前後梁を取付けてください。(図12-3参照)

#### ポイント

- 電動ドライバーは使用しないでください。
- 前後梁と袖・中間柱の水上側の取付けは、「10 シャッター取付部材の取付け」で取付けますのでここでは取付けしないでください。(※1)

- ④前後梁を取付けた後に、止水クッション材桁ボルト溝用を桁のボルト溝部に入れ、桁との接着面にシーリングをしてください。(図12-4参照)

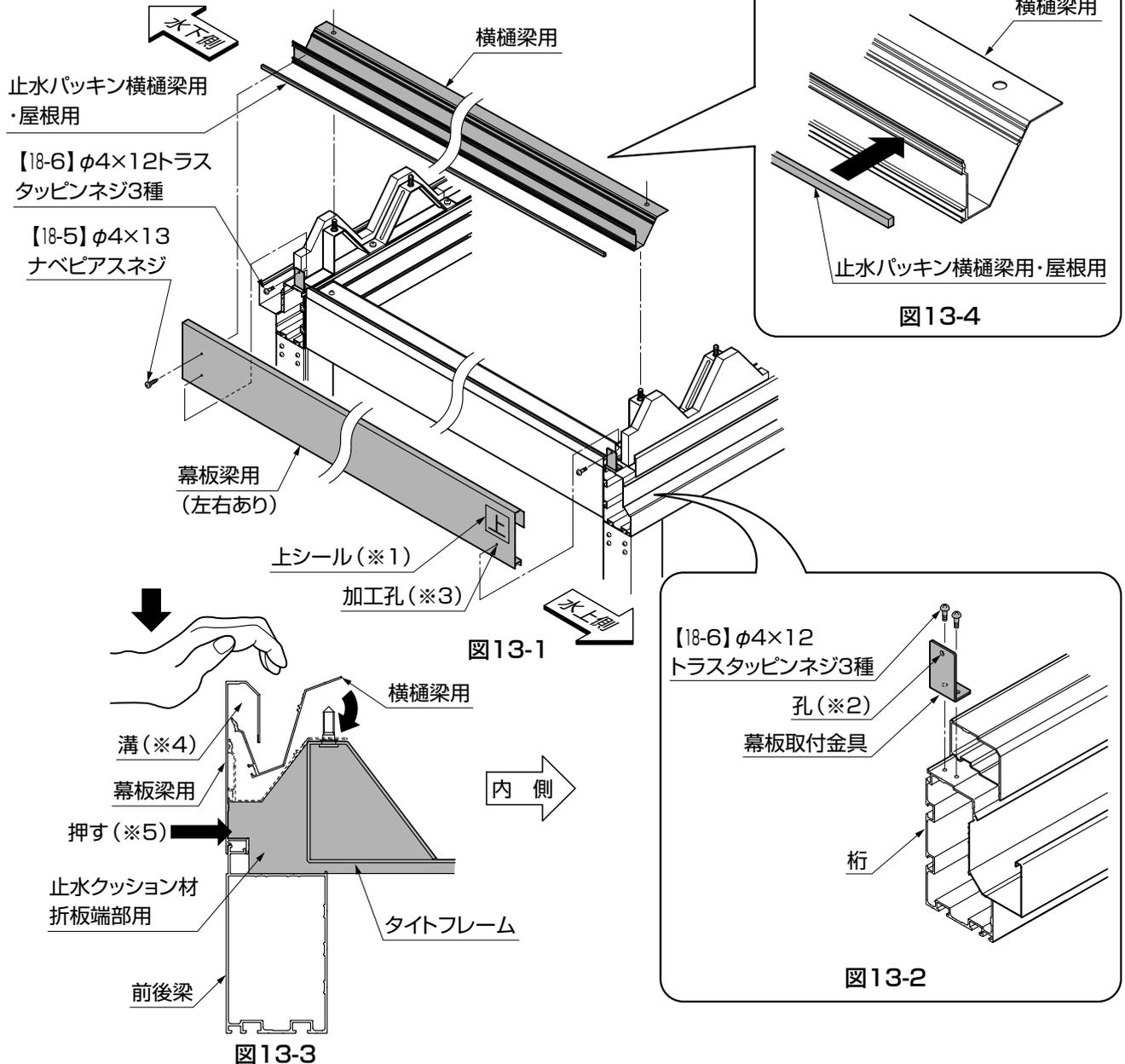
#### ポイント

- 桁からはみ出した止水クッション材桁ボルト溝用は切り取ってください。(※1)

## 13. 横樋梁用・幕板梁用の取付け

### 13-1 W28・32・34・38の場合

※標準の場合です。



- ①幕板取付金具を桁に【18-6】で取付けてください。(図13-2参照)
- ②幕板梁用の下部を前後梁上部にはめて、幕板取付金具に【18-6】で取付けてください。(図13-3参照)
- ③横樋梁用に止水パッキン横樋梁用・屋根用を取付けてください。
- ④横樋梁用の孔をタイトフレーム端部のネジ部に挿入してください。(図13-1参照)
- ⑤幕板梁用と横樋梁用を【18-5】で取付けてください。

#### ポイント

- 幕板梁用の シールを水上側に向けて取付けてください。(※1)
- 幕板梁用を上から手で押さえて幕板取付金具の孔(※2)と幕板梁用の加工孔(※3)の取付け位置を合わせて取付けてください。
- 横樋梁用を幕板梁用の溝(※4)に入れるように取付けてください。
- 止水クッション材折板端部用を内側に押し変形させて取付けてください。(※5)

## 13. (つづき)

### 13-2 W63の場合

※横延長の場合です。

#### (1) 横樋梁用の取付け

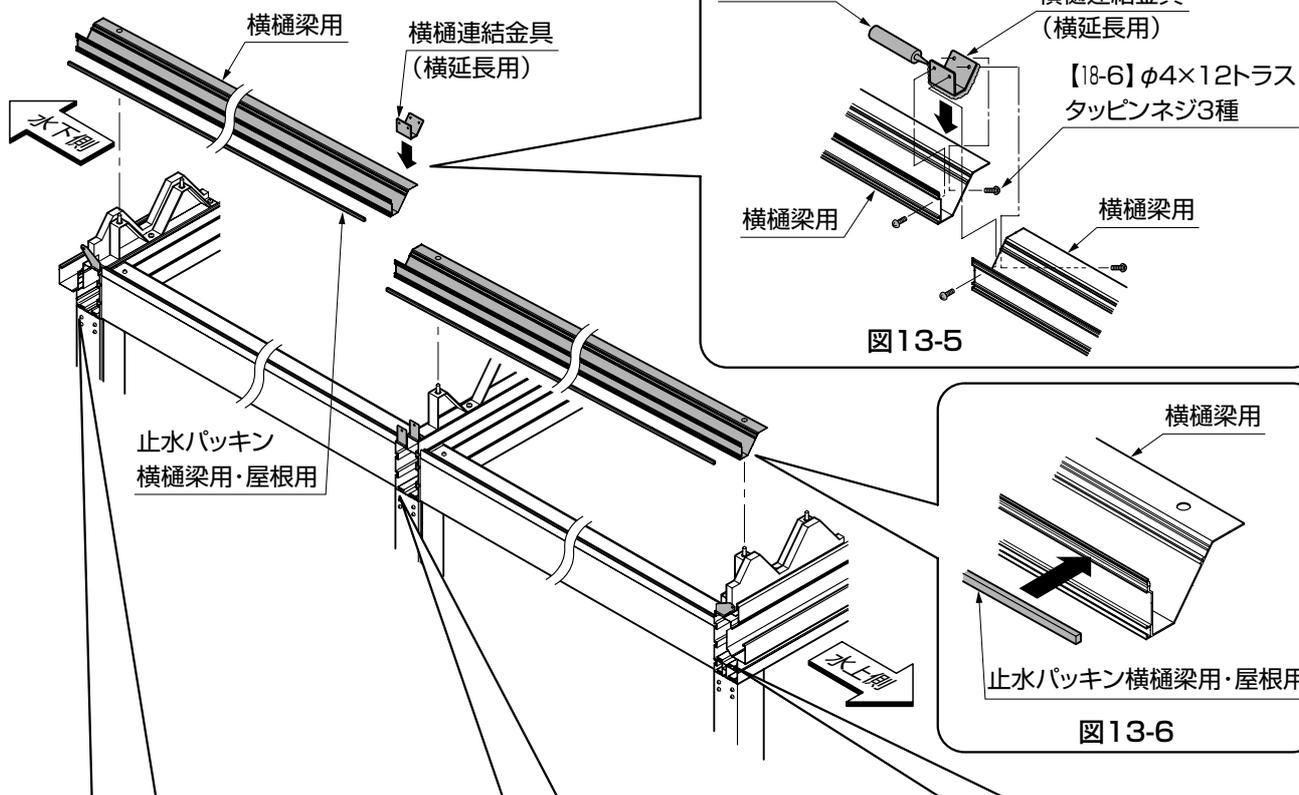


図13-5

図13-6

【18-6】φ4×12トラス タッピンネジ3種

幕板取付金具  
(横延長用左)

桁

図13-7

【18-6】φ4×12トラス タッピンネジ3種

幕板取付金具

桁

図13-8

【18-6】φ4×12トラス タッピンネジ3種

幕板取付金具  
(横延長用右)

桁

図13-9

- ①幕板取付金具を桁に【18-6】で取付けてください。(図13-7、図13-8、図13-9参照)
- ②横樋梁用に止水パッキン横樋梁用・屋根用を取付けてください。(図13-6参照)
- ③横樋梁用を横樋連結金具を使い【18-6】で連結してください。(図13-5参照)

#### ポイント

- 横樋連結金具にシーリングをしてください。(図13-5参照)
  - 幕板取付金具(横延長用)は左右があります。ご注意ください。(図13-7、図13-8、図13-9参照)
- ④横樋梁用の孔をタイトフレーム端部のネジ部に挿入してください。

## (2) 幕板梁用の取付け

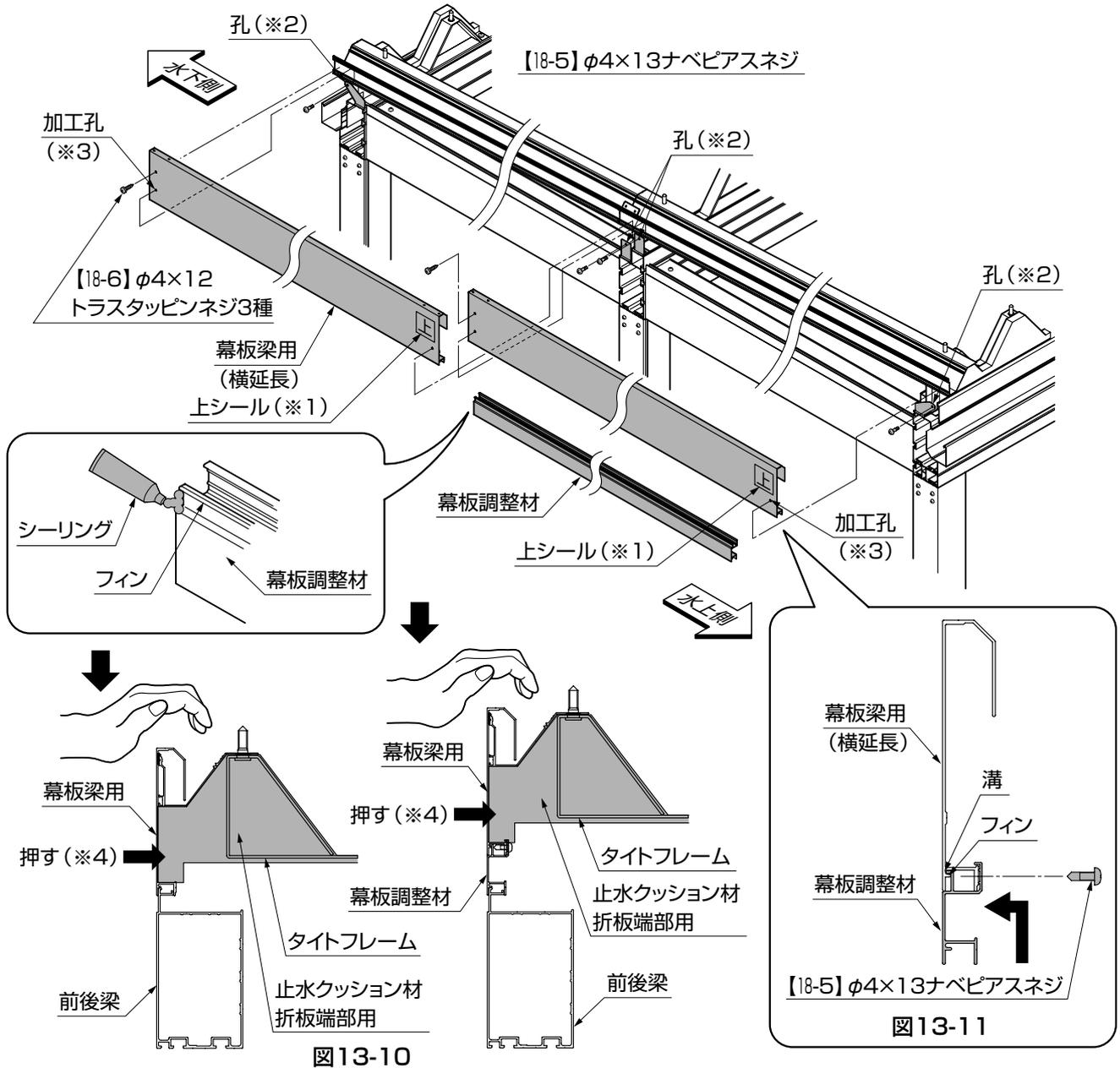


図13-10

図13-11

①水上側の幕板梁用に幕板調整材を【18-5】で取付けてください。

### ポイント

- 幕板調整材の水下側のフィン部にシーリングをしてください。
- 幕板梁用の溝に幕板調整材のフィンを引っ掛けるように取付けてください。(図13-11参照)

②幕板梁用の下部を前後梁上部にはめて、幕板取付金具に【18-6】で取付けてください。(図13-10参照)

③幕板梁用と横縫梁用を【18-5】で取付けてください。

### ポイント

- 幕板梁用の  シールを水上側に向けて取付けてください。(※1)
- 幕板梁用を上から手で押さえて幕板取付金具の孔(※2)と幕板梁用の加工孔(※3)の取付け位置を合わせて取付けてください。
- 止水クッション材折板端部用を内側に押し変形させて取付けてください。(※4)

# 14. 採光梁・中骨の取付け

## 14-1 採光梁の取付け

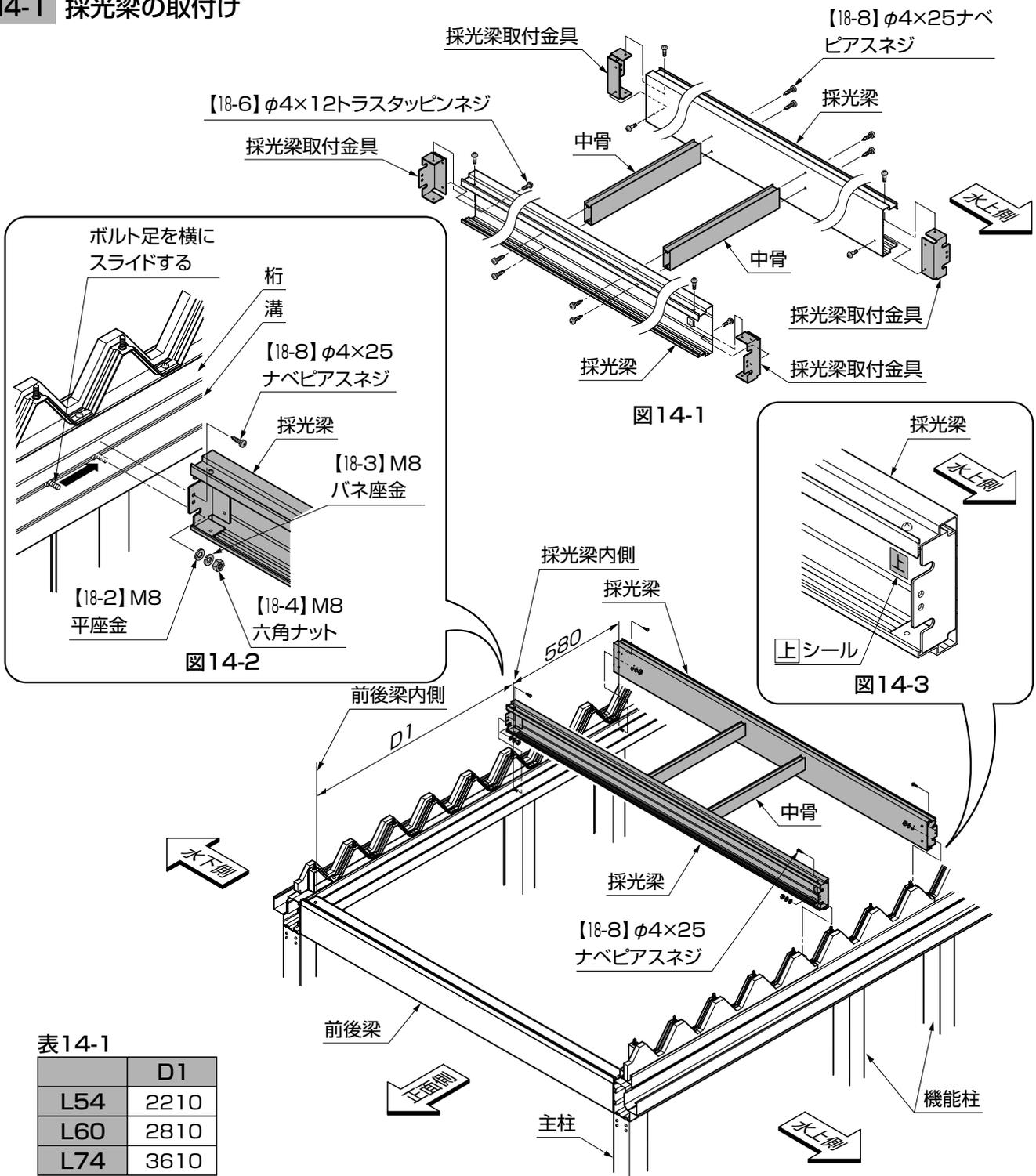


表14-1

	D1
L54	2210
L60	2810
L74	3610

- ①採光梁に【18-6】で採光梁取付金具を取付けてください。(図14-1参照)
- ②中骨を採光梁に【18-8】で取付けてください。(図14-1参照)
- ③採光梁を桁に【18-2】、【18-3】、【18-4】、【18-8】で組付けてください。(図14-2参照)

### ポイント

- 採光梁の $\square$ シールを水上側に取付けてください。(図14-3参照)
- ボルトを桁溝に外からスライドして採光梁を取付けてください。

## 14-2 採光梁カバーの取付け

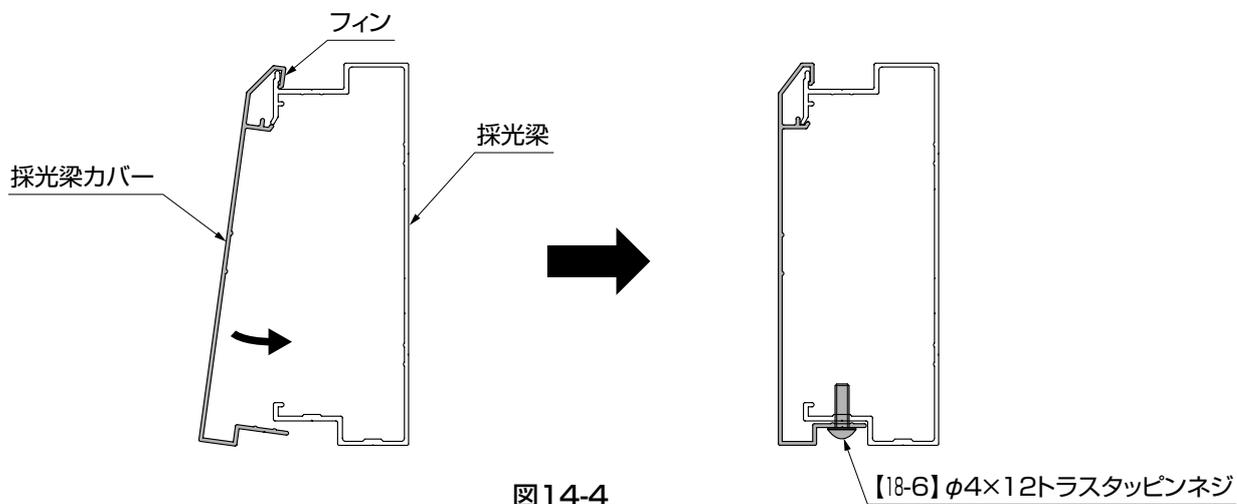


図14-4

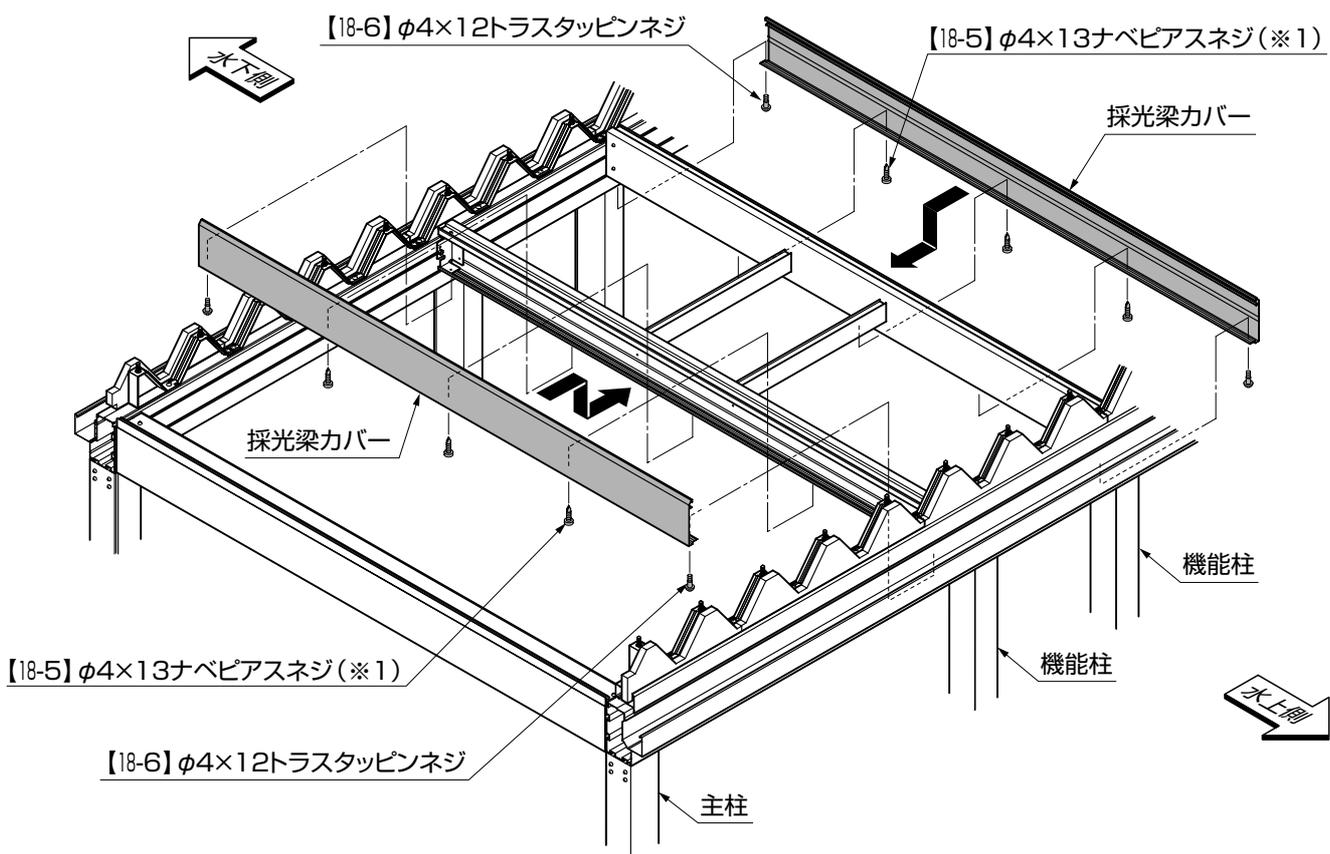


図14-5

- ① 採光梁カバーを採光梁に【18-6】で組付けてください。(図14-4参照)
- ② 組付けた採光梁の下12ヶ所を【18-5】で組付けてください。(図14-5参照)

### 🔑 ポイント

- 採光梁桁側端部と採光梁中央部は、それぞれ取付ネジが異なります。(※1)
- 採光梁カバーのフィンを採光梁のフィンに引っ掛けるように取付けてください。(図14-4参照)

## 14. (つづき)

### 14-3 止水クッション材の取付け

※W63横延長のみの取付けです。

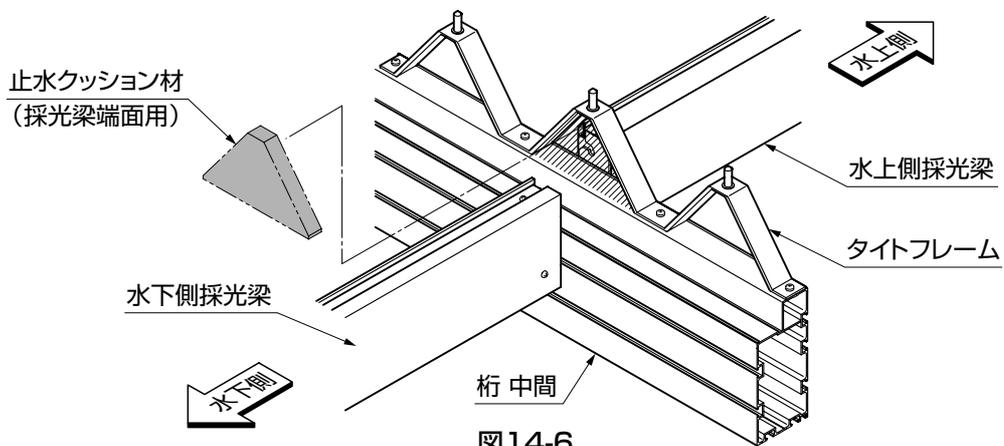


図14-6

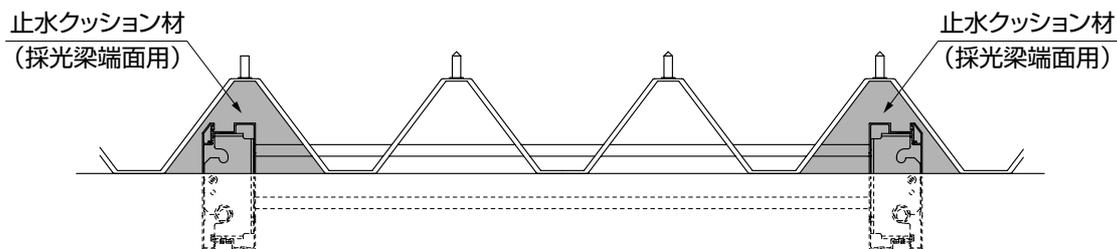


図14-7

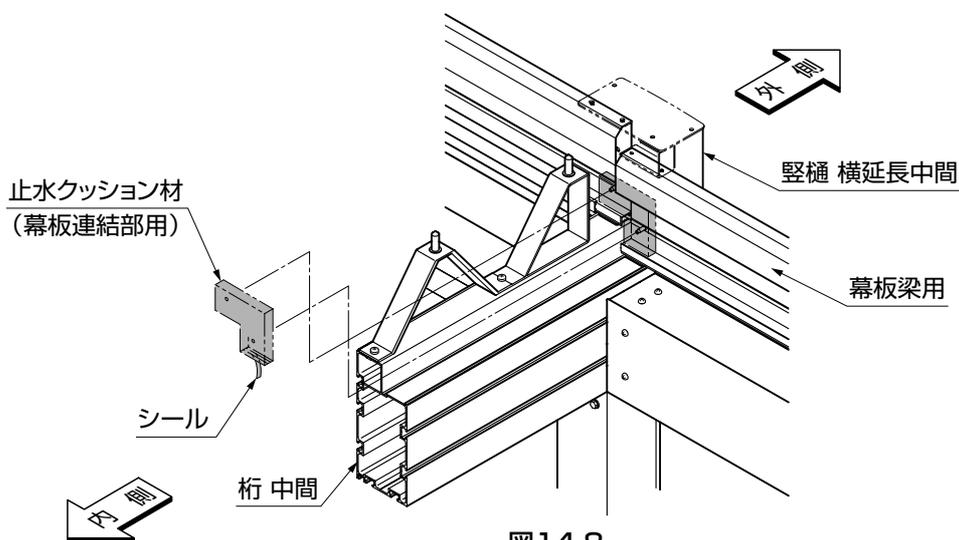


図14-8

① 桁 中間の採光梁取付け部に止水クッション材 (採光梁端面用) を取付けてください。(図14-7参照)

#### ポイント

● 止水クッション材はタイトフレームと桁 中間の間に入れてください。(図14-6参照)

② 幕板梁用の内側から止水クッション材 (幕板連結部用) を取付けてください。(図14-8参照)

#### 補足

● 止水クッション材の下面のシールをはがしてから取付けてください。

## 15. 追加梁の取付け オプション

### 15-1 追加梁の取付け

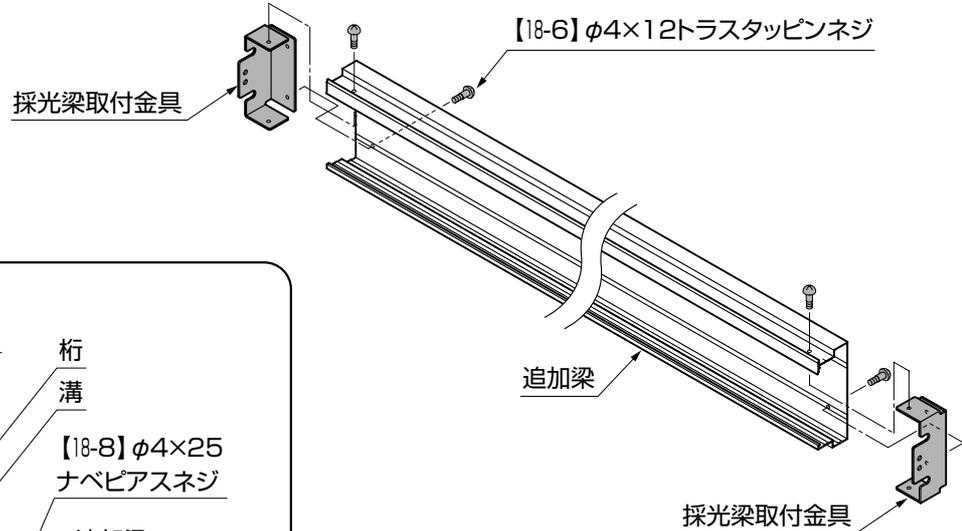


図15-1

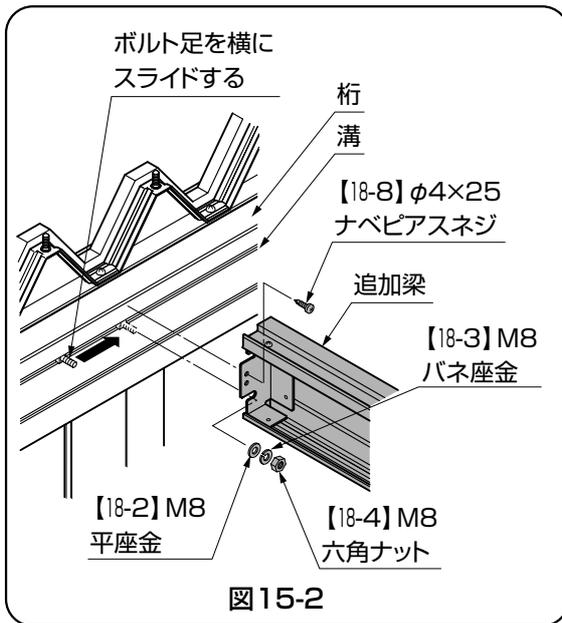
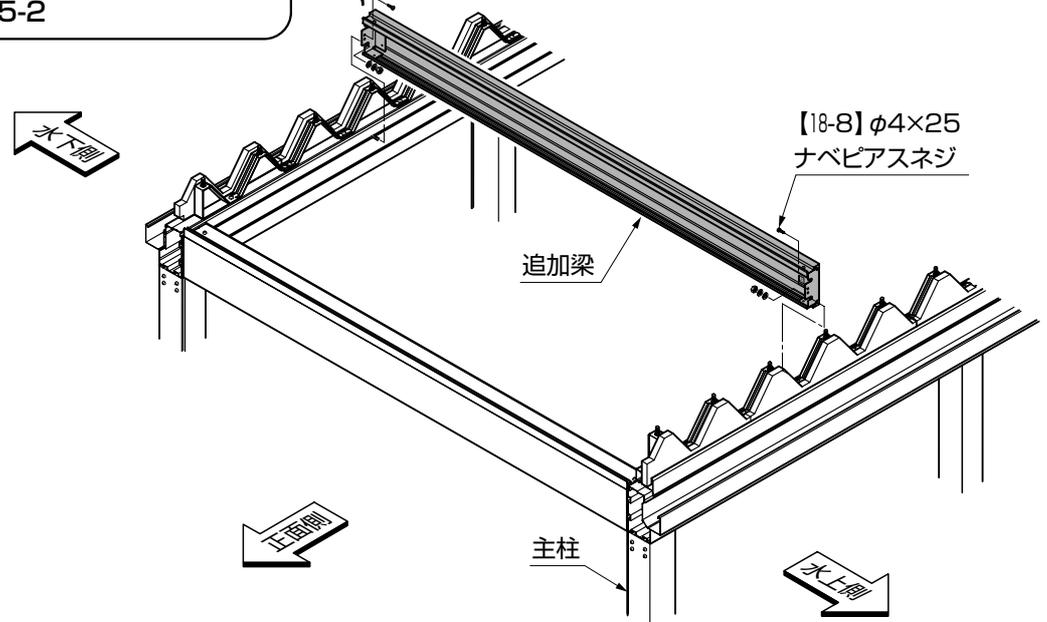


図15-2



- ①追加梁に【18-6】で採光梁取付金具を取付けてください。(図15-1参照)
- ②追加梁を桁に【18-2】、【18-3】、【18-4】、【18-8】で組付けてください。(図15-2参照)

#### 🔑ポイント

- ボルトを桁溝に外からスライドして追加梁を取付けてください。

## 15. (つづき)

### 15-2 採光梁カバーの取付け

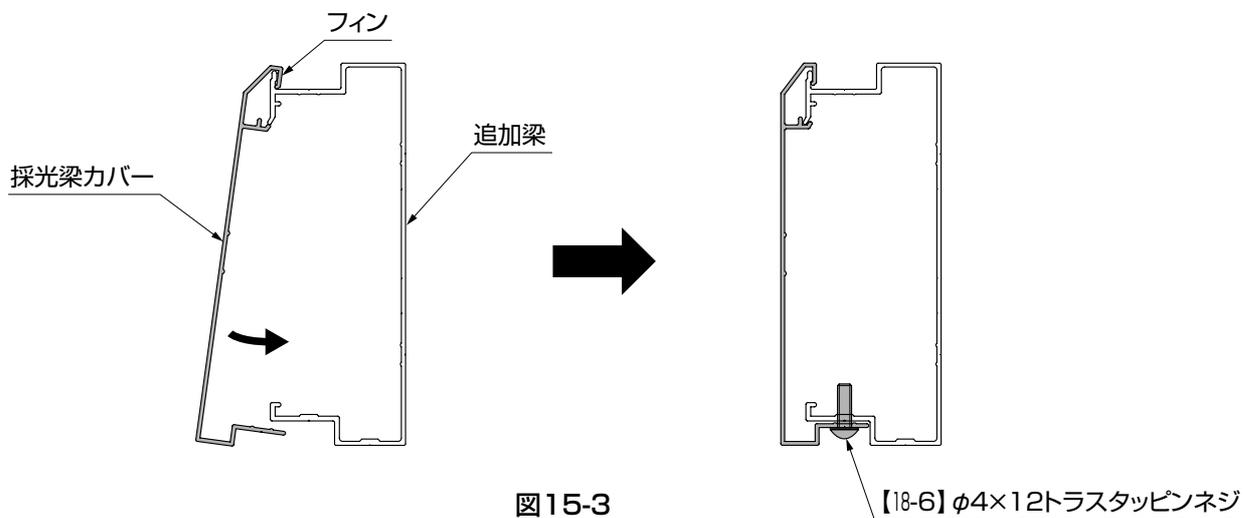


図15-3

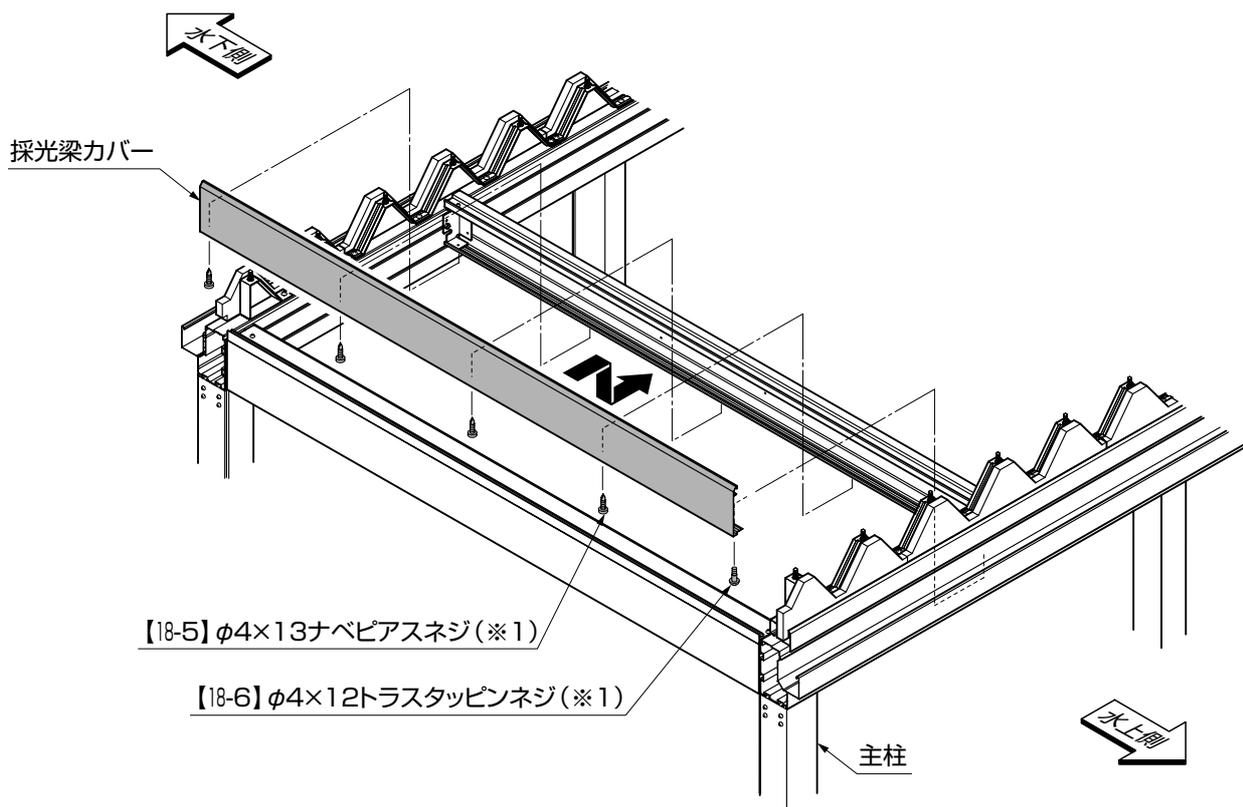


図15-4

- ① 採光梁カバーを追加梁に【18-6】で組付けてください。(図15-3参照)
- ② 組付けた追加梁の下12ヶ所を【18-5】で組付けてください。(図15-4参照)

#### ポイント

- 追加梁側端部と追加梁中央部は、それぞれ取付ネジが異なります。(※1)
- 採光梁カバーのフィンを追加梁のフィンに引っ掛けるように取付けてください。(図15-3参照)

## 16. 屋根材の取付け

### 16-1 屋根材の納まり

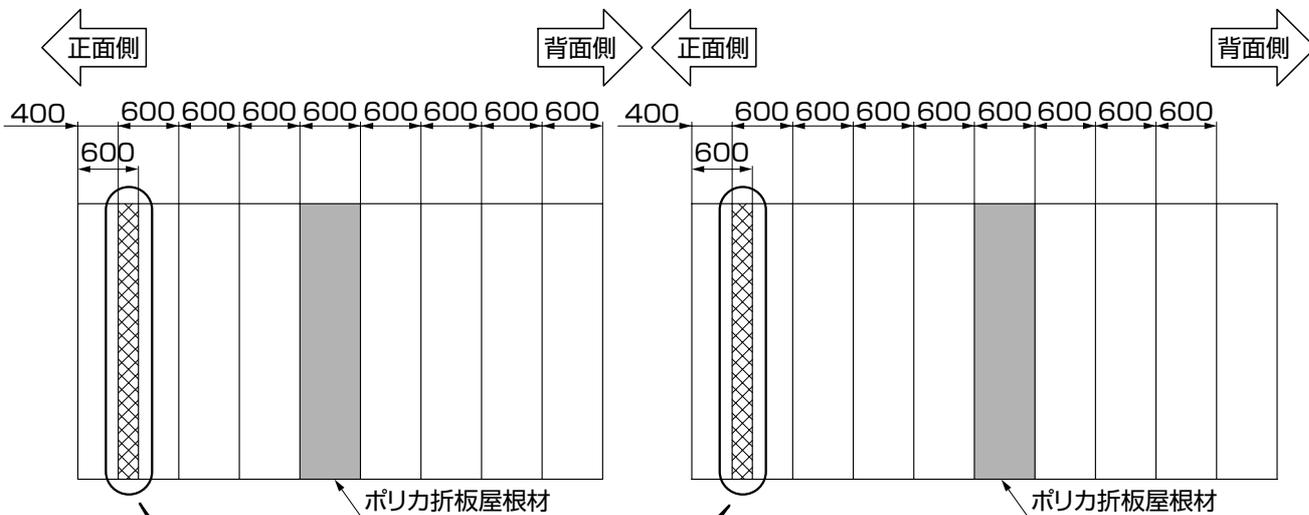


図13-1 L54の場合

図13-2 L60の場合

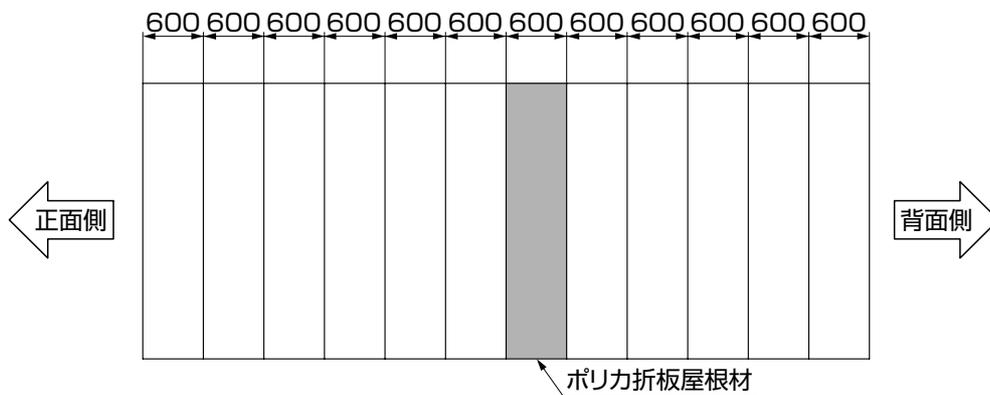
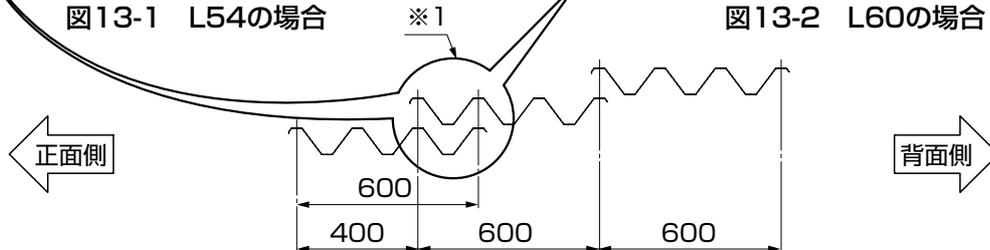
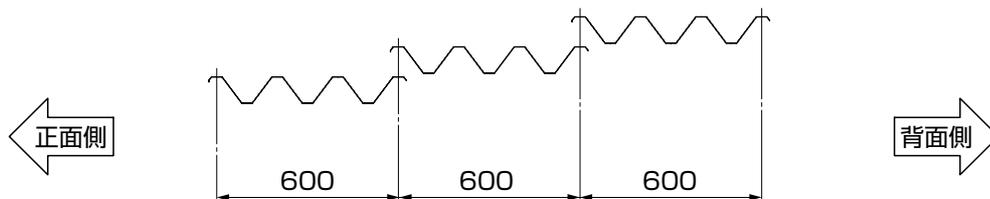


図13-3 L74の場合



①ポリカ折板屋根材の位置と2山重ねの位置を確認してください。

**ポイント**

- L54、L60の場合、正面から2枚目のみ2山重ねてください。(※1)

## 16. (つづき)

### 16-2 W28・32・34・38の場合

※標準の場合です。

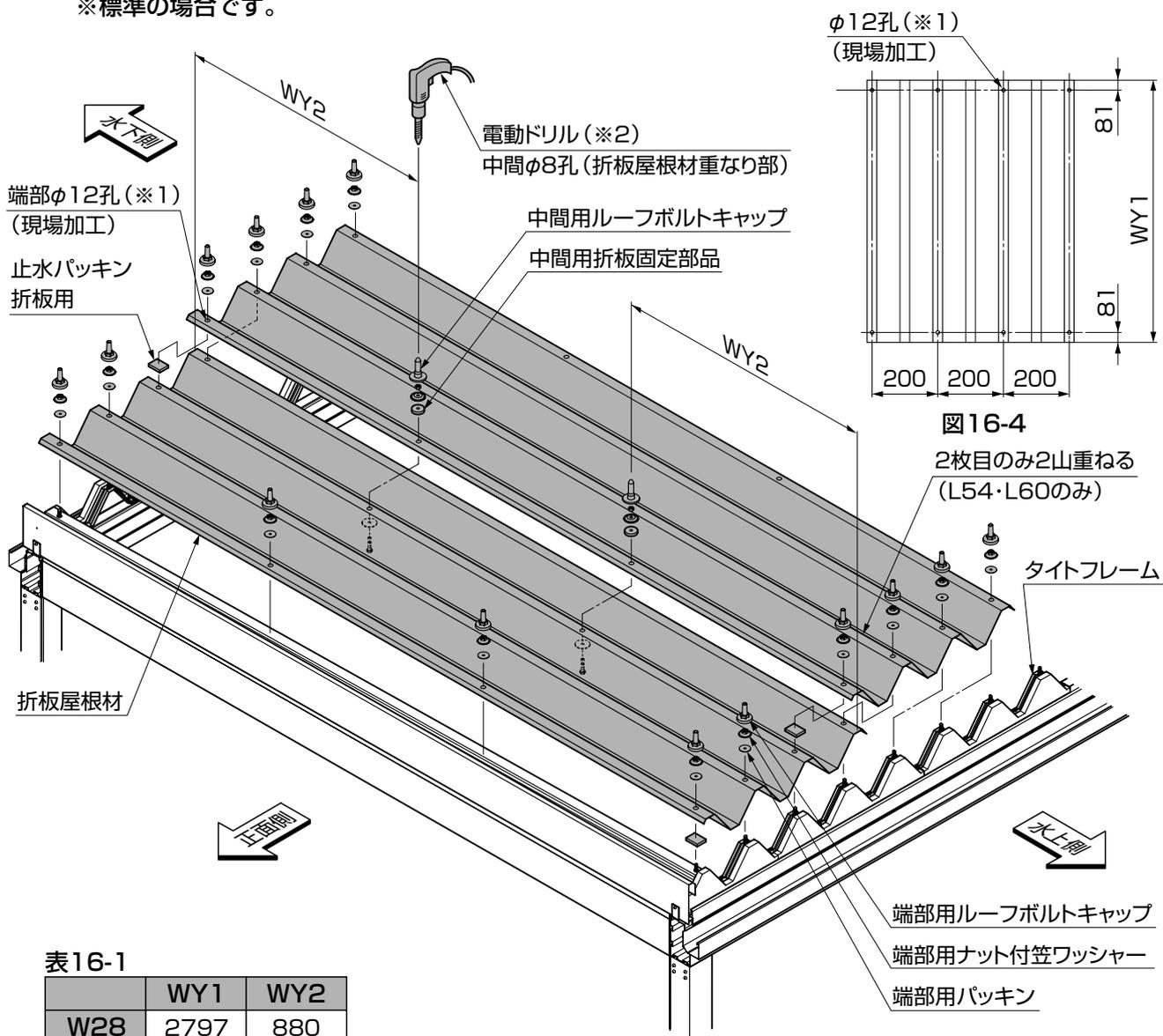


図16-4  
2枚目のみ2山重ねる  
(L54・L60のみ)

図16-5

表16-1

	WY1	WY2
W28	2797	880
W32	3197	1010
W34	3397	1080
W38	3797	1210

- ①折板屋根材の両端部に4ヶ所、 $\phi 12$ の孔(※1)をあけてください。(図16-4参照)
- ②タイトフレームから出ているネジ部に折板屋根材端部の孔を合わせて、折板屋根材を乗せてください。(図16-5参照)
- ③折板屋根材の重ね合わせ部に止水パッキン折板用を貼付けてください。(図16-6参照)
- ④折板屋根材端部を端部用固定部品で組付けてください。(図16-5参照)

#### ポイント

- 折板屋根材端部形状には、上・下がありますので、図にしたがって重ねあわせてください。(図16-8参照)
- 折板屋根材の下孔加工時の切粉は掃除機等で完全に取除いてください。サビの原因になります。

#### 補足

- 中間用折板固定部品は折板屋根材取付け1枚毎に取付けてください。

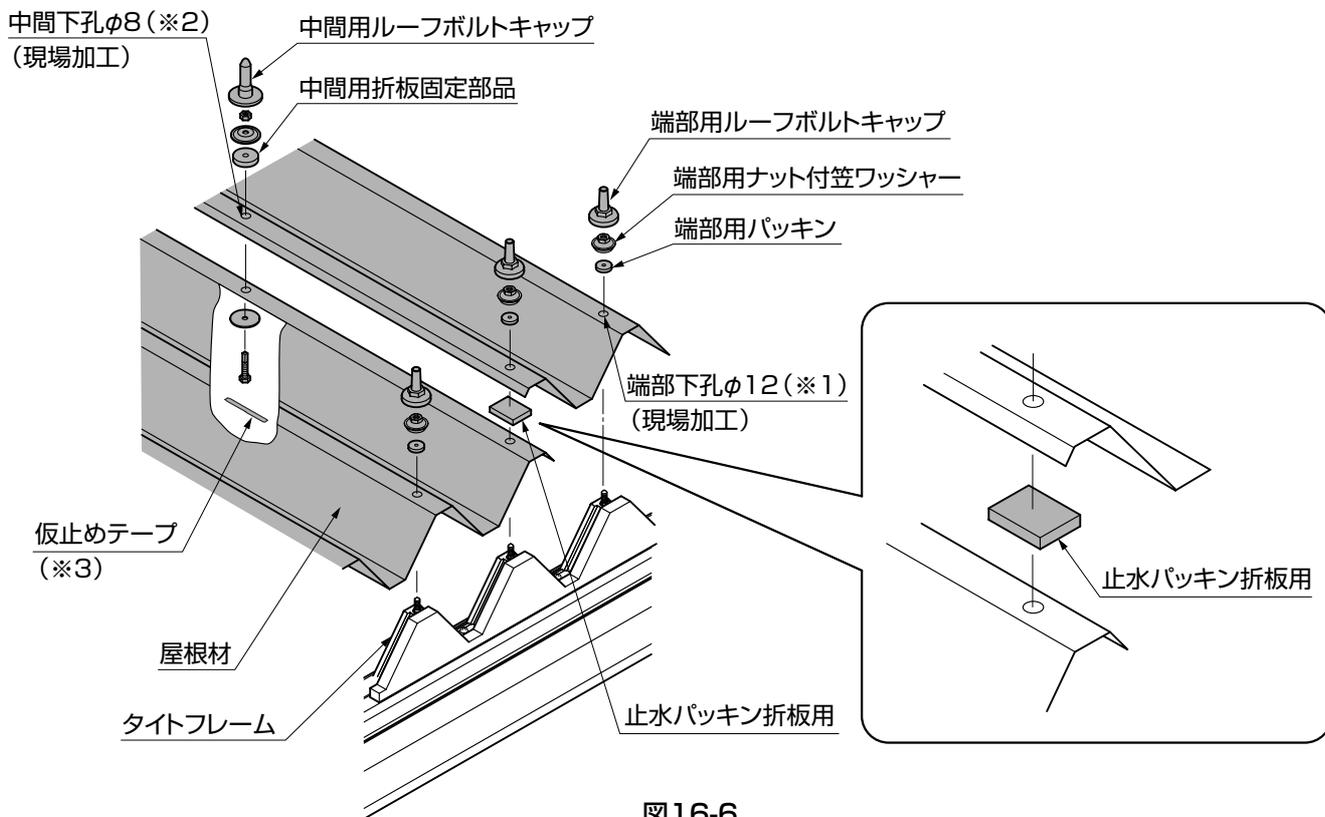


図16-6

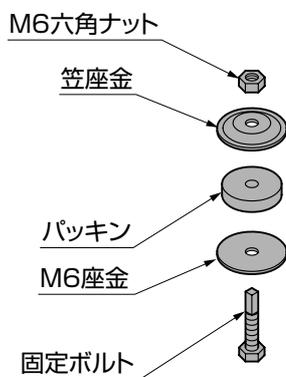


図16-7  
中間用折板固定部品

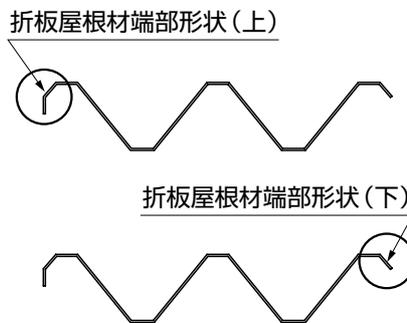


図16-8  
折板屋根材端部形状

- ⑤横樋梁用・折板屋根材の重ね合わせ部の中央に等間隔で2ヶ所、φ8(※2)の下孔をあけてください。(図16-6参照)
- ⑥下から中間用折板固定部品の固定ボルトを差込んでください。(図16-6、図16-7参照)

**ポイント**

- L54、L60の場合正面側から2枚目のみ2山重ねてください。(図16-5参照)
- ポリカ折板屋根材の取付位置は「16-1 屋根材の納まり」を参照してください。
- 中間用折板固定部品の取付けピッチは表16-1を参照してください。
- 折板屋根材下孔加工時の切粉は掃除機等で完全に取除いてください。サビの原因になります。

**補足**

- 下から差込んだ固定ボルトが落下しないように仮止めテープで仮止めしてください。(※3)
- ⑦中間用折板固定部品の部品すべてをM6用六角ナットで固定して、仮止めテープをはがしてください。

## 16. (つづき)

### 16-3 W63の場合

※横延長の場合です。

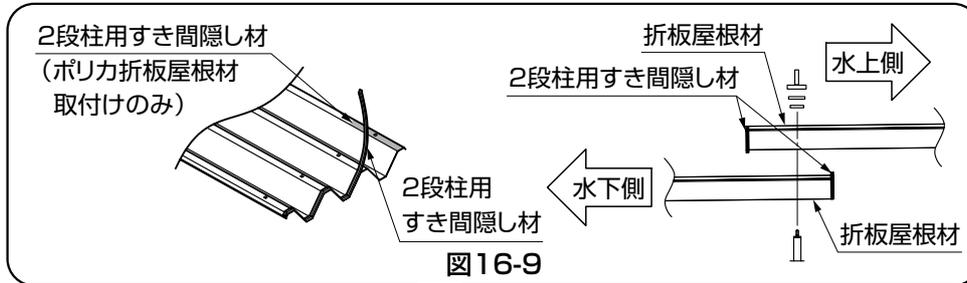


図16-9

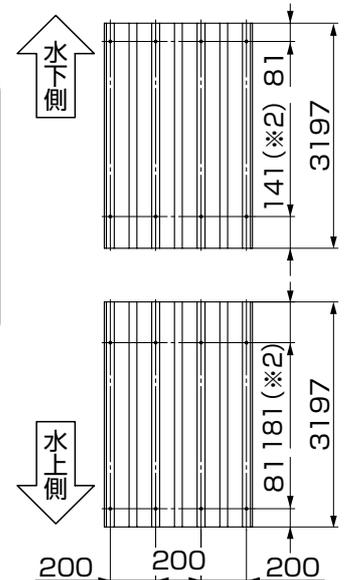


図16-10

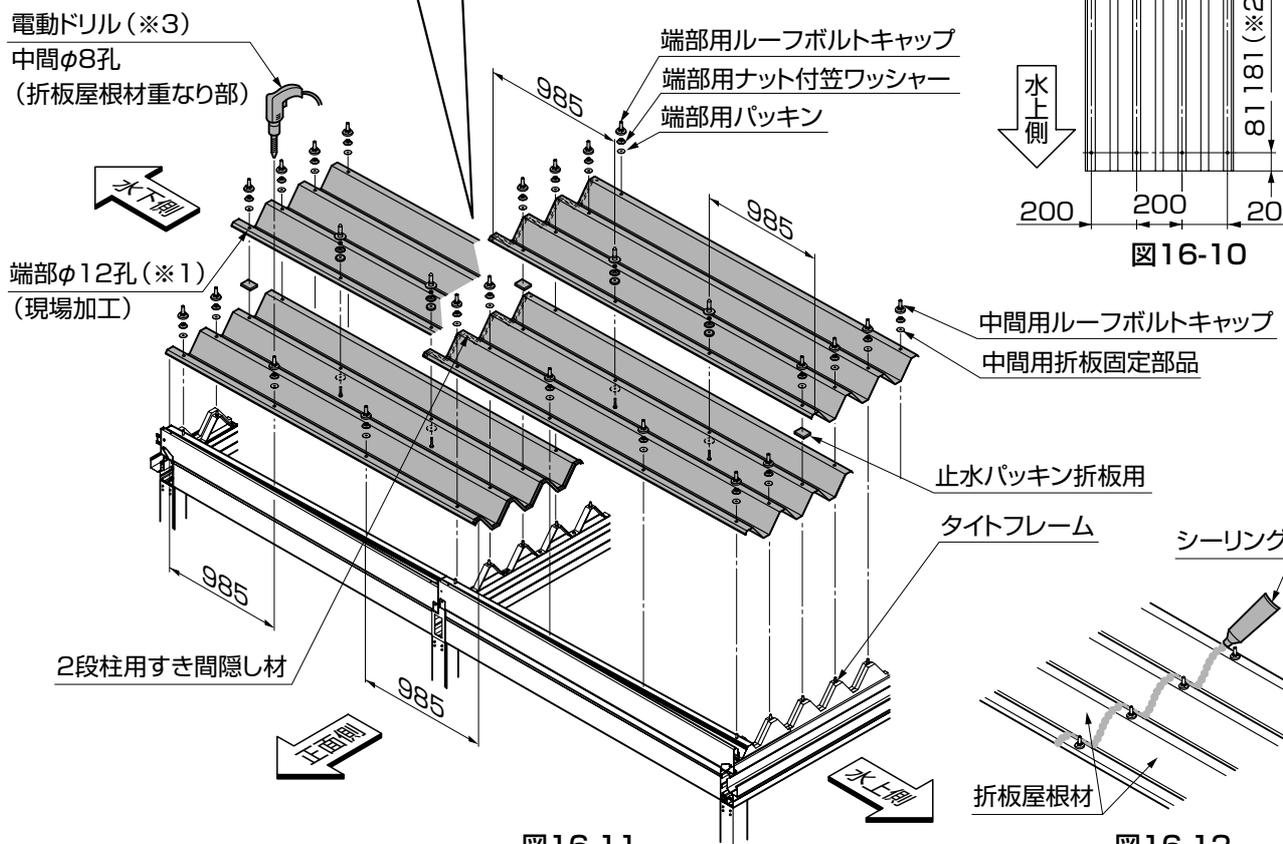


図16-11

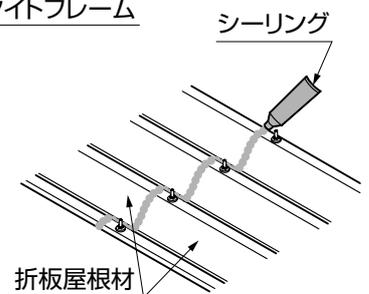


図16-12

- ① 折板屋根材の両端部に4ヶ所、φ12の孔(※1)をあけてください。(図16-10参照)
- ② タイツフレームから出ているネジ部に折板屋根材端部の孔を合わせて、折板屋根材を乗せてください。(図16-11参照)
- ③ 折板屋根材の重ね合わせ部に止水パッキン折板用を貼付けてください。(図16-12参照)
- ④ 折板屋根材端部を端部用固定部品で組付けてください。(図16-11参照)

#### ポイント

- 折板屋根材は水下側が下です。水上側が上になるように取付けてください。
- 折板屋根材の現場孔加工位置(※2)が異なります。ご確認ください。(図16-10参照)
- 折板屋根材端部形状には、上・下がありますので、図にしたがって重ねあわせてください。(図16-14参照)
- 折板屋根材下孔加工時の切粉は掃除機等で完全に取除いてください。サビの原因になります。
- 折板屋根材の重ねり位置にシーリングを行なってください。(図16-12参照)

#### 補足

- 中間用折板固定部品は折板屋根材取付け1枚毎に取付けてください。

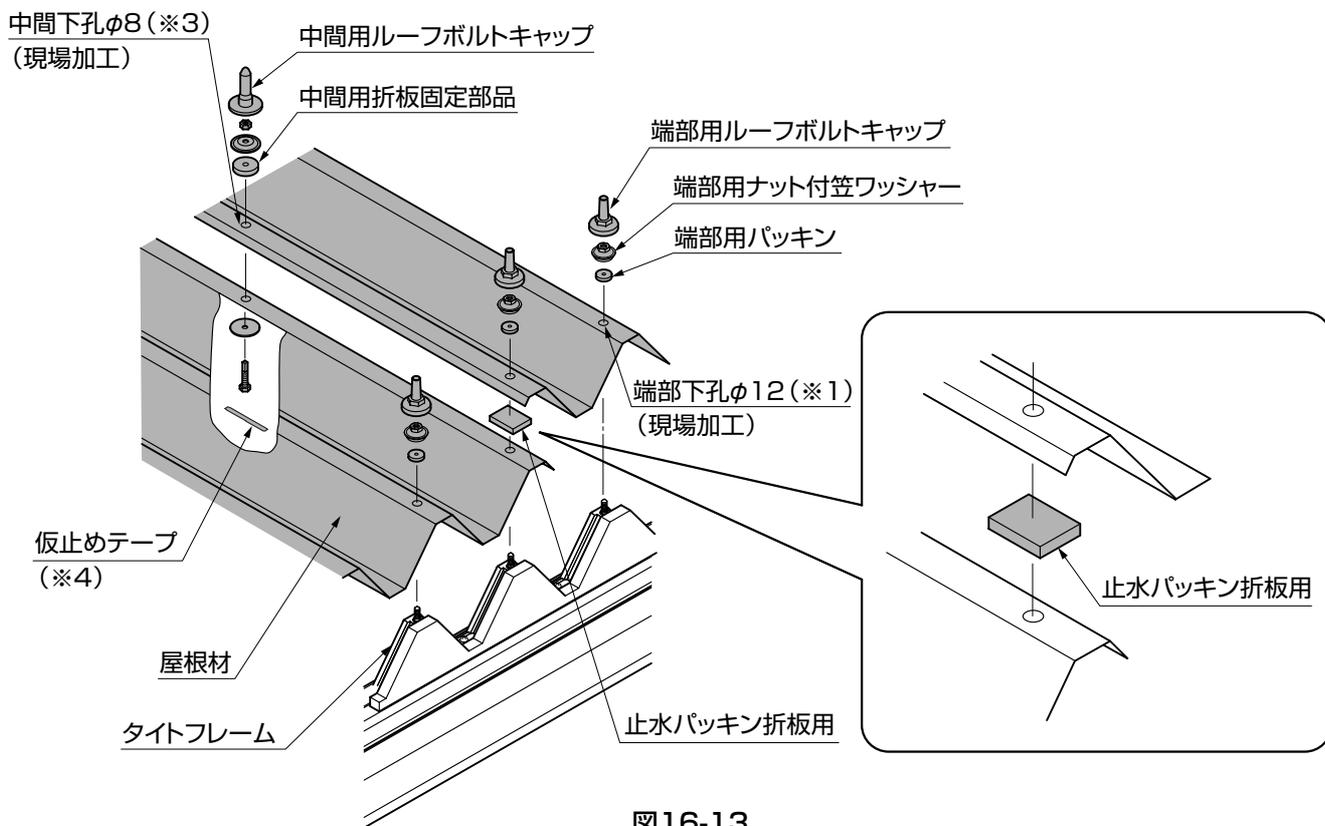


図16-13

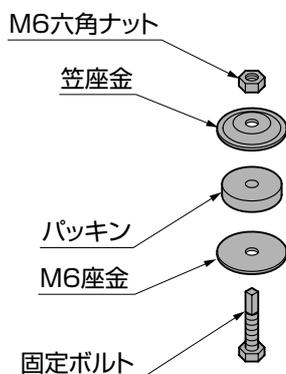


図16-14  
中間用折板固定部品

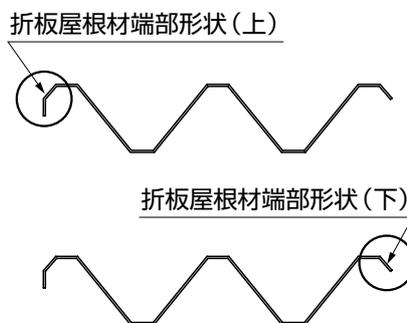


図16-15  
折板屋根材端部形状

- ⑤ 横樋梁用・折板屋根材の重ね合わせ部の中央に等間隔で2ヶ所、φ8の(※3)下孔をあけてください。(図16-10参照)
- ⑥ 下から中間用折板固定部品の固定ボルトを差込んでください。(図16-13、図16-14参照)

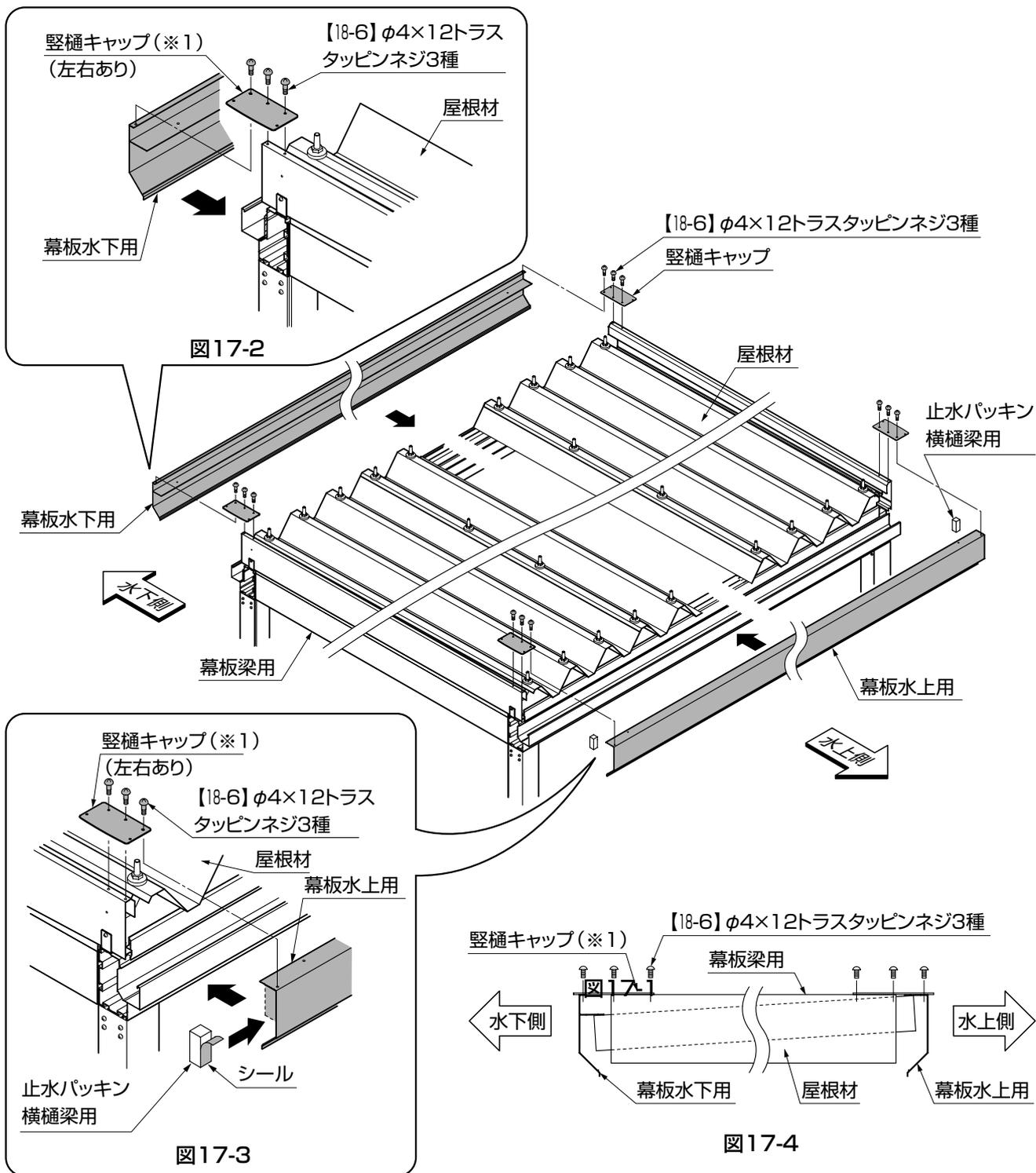
**ポイント**

- L54、L60の場合正面側から2枚目のみ2山重ねてください。(図16-11参照)
- ポリカ折板屋根材の取付位置は「16-1 屋根材の納まり」を参照してください。
- 中間用折板固定部品の取付けピッチは985です。
- 折板屋根材下孔加工時の切粉は掃除機等で完全に取除いてください。サビの原因になります。

**補足**

- 下から差込んだ固定ボルトが落下しないようにテープで仮止めしてください。(※4)
- ⑦ 中間用折板固定部品の部品すべてをM6用六角ナットで固定して、仮止めテープをはがしてください。

## 17. 幕板の取付け



- ① 縦樋キャップを幕板梁用に【18-6】で取付けてください。(図17-1参照)
- ② 幕板水用上の両端上方の内側に止水パッキン横樋梁用を貼付けてください。(図17-3参照)
- ③ 幕板水用上を縦樋キャップに【18-6】で取付けてください。(図17-3参照)
- ④ 幕板水用下用を縦樋キャップに【18-6】で取付けてください。(図17-2参照)

### ポイント

- 幕板水用上・幕板水用下用の取付け位置を確認してください。(図17-4参照)
- 縦樋キャップ(※1)には左右があります。(図17-2、図17-3参照)

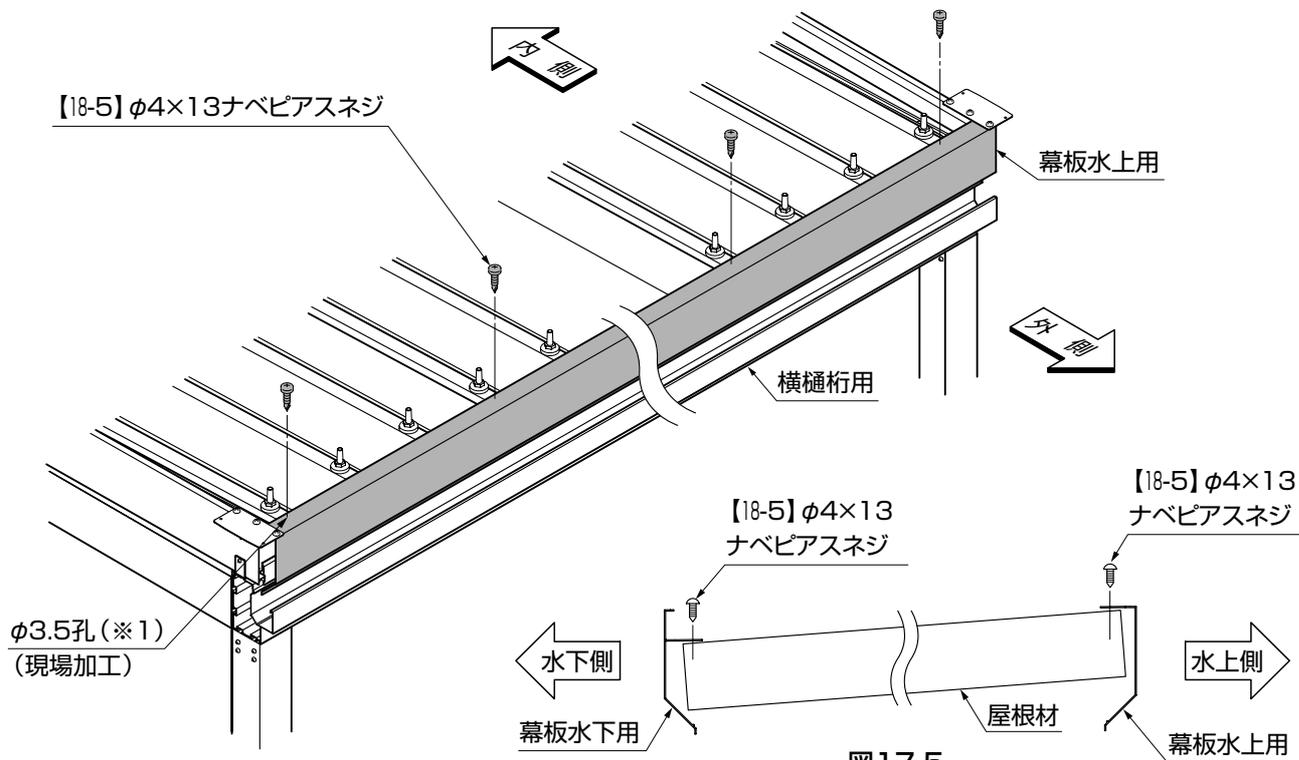


図17-5

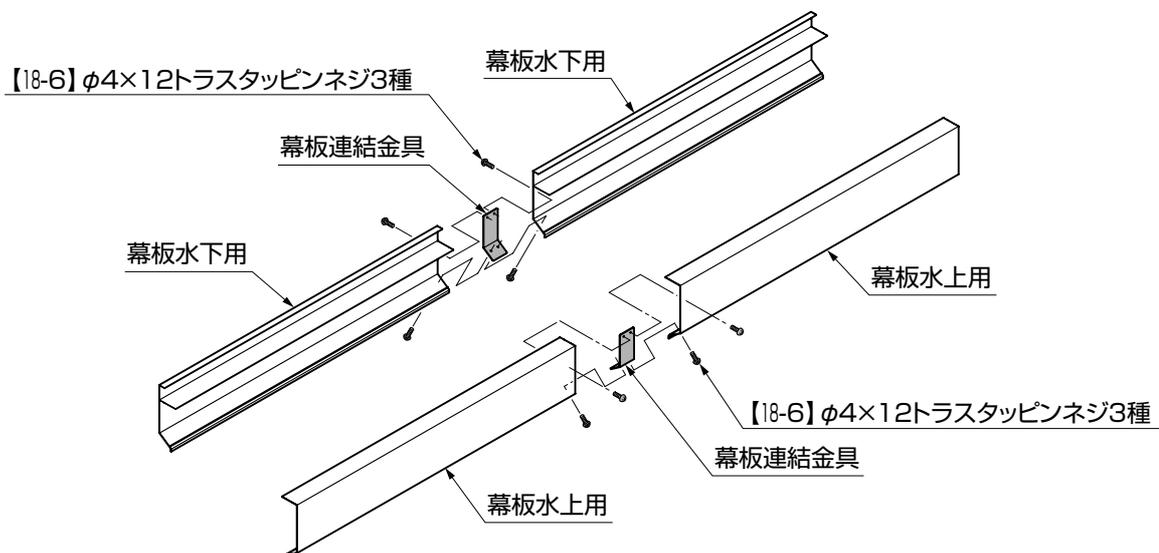
- ④幕板に合わせて折板にφ3.5(※1)の孔加工をしてください。
- ⑤幕板と折板を【18-5】で取付けてください。

**補足**

- 水上用と水下用で取付位置が異なります。(図17-5参照)

## 18. 幕板の連結

※L74縦延長の場合の取付けです。



- ①幕板を裏板連結金具を使って【18-6】で連結してください。

## 19. 縦樋の取付け

### 19-1 28-54・32-60・34-60・38-60・32-74の場合 63-60・63-74の水下側の場合

※標準の場合です。

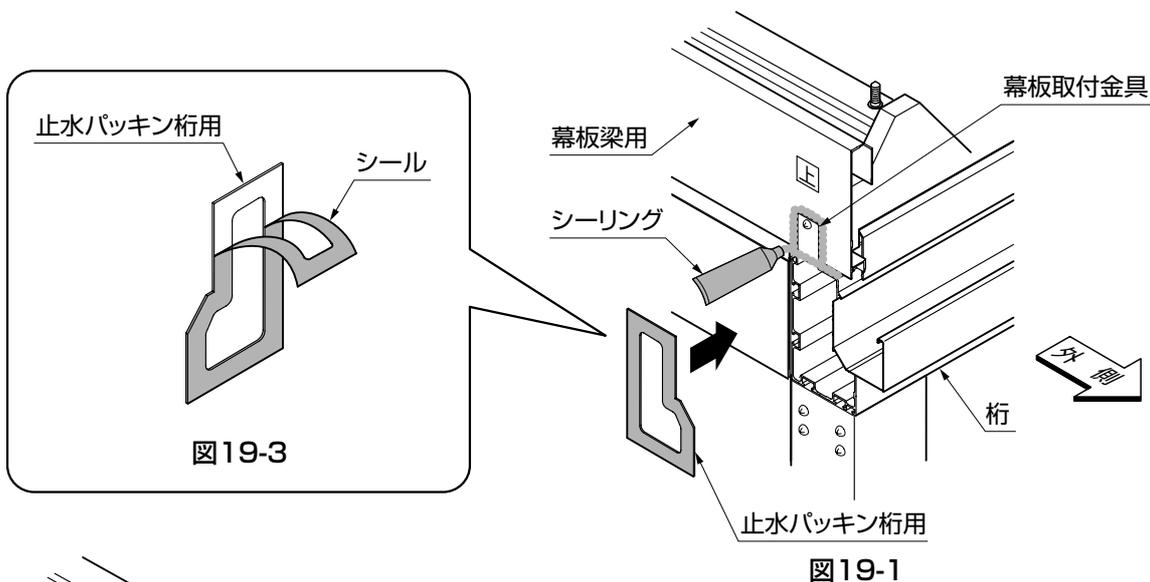


図19-1

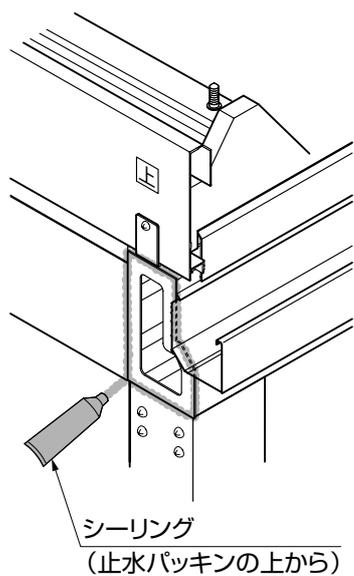


図19-2

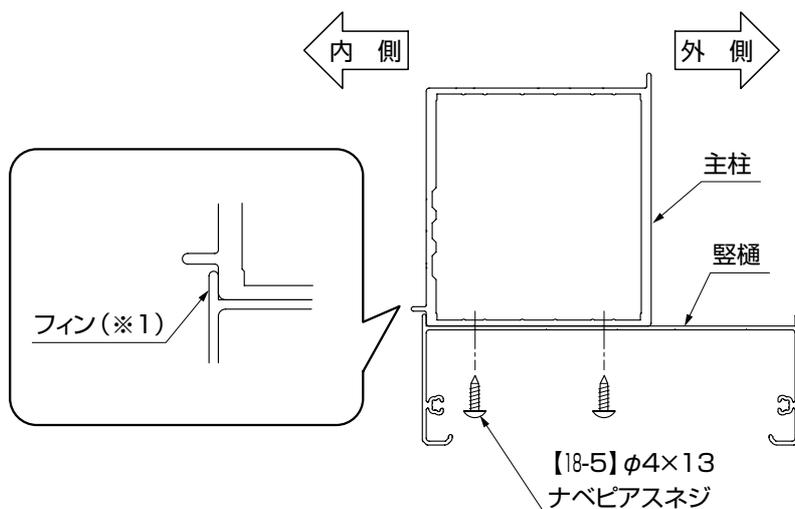


図19-4

① 桁端面に止水パッキン桁用をシールをはがして貼付けてください。(図19-1、図19-3参照)

#### ポイント

● 止水パッキン桁用には左右がありますので向きを確認してください。シール面が桁側になります。

② 幕板取付金具下部と金具周囲をシーリングしてください。(図19-1参照)

③ 桁端面を止水パッキンの上からシーリングしてください。(図19-2参照)

④ スタイルコート外側に水勾配を設ける場合、土間仕上げ面上端から129mm(※2)に縦樋の端部がくるように切断してください。

⑤ 縦樋キャップに【18-6】で縦樋を取付けてください。(図19-6参照)

#### ポイント

● 縦樋の内側フィン(※1)が主柱の内側にあたるように取付けてください。(19-4参照)

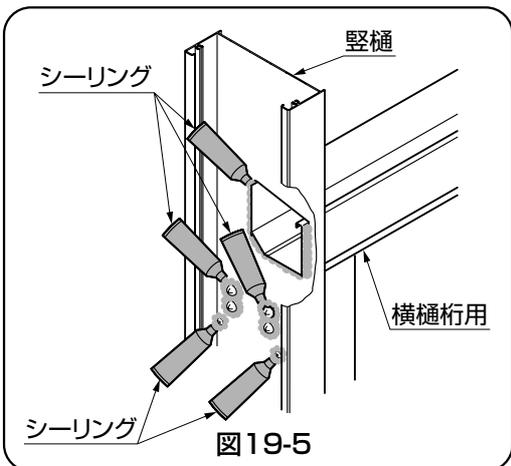


図19-5

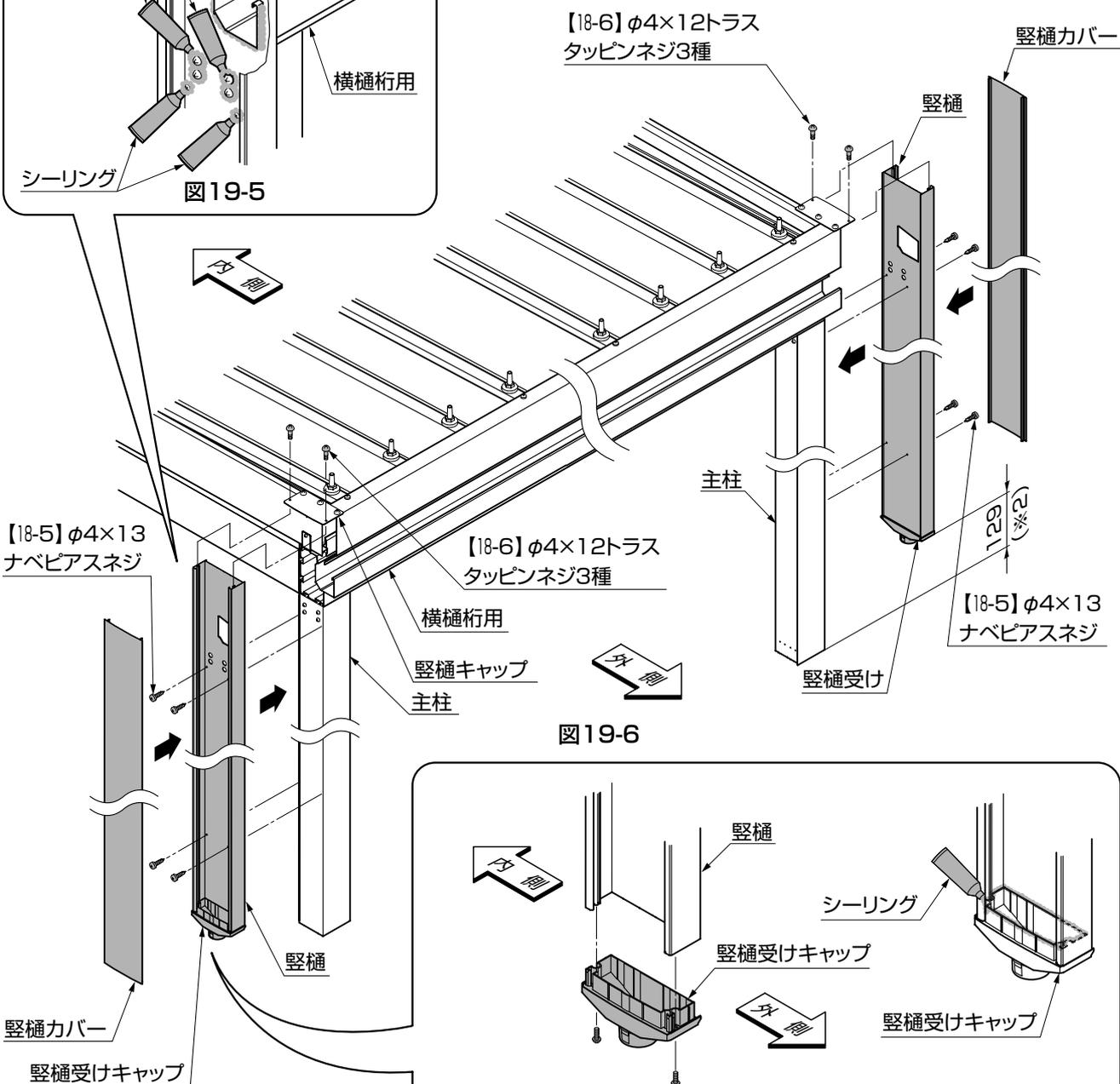


図19-6

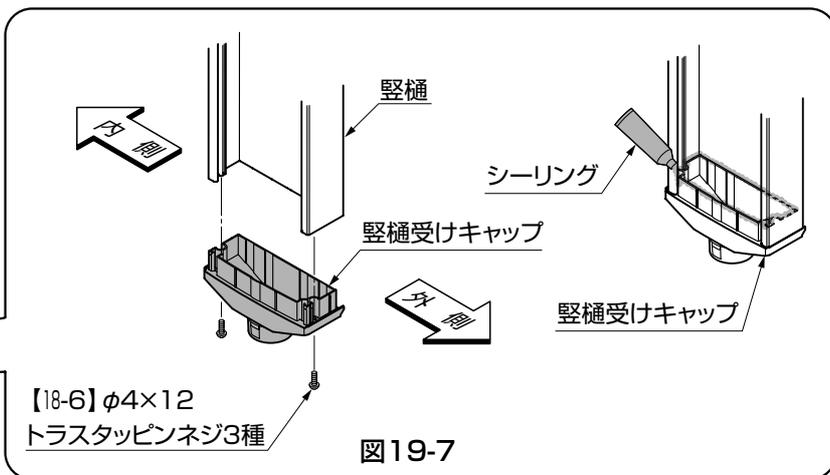


図19-7

- ⑤主柱と縦樋を【18-5】で取付けてください。(図19-6参照)
- ⑥横樋桁用の端部、主柱上部のネジ部にシーリングをしてください。(図19-5参照)
- ⑦縦樋に縦樋受けキャップを【18-6】で取付けてください。(図19-7参照)
- ⑧縦樋受けキャップ部をシーリングしてください。(図19-7参照)
- ⑨縦樋に縦樋カバーをはめてください。(図19-6参照)

## 19. (つづき)

### 19-2 63-60・63-74の中間水上側の場合

※横延長の場合です。

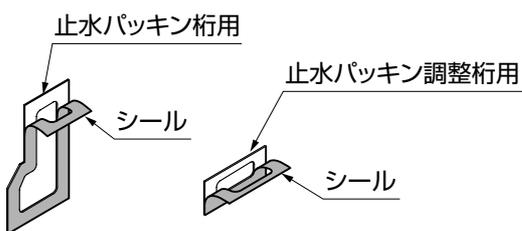
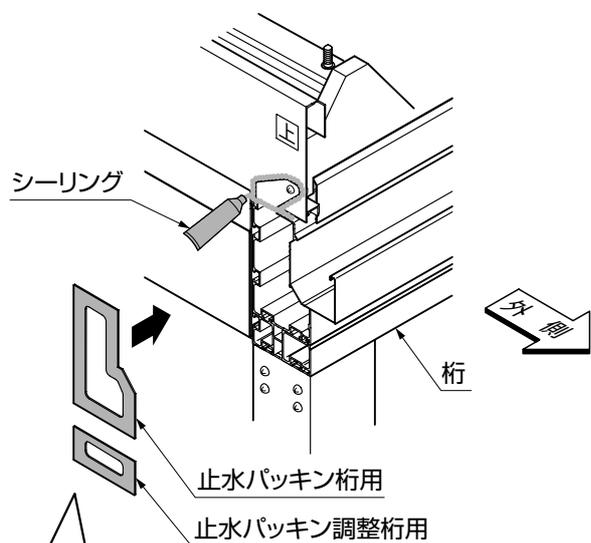


図19-8

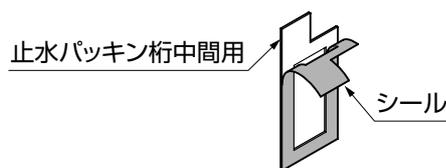
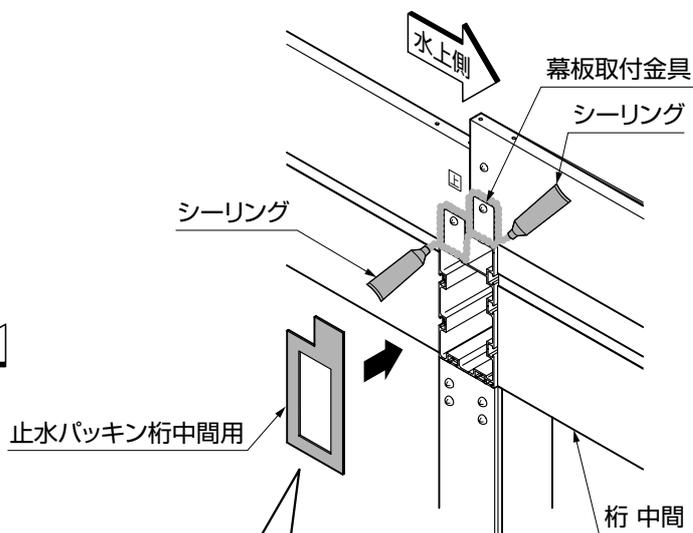


図19-9

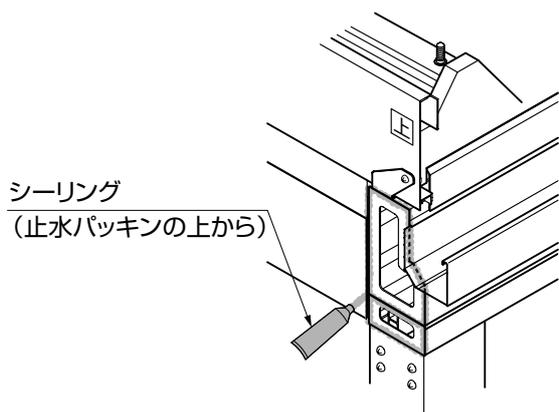


図19-10

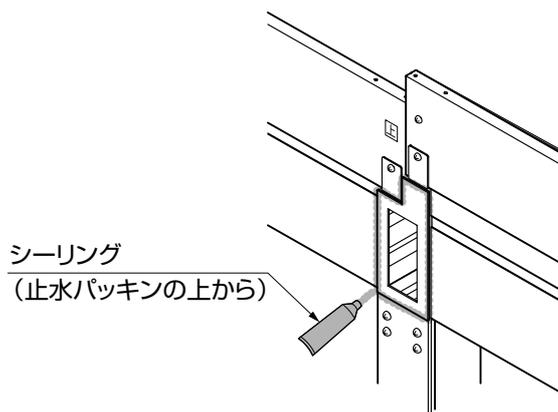


図19-11

- ① 桁端面に止水パッキン桁用、止水パッキン調整桁用、止水パッキン中間桁用をシールをはがして貼付けてください。(図19-8、図19-9参照)

#### ポイント

- 止水パッキン桁用、止水パッキン中間桁用には左右がありますので向きを確認してください。シール面が桁側になります。
- 水下側は「19-1 63-60・63-74の水下側の場合」を参照してください。

- ② 幕板取付金具下部と金具周囲をシーリングしてください。  
 ③ 桁端面を止水パッキンの上からシーリングしてください。(図19-10、図19-11参照)

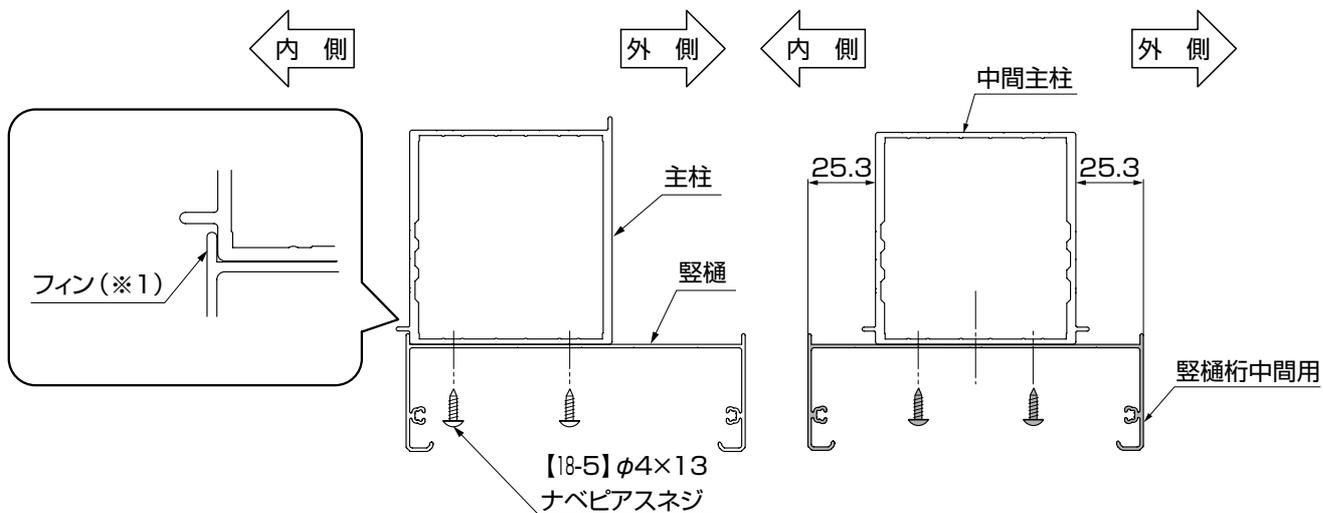


図19-12

図19-13

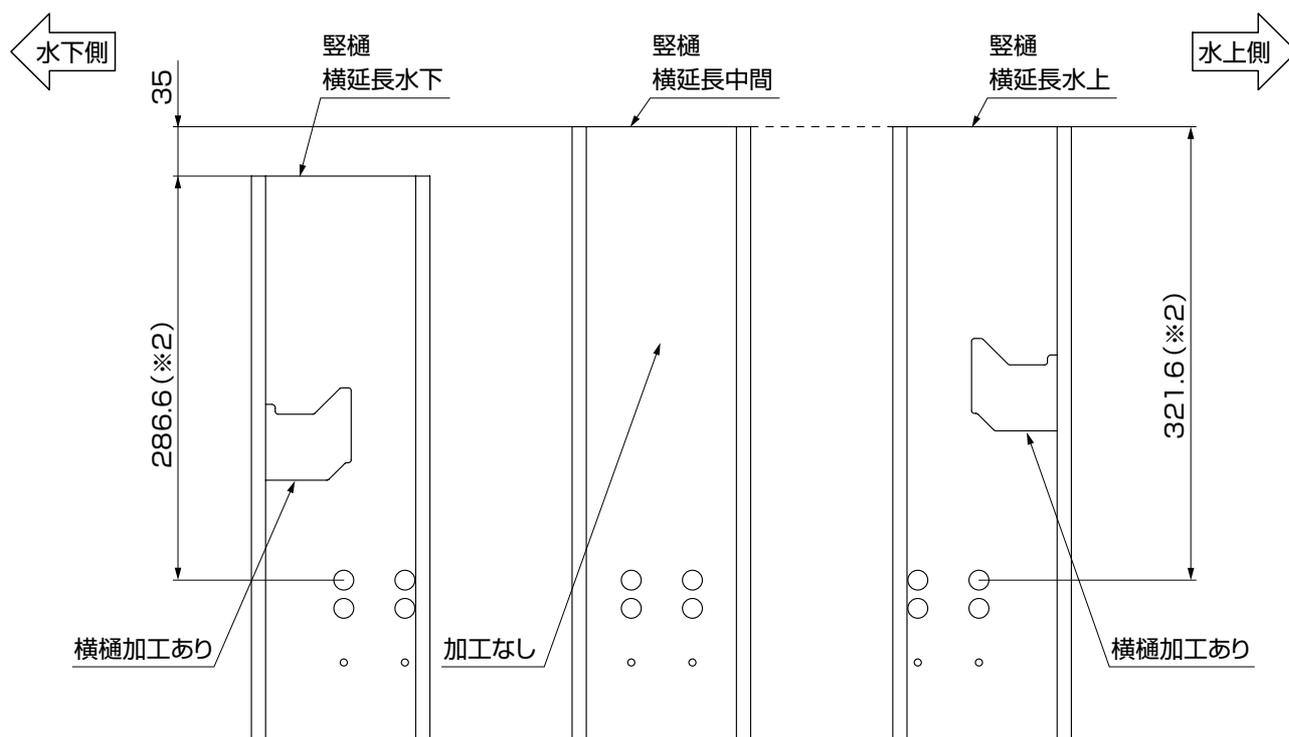


図19-14

- ③スタイルコート外側に水勾配を設ける場合、土間仕上げ面上端から129mm(※3)に縦樋の端部がくるように切断してください。
- ④縦樋キャップに【18-6】で縦樋を取付けてください。(図19-18参照)

### ポイント

- 中間主柱と縦樋の中心が合うように取付けてください。(19-13参照)
- 縦樋の内側フィン(※1)が主柱の内側に当たるように取付けてください。(19-12参照)
- 縦樋には違いがあります。取付け位置(※2)を確認してください。(19-14参照)

## 19. (つづき)

### 19-2 つづき

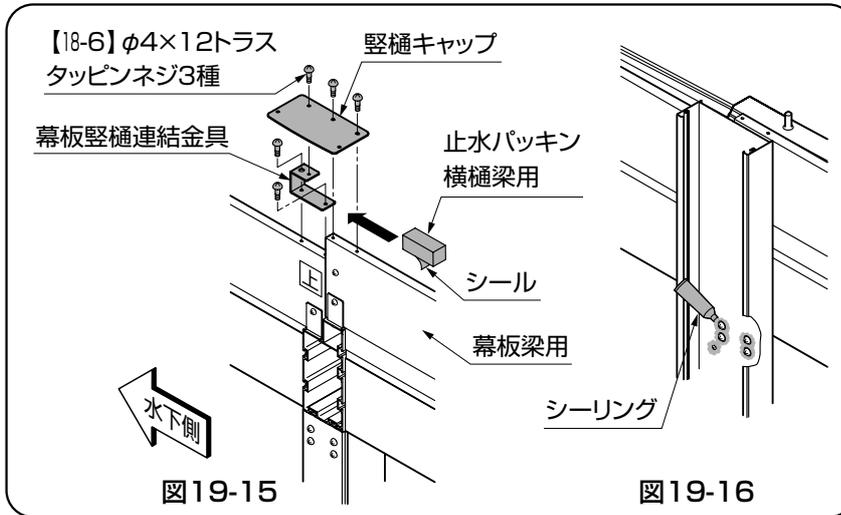


図19-15

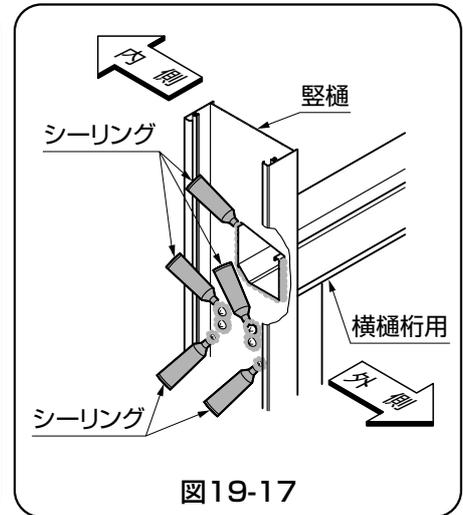


図19-16

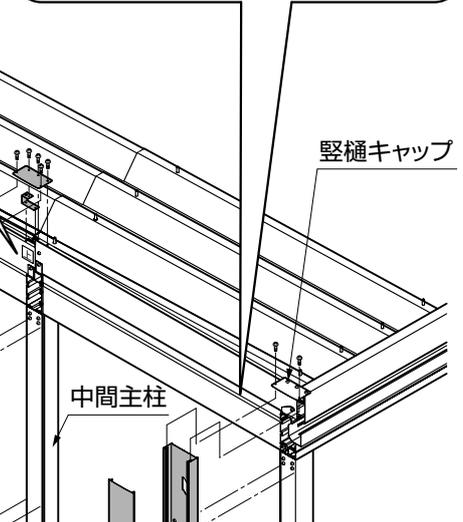


図19-17

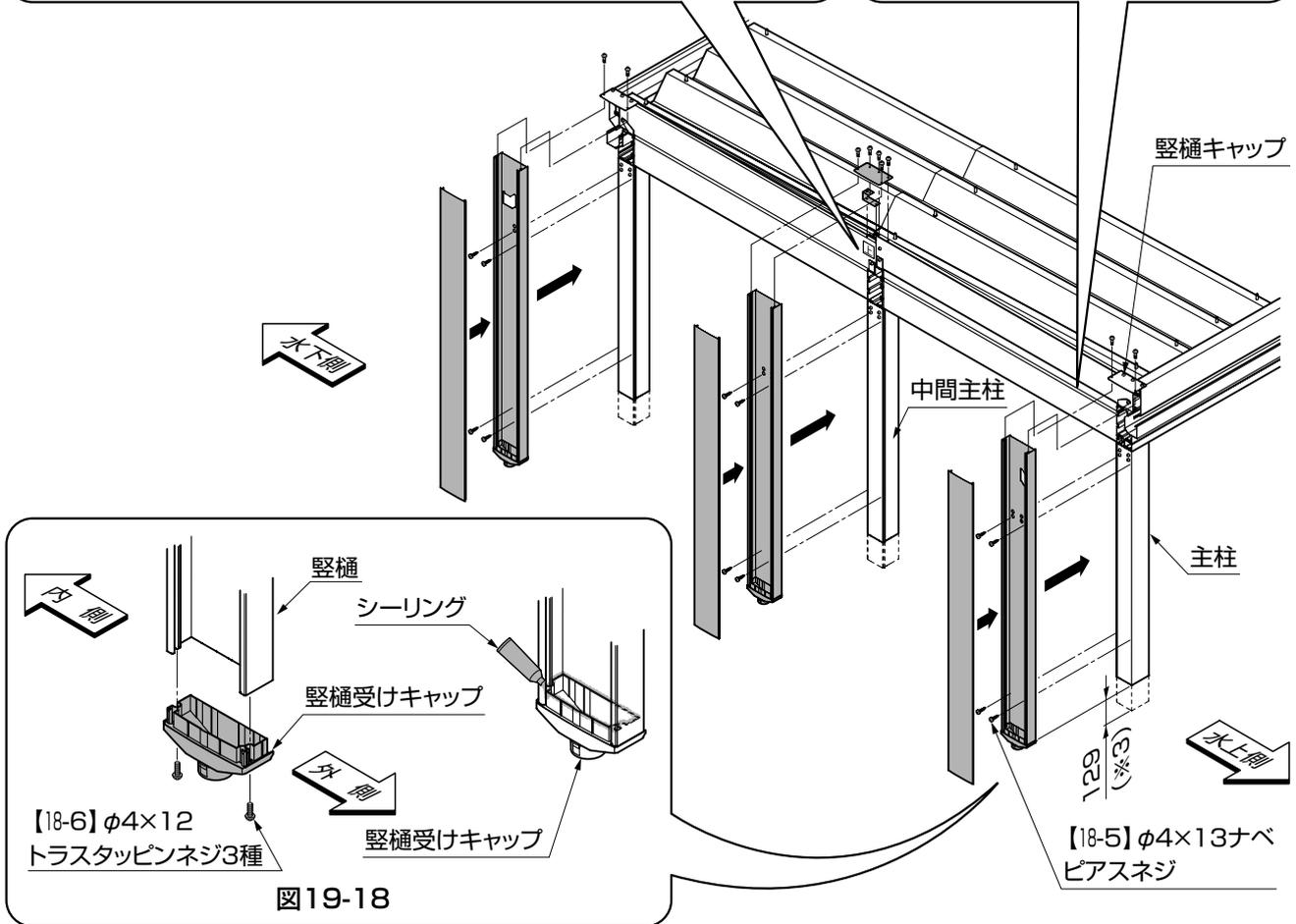
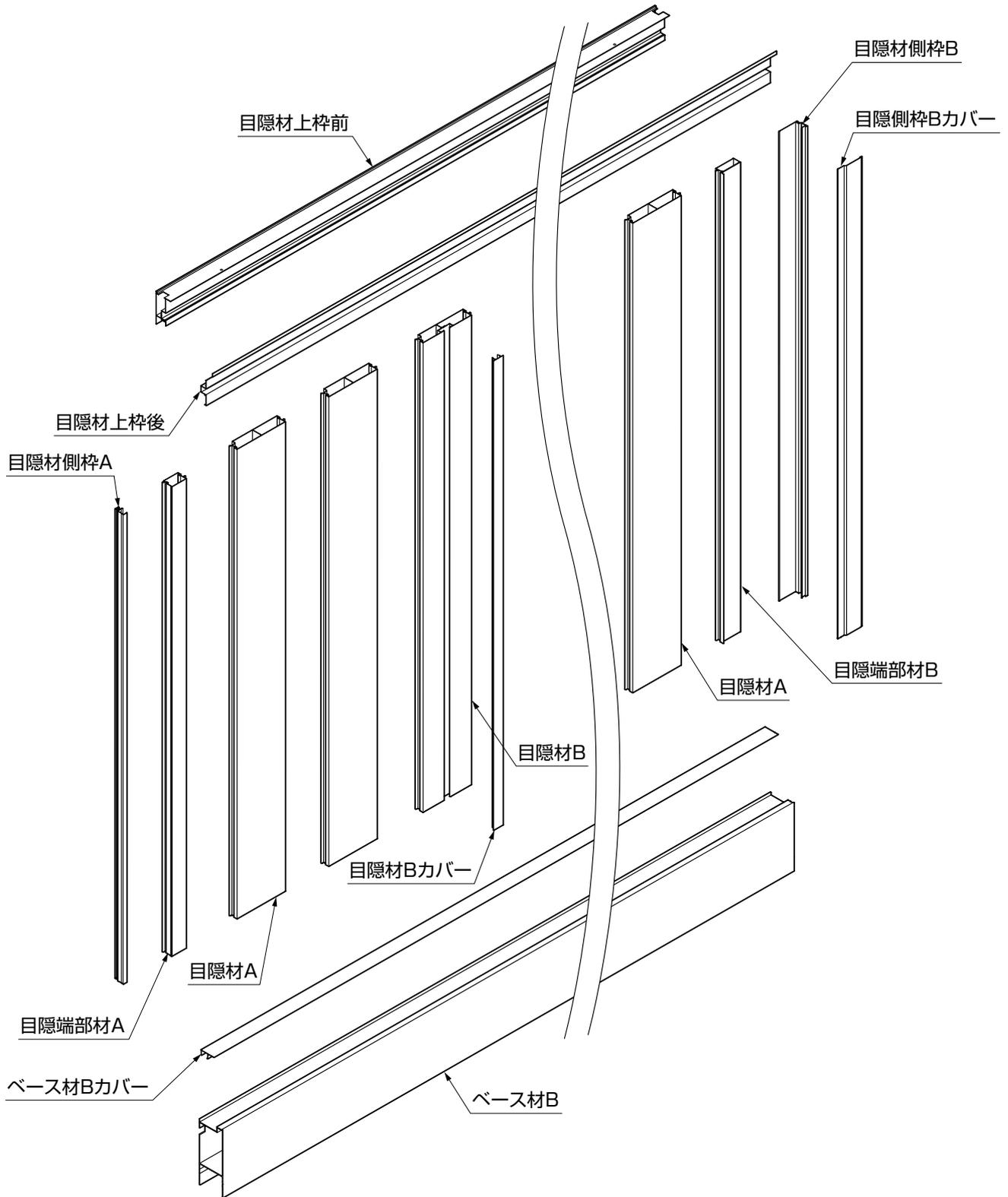


図19-18

- ⑤ 水下側の幕板梁用に幕板縦樋連結金具を【18-6】で取付けてください。(図19-15参照)
- ⑥ 幕板縦樋連結金具に止水パッキン横樋梁用を貼付けてください。
- ⑦ 縦樋キャップを【18-6】で取付けてください。(図19-15参照)
- ⑧ 主柱・中間主柱と縦樋を【18-5】で取付けてください。
- ⑨ 横樋桁用の端部、主柱上部のネジ部にシーリングをしてください。(図19-16、図19-17参照)
- ⑩ 縦樋に縦樋受けキャップを【18-6】で取付けてください。(図19-18参照)
- ⑪ 縦樋受けキャップ部をシーリングしてください。(図19-18参照)
- ⑫ 縦樋に縦樋カバーをはめてください。

## 5 目隠材の取付け

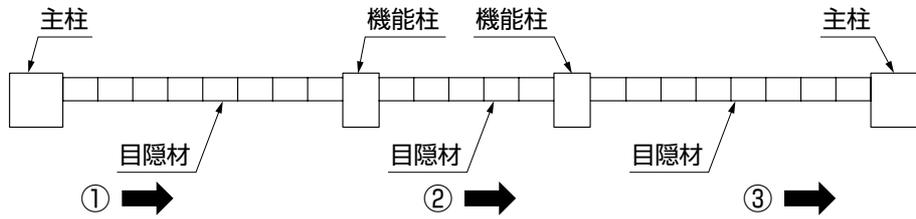
### 1. 施工前確認



①目隠材の施工前に各部材を確認してください。

## 2. 目隠材の納まり

### 2-1 目隠材取付け順番



#### ポイント

●目隠材の取付けは主柱から順番に行なってください。

### 2-2 断面端部A（外観右）納まり

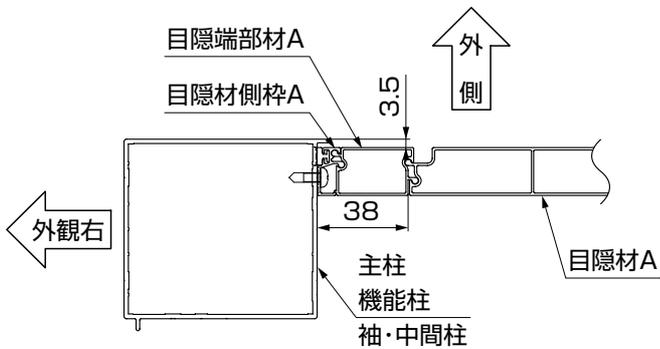


図2-1 側面の場合

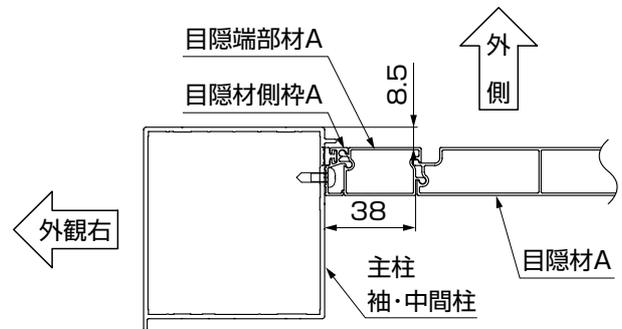


図2-2 正面・背面の場合

### 2-3 断面中間部納まり

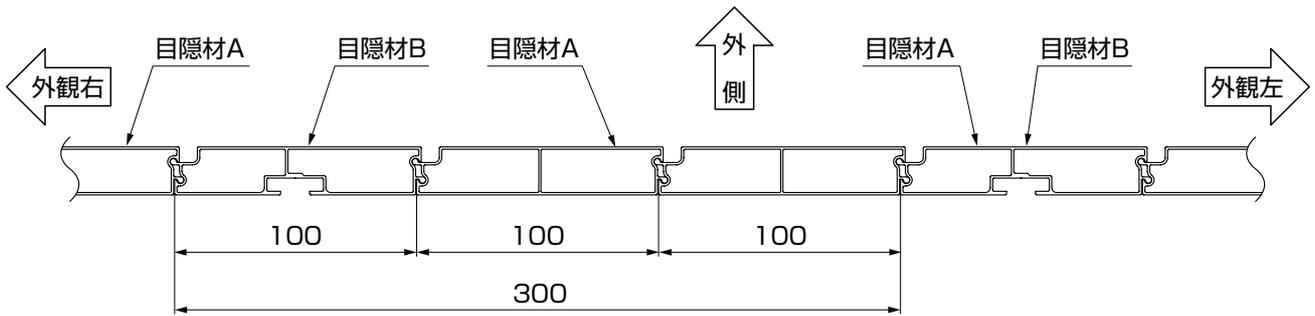


図2-3 目隠材が本体色の場合

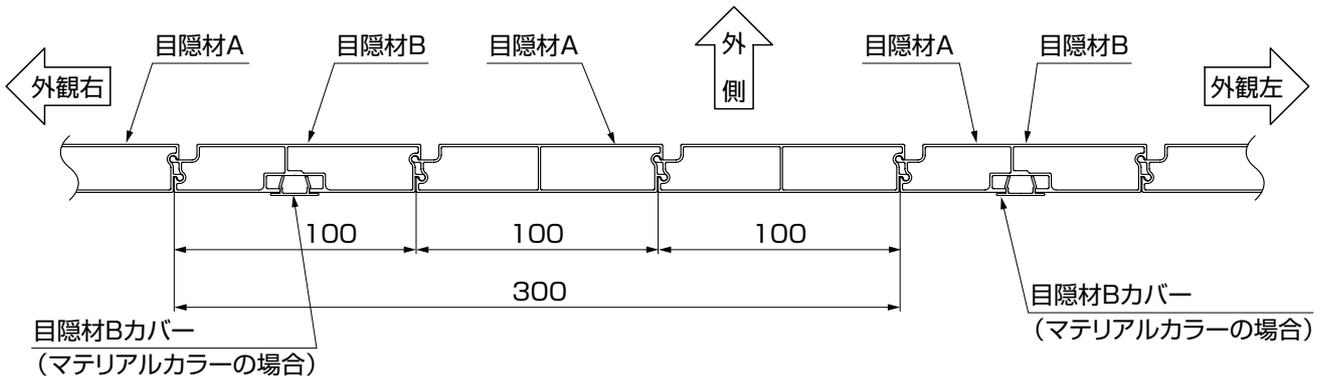


図2-4 目隠材がマテリアルカラーの場合

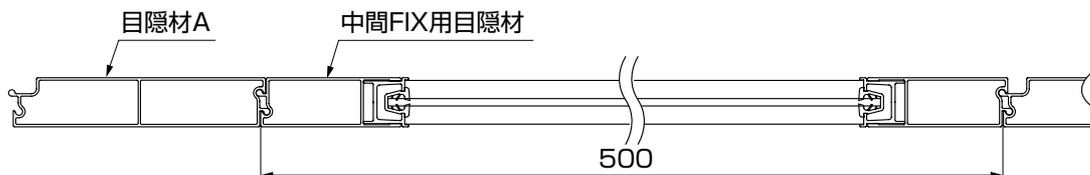


図2-5 目隠材がFIX中間パネル・換気扇用中間パネルの場合

## 2-4 断面端部B (外観左) 納まり

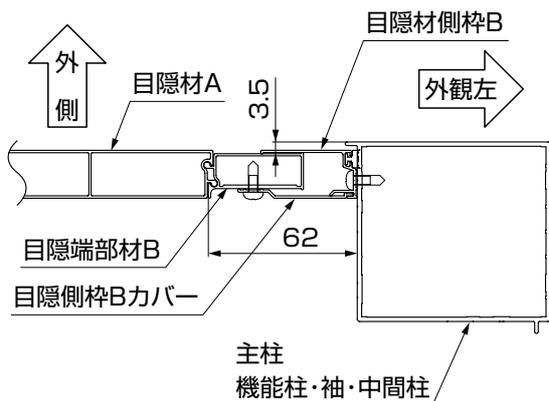


図2-6 側面の場合

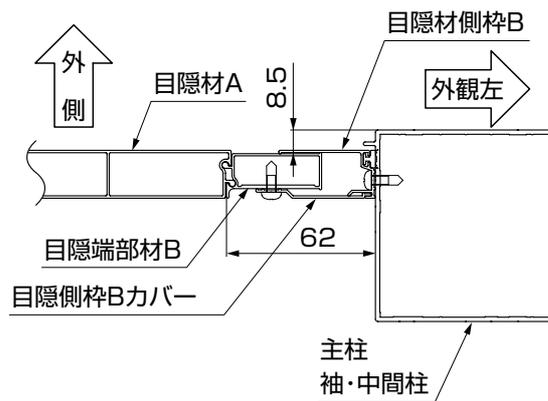


図2-7 正面・側面の場合

## 2-5 目隠材の並び順の確認

...目隠端部材A   
  ...目隠材A   
  ...目隠材B   
  ...目隠端部材B

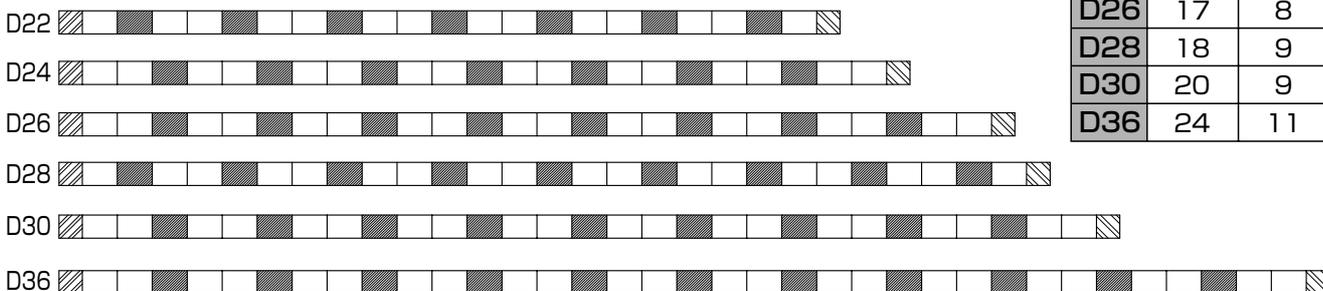


図2-8 目隠材並び順

①目隠端部材と目隠材の並び順を確認してください。

### 補足

●各サイズの目隠材の枚数は表2-1を参照してください。

表2-1

	目隠材A	目隠材B
D22	14	7
D24	16	7
D26	17	8
D28	18	9
D30	20	9
D36	24	11

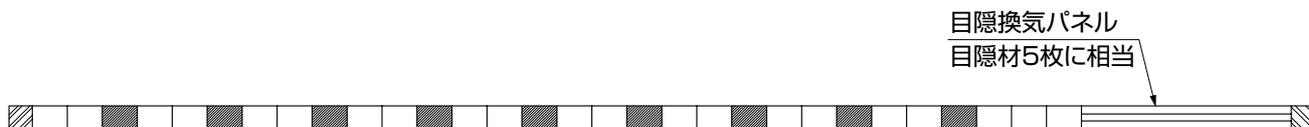


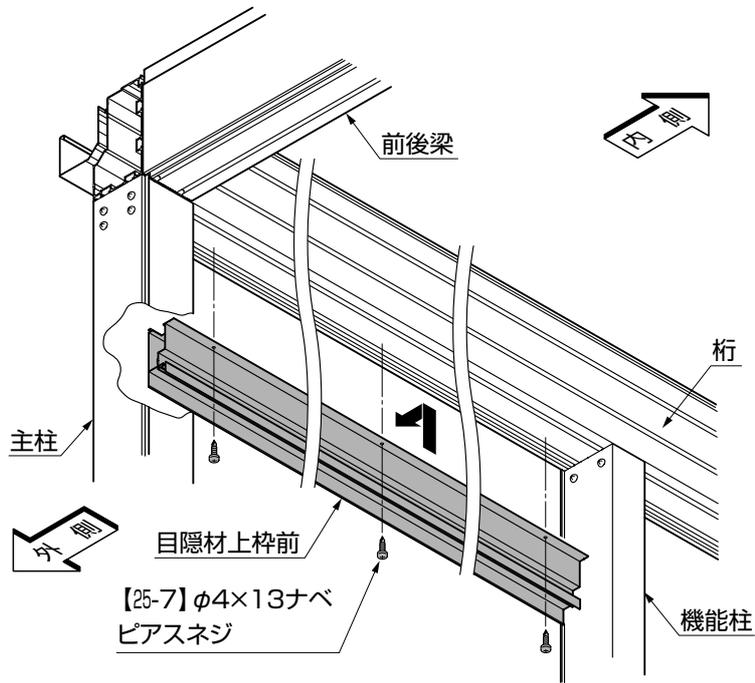
図2-9 D36にFIX中間パネル・換気扇用中間パネルを取付けた場合

### 補足

●FIX中間パネル・換気扇用中間パネルは、目隠材5枚分に当たります。

### 3. 目隠材上枠前の取付け

#### 3-1 目隠材上枠前の取付け



- ①目隠材上枠前のツメ(※1)を桁底部の溝に引っ掛け、【25-7】で固定してください。(図3-1参照)

#### ポイント

- 柱取付ネジ(※2)に目隠材上枠前が当たらないように目隠材上枠前の切欠き部(※3)に柱取付ネジを通すように取付けてください。(図3-2参照)

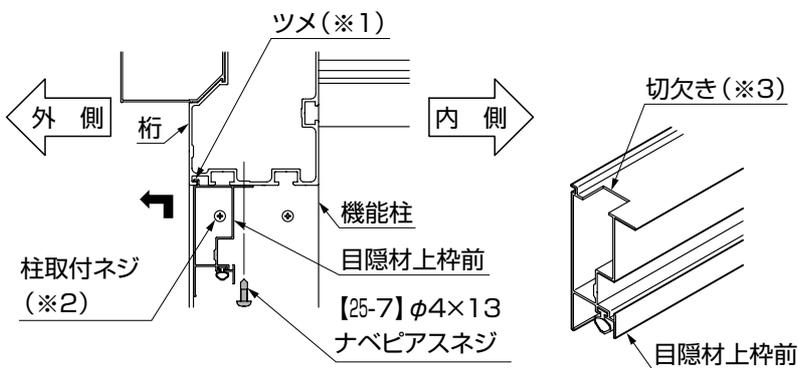
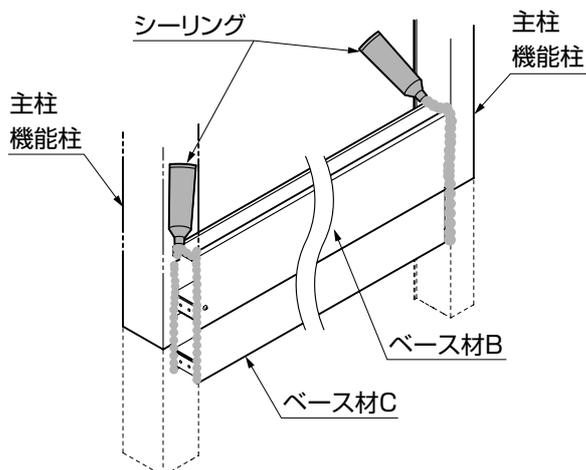


図3-1 目隠材上枠前取付断面図

図3-2

#### 3-2 ベース材のシーリング

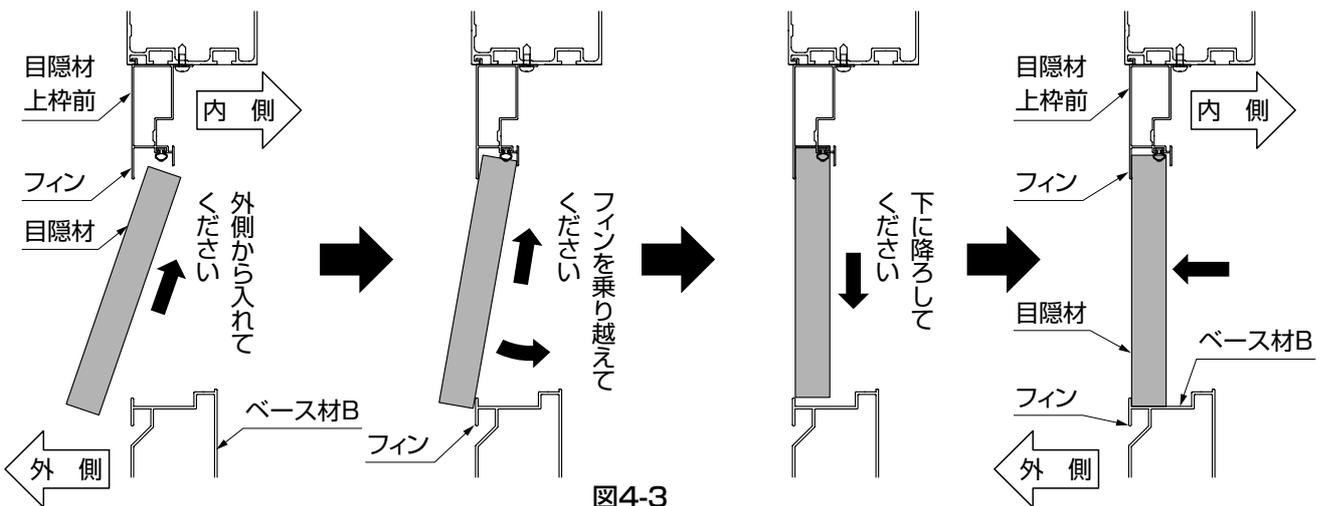
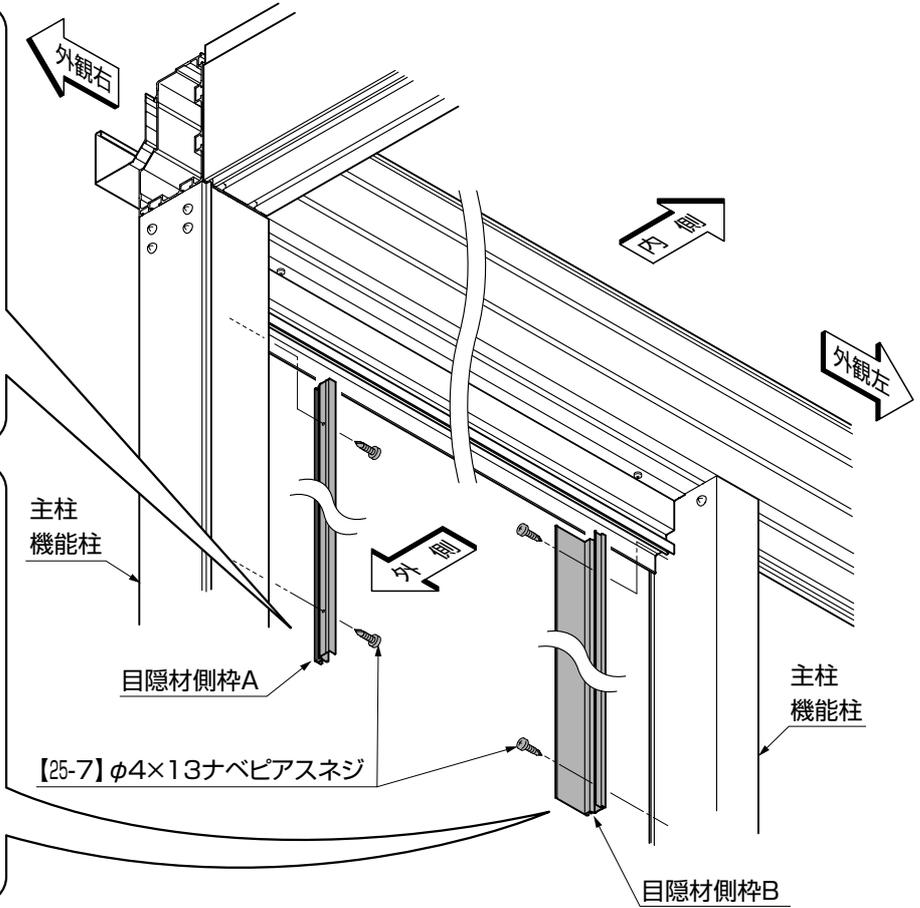
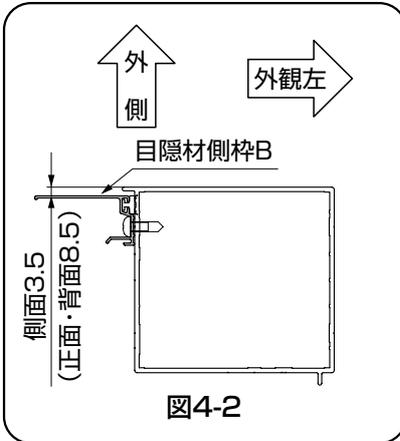
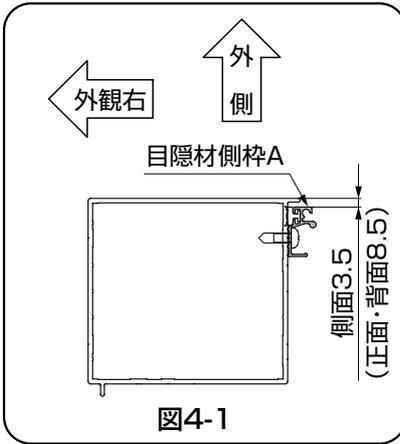


- ①ベース材にシーリングをしてください。

#### ポイント

- シーリングが不完全な場合、雨漏りの原因になります。

## 4. 目隠材側枠の取付け



目隠材縦部材の取付け

- ①主柱または機能柱に目隠材側枠Aを【25-7】で取付けてください。(図4-1参照)
- ②主柱または機能柱に目隠材側枠Bを【25-7】で取付けてください。(図4-2参照)

### ポイント

- 目隠材側枠Aは外観右側・目隠材側枠Bは外観左側に取付けてください。
- 目隠材側枠は、外側から目隠材上枠前のフィン内側に引っ掛けるように入れ、ベース材Bのフィンを乗り越えたら外側に押付けてください。(図4-3参照)

## 5. 目隠端部材A・目隠材の取付け

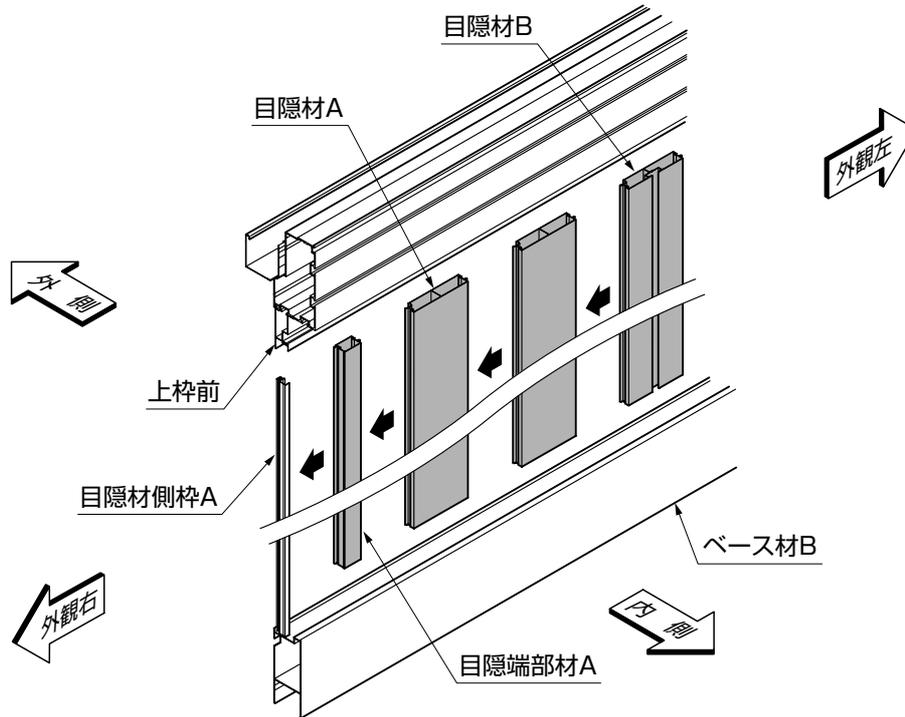


図5-1

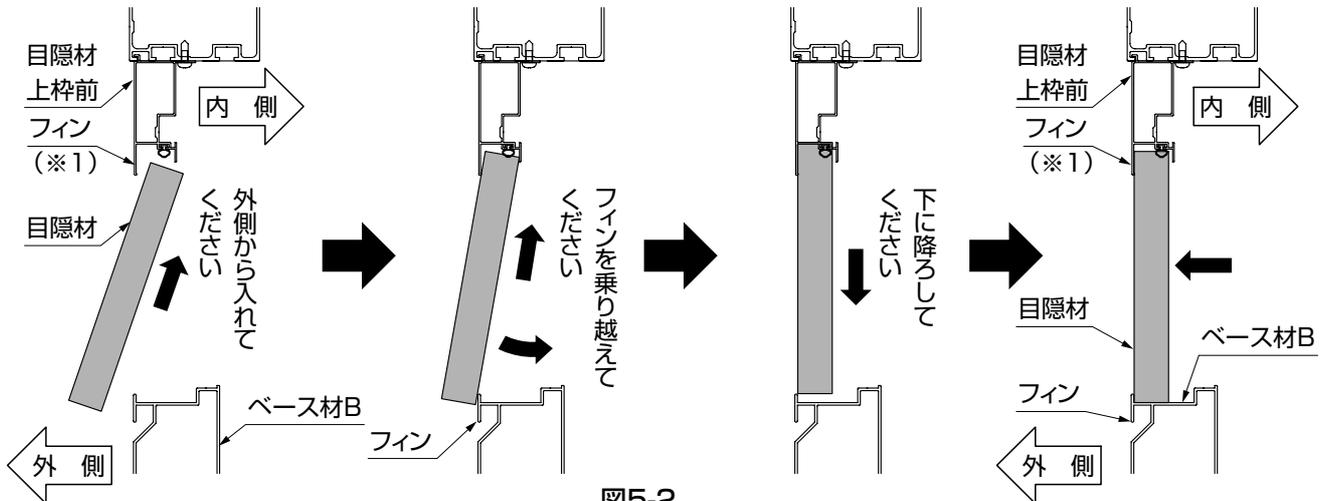


図5-2

目隠材縦部材の取付け

### ポイント

- 目隠材は、外観右側より取付けてください。
- 目隠端部材A・目隠端部材B・目隠材A・目隠材Bは取付け向きや並び順が異なります。「2.目隠材の納まり」を参照してください。
- 目隠材は外側から目隠材上枠前のフィン内側に引っ掛けるように入れ、ベース材Bのフィンを乗り越えたら外側に押付けてください。(図5-2参照)
- 目隠材を取外す場合は、目隠材上枠前のフィン(※1)を曲げないようにご注意ください。

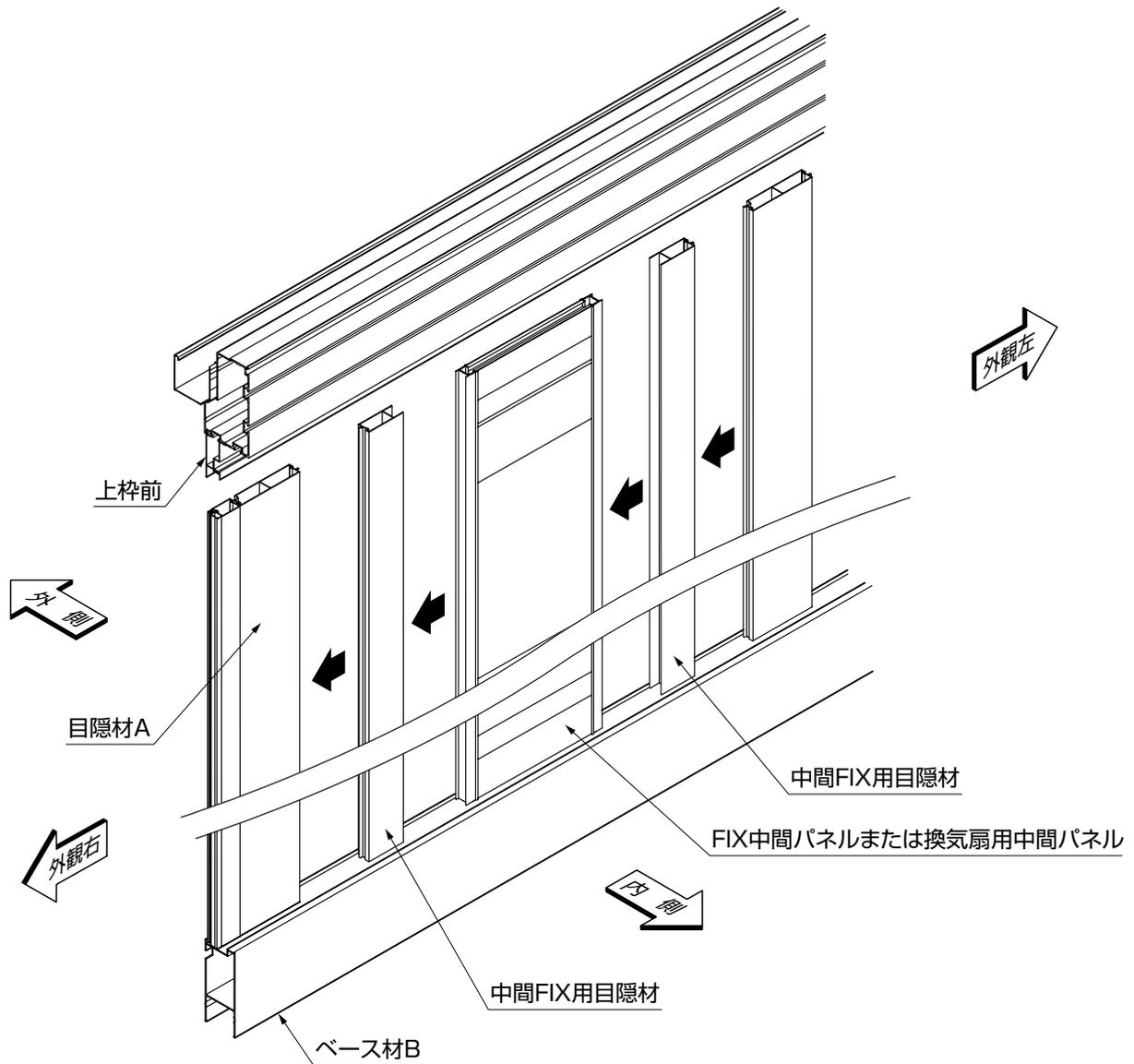
①目隠端部材Aを目隠材側枠Aにはめてください。(図5-1参照)

### 補足

- 目隠材の使用枚数はサイズによって異なります。(「2-5 目隠材の並び順の確認」参照)

②目隠端部材Aに目隠材A、目隠材Bをはめてください。(図5-1参照)

## 6. FIX中間パネル・換気扇用中間パネルの取付け

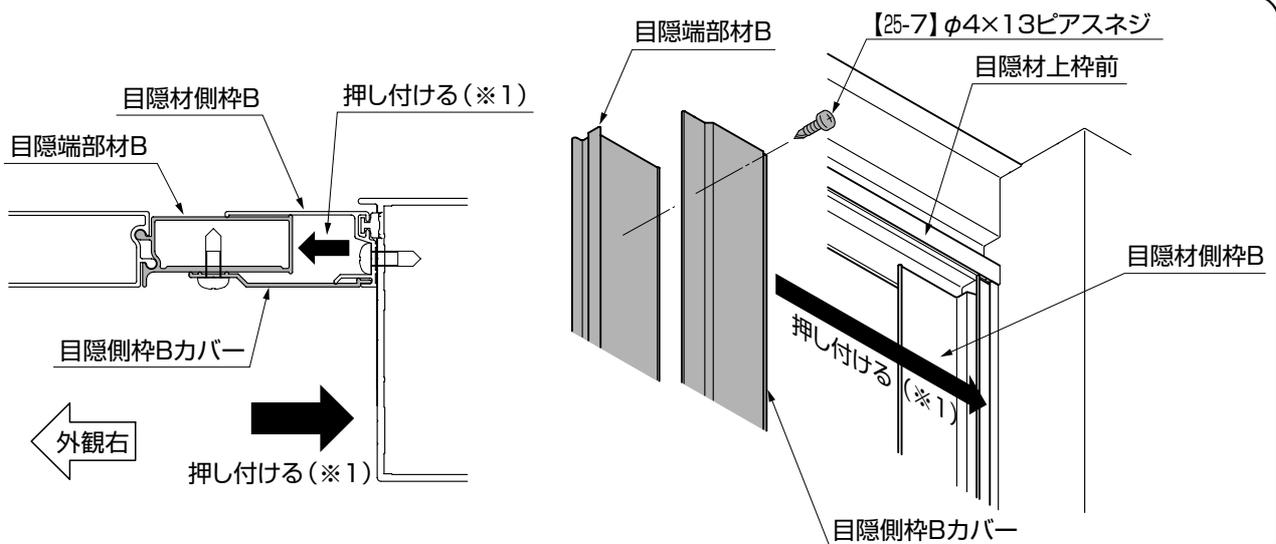
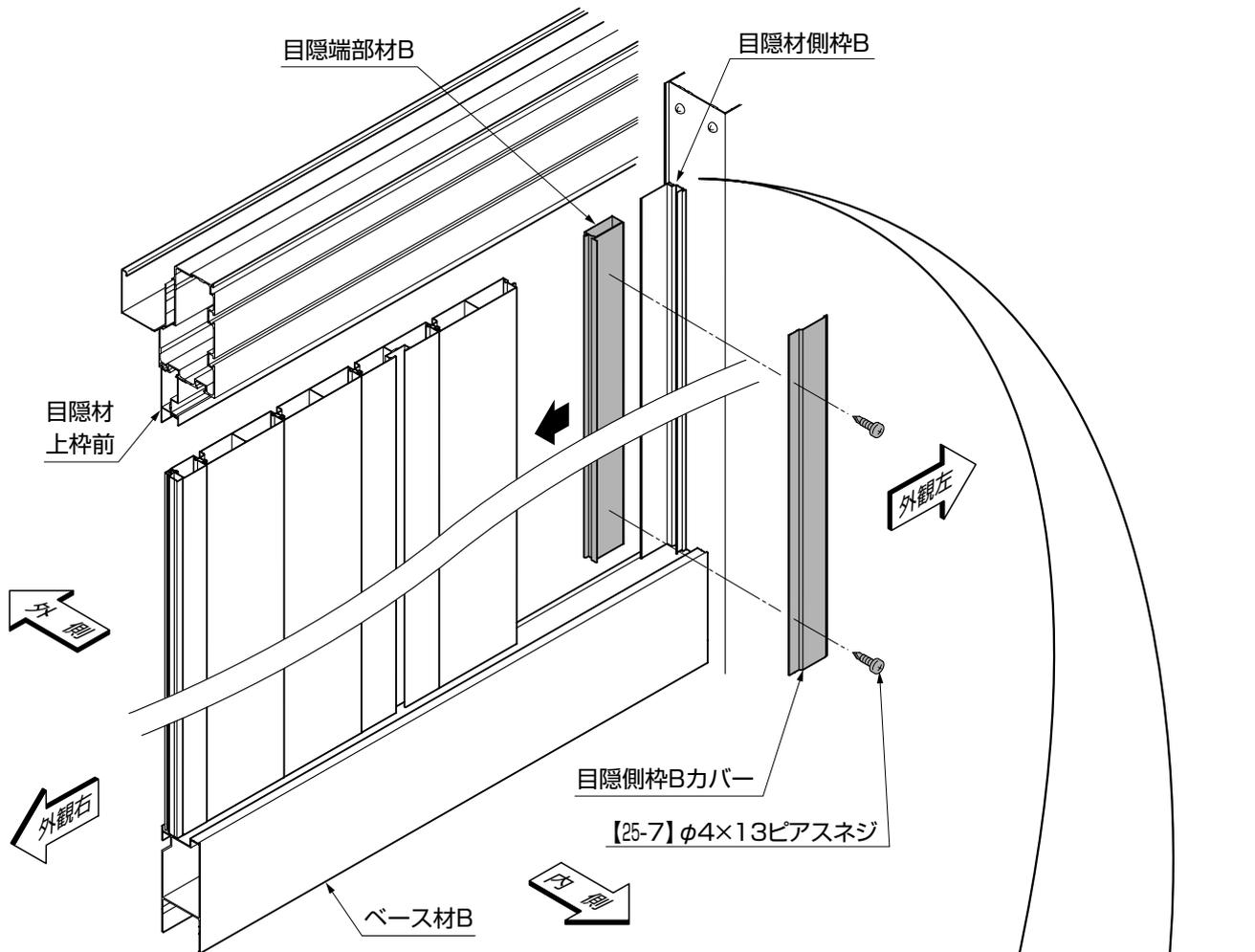


### 補足

- FIX中間パネル・換気扇用中間パネルは、目隠材5枚分にあたります。
- FIX中間パネルと換気扇用中間パネルには目隠材Aが1本同梱されています。

- ①目隠材Aを取付けてください。
- ②中間FIX用目隠材を取付けてください。
- ③FIX中間パネル・換気扇用中間パネルを取付けてください。
- ④中間FIX用目隠材を取付けてください。

## 7. 目隠端部材Bの取付け



① 必要枚数の目隠材を取付けたら、目隠端部材B・目隠側枠Bカバーをはめて目隠材側枠Bに【25-7】で固定してください。

### ポイント

- 目隠側枠Bカバーは、目隠端部材Bで目隠材全体を外観右に押し付けながら目隠材側枠Bに押し付けて取付けてください。(※1)

## 8. 目隠材上枠後・ベース材Bカバーの取付け

### 8-1 目隠材上枠後の取付け

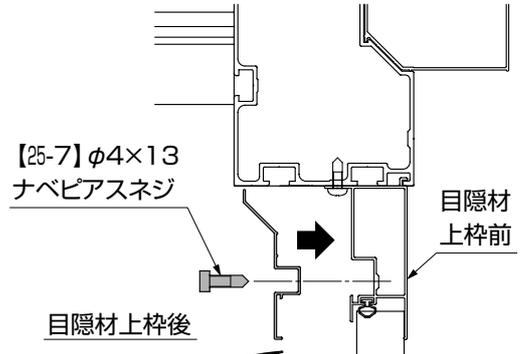
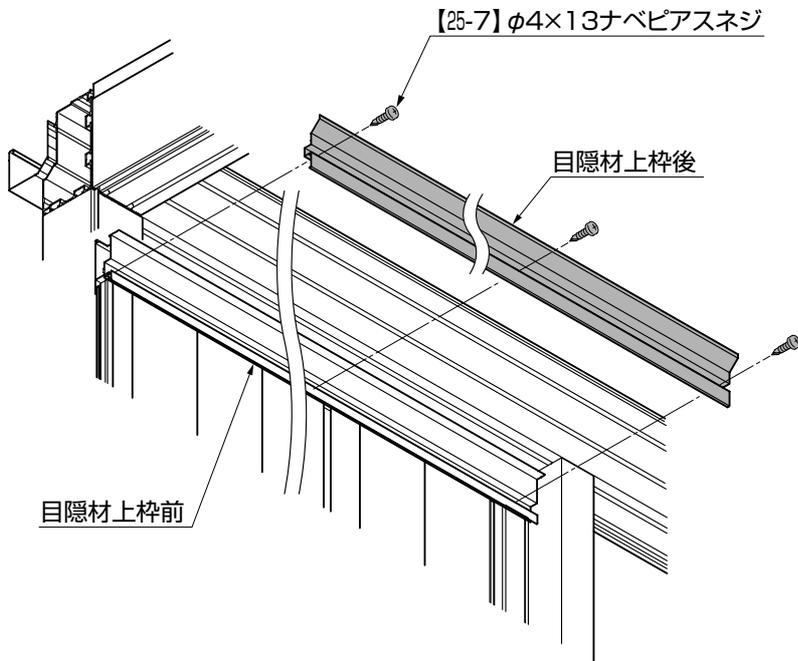


図8-1 目隠材上枠後取付断面図

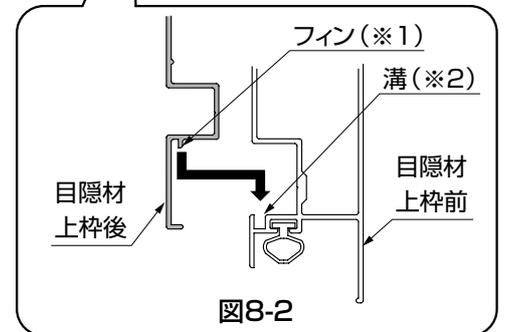


図8-2

①目隠材上枠後を【25-7】で目隠材上枠前に取付けてください。

#### ポイント

●目隠材上枠後のフィン(※1)を目隠材上枠前の溝(※2)に入れるように取付けてください。

### 8-2 ベース材Bカバーの取付け

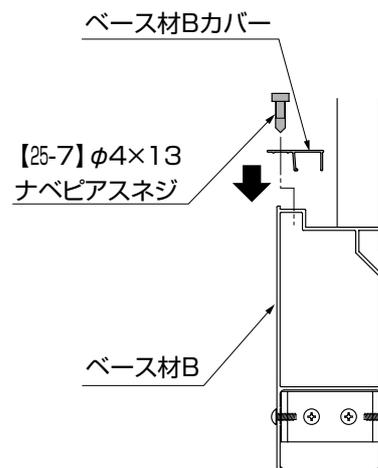
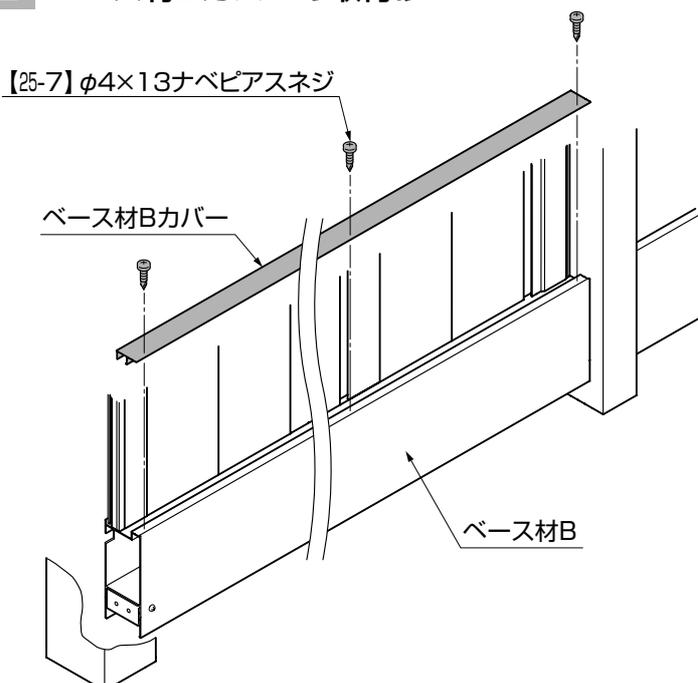
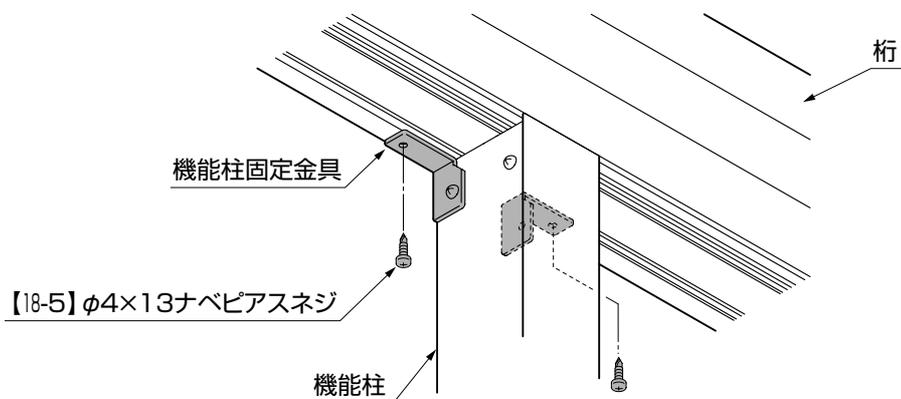


図8-3 ベース材Bカバー取付断面図

①ベース材Bカバーを【25-7】でベース材Bに取付けてください。

## 8. (つづき)

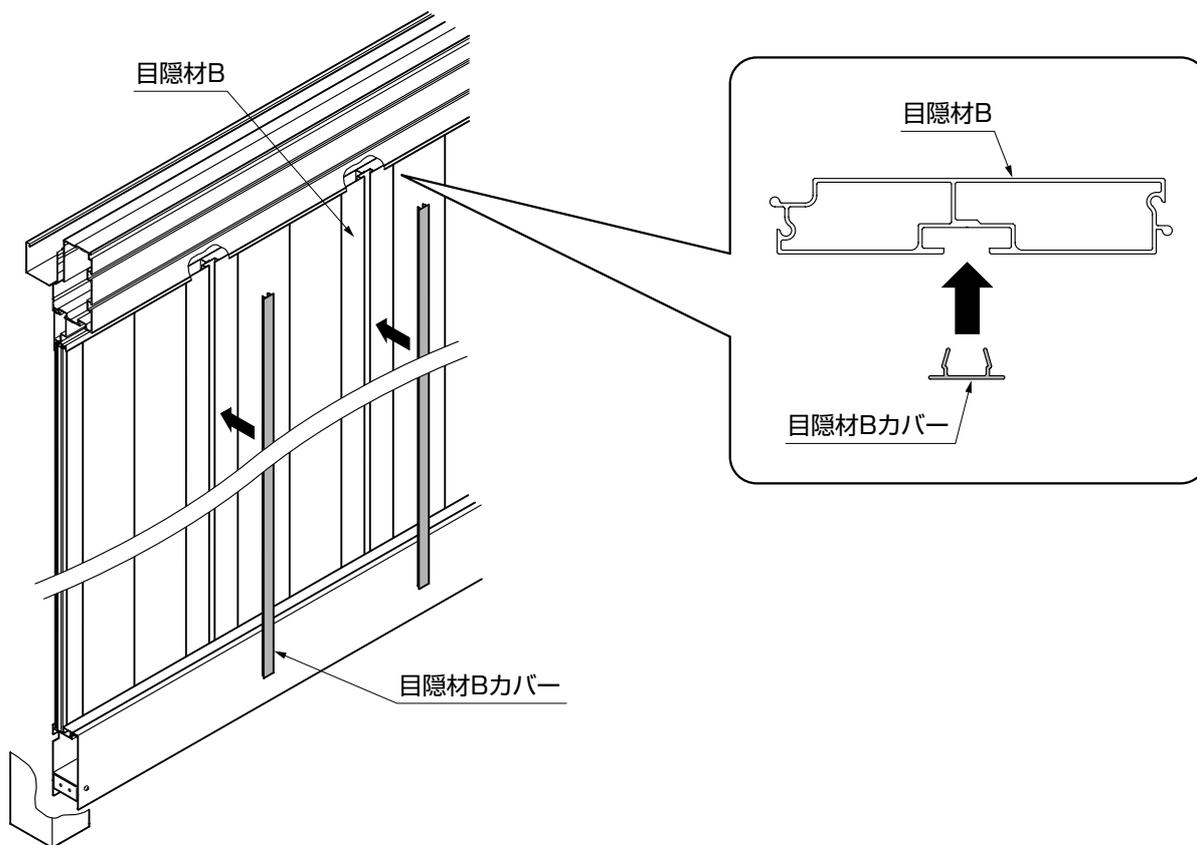
### 8-3 機能柱固定金具の取付け



①機能柱固定金具を【18-5】で桁に取付けてください。

## 9. 目隠材Bカバーの取付け

※目隠材がマテリアルカラーの場合のみの取付けです。



### ポイント

- 棚・テーブル等のオプションを取付ける場合は、目隠材Bカバーを取付ける前に行なってください。目隠材Bカバーは取付け状況に合わせて現場で切断して取付けてください。

①目隠材Bに目隠材Bカバーを取付けてください

## 10. 目隠オプションの取付け オプション

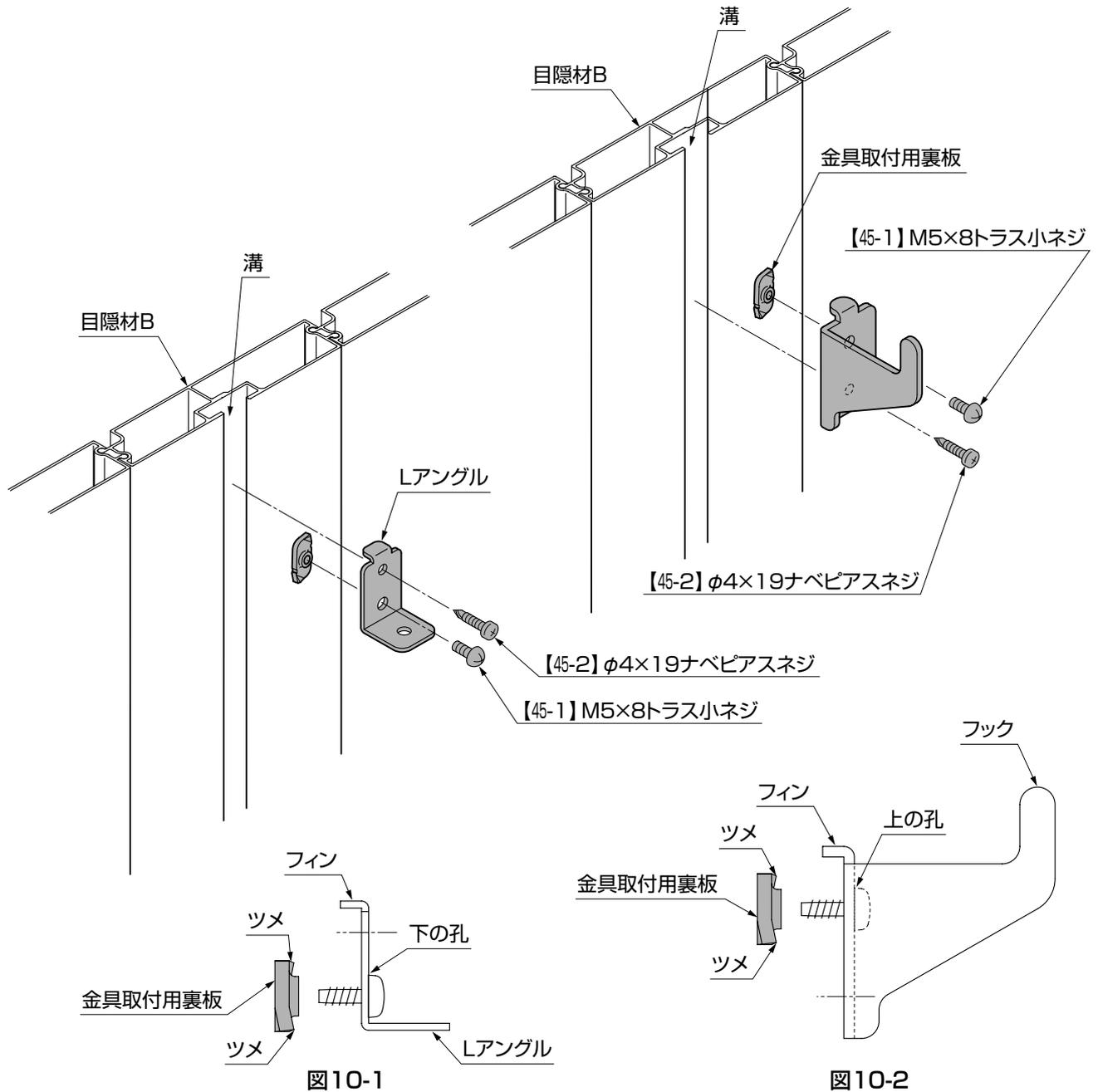


図10-1

図10-2

①Lアングル、フックに金具取付裏板を【45-1】で仮止めしてください。

### ポイント

- 金具取付裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側をLアングル、フックに向けてください。(図10-1、図10-2参照)
- Lアングルの場合はフィンを上にしたとき、下の孔に取付けてください。(図10-1参照)
- フックの場合はフィンを上にしたとき、上の孔に取付けてください。(図10-2参照)

②金具取付用裏板を目隠材Bの溝に入れて、Lアングル、フックを【45-2】でしっかりと固定してください。

### ポイント

- Lアングル、フックは目隠材B1ヶ所に付き3個まで取付けできます。

## 11. 換気扇の取付け オプション

### 11-1 換気扇の取付け

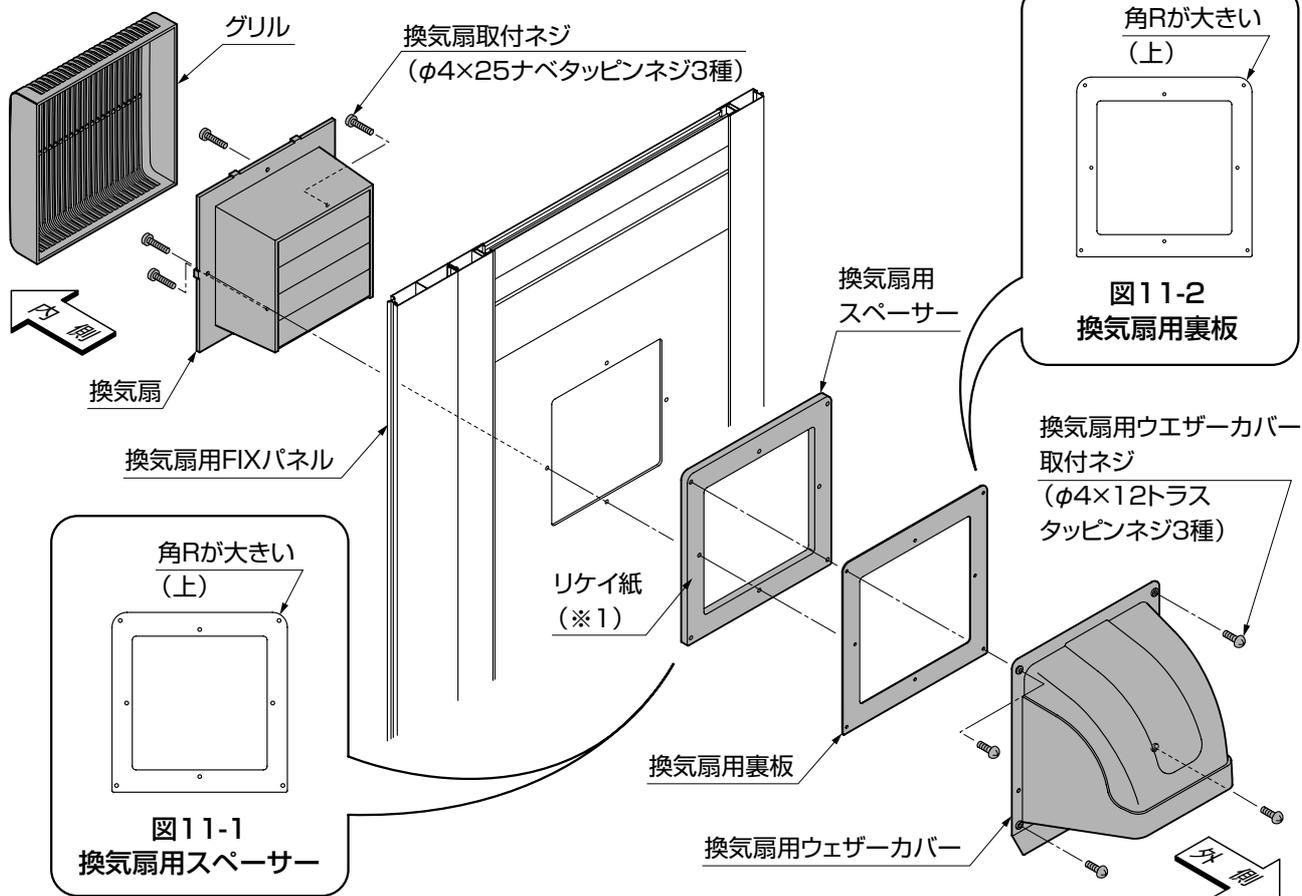


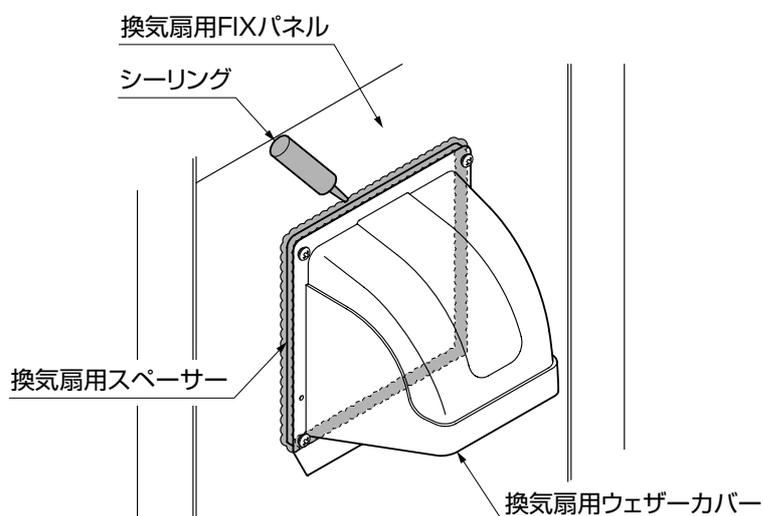
図11-1  
換気扇用スペーサー

図11-2  
換気扇用裏板

#### 🔑 ポイント

- 換気扇用スペーサーのリケイ紙をはがして換気扇用裏板を貼付けてください。(※1)
- 換気扇と換気扇用裏板を換気扇用ウエザーカバー取付ネジで換気扇用スペーサーが1mm～2mmつぶれるまで締付けて固定してください。
- 換気扇用スペーサーと換気扇用裏板は、角Rが大きい方を上にして取付けてください。(図11-1、図11-2参照)

### 11-2 シーリング処理

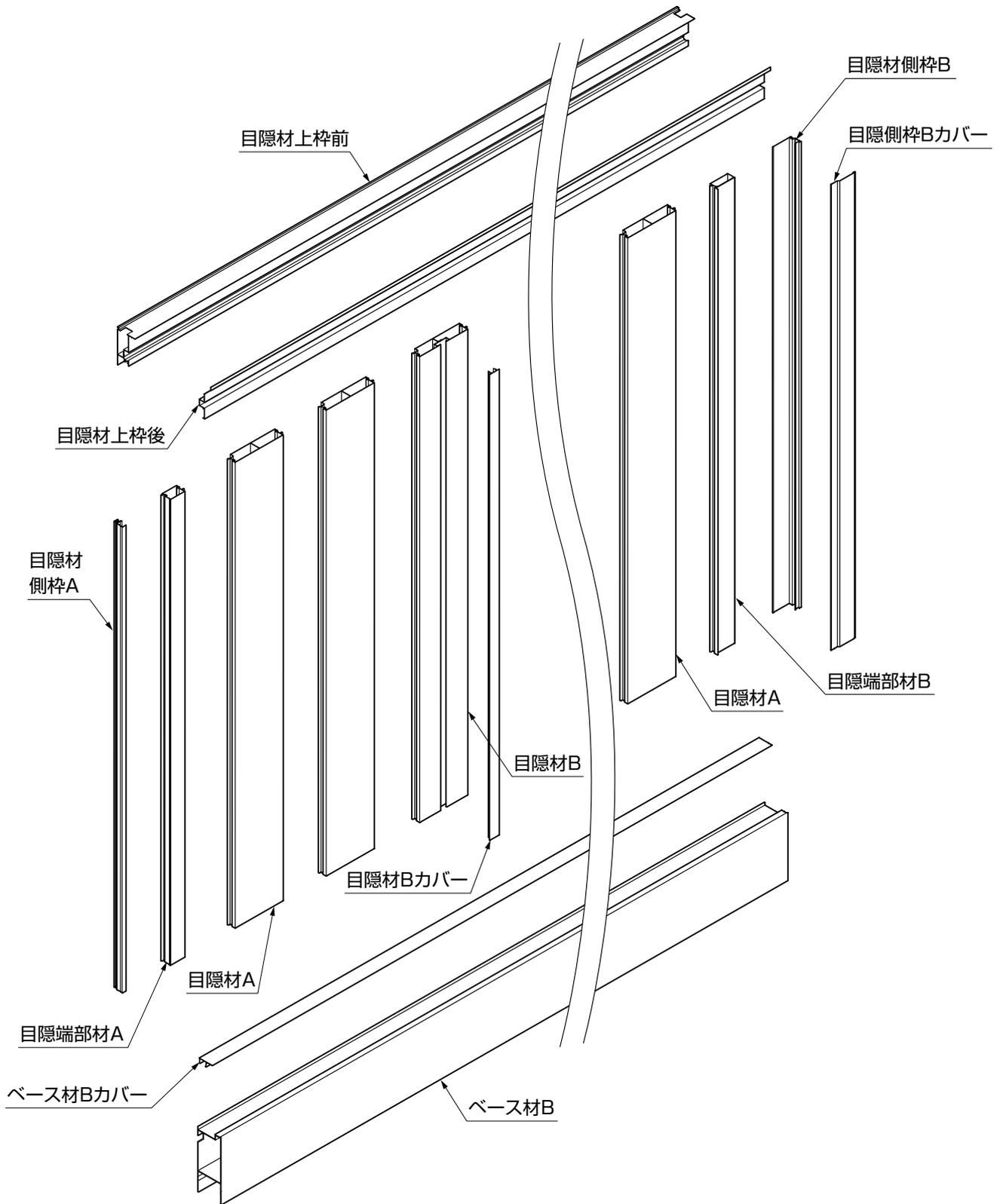


#### 🔑 ポイント

- 確実にシーリング処理をしてください。シーリングが不十分だと水漏れの原因になります。

## 6 機能柱・袖・目隠材の取付け

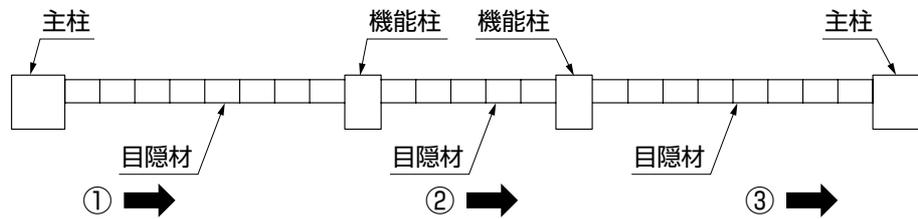
### 1. 施工前確認



①目隠材の施工前に各部材を確認してください。

## 2. 目隠材の納まり

### 2-1 目隠材取付け順番



#### ポイント

- 目隠材の取付けは主柱から順番に行なってください。

### 2-2 断面端部A（外観右）納まり

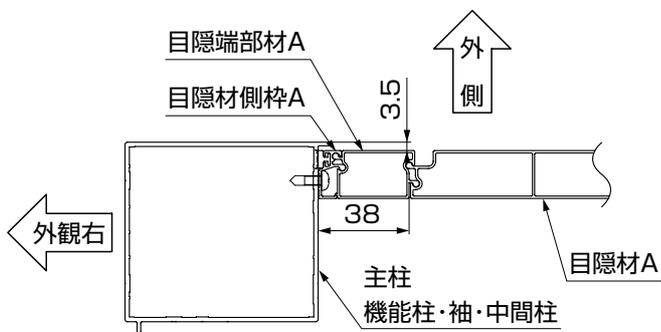


図2-1 側面の場合

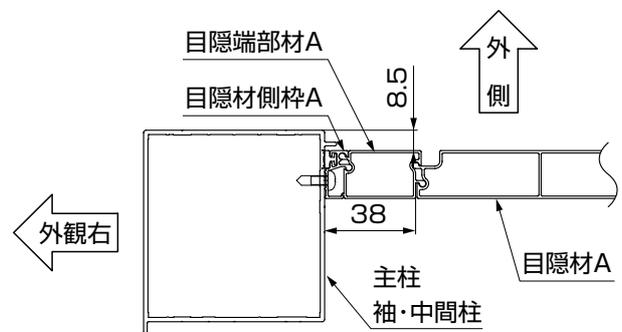


図2-2 正面・背面の場合

### 2-3 断面中間部納まり

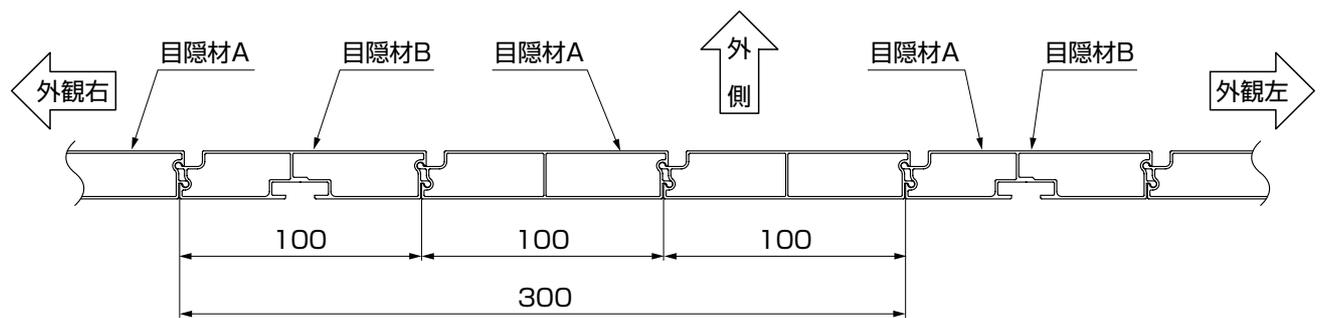


図2-3 目隠材が本体色の場合

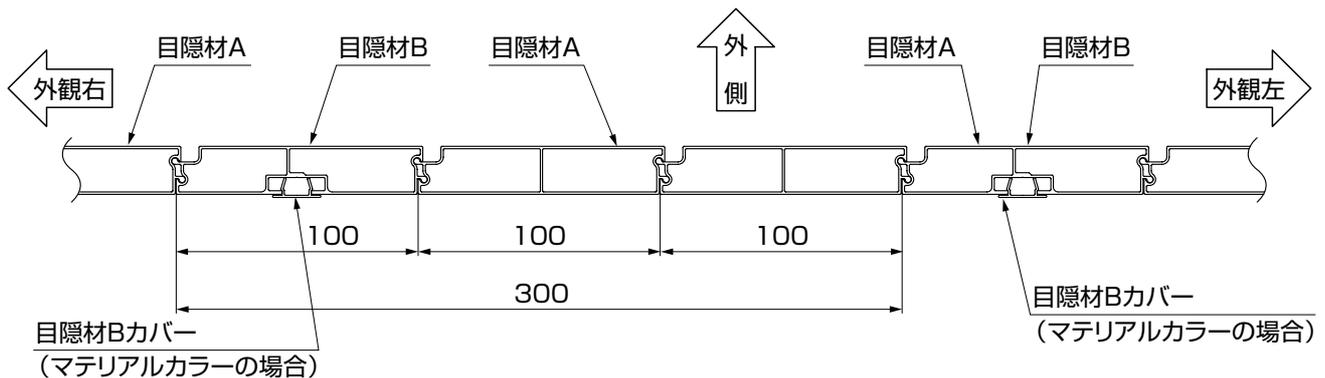


図2-4 目隠材がマテリアルカラーの場合

## 2-4 断面端部B (外観左) 納まり

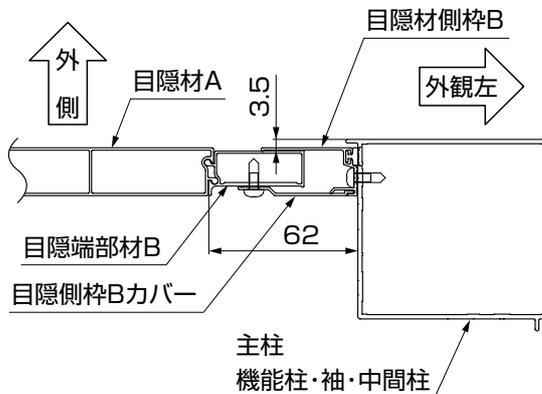


図2-6 側面の場合

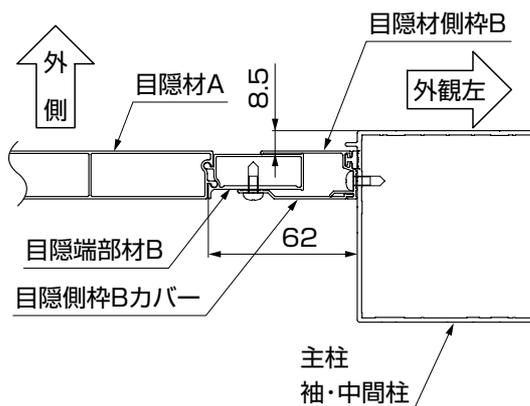


図2-7 正面・背面の場合

## 2-5 目隠材の並び順の確認

...目隠端部材A   
  ...目隠材A   
  ...目隠材B   
  ...目隠端部材B



図2-8 目隠材並び順

表2-2

	目隠材A	目隠材B
D03	2	0
D05	2	2

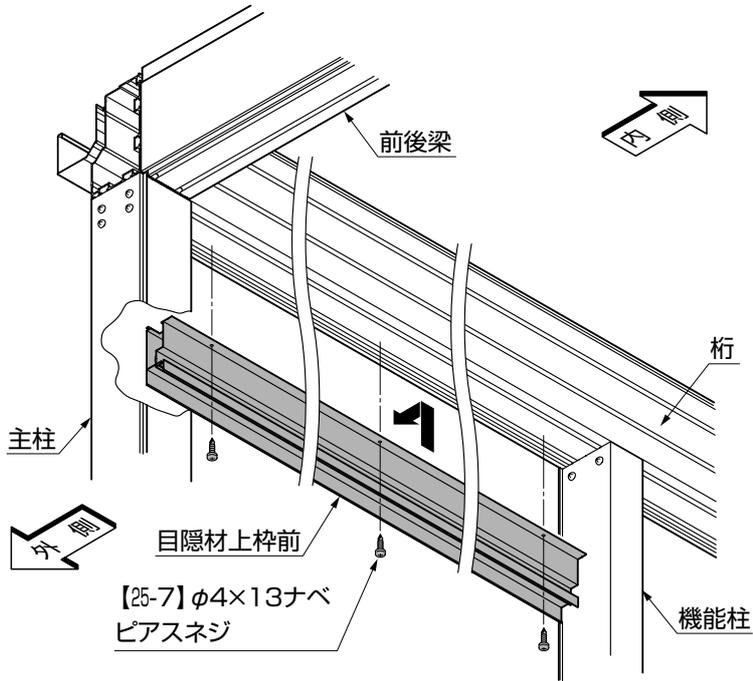
①目隠端部材と目隠材の並び順を確認してください。

**補足**

●各サイズの目隠材の枚数は表2-1を参照してください。

### 3. 目隠材上枠前の取付け

#### 3-1 目隠材上枠前の取付け



- ①目隠材上枠前のツメ(※1)を桁底部の溝に引っ掛け、【25-7】で固定してください。(図3-1参照)

#### ポイント

- 柱取付ネジ(※2)に目隠材上枠前が当たらないように目隠材上枠前の切欠き部(※3)に柱取付ネジを通すように取付けてください。(図3-2参照)

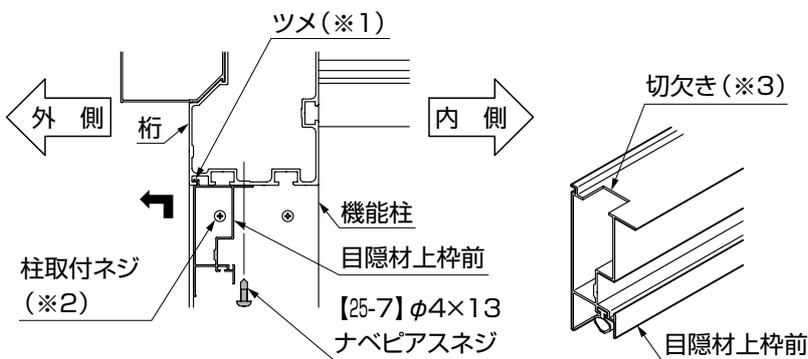
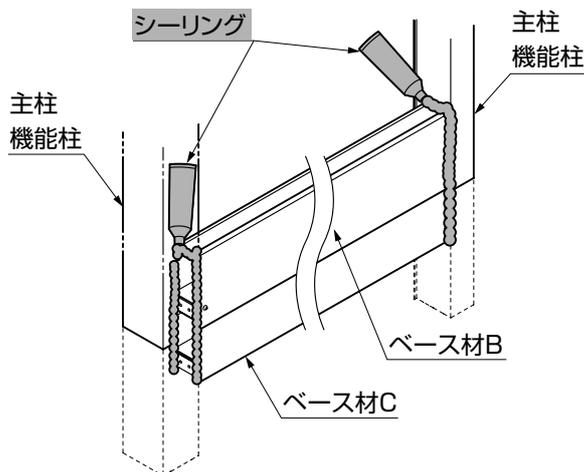


図3-1 目隠材上枠前取付断面図

図3-2

#### 3-2 ベース材のシーリング



- ①ベース材にシーリングをしてください。

#### ポイント

- シーリングが不完全な場合、雨漏りの原因になります。

## 4. 目隠材側枠の取付け

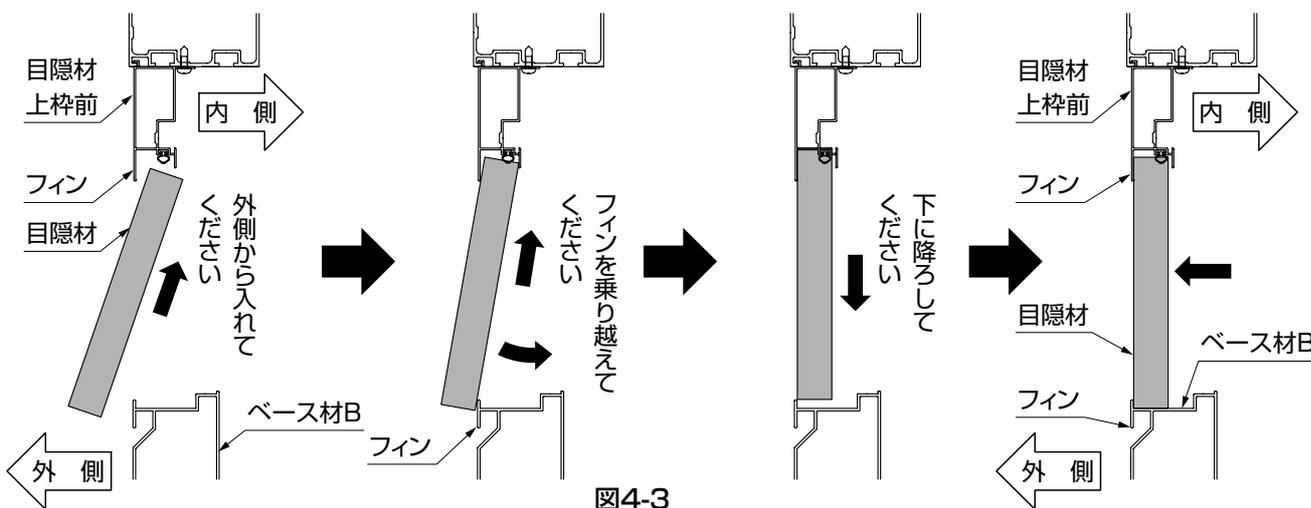
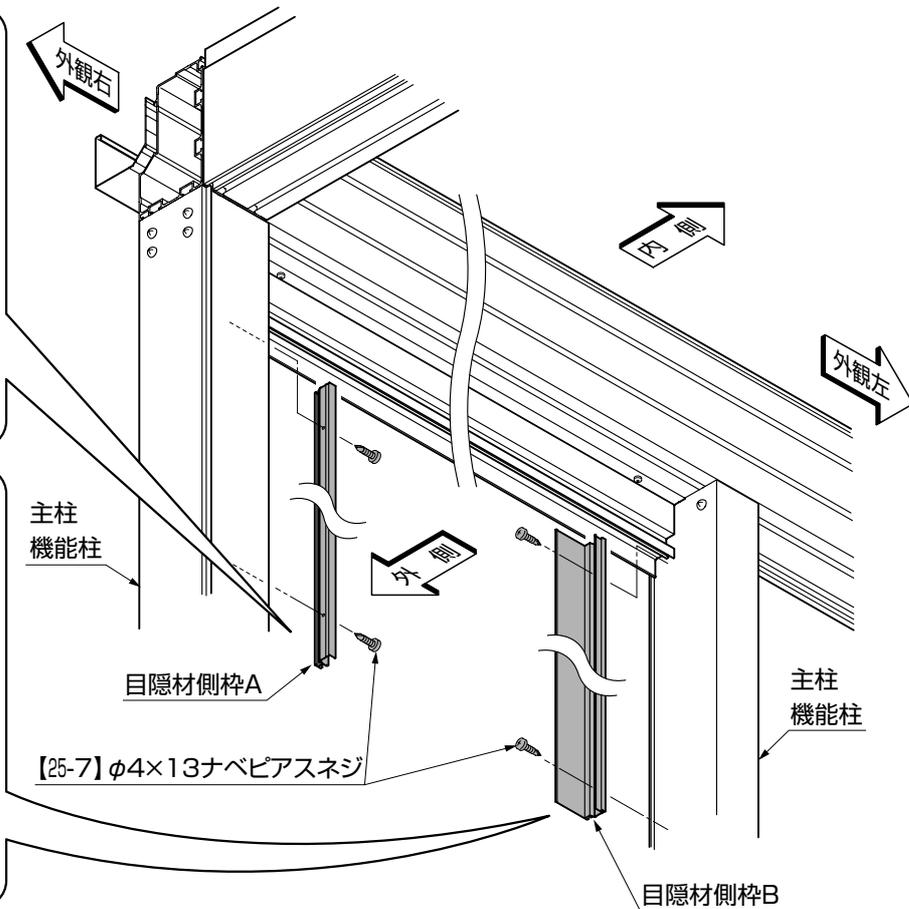
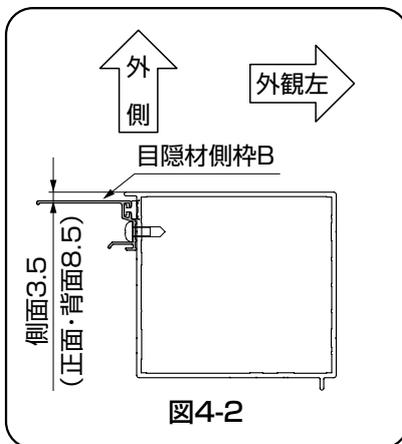
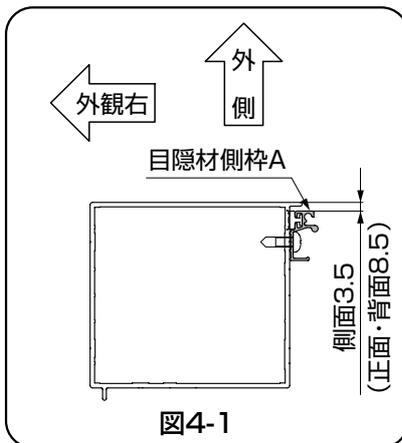


図4-3  
目隠材縦部材の取付け

- ①主柱または機能柱に目隠材側枠Aを【25-7】で取付けてください。(図4-1参照)
- ②主柱または機能柱に目隠材側枠Bを【25-7】で取付けてください。(図4-2参照)

### ポイント

- 目隠材側枠Aは外観右側・目隠材側枠Bは外観左側に取付けてください。
- 目隠材側枠は、外側から目隠材上枠前のフィン内側に引っ掛けるように入れ、ベース材Bのフィン乗り越えたら外側に押付けてください。(図4-3参照)

## 5. 目隠端部材A・目隠材の取付け

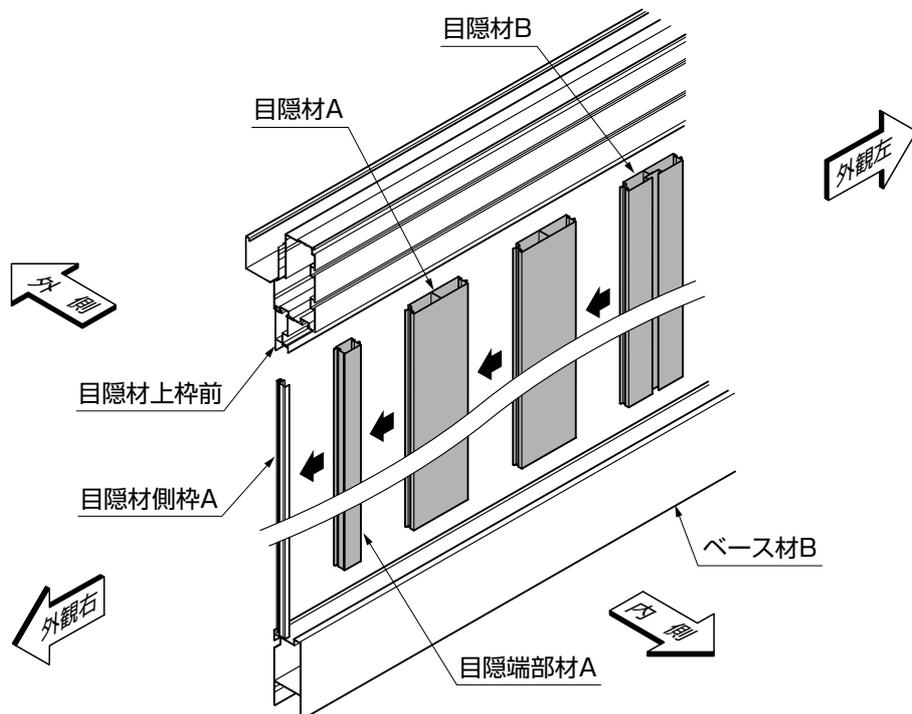


図5-1

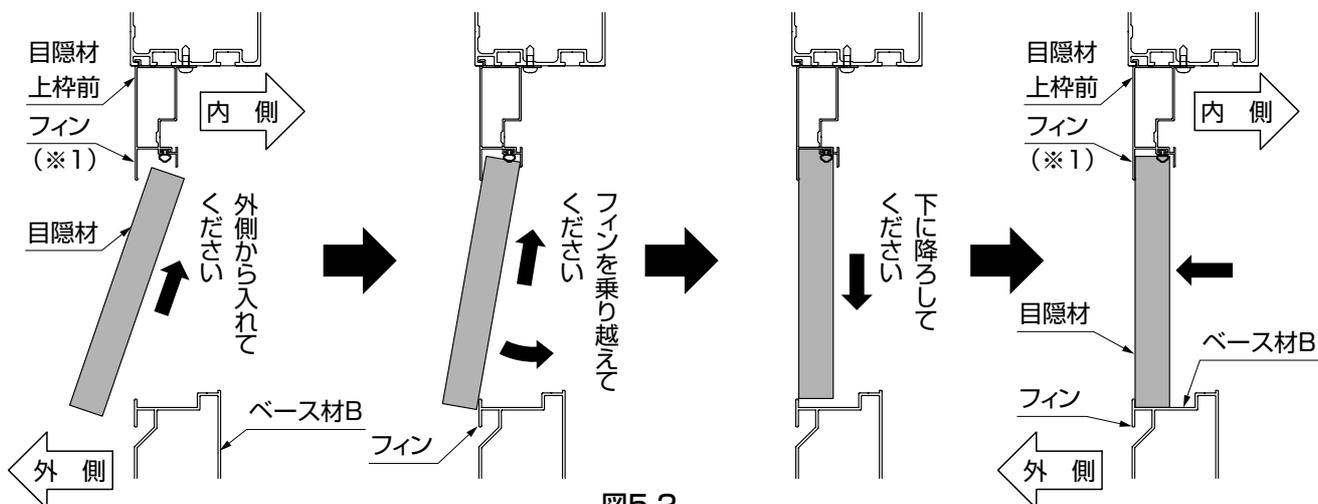


図5-2

目隠材縦部材の取付け

### ポイント

- 目隠材は、外観右側より取付けてください。
- 目隠端部材A・目隠端部材B・目隠材A・目隠材Bは取付け向きや並び順が異なります。「2.目隠材の納まり」を参照してください。
- 目隠材は外側から上枠前のフィン内側に引っ掛けるように入れ、ベース材Bのフィンを乗り越えたら外側に押付けてください。(図5-2参照)
- 目隠材を取外す場合は、目隠材上枠前のフィン(※1)を曲げないようにご注意ください。

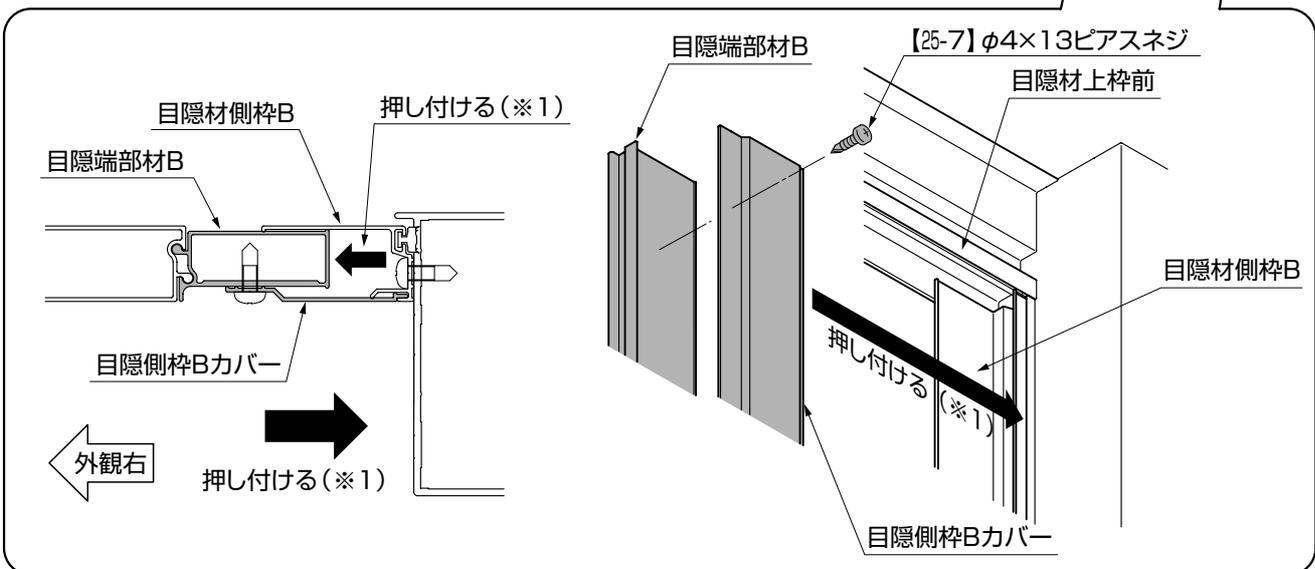
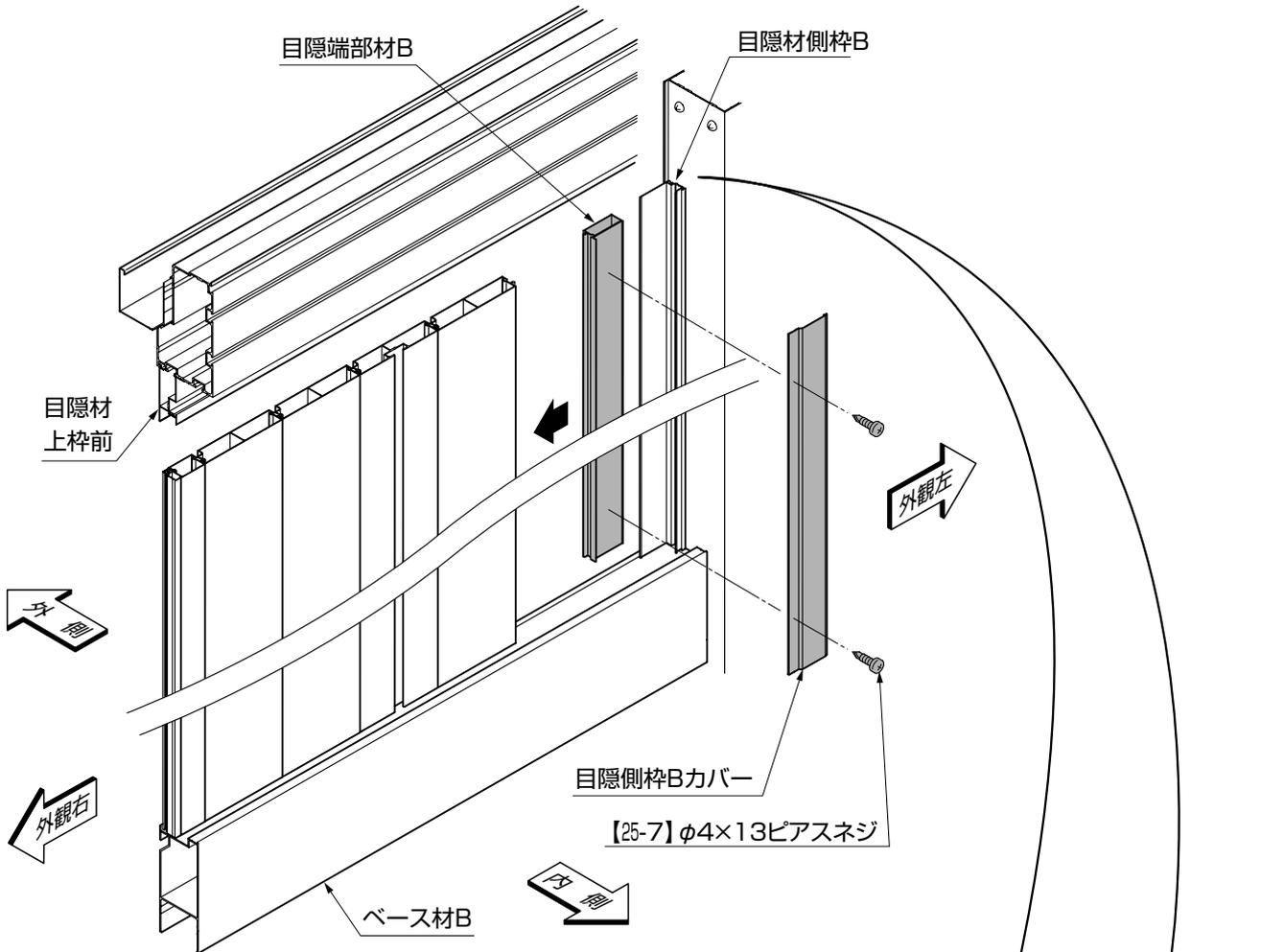
①目隠端部材Aを目隠材側枠Aにはめてください。(図5-1参照)

### 補足

- 目隠材の使用枚数はサイズによって異なります。(「2-4 目隠材の並び順の確認」参照)

②目隠端部材Aに目隠材A、目隠材Bをはめてください。(図5-1参照)

## 6. 目隠端部材Bの取付け



①必要枚数の目隠材を取付けたら、目隠端部材B・目隠側枠Bカバーをはめて目隠材側枠Bに【25-7】で固定してください。

### ポイント

- 目隠側枠Bカバーは、目隠端部材Bで目隠材全体を外観右に押し付けながら目隠材側枠Bに押し付けて取付けてください。(※1)

## 7. 目隠材上枠後・ベース材Bカバーの取付け

### 7-1 目隠材上枠後の取付け

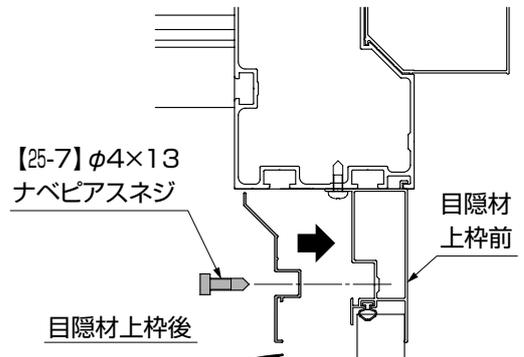
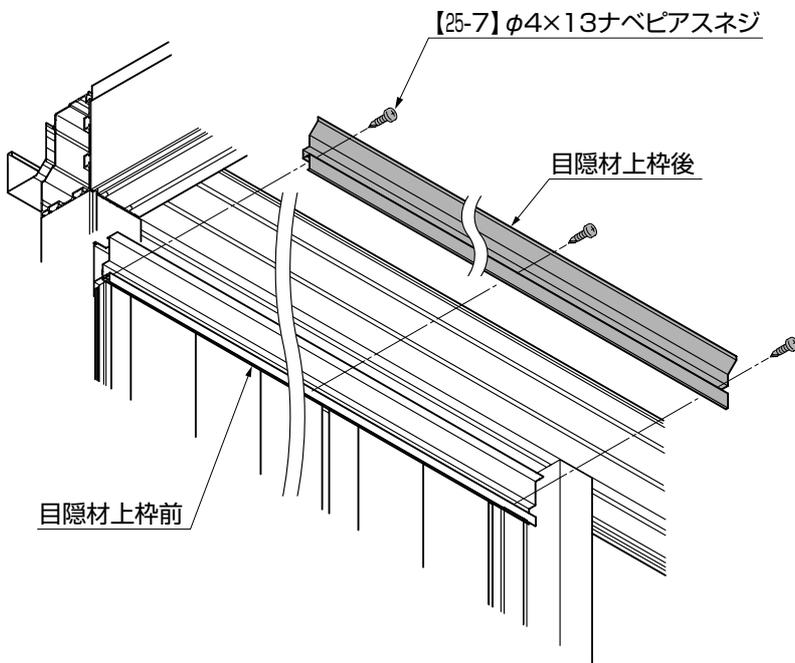


図7-1  
目隠材上枠後取付断面図

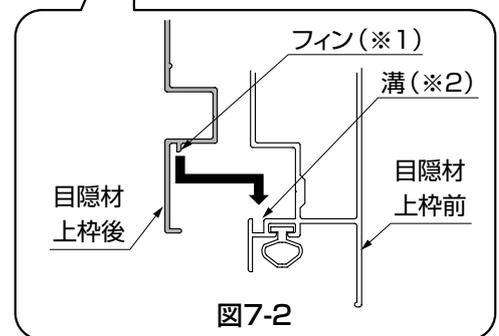


図7-2

①目隠材上枠後を【25-7】で目隠材上枠前に取付けてください。

#### ポイント

●目隠材上枠後のフィン(※1)を目隠材上枠前の溝(※2)に入れるように取付けてください。

### 7-2 ベース材Bカバーの取付け

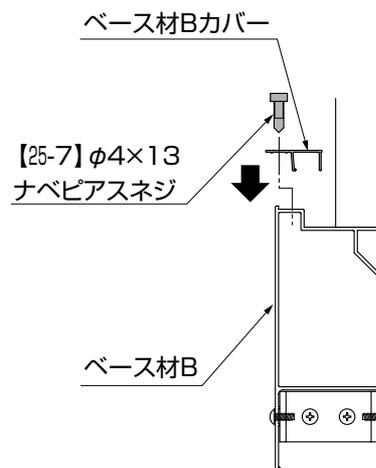
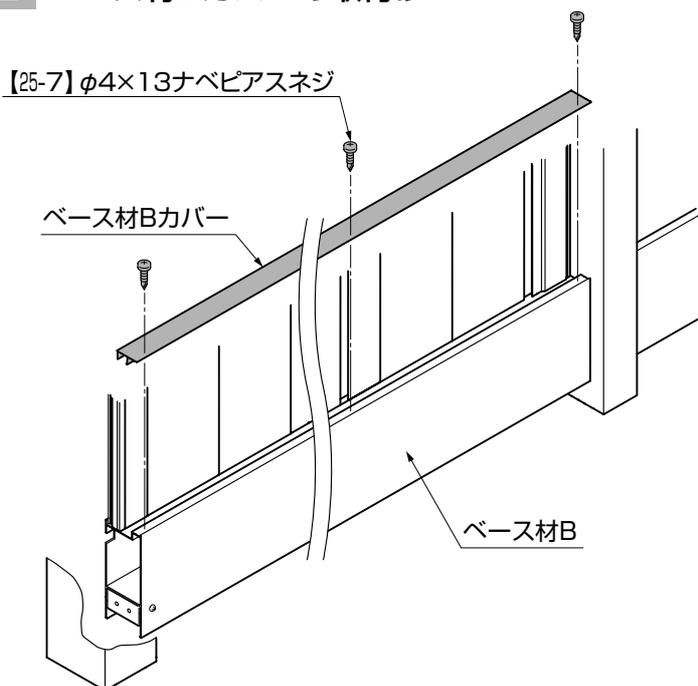
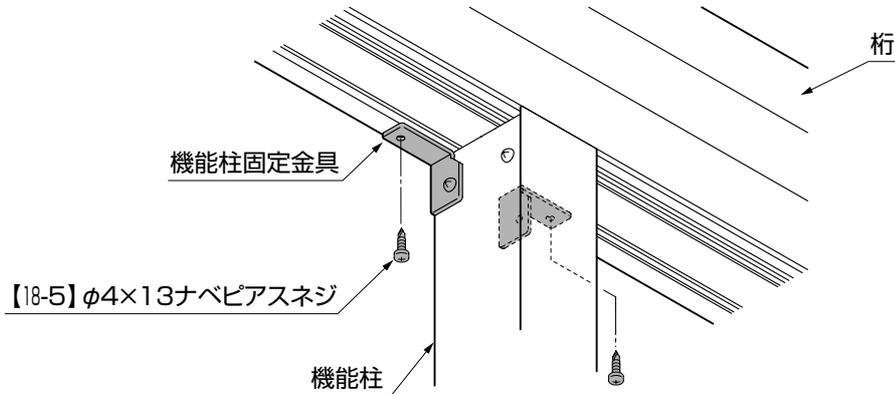


図7-3 ベース材Bカバー取付断面図

①ベース材Bカバーを【25-7】でベース材Bに取付けてください。

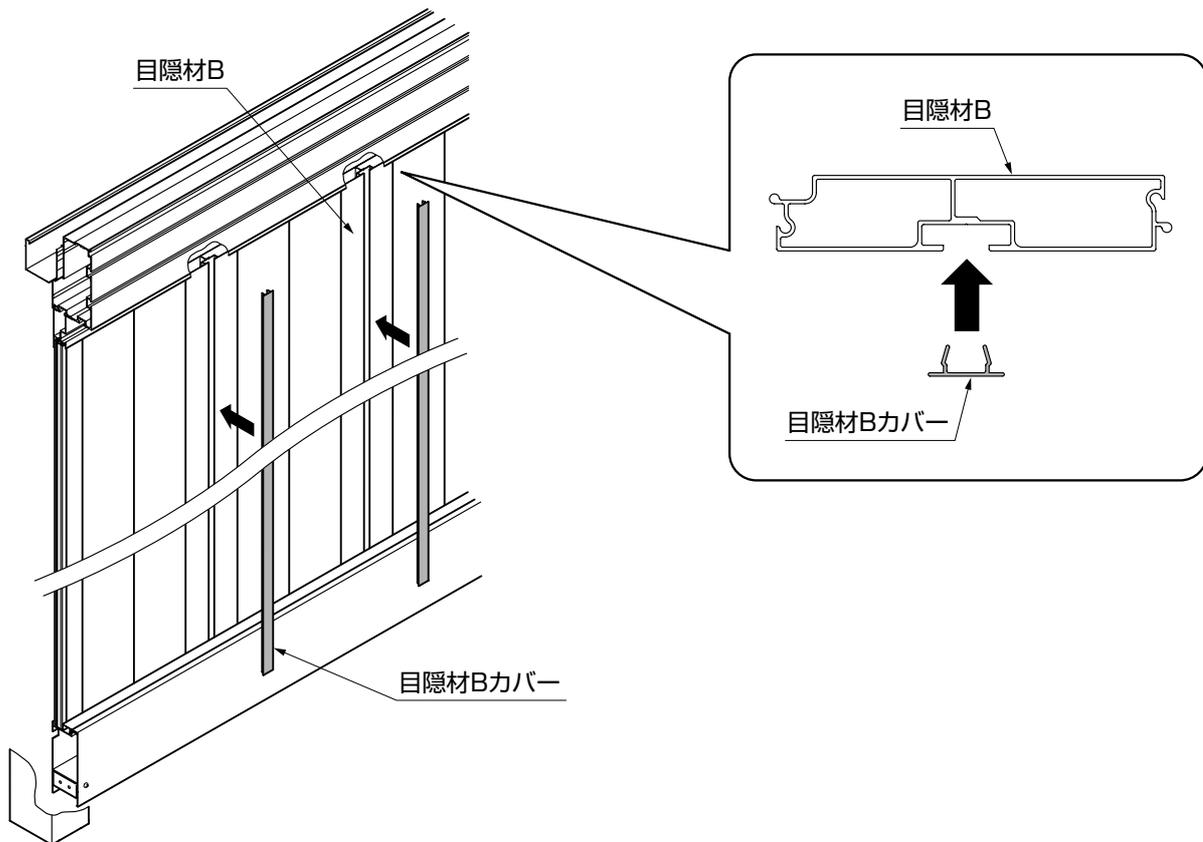
### 7-3 機能性固定金具の取付け



①機能柱固定金具を【18-5】で桁に取付けてください。

## 8. 目隠材Bカバーの取付け

※目隠材がマテリアルカラーの場合のみの取付けです。



#### ポイント

●柵・テーブル等のオプションを取付ける場合は、目隠材Bカバーを取付ける前に行なってください。目隠材Bカバーは取付け状況に合わせて現場で切断して取付けてください。

①目隠材Bに目隠材Bカバーを取付けてください

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

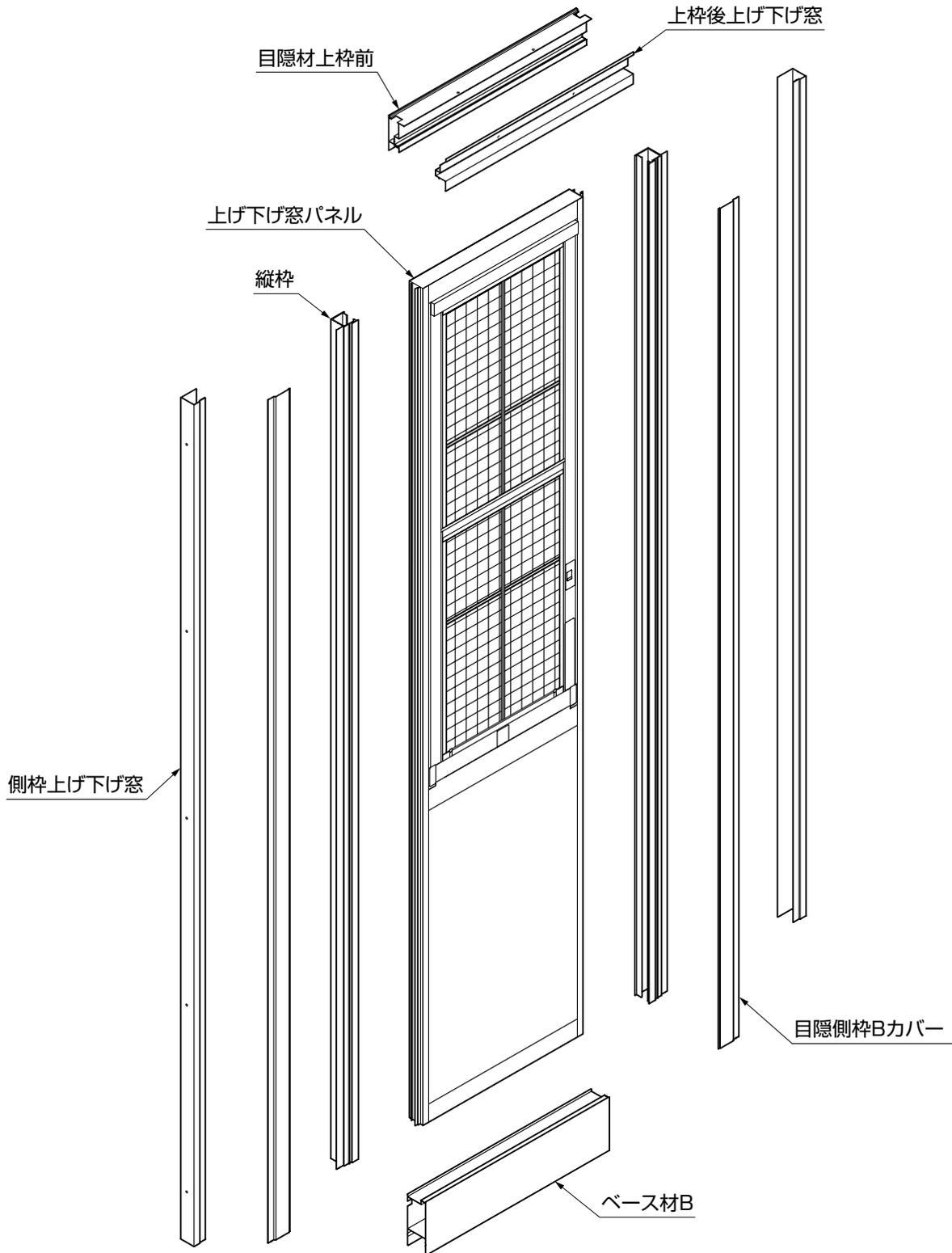
.....

.....

## 7 上げ下げ窓の取付け

オプション

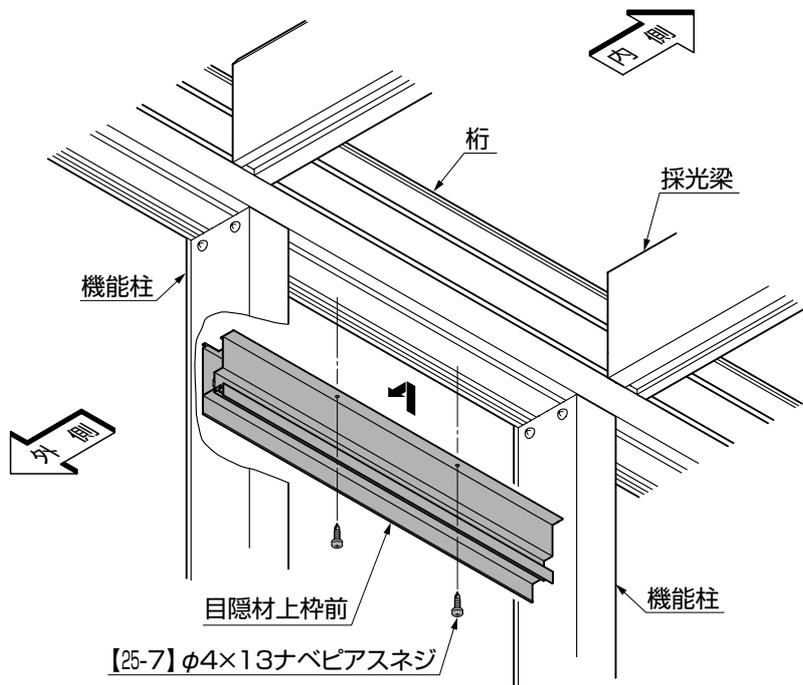
### 1. 施工前確認



① 上げ下げ窓の施工前に各部材を確認してください。

## 2. 目隠材上枠前の取付け

### 2-1 目隠材上枠前の取付け



- ①目隠材上枠前のツメ(※1)を桁底部の溝に引っ掛け、【25-7】で固定してください。(図2-1参照)

#### ポイント

- 柱取付ネジ(※2)に目隠材上枠前が当たらないように目隠材上枠前の切欠き部(※3)に柱取付ネジを通すように取付けてください。(図2-2参照)

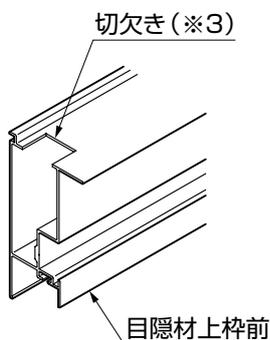
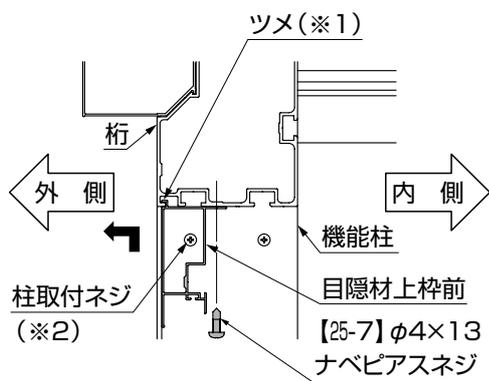
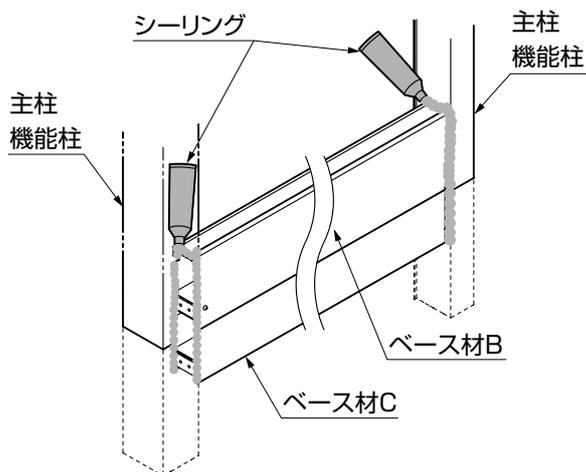


図2-1 目隠材上枠前取付断面図

図2-2

### 2-2 ベース材のシーリング



- ①ベース材にシーリングをしてください。

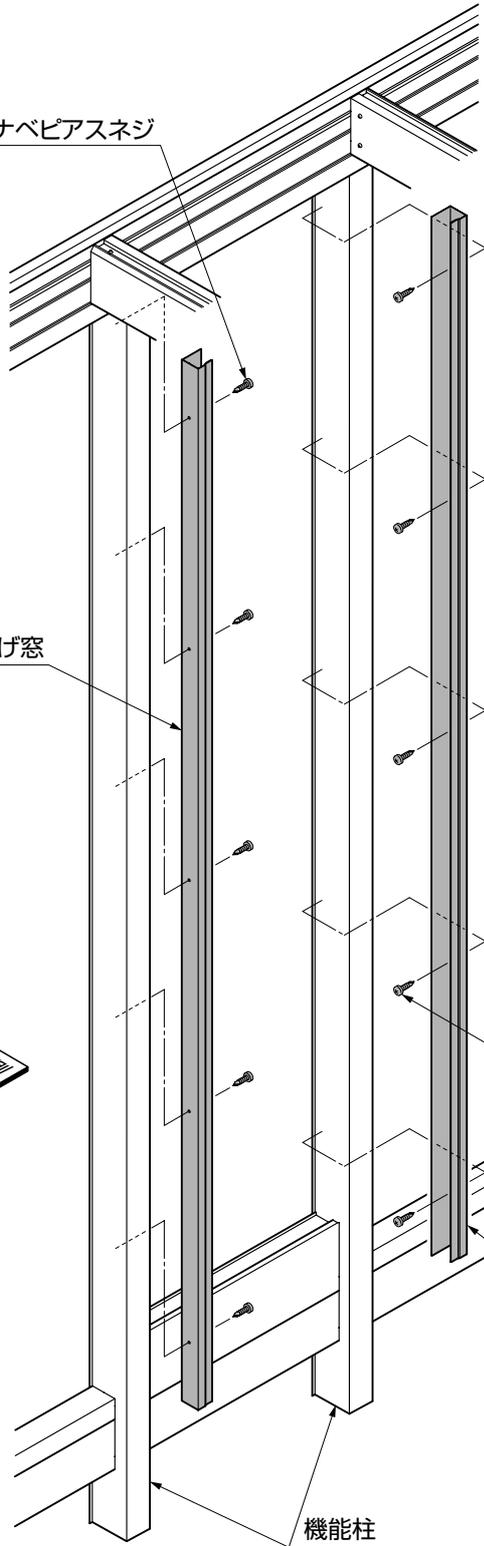
#### ポイント

- シーリングが不完全な場合、雨漏りの原因になります。

### 3. 側枠上げ下げ窓の取付け

【25-7】φ4×13ナベピアスネジ

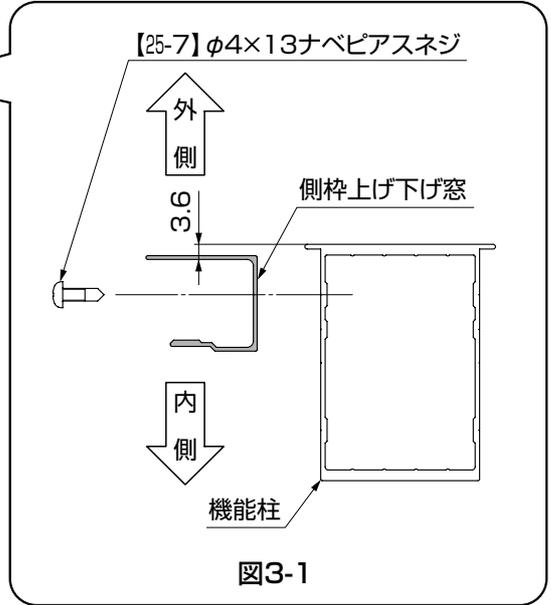
側枠上げ下げ窓



【25-7】φ4×13ナベピアスネジ

側枠上げ下げ窓

機能柱



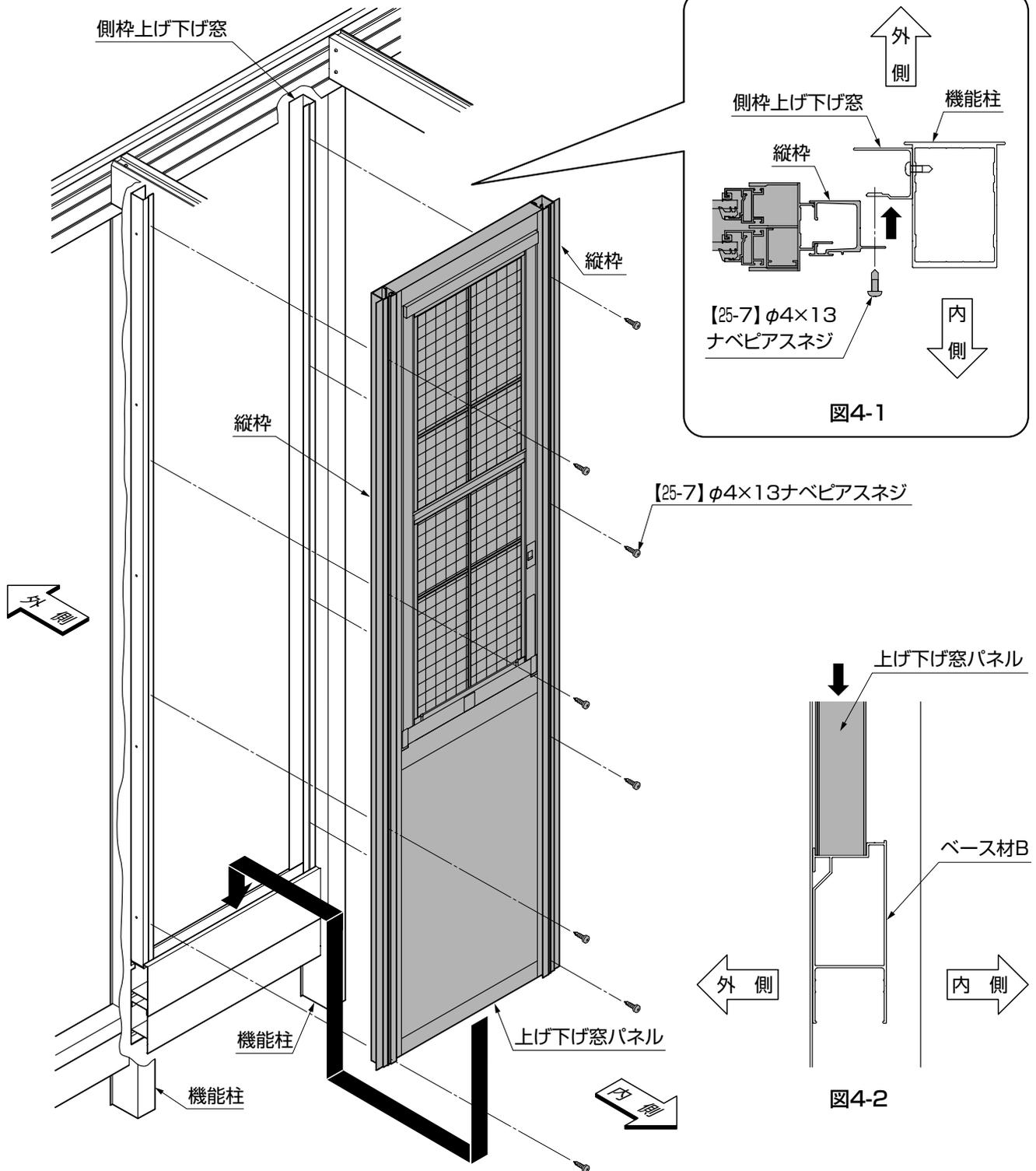
①側枠上げ下げ窓を【25-7】で機能柱に取付けてください。

**ポイント**

●側枠上げ下げ窓には外・内の向きがありますので確認してください。(図3-1参照)

## 4. 上げ下げ窓パネルの取付け

### 4-1 上げ下げ窓パネルの取付け

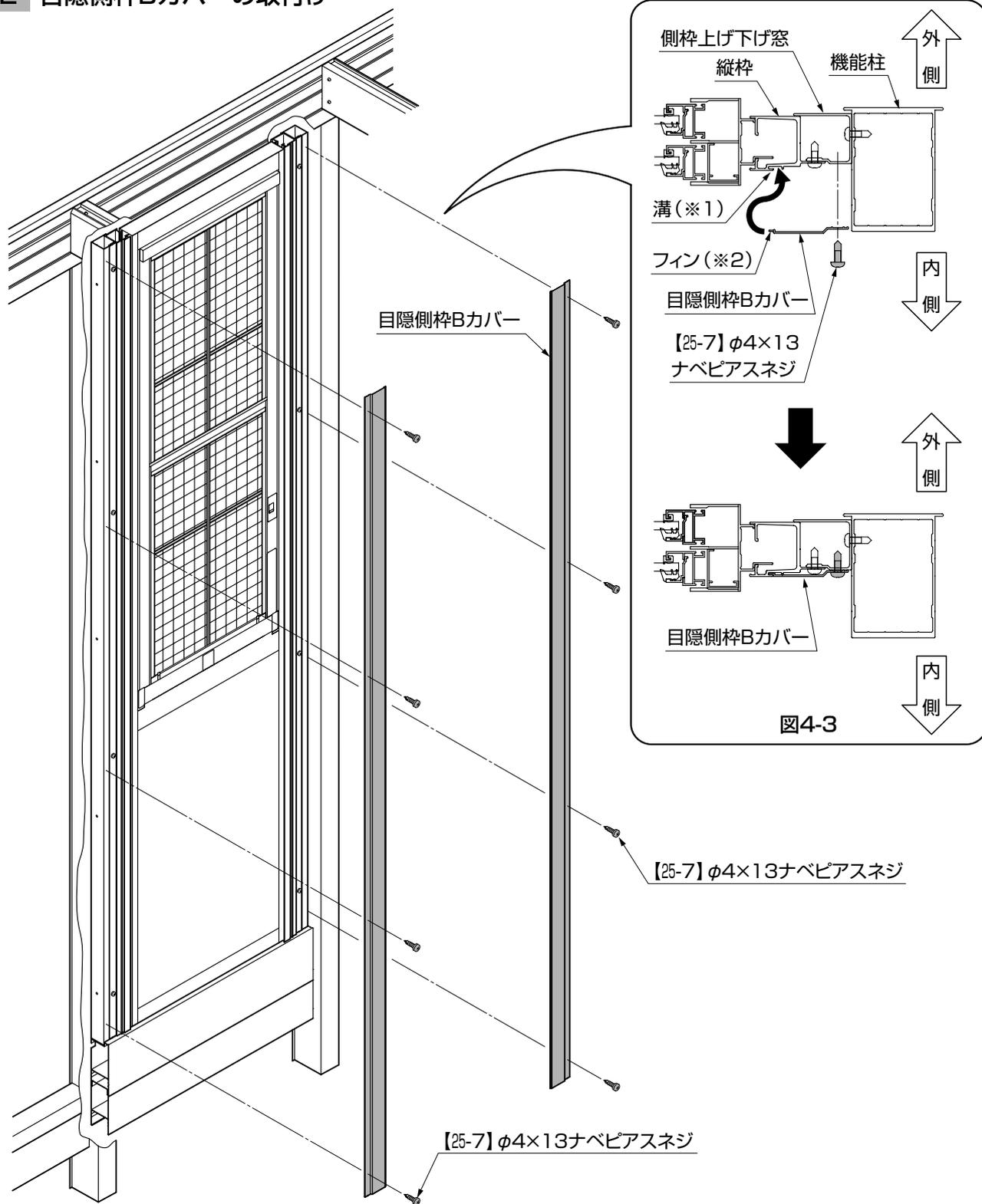


①機能柱の間に内側から上げ下げ窓パネルを入れ、【25-7】で側枠上げ下げ窓に取付けてください。

#### ポイント

- 上げ下げ窓には外・内の向きがありますので確認してください。(図4-1参照)
- 上げ下げ窓をベース材Bに乗せるように取付けてください。(図4-2参照)

## 4-2 目隠側枠Bカバーの取付け



① 上げ下げ窓パネルに【25-7】で目隠側枠Bカバーを取付けてください。

### ポイント

- 目隠側枠Bカバーのフィン(※2)を縦枠の溝(※1)に引っ掛けるように取付けてください。(図4-3参照)

## 5. 上枠後上げ下げ窓の取付け

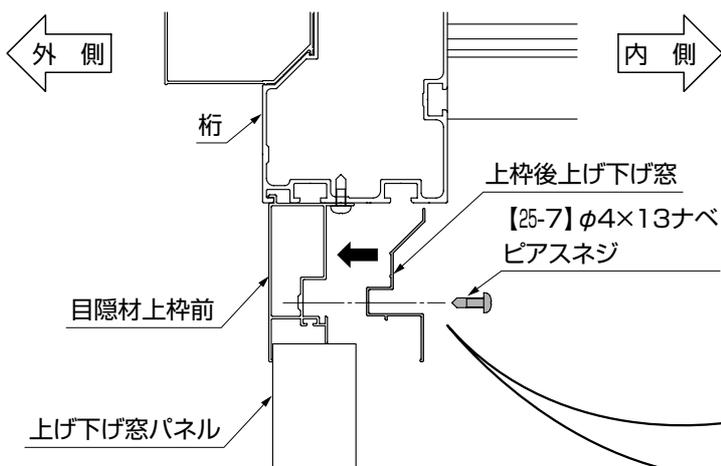
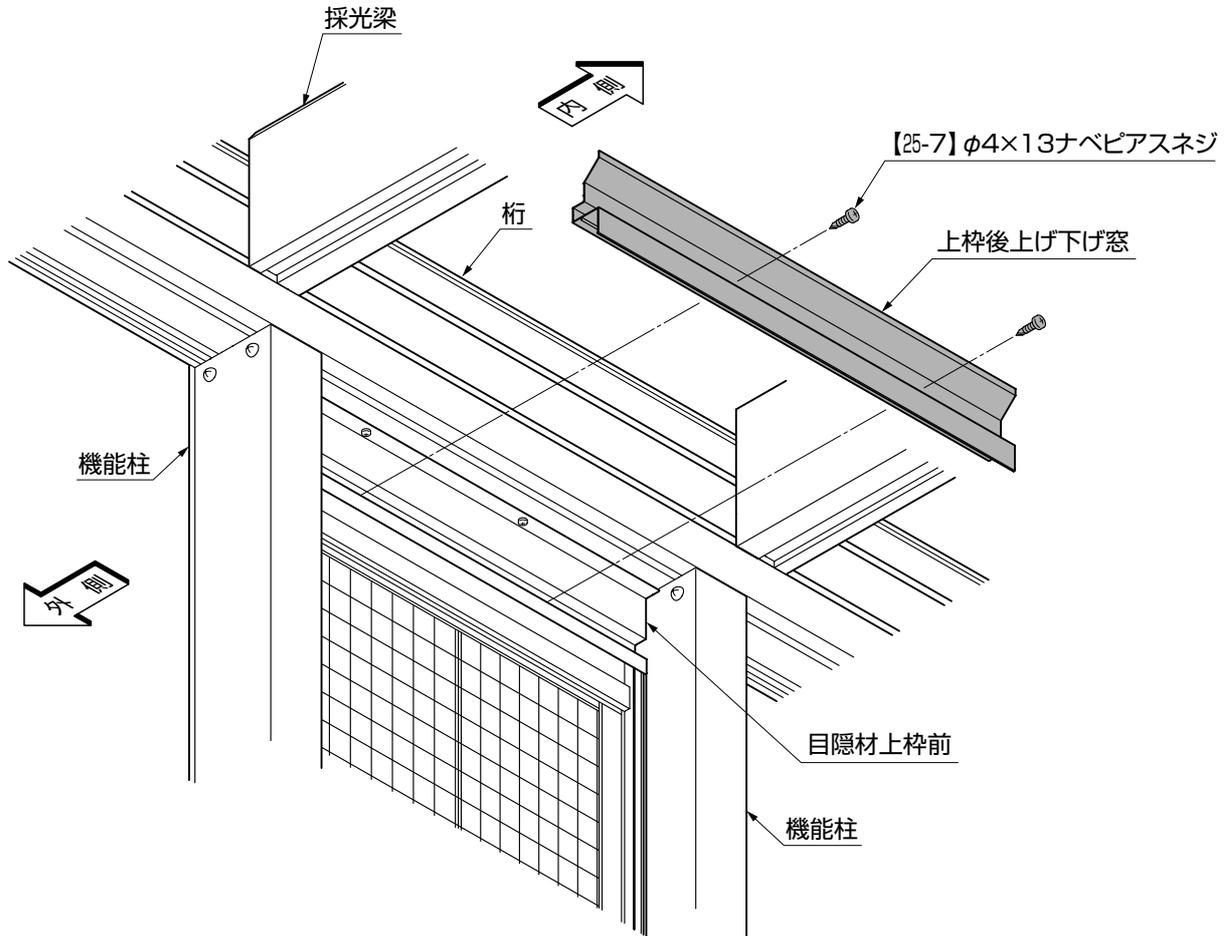


図5-1

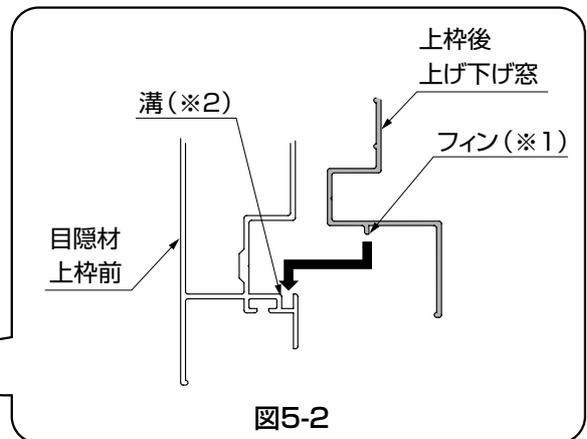


図5-2

①上枠後上げ下げ窓を【25-7】で桁に取付けてください。

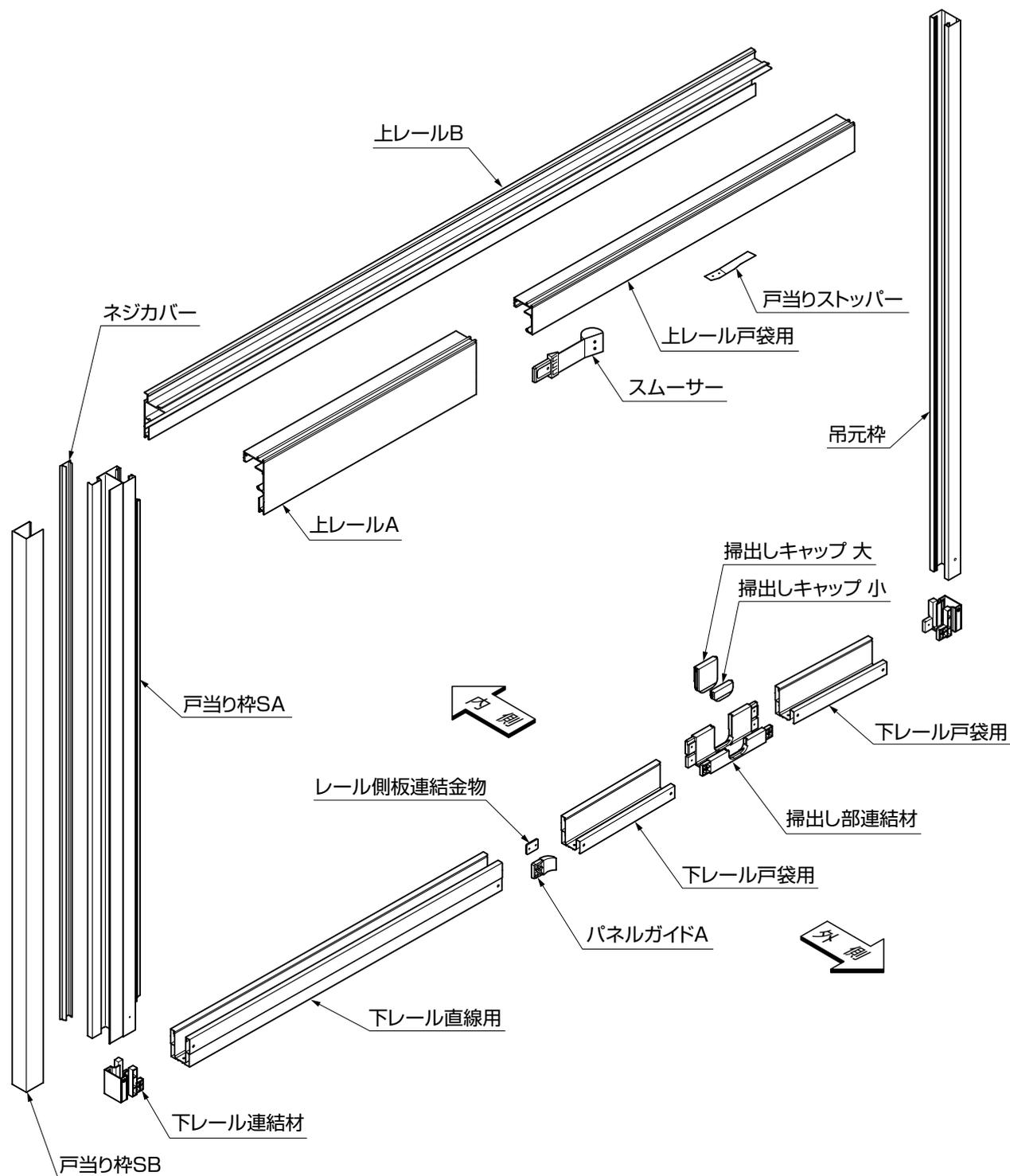
### ポイント

●上枠後上げ下げ窓のフィン(※1)を目隠材上枠前の溝(※2)に入れるように取付けてください。

## 8 レールの取付け

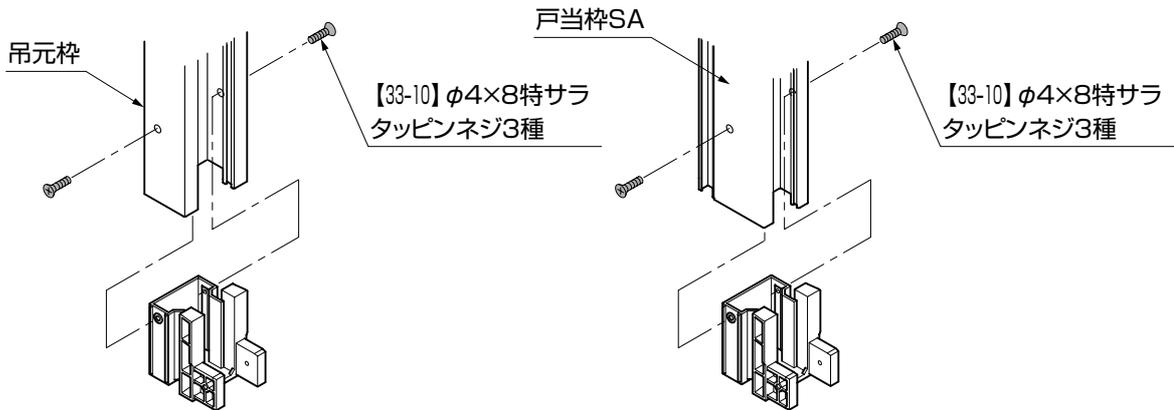
### 1. 施工前確認

※図は右収納を示します。左収納は図と対称です。



①レールの施工前に各部材を確認してください。

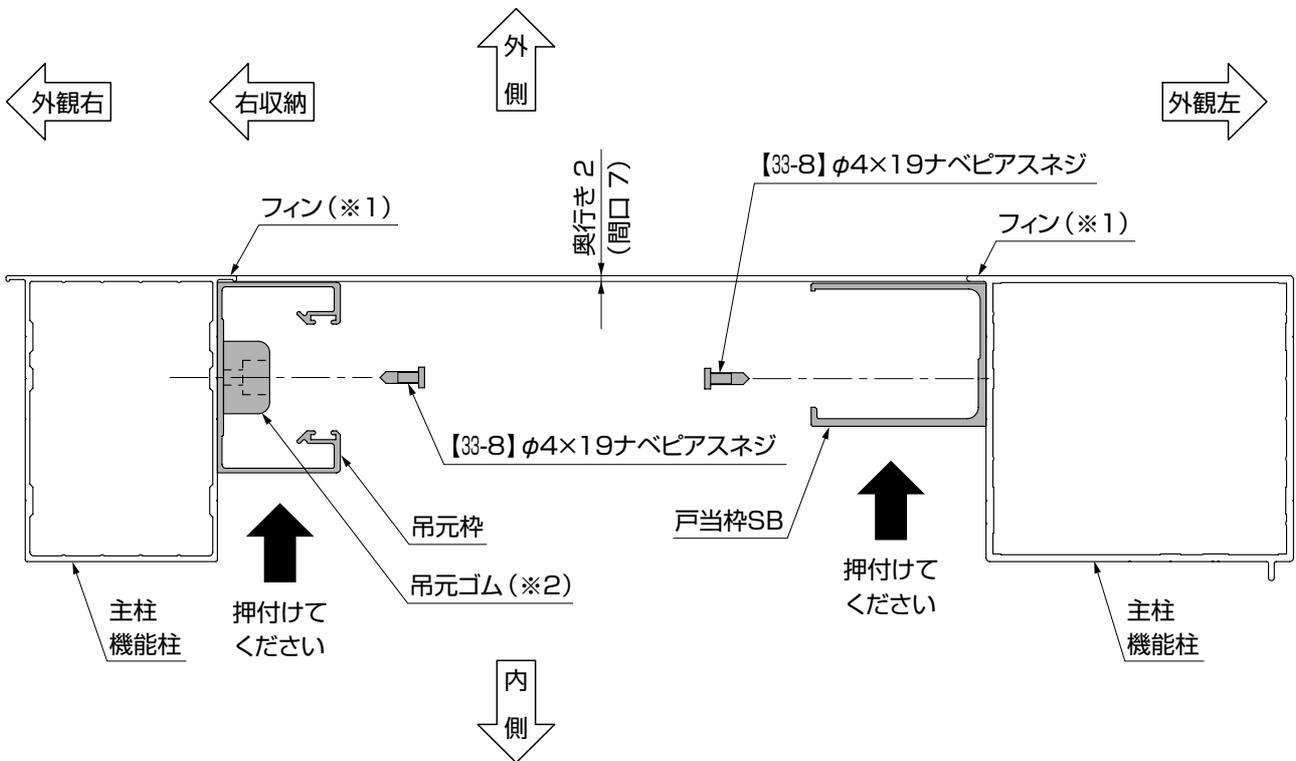
## 2. 下レール連結材の取付け



①下レール連結材を戸当枳SAと吊元枳、それぞれに【33-10】で取付けてください。

## 3. 吊元枳・戸当枳SBの取付け

※図は右収納を示します。左収納は図と対称です。



### ポイント

- 吊元枳・戸当枳SBは、主柱・機能柱のフィン(※1)に当たるように押付けて取付けてください。
- 吊元ゴム(※2)は、吊元枳の上・中・下の3ヶ所に取付けてください。

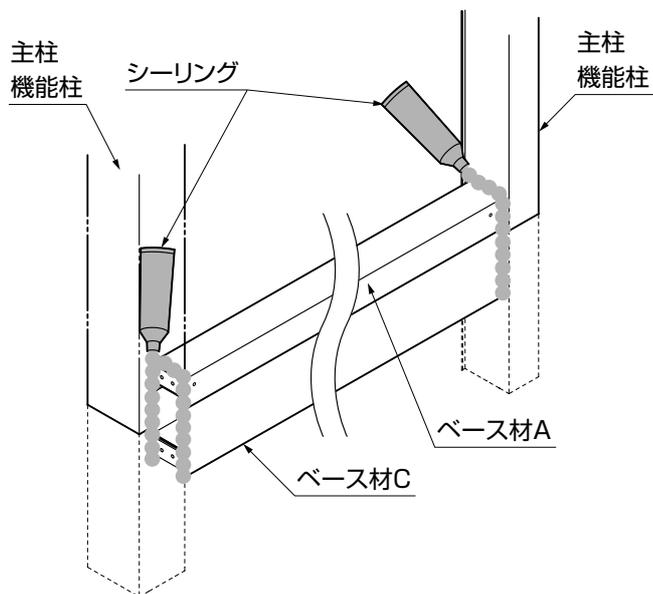


図3-1 折戸パネルベース材部シーリング箇所

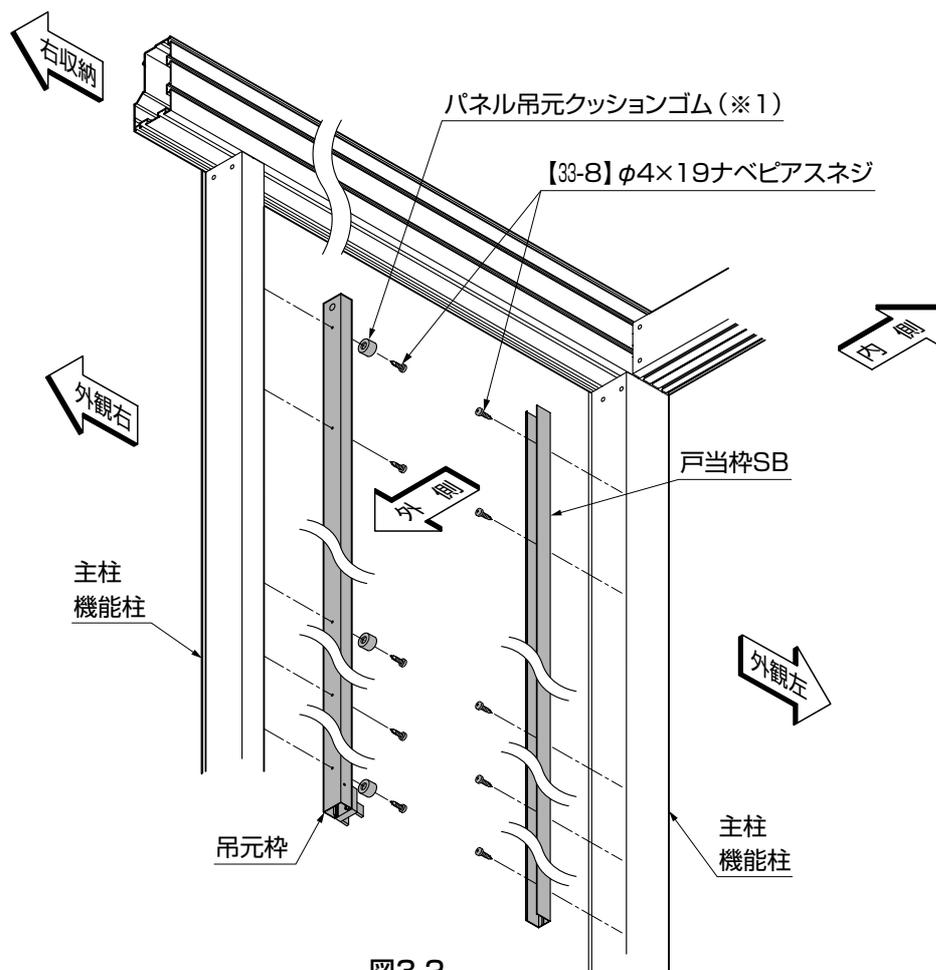


図3-2

- ①ベース材にシーリングをしてください。(図3-1参照)
- ②折戸パネルの開閉方向にしたがって、主柱・機能柱に吊元枠とパネル吊元クッションゴムを【33-8】で取付けてください。(図3-2参照)
- ③折戸パネルの開閉方向にしたがって、主柱・機能柱に戸当り枠SBを【33-8】で取付けてください。(図3-2参照)

## 4. 上レールA・上レール戸袋用の取付け

※図は右収納を示します。左収納は図と対称です。

### 4-1 上レールの加工

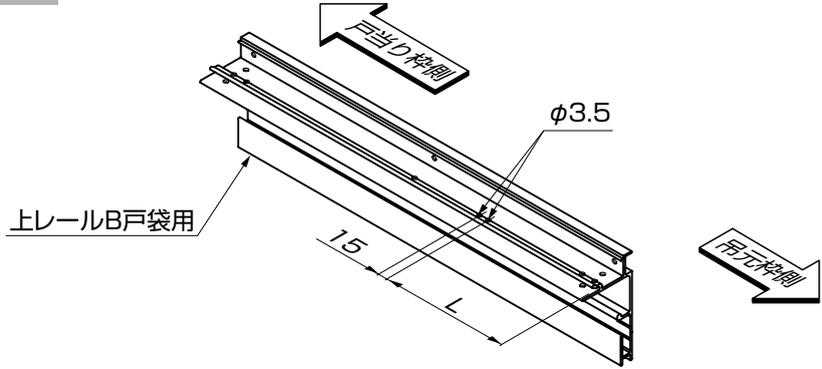


表4-1

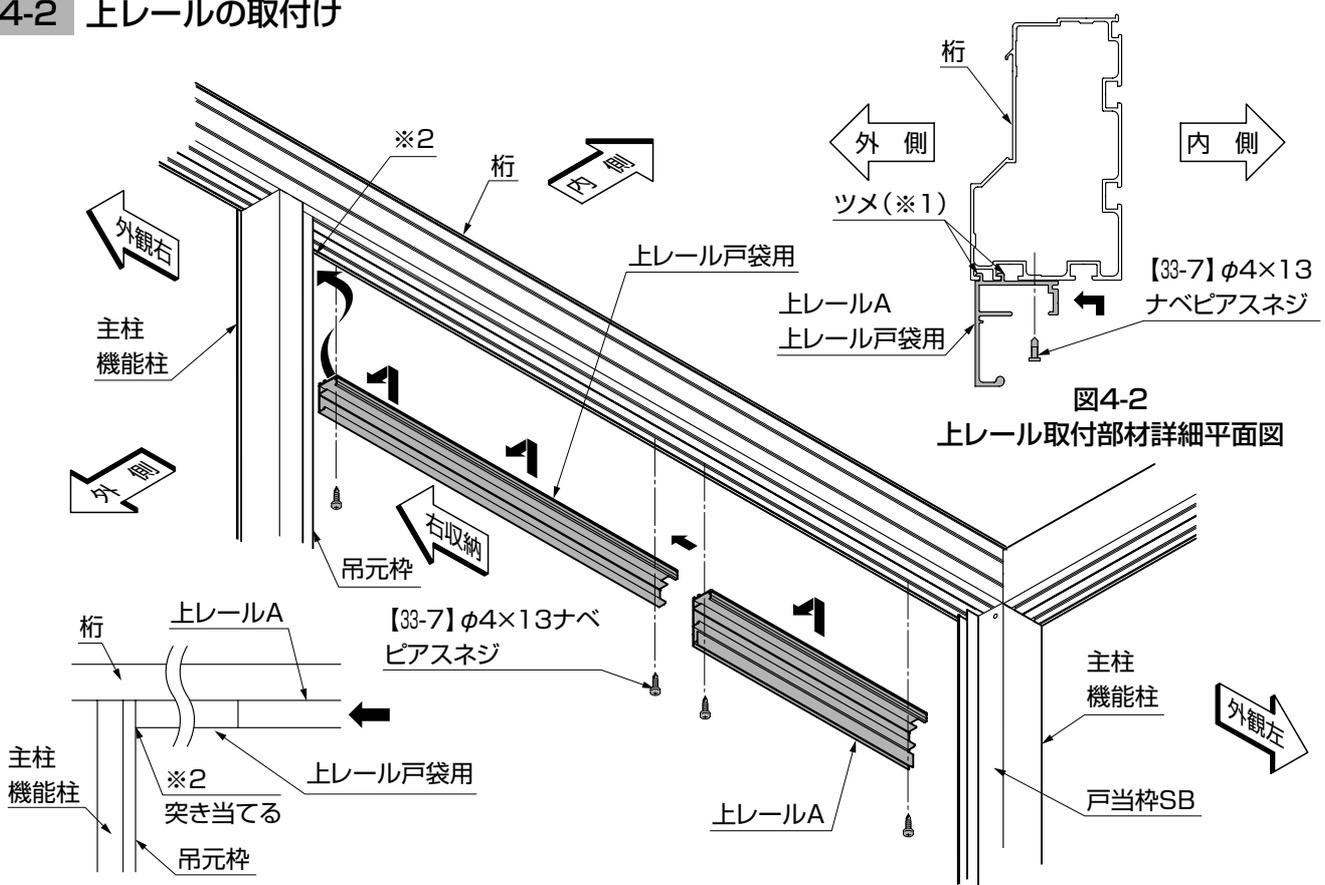
寸法	L	備考
戸袋サイズ		
パネル6枚用	265	D22・D24
パネル8枚用	307	D30

①レールセットの梱包を開いた時点で、上レールB戸袋用に戸当りストッパー取付け用のφ3.5の孔をあけてください。(表4-1参照)

#### ポイント

●孔位置を間違えるとパネルの開閉に支障を生じることがあります。

### 4-2 上レールの取付け



①上レール戸袋用・上レールAのツメ(※1)を桁底部の溝に引っ掛けて【33-7】で固定してください。(図4-1、図4-2参照)

#### ポイント

●上レール戸袋用を吊元枠に突き当てて(※2)取付けてください。(図4-3参照)

## 5. スムーサーの取付け

※図は右収納を示します。左収納は図と対称です。

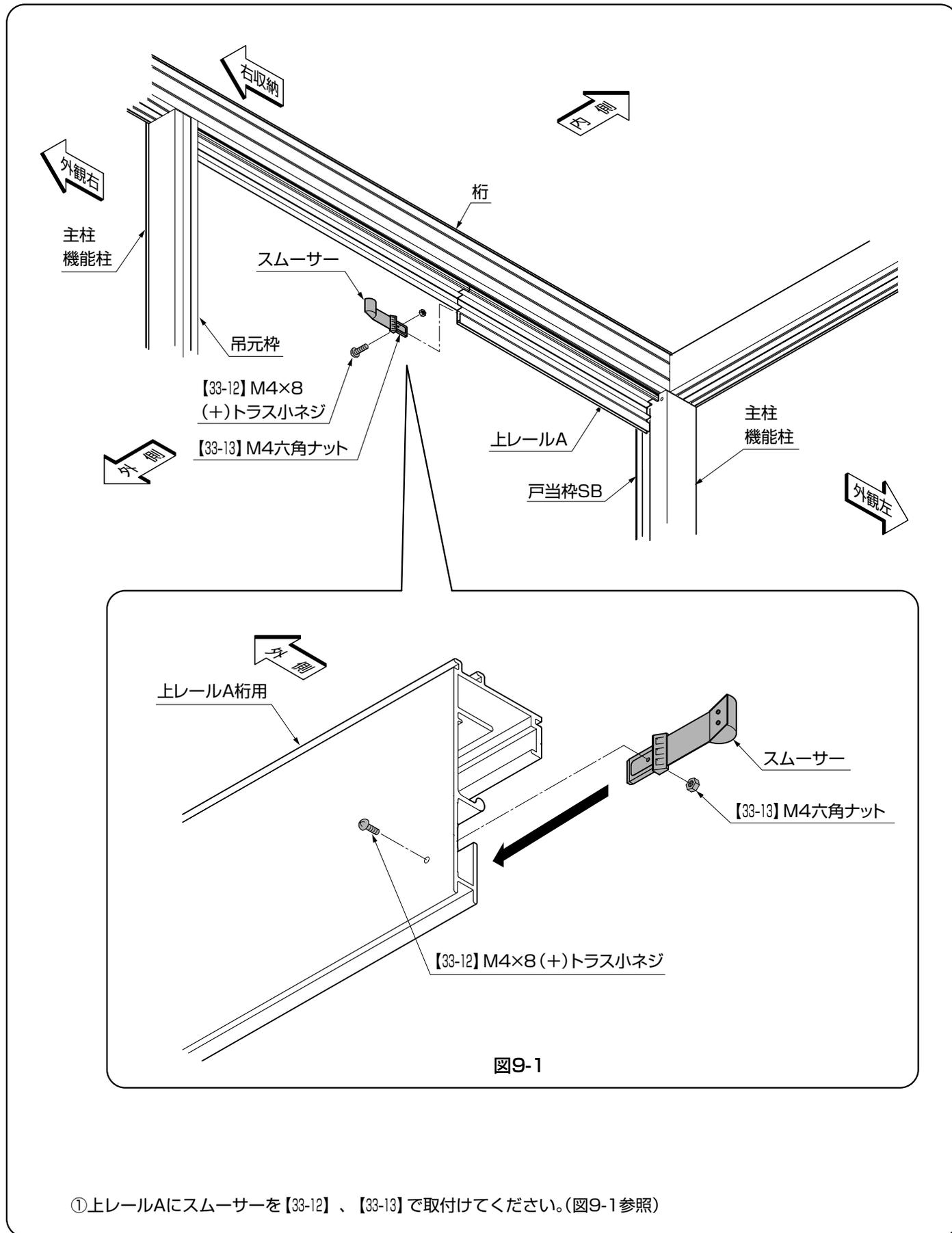


図9-1

## 6. 上レールBの取付け

※図は右収納を示します。左収納は図と対称です。

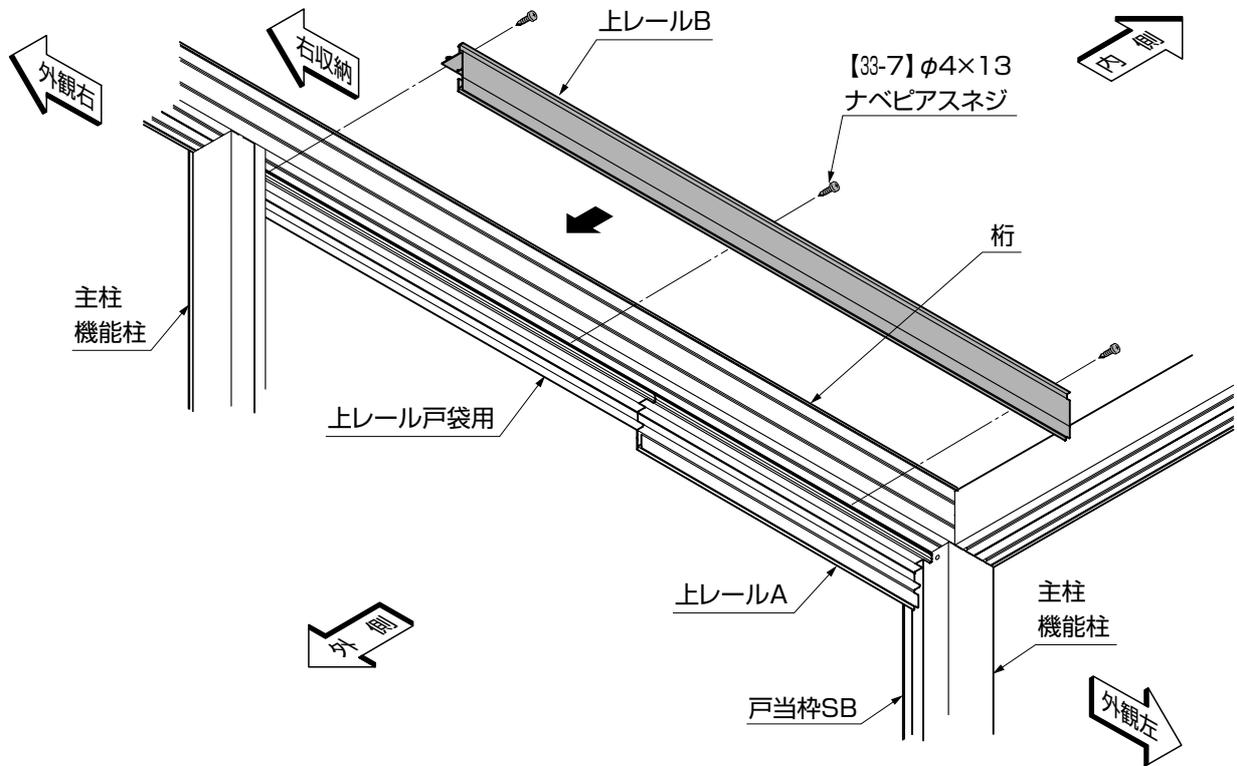


図6-1

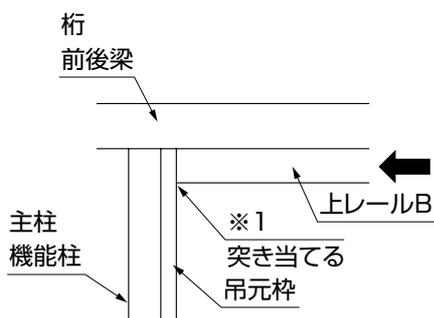


図6-2

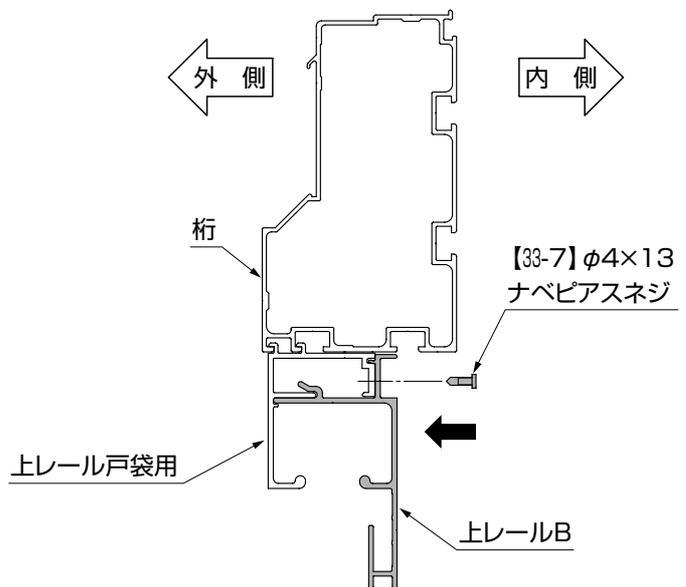


図6-3  
上レールB取付け詳細平面図

①上レール戸袋用、上レールAに上レールBを【33-7】で取付けてください。(図6-1参照)

### ポイント

- 上レール戸袋用・上レールAの溝に上レールBを横から入れて取付けてください。(図6-3参照)
- 上レールBを吊元枠に突き当てて(※1)取付けてください。(図6-2参照)

## 7. 下レール戸袋用の取付け

※図は右収納を示します。左収納は図と対称です。

### 7-1 下レール戸袋用の取付け

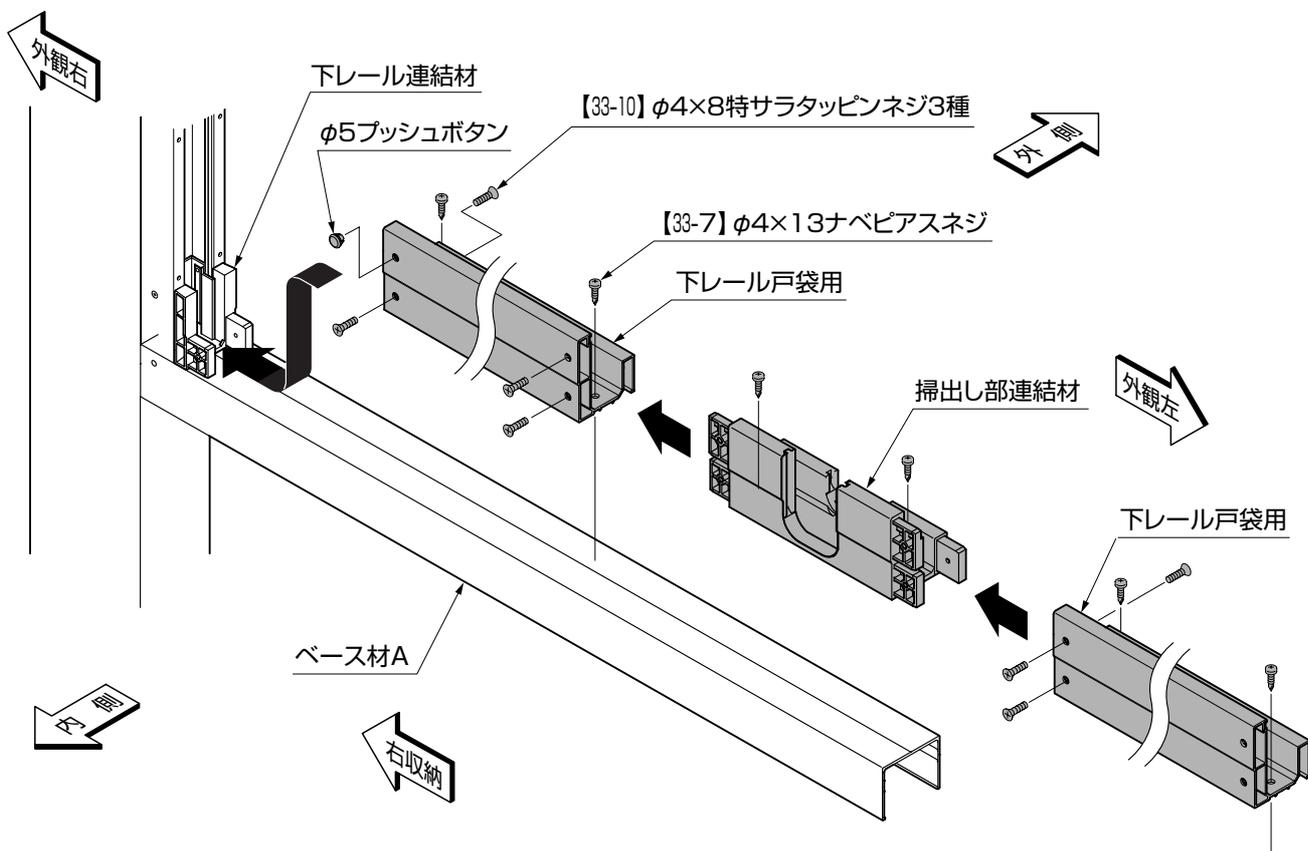


図7-1

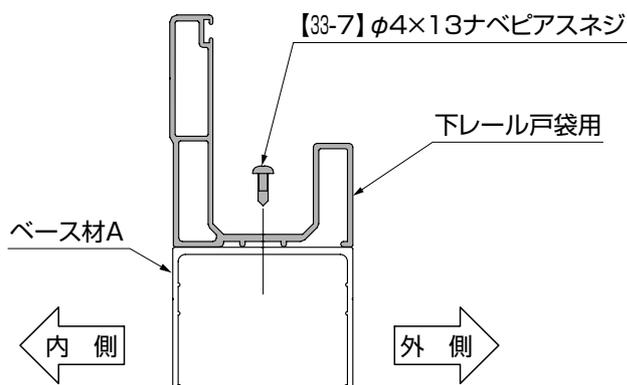


図7-2 下レール取付け位置

- ①下レール連結材に下レール戸袋用を入れて、【33-10】で取付けてください。(図7-1参照)
- ②下レール戸袋用に掃出し部連結材を入れて、【33-10】で取付けてください。
- ③掃出し部連結材に下レール戸袋用を入れて、【33-10】で取付けてください。
- ④下レールと掃出し部連結材を【33-7】で取付けてください。(図7-2参照)
- ⑤吊元枠側の下レール戸袋用にφ5プッシュボタンを取付けてください。(図7-1参照)

## 7. (つづき)

### 7-2 掃出し部連結材の加工

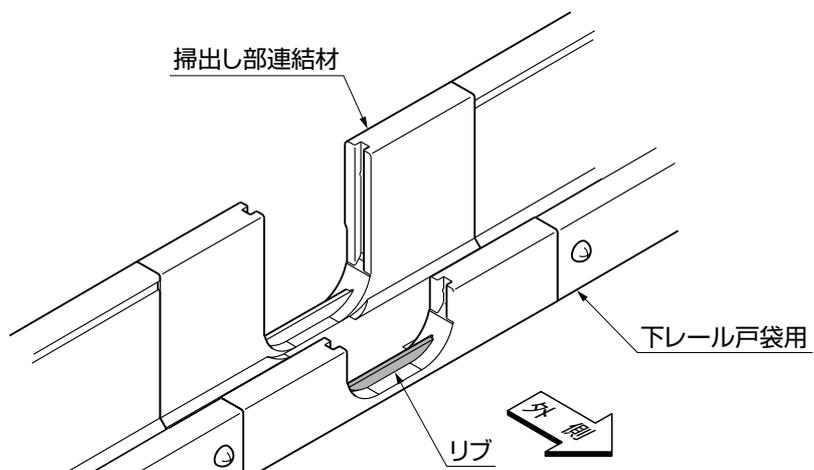


図7-3

①外側の掃出し部連結材のリップを切取ってください。(図7-3参照)

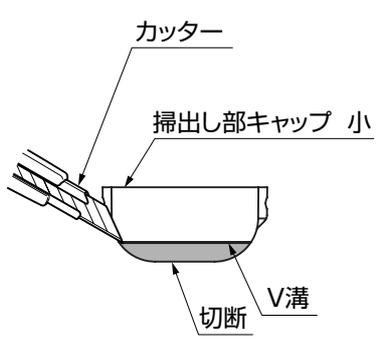


図7-4

②掃出し部キャップ小の下側をV溝に沿ってカッター等で切取ってください。(図7-4参照)

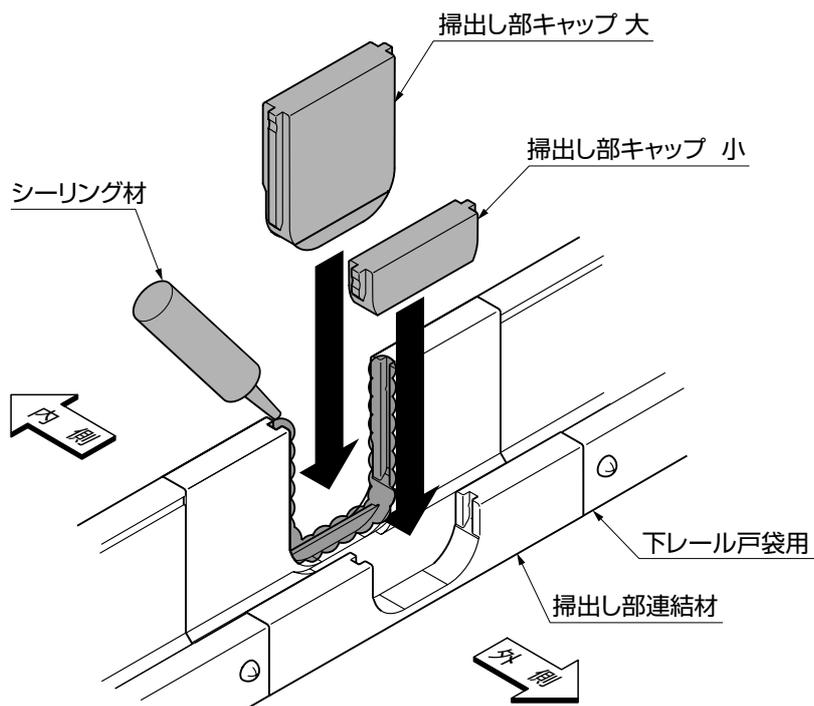


図7-5

③掃出し部キャップを掃出し部連結材に取付けてください。(図7-5参照)

**ポイント**

- シーリング処理を施す前に、表面の水分・ゴミ・油分が除去できているか確認をしてください。

**補足**

- 内側の掃出し部にシーリングをして、掃出し部キャップを取付けてください。(図7-5参照)

## 8. 下レール直線用の取付け

※図は右収納を示します。左収納は図と対称です。

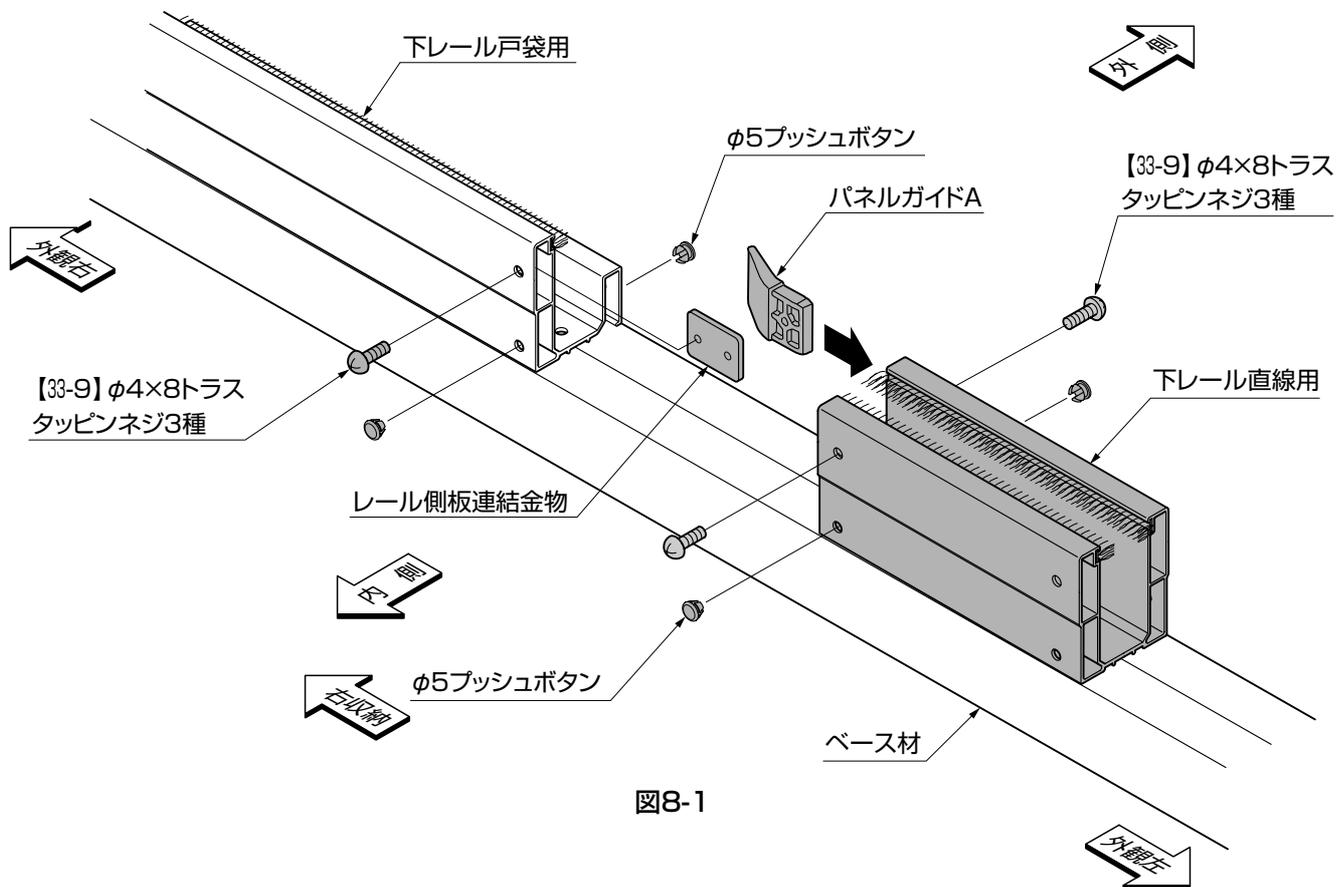


図8-1

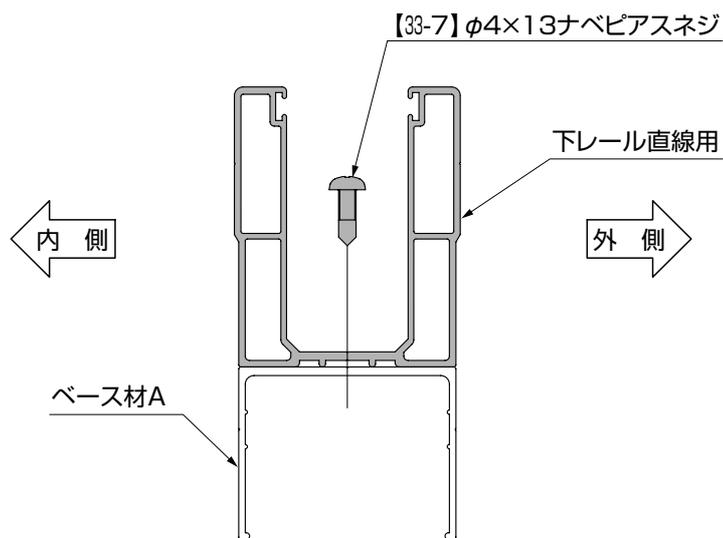


図8-2 下レール取付け位置

- ①下レール戸袋用に下レール直線用をレール側板連結金物で連結し、【33-9】で取付けてください。
- ②下レールを【33-7】で取付けてください。
- ③下レールにφ5プッシュボタンを取付けてください。

## 9. 戸当り框・連結框・吊元框の吊込み

※図は右収納を示します。左収納は図と対称です。

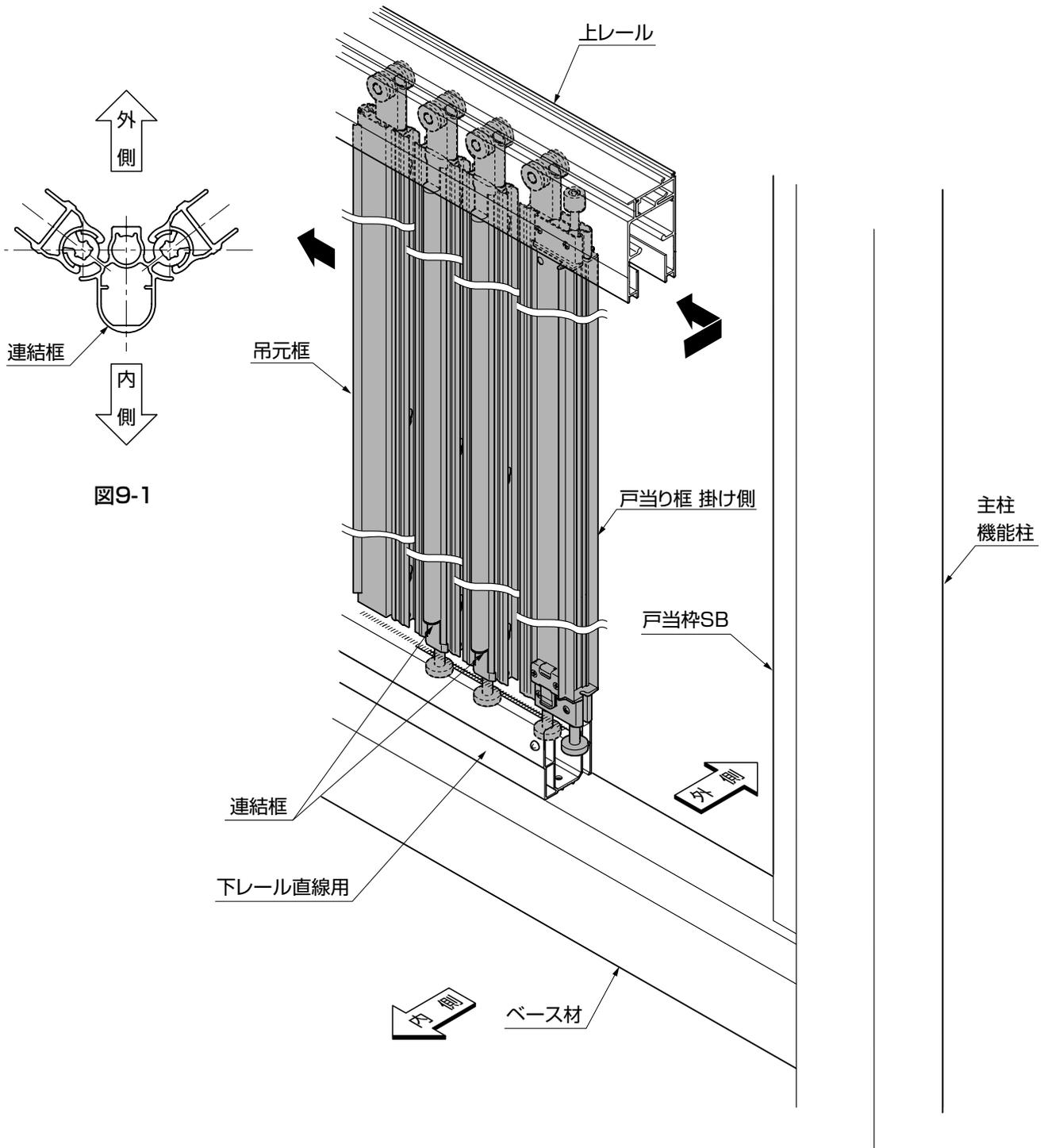


図9-1

図9-2

①上レールに戸当り框・連結框、吊元框を吊込んでください。

**ポイント**

●連結框は、パネルの枚数に応じて必要本数を挿入してください。このとき、パネル折り畳み収納方向に注意してください。(図9-1、図9-2参照)



## 10. (つづき)

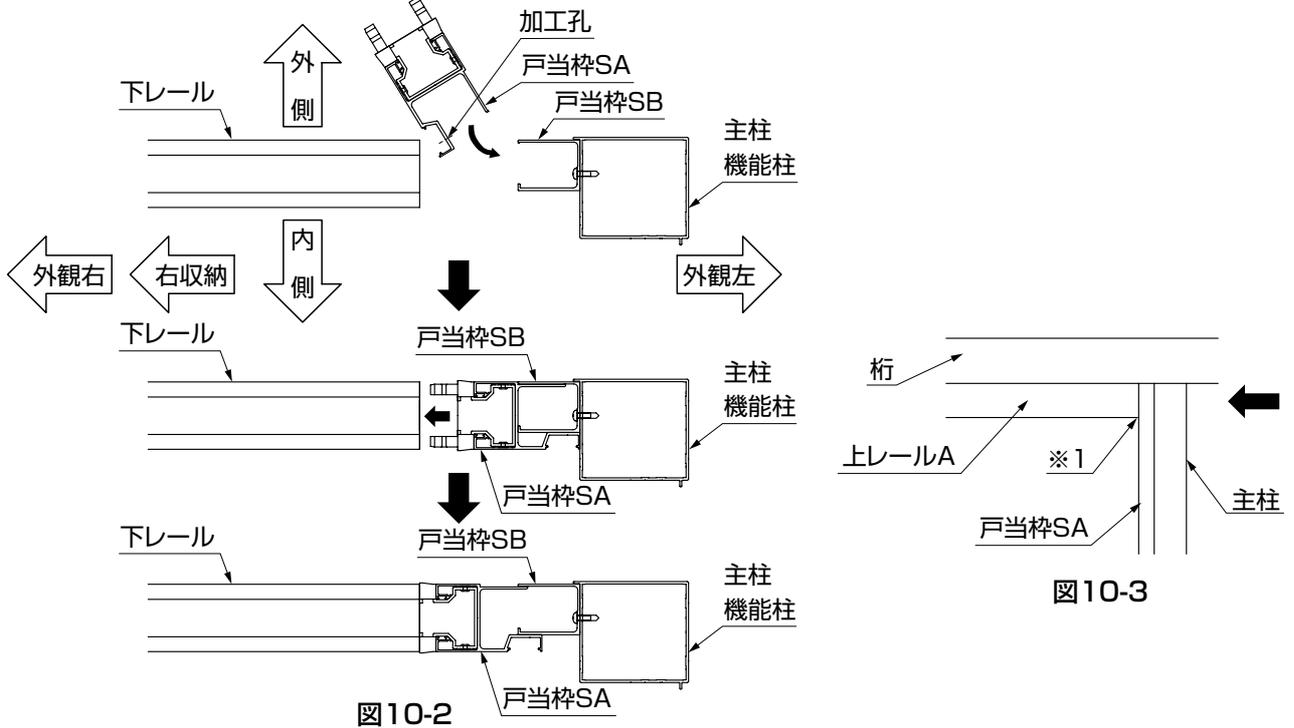


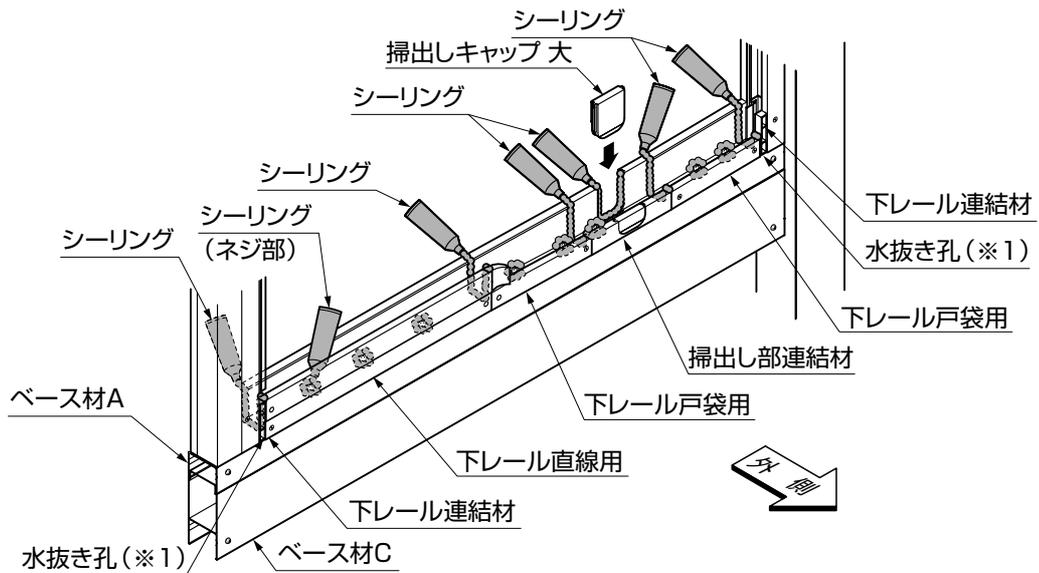
図10-2

図10-3

### ポイント

- 戸当枠SAを上レール、下レール直線用に突き当てて(※1)取付けてください。(図10-2、図10-3参照)

## 11. 下レールのシーリング



- ①ベース材が土間仕上げ面から露出する場合は、下レールにシーリングをしてください。
- ②下レール連結材の外側の水抜き孔(※1)を軽く打ち抜いてください。

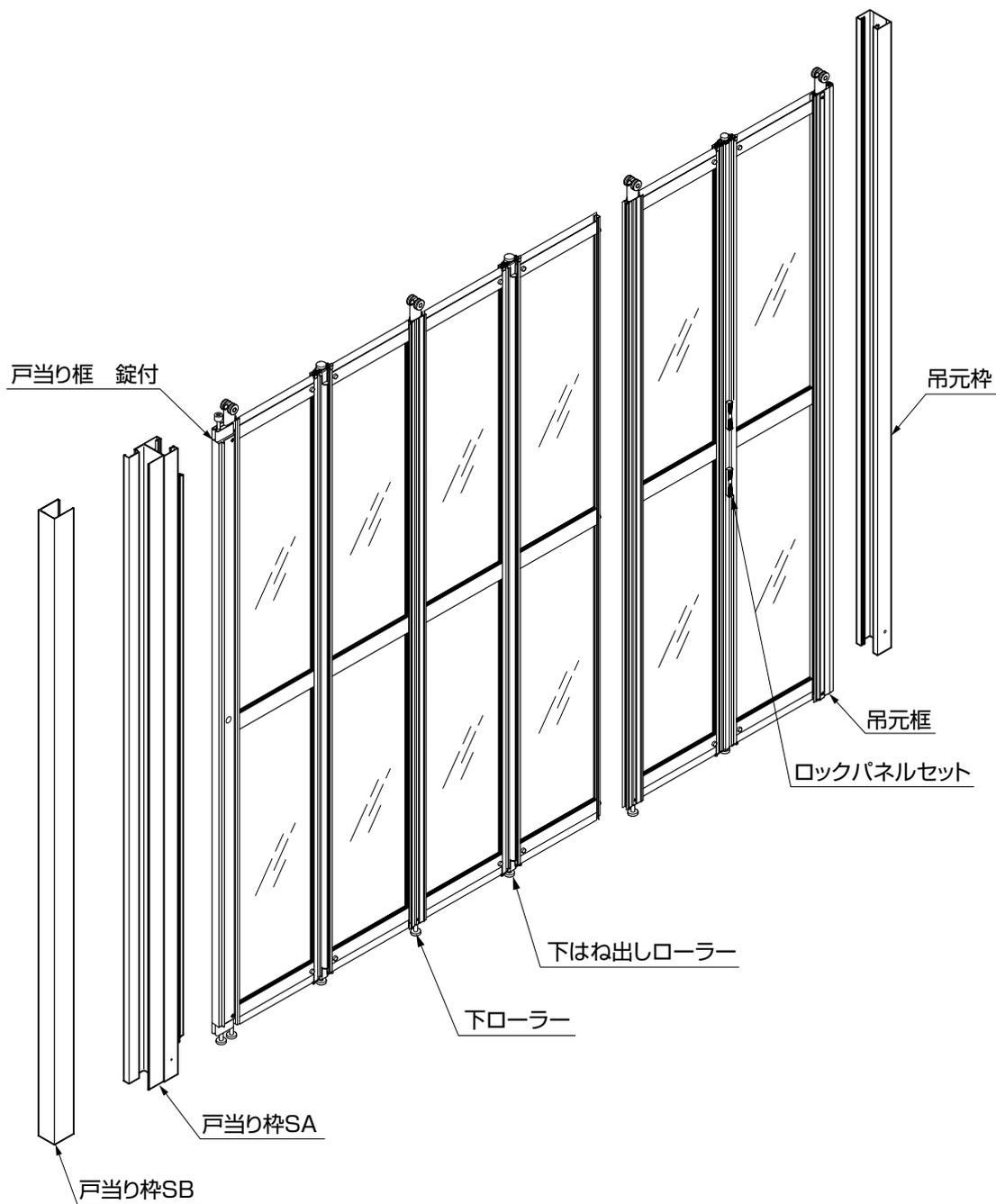
### 補足

- 出荷時は孔が貫通していません。

## 9 パネルの取付け

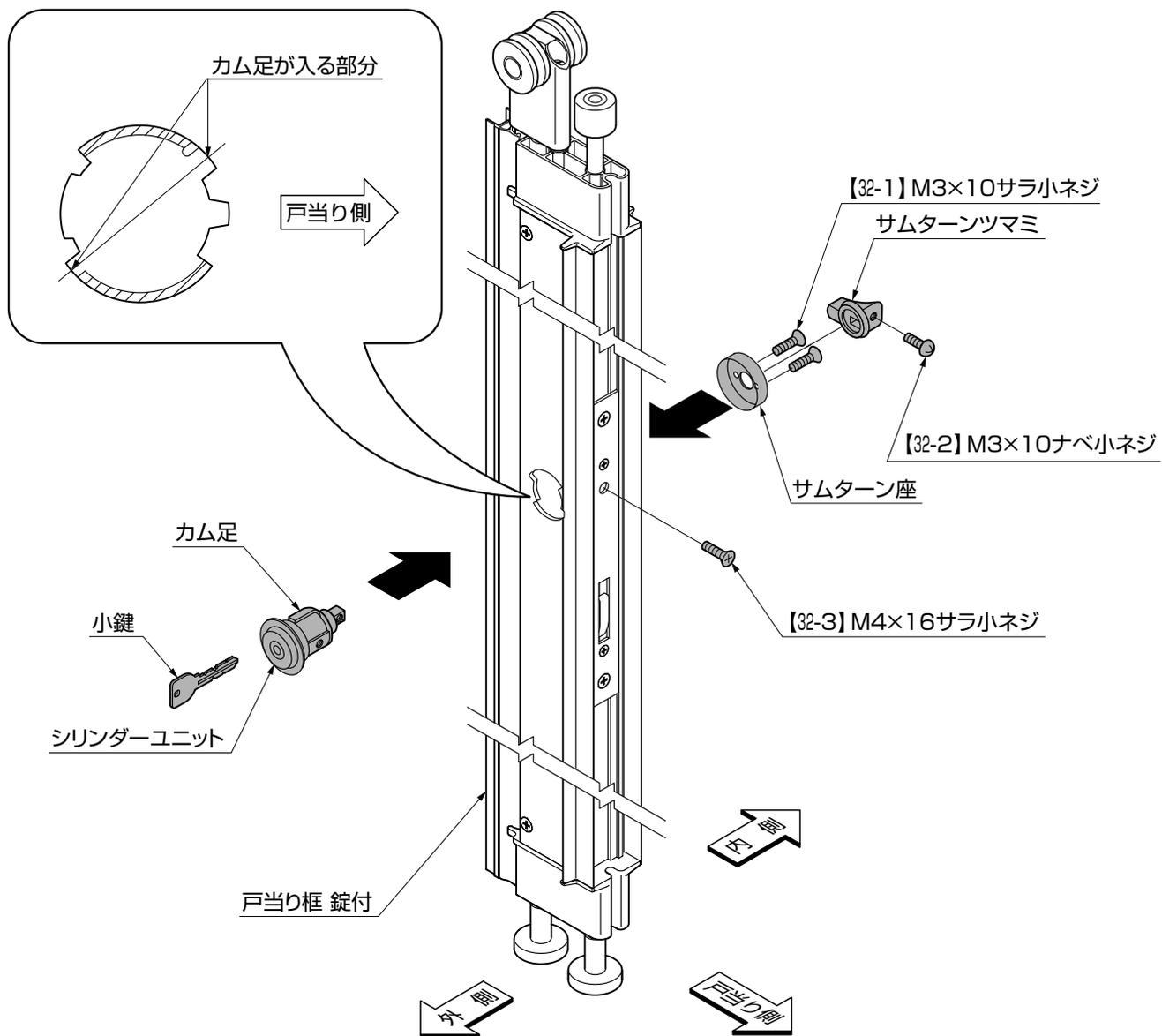
### 1. 施工前確認

※図は右収納を示します。左収納は図と対称です。



①パネルの施工前に各部材を確認してください。

## 2. 錠の取付け

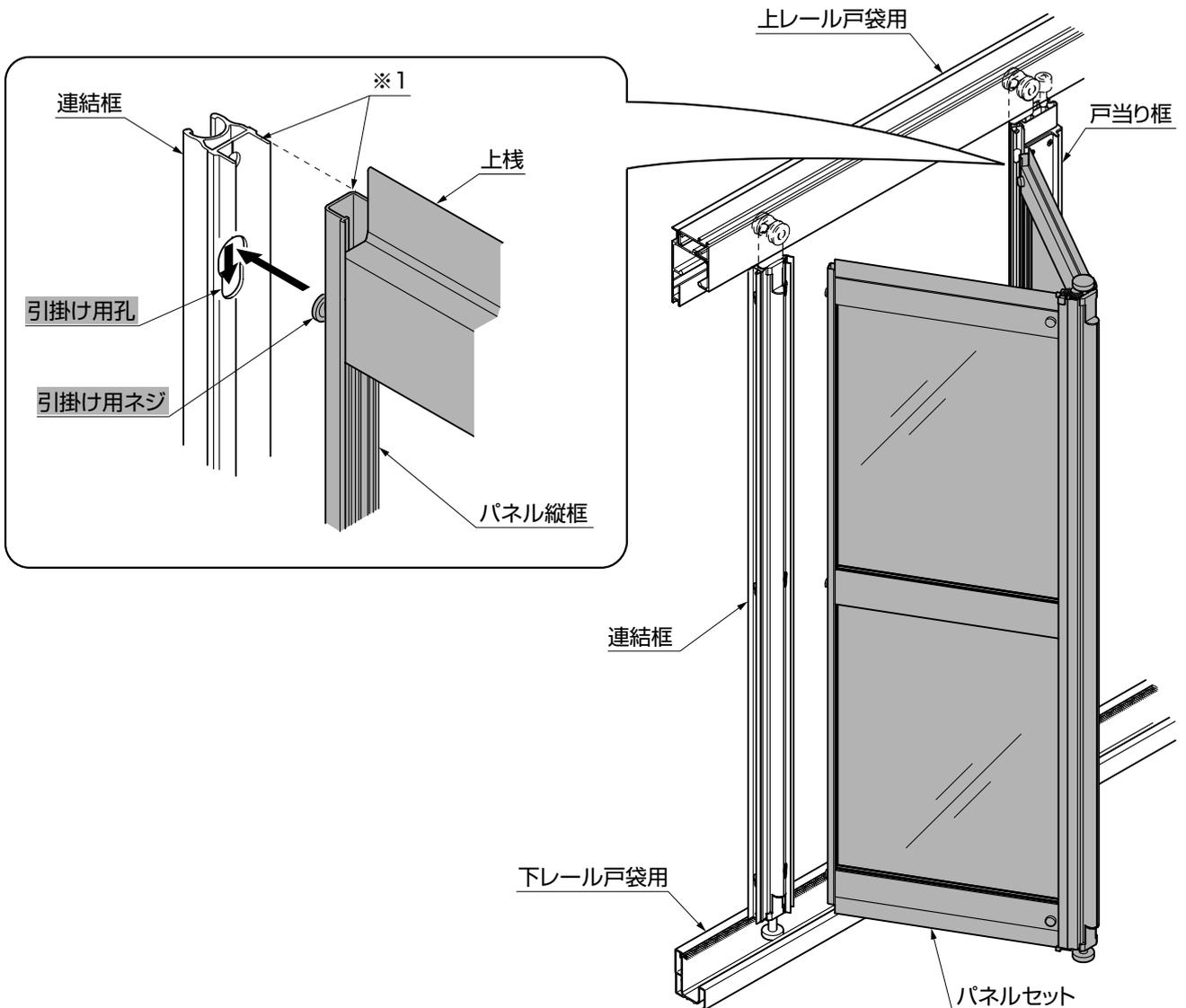


- ①シリンダーユニットを戸当り框掛け側の孔に挿入して、【32-1】で取付けてください。
- ②サムターン座をシリンダーユニットに【32-2】で取付けてください。
- ③サムターンツマミをシリンダーユニットに【32-3】で取付けてください。

### ポイント

- シリンダーユニット側面にあるネジ孔を戸当り側へ向けてください。
- シリンダーユニットの挿入部分の形状を框の中の孔形状に合わせて挿入してください。
- サムターン座凸部がサムターンツマミ側にくるように組付けてください。

### 3. パネルの吊込み



①パネルセットの **引掛け用ネジ** を連結框の **引掛け用孔** に挿入して取付けてください。

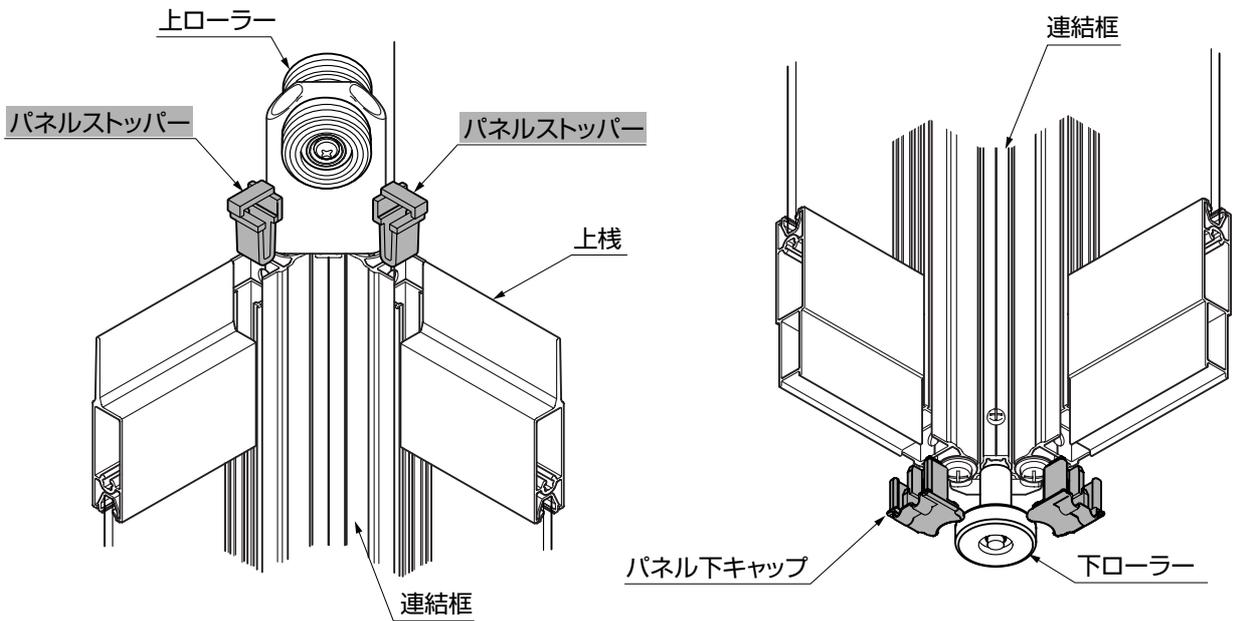
**注意**

- **引掛け用ネジ** の頭が完全に引っ掛かっていないとパネルが脱落して、破損し、事故につながるおそれがあります。

**ポイント**

- 上端をそろえてからパネルを **引掛け用孔** に挿入し下へスライドしてください。(※1)
- パネルの上・中・下の3ヶ所の **引掛け用孔** に **引掛け用ネジ** の頭が、引っ掛かっていることを確認してください。
- パネルセットには上下がありますのでシールを参考にして吊込みを行なってください。

## 4. パネルストッパーおよびパネル下キャップの取付け



① パネルストッパー およびパネル下キャップを連結框の上下に取付けてください。

### ⚠ 注意

- パネルストッパーを取付けていない場合、開閉時や地震時にパネルが脱落したり、強風で外れてケガをするおそれがあります。

## 5. 吊元ストッパーの取付け

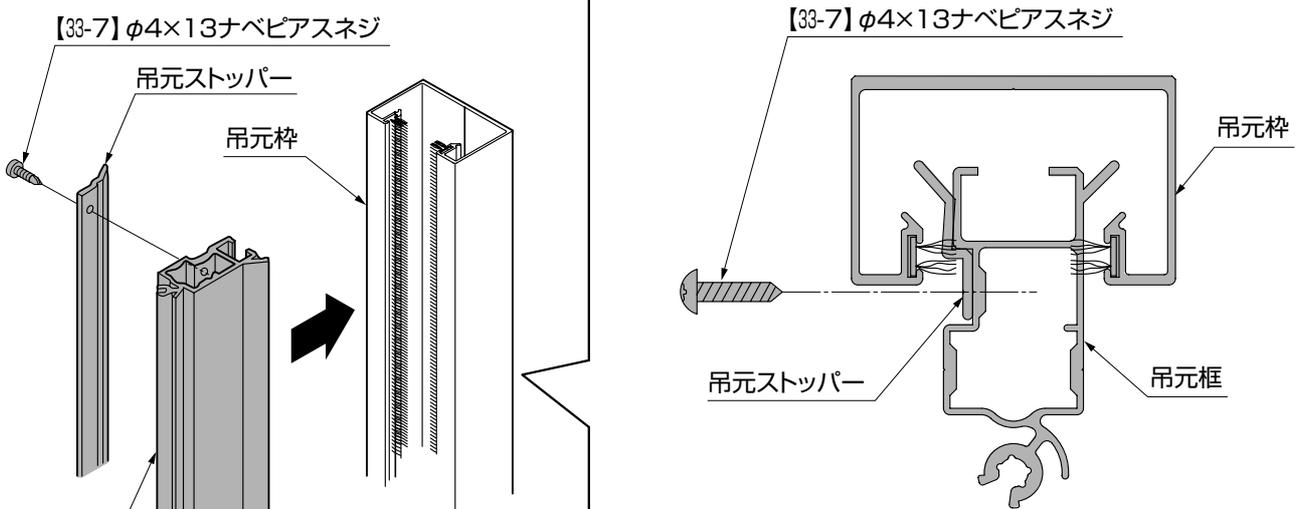


図5-1 断面図

① 吊元枠を吊元枠Aに差込んでから吊元ストッパーを【33-7】で吊元枠に取付けてください。(図5-1 参照)

### 🔑 ポイント

- 吊元ストッパーと吊元枠を吊元枠内に挿入した後に組付けてください。

## 6. 戸当りストッパーおよびストッパーガイドの取付け

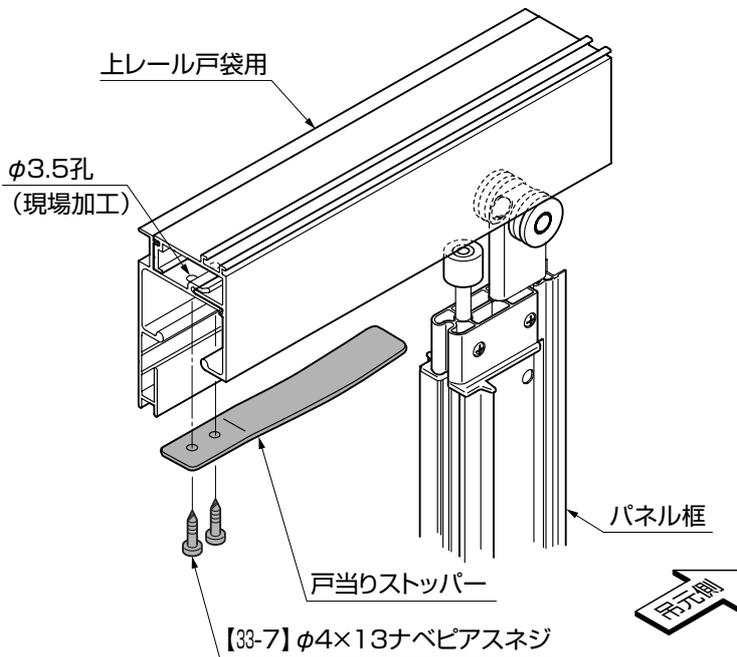


図6-1

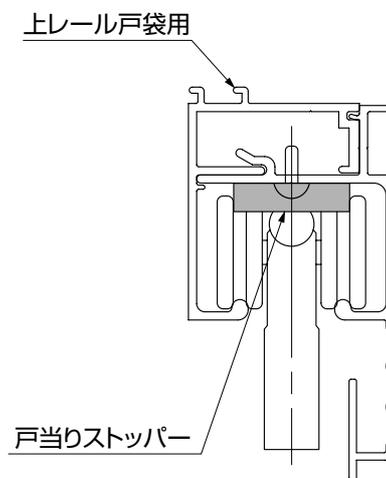


図6-2

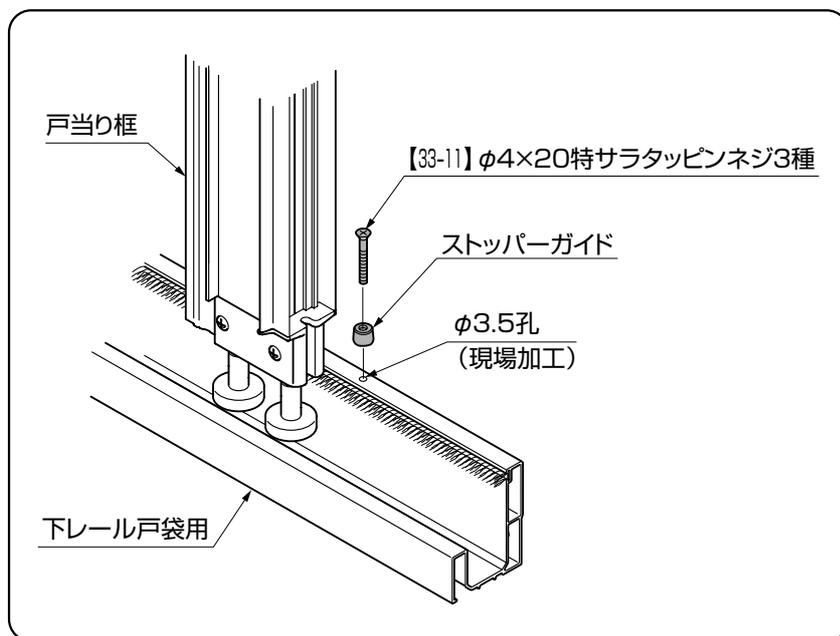
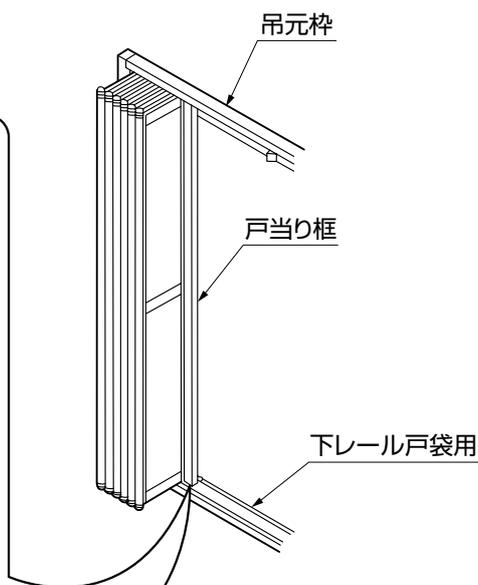


図6-3



- ①「**5 レールの取付け** 4.上レールA・上レール戸袋用の取付け **4-1 上レールの加工**」で加工した【20-3】で戸当りストッパーを取付けてください。(図6-1参照)
- ②下レール戸袋用にφ3.5の孔をあけてください。(図6-3参照)
- ③ストッパーガイドを【33-11】で下レール戸袋用に取付けてください。(図6-3参照)

### 🔑ポイント

- ストッパーガイドはパネルを全て戸袋に収納してから下レール戸袋用にφ3.5の孔をあけストッパーガイドを固定してください。

## 7. 上棧カバーおよび框カバーの取付け

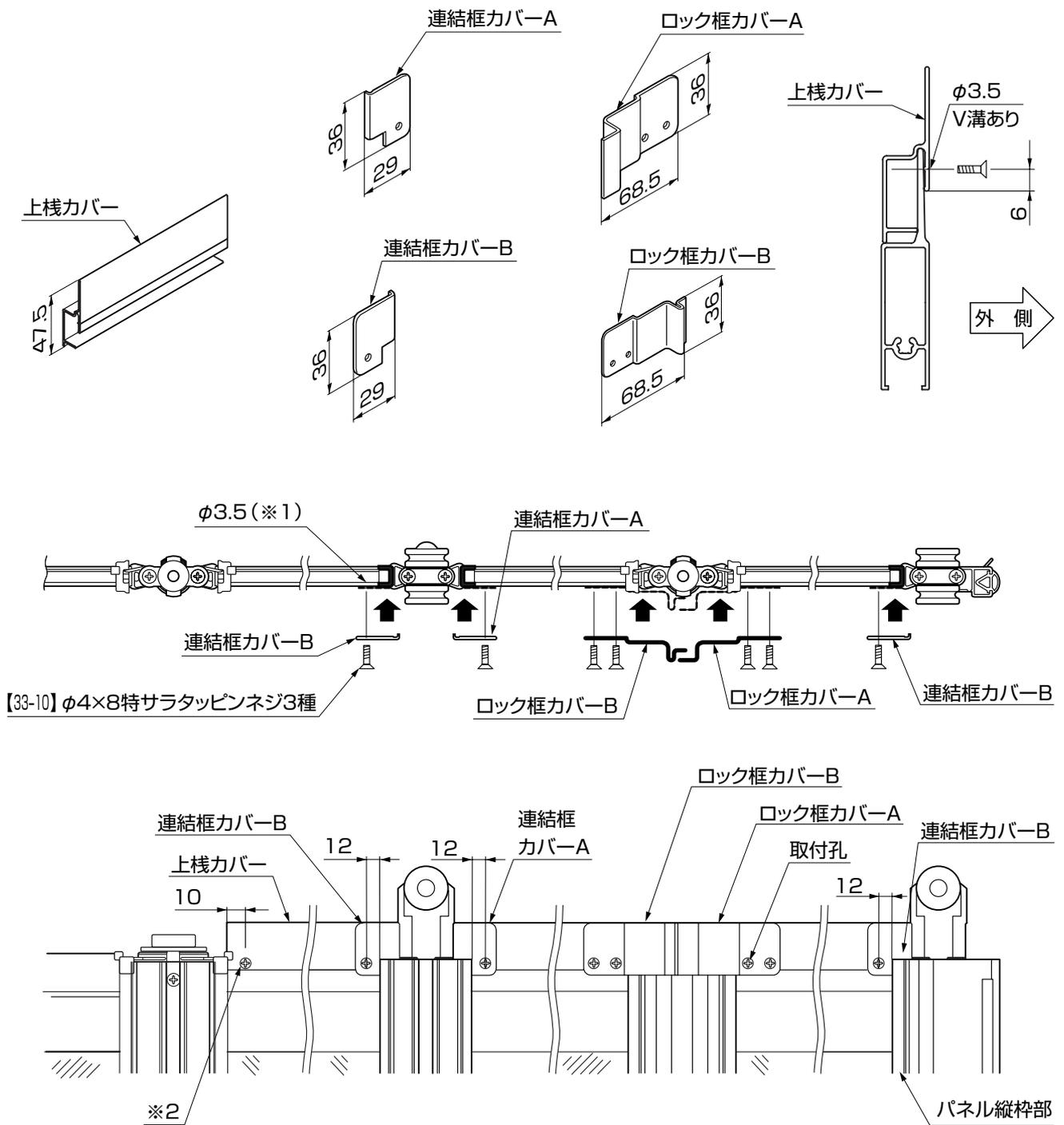


図7-1 ロックパネル2枚1セット

① 図7-1を参照して連結框カバー、ロック框カバー、上棧カバーを【33-10】で取付けてください。

**ポイント**

● 連結框カバーを取付けるための下孔φ3.5は、上棧カバーのV溝に合わせてパネル縦枠部から12mmの位置に加工してください。(※1)

② 上棧カバーを【33-10】で止めてください。(※2)

## 8. パネルの調整

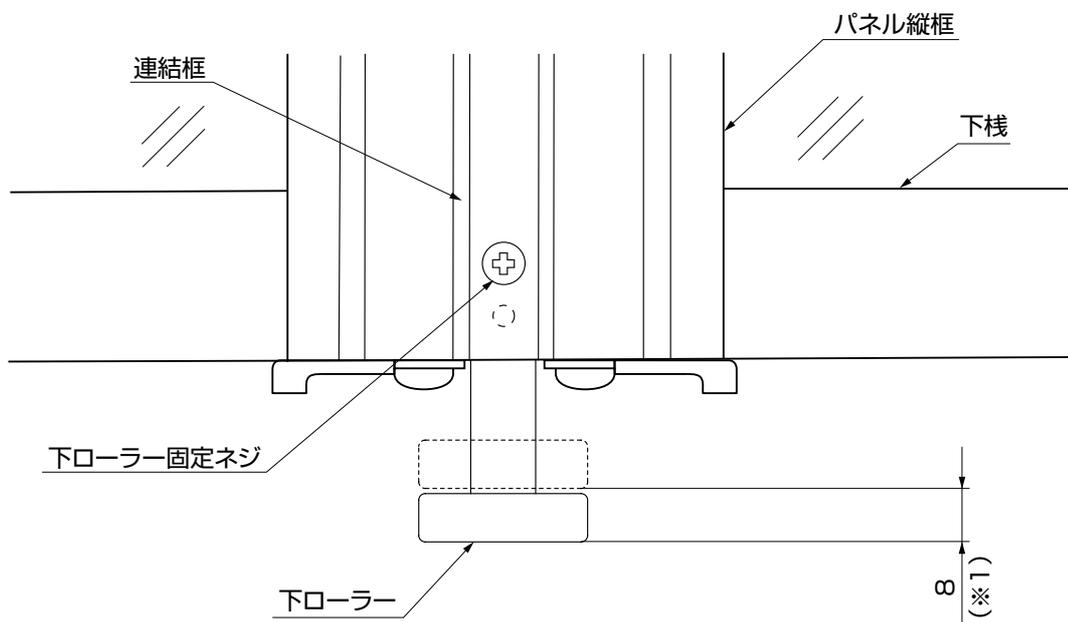


図8-1

①図8-1を参照してパネルの調整をしてください。

### 🔑 ポイント

- パネルの下ローラーは、2段階の調整式です。様々な条件により、下ローラーが下レール固定ネジと干渉する場合は、「下ローラー固定ネジ」を外して、1段上に戻してください。ただし、戸袋部でパネルの折り畳みの機能に支障がない範囲で調整を行なってください。
- 「下ローラー固定ネジ」には緩み止めを塗布しています。外す場合は十分注意の上、ハンドドライバー等でゆっくり外してください。

### ✎ 補足

- 上に8mm移動可能です。(※1)

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

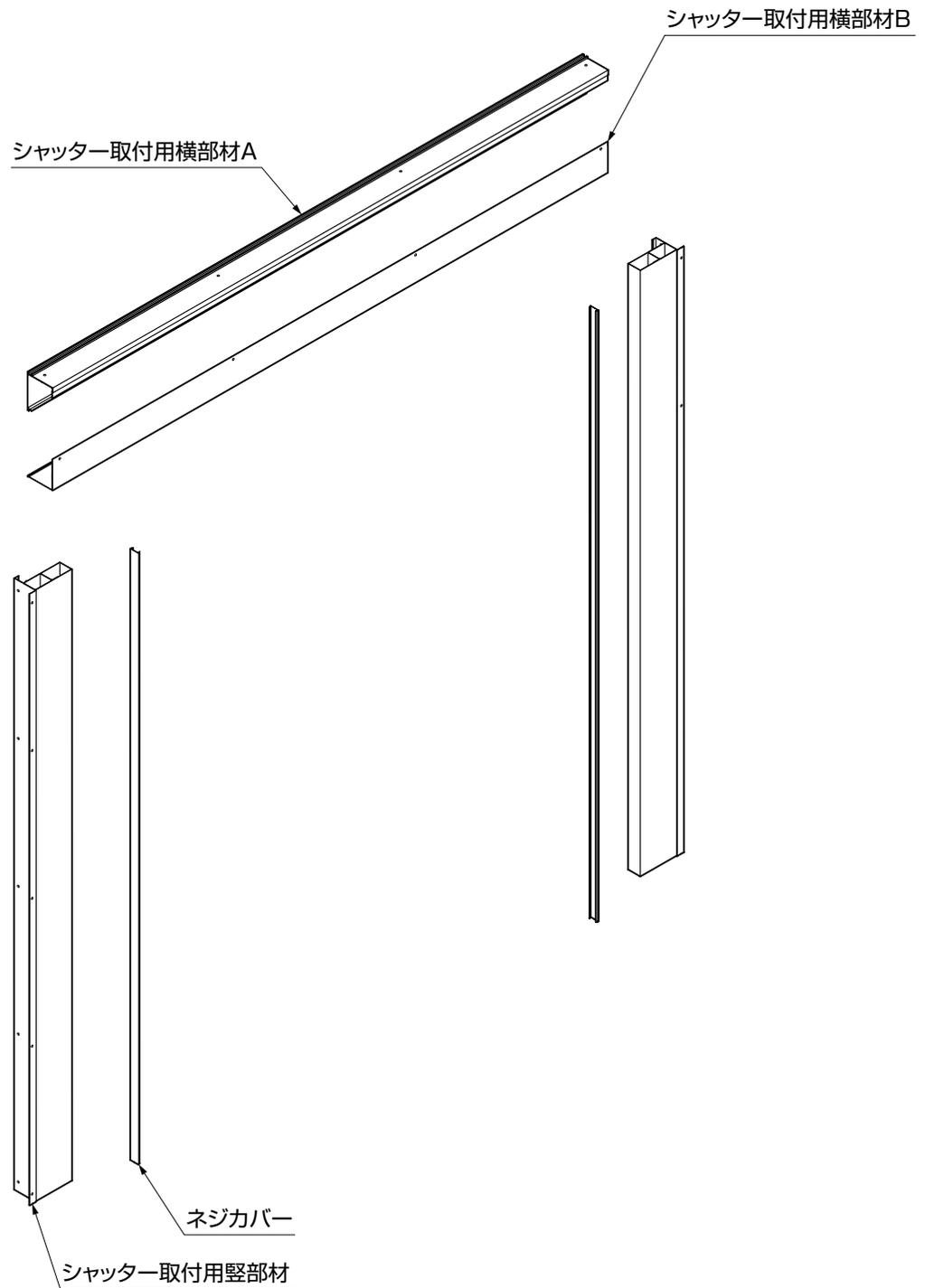
.....

.....

.....

## 10 シャッター取付部材の取付け

### 1. 施工前確認



①シャッター取付部材の施工前に各部材を確認してください。

## 2. シャッター取付用横部材の取付け

### 2-1 シャッター取付用横部材Aの取付け

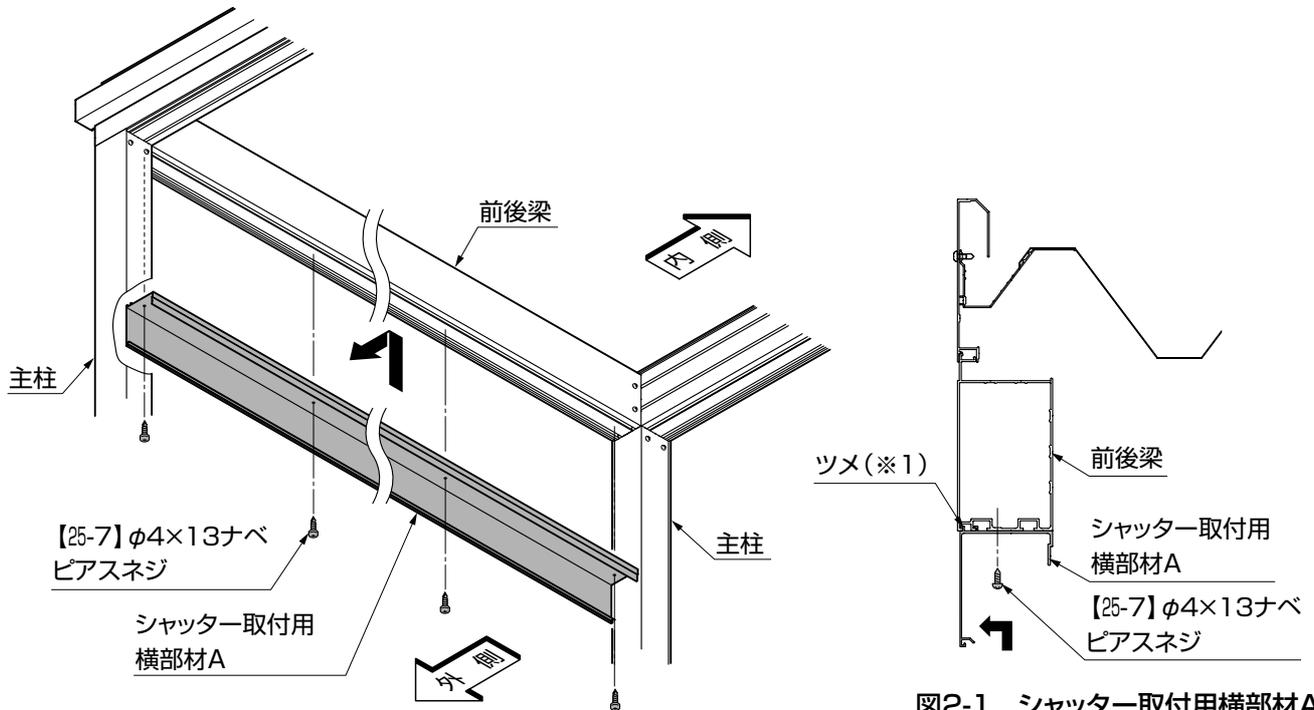
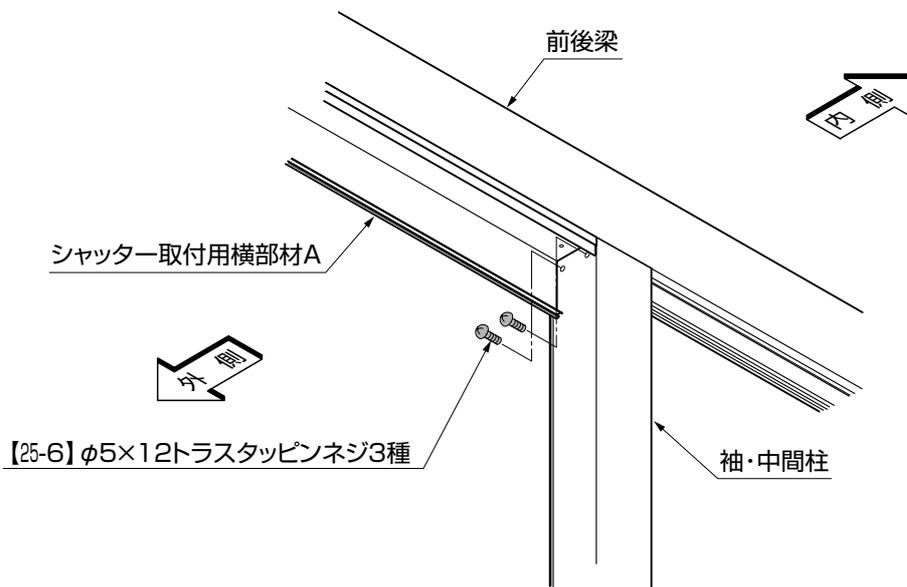


図2-1 シャッター取付用横部材A  
取付け断面図

①シャッター取付用横部材Aのツメ(※1)を前後梁底部の溝に引っ掛けて【25-7】で固定してください。(図2-1参照)

### 2-2 袖・中間柱の取付け

※38-60(袖あり)のみの取付けです。



①袖・中間柱のシャッター取付け側の【25-6】を取付けてください。

## 2-3 シャッター取付用横部材Bの取付け

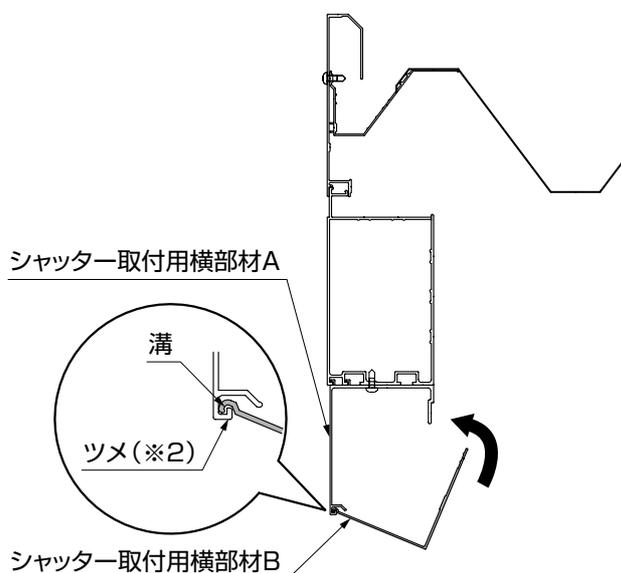
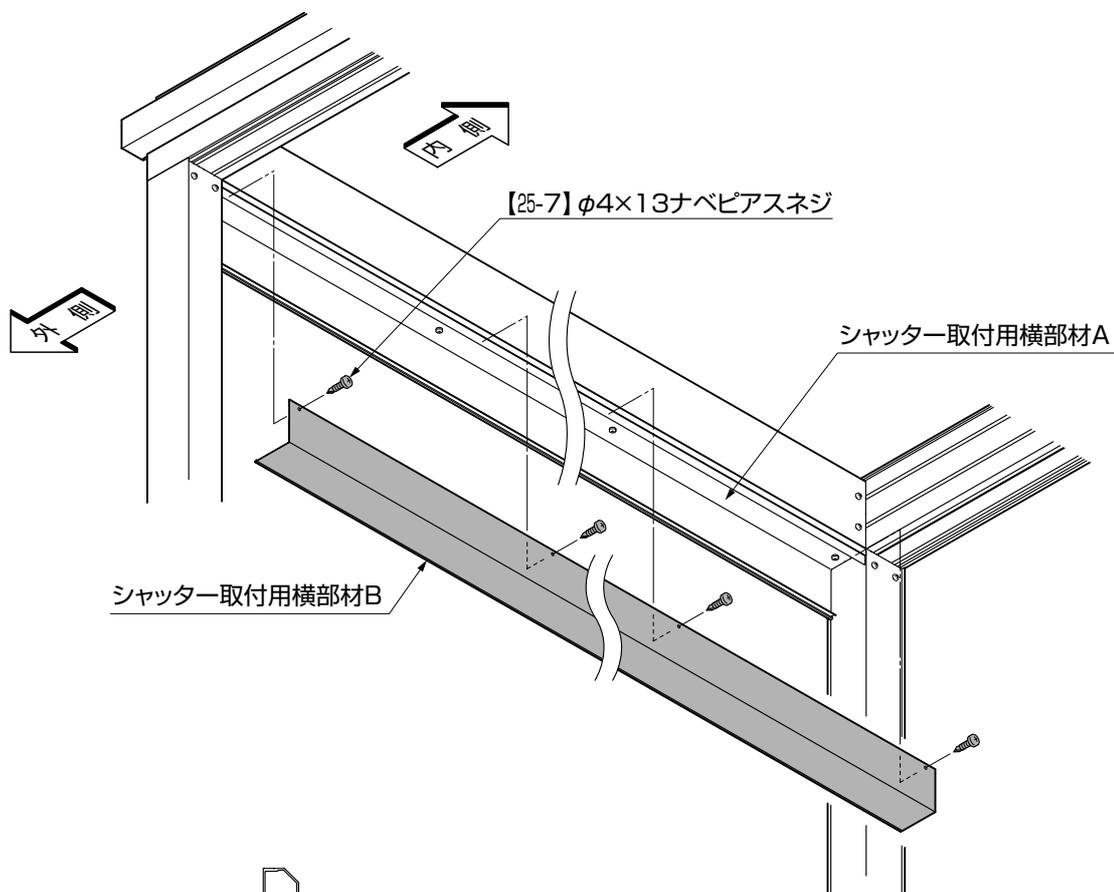


図2-2

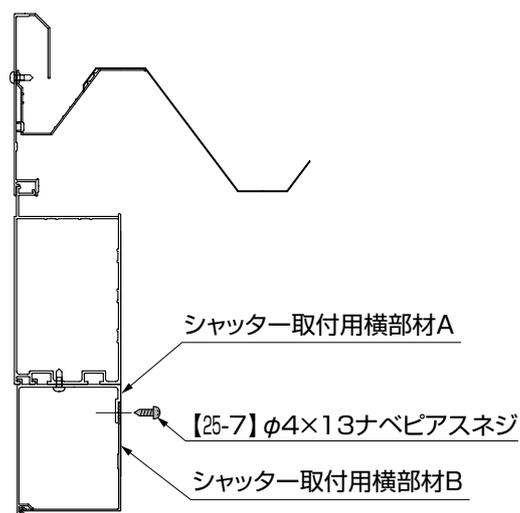


図2-3 シャッター取付用横部材B  
取付け断面図

- ①シャッター取付用横部材Aのツメ(※2)をシャッター取付用横部材Bの溝に引っ掛けて【25-7】で固定してください。  
(図2-2、図2-3参照)

### ポイント

- シャッター取付用横部材Bはツメ(※2)を支点にして回転できるようにしてください。

### 3. シャッター取付用縦部材の取付け

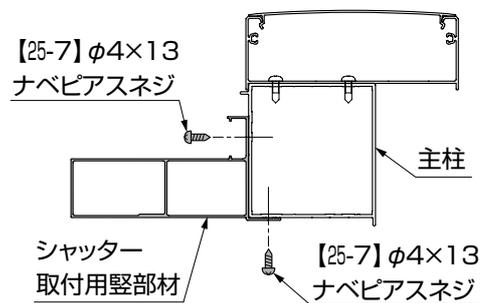
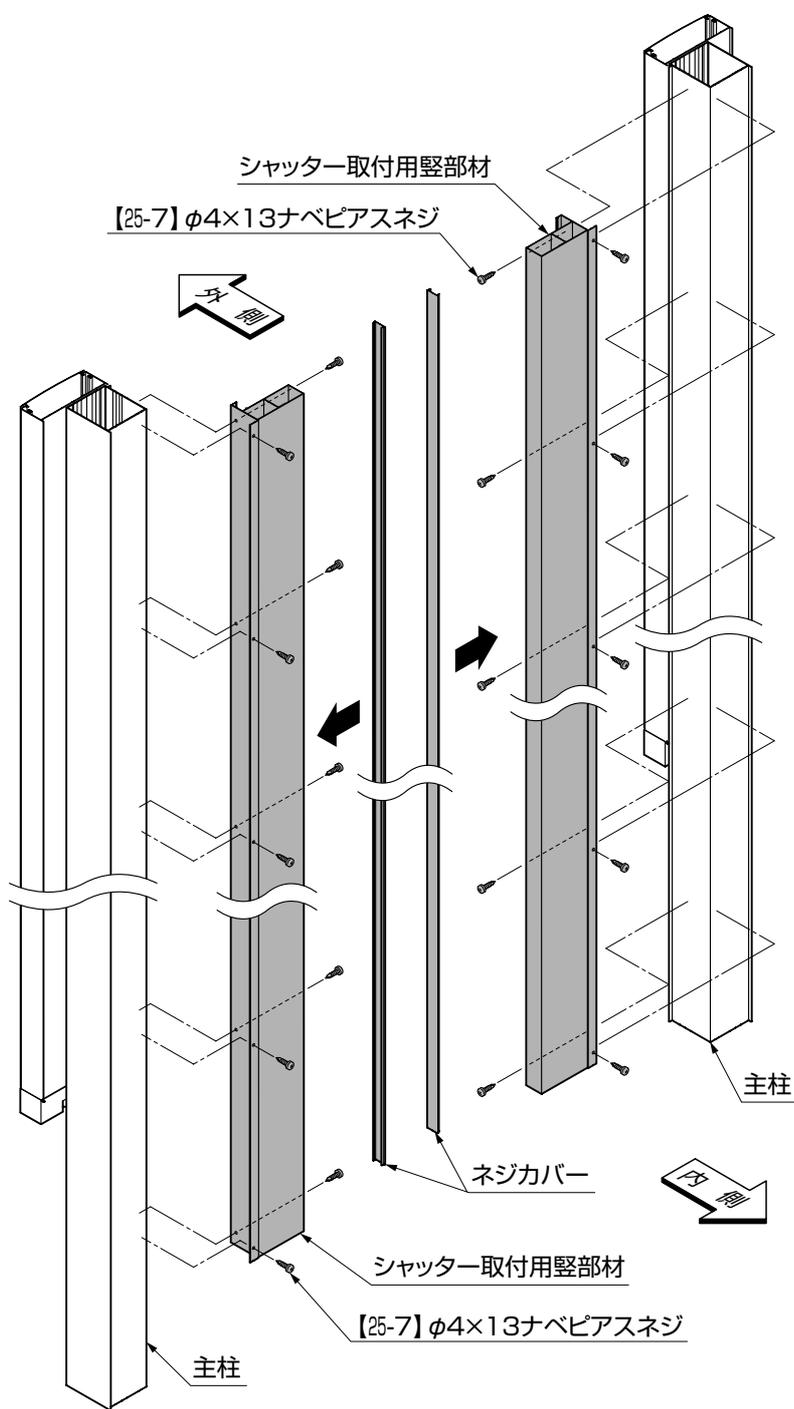


図3-1

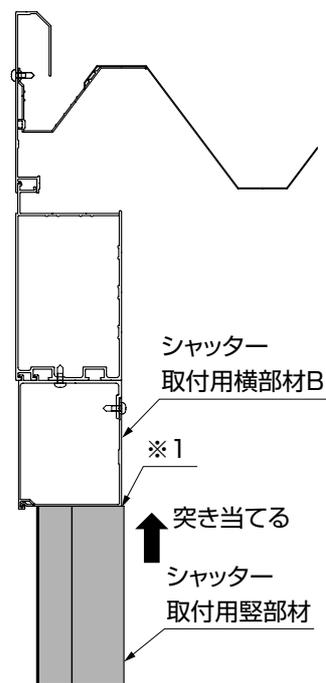


図3-2

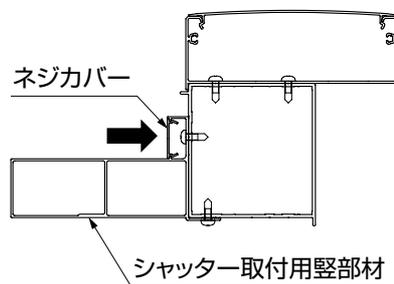


図3-3

①シャッター取付用縦部材を主柱に【25-7】で固定してください。

**ポイント**

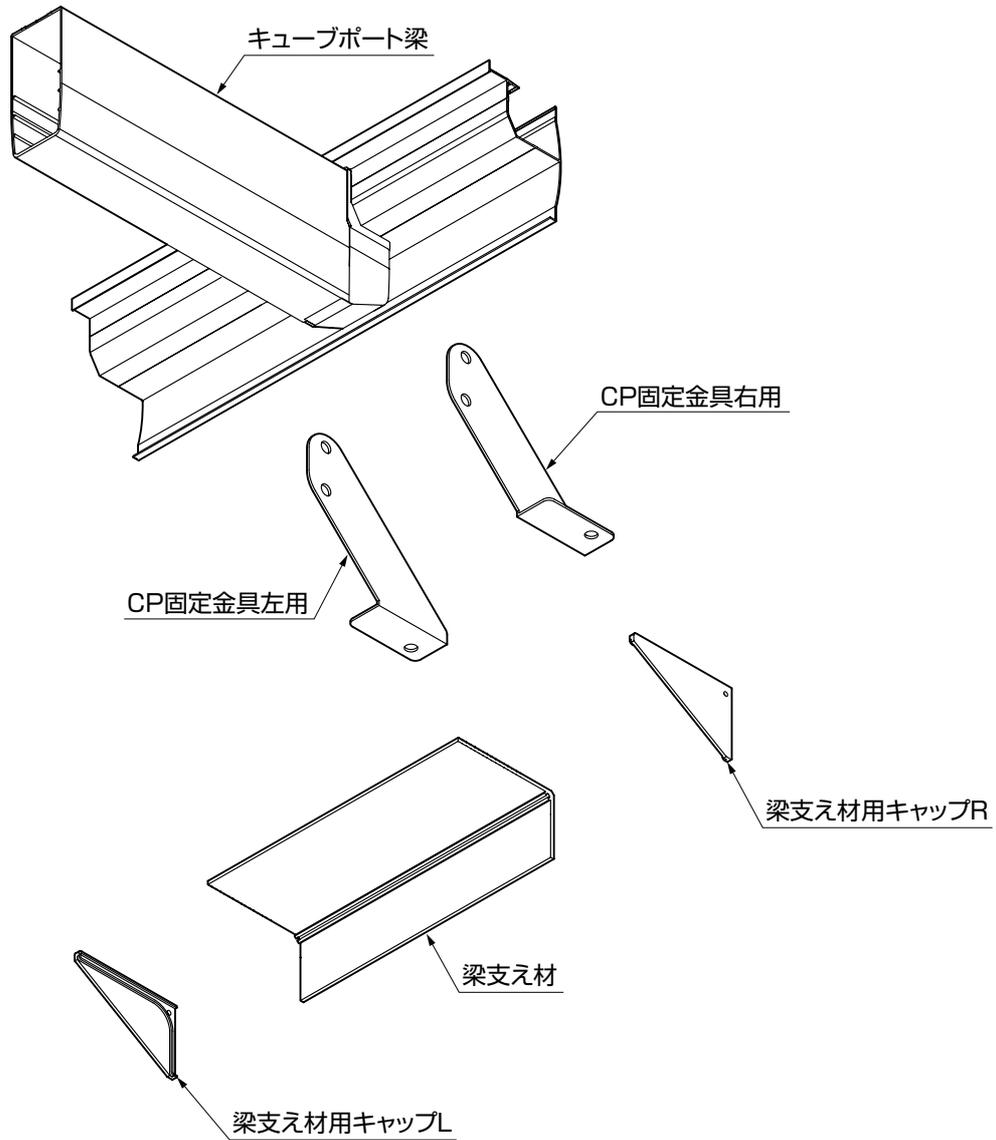
●シャッター取付用縦部材をシャッター取付用横部材Bに突き当てて(※1)取付けてください。(図3-2参照)

②ネジカバーをシャッター取付用縦部材に取付けてください。

# 11 キューブ連棟の取付け

オプション

## 1. 施工前確認



①キューブ連棟部材の施工前に各部材を確認してください。

## 2. 基本寸法

### ポイント

- 「4 屋根の施工 2-8 キューブ連棟の場合」を参照してください。

## 3. 屋根部の組立て

### ポイント

- キューブポート本体の取付説明書(D344)を参考に屋根部の骨組みまで施工してください。
- 屋根パネルは施工しないでください。

## 4. 梁支え材の取付け

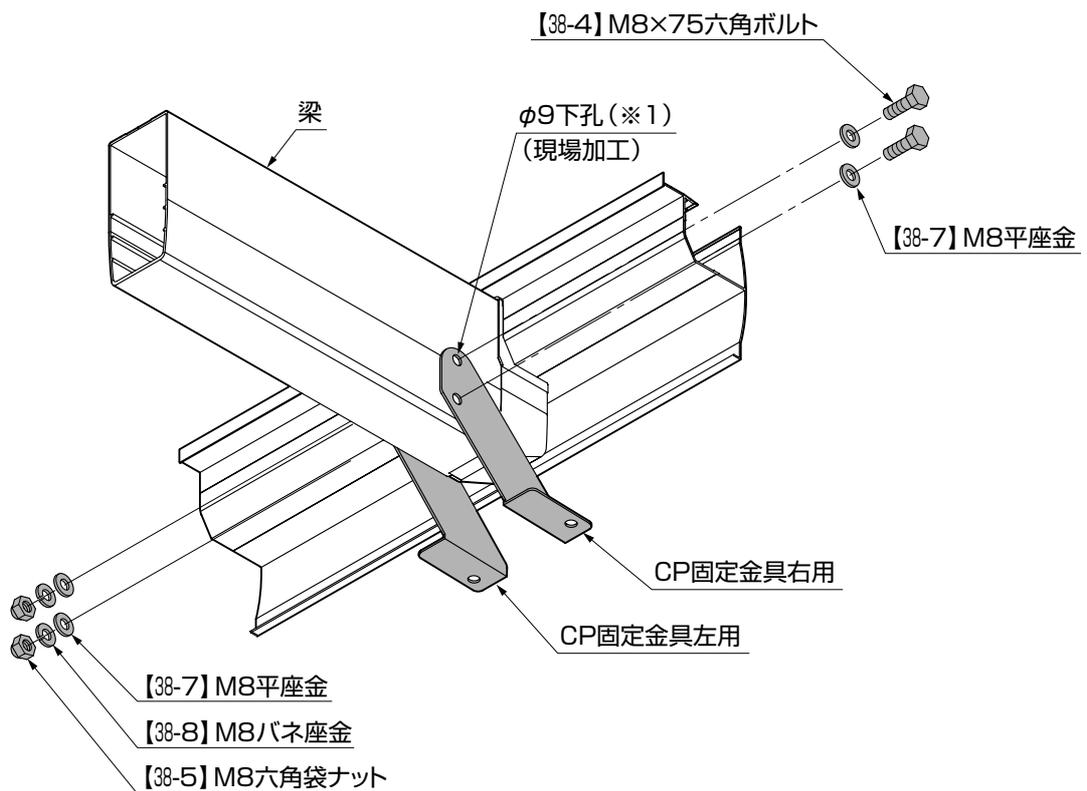


図4-1

- ①梁の先端についている押しボタンを外して、CP固定金具右用とCP固定金具左用を【38-4】、【38-5】、【38-7】、【38-4】で取付けてください。(図4-1参照)

### ポイント

- CP固定金具右用とCP固定金具左用、それぞれ上方の孔位置で梁にφ9孔(※1)を現場で加工してください。

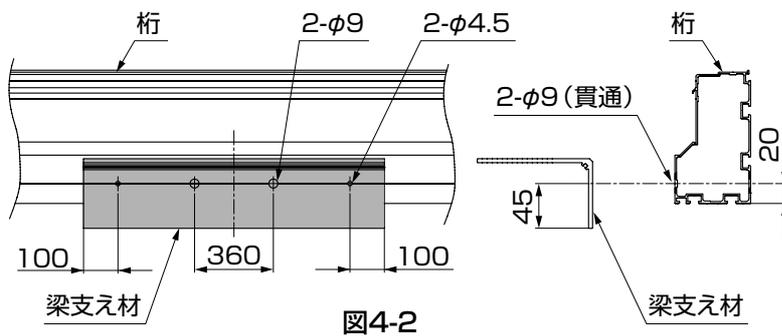


図4-2

②スタイルコート本体の桁と梁支え材の位置を出し、φ9、φ4.5の孔を現場加工してください。(図4-2参照)

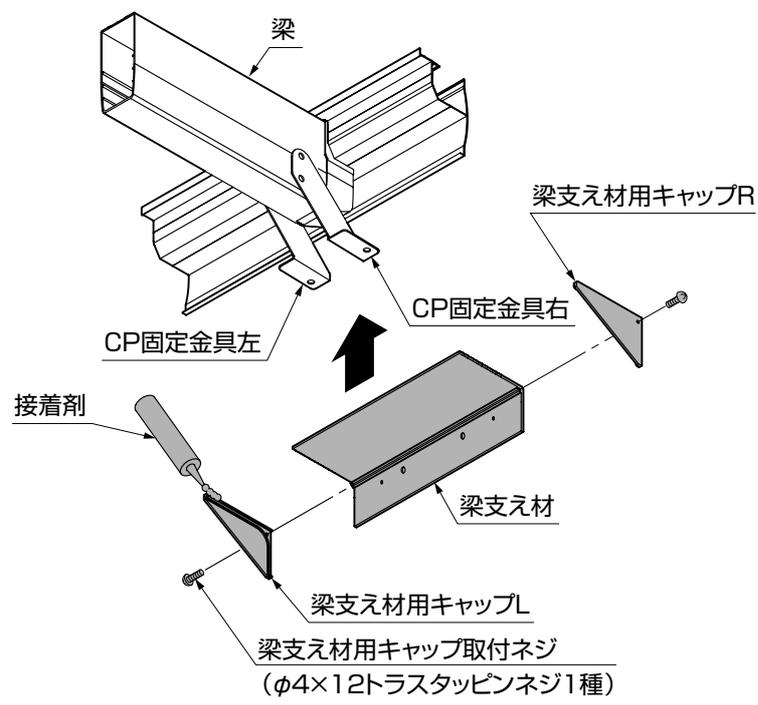


図4-3

③梁支え材に梁支え材用キャップL、梁支え材用キャップRを接着剤と梁支え材用キャップ取付ネジで取付けてください。(図4-3参照)

**補足**

- 接着剤はキューブポート本体の屋根組立部品セットに同梱の接着剤を使用してください。
- 市販の接着剤を使用する場合は、塩ビ用接着剤を使用してください。

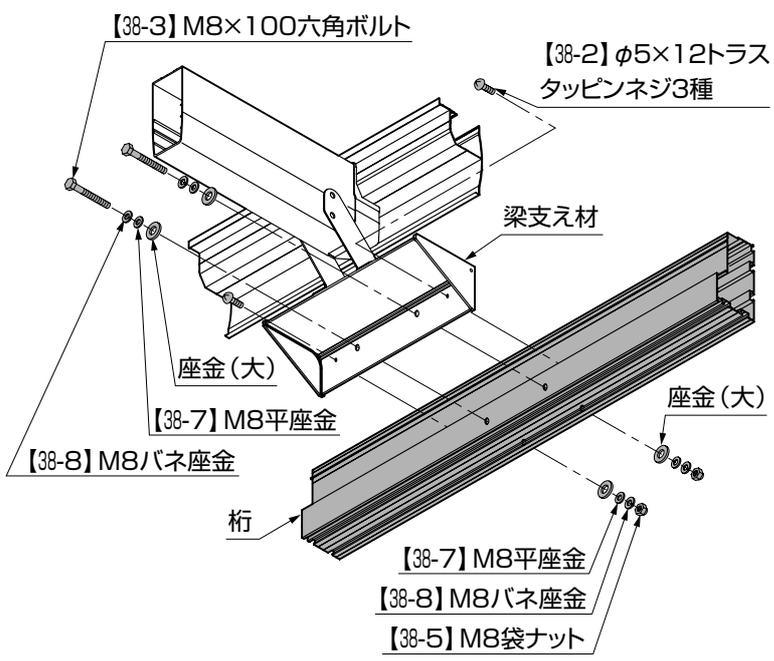
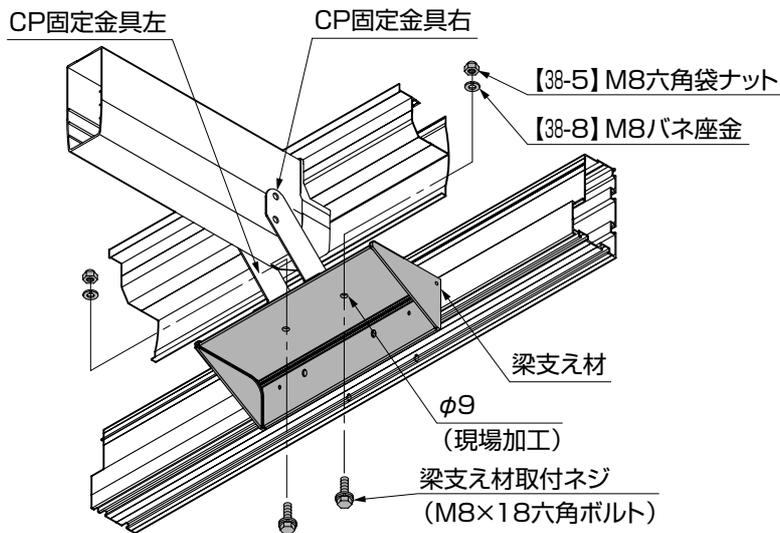


図4-4

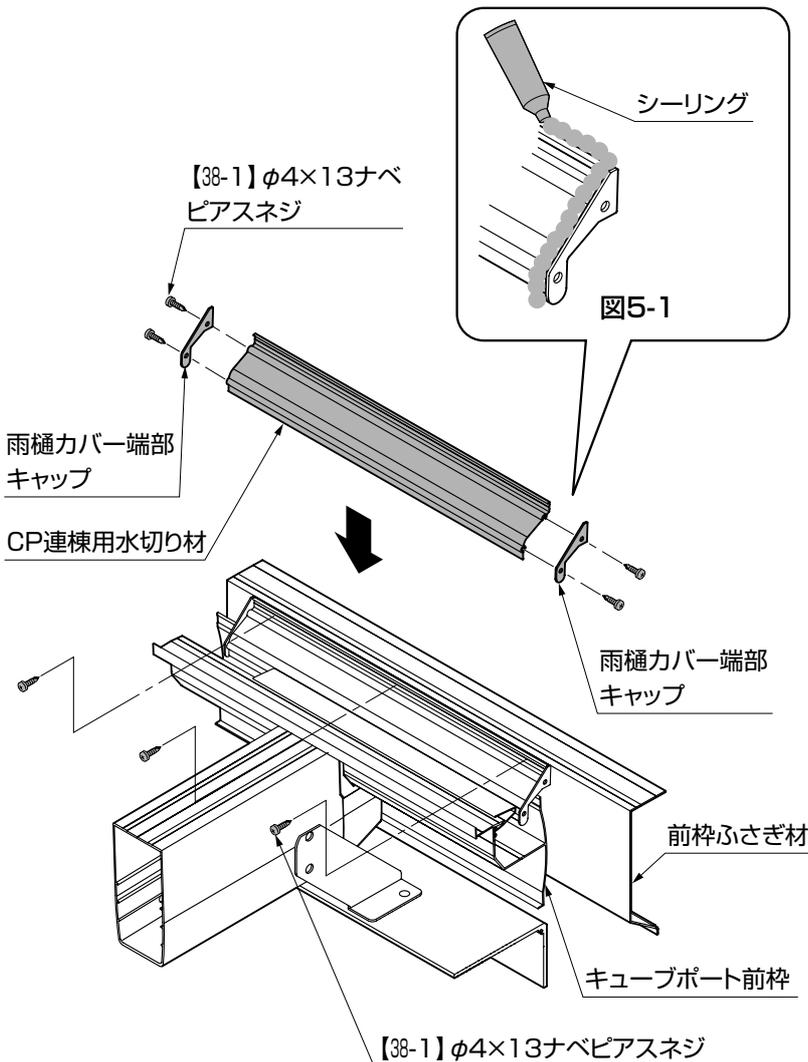
④梁支え材を【38-3】、【38-7】、【38-8】、【38-5】で桁に取付けてください。(図4-4参照)

## 4. (つづき)



- ⑤ CP固定金具の孔位置を確認して、梁支え材にφ9の孔を2ヶ所孔加工をした後【38-5】、【38-8】、梁支え材取付ネジで固定してください。

## 5. CP連棟用水切り材の取付け

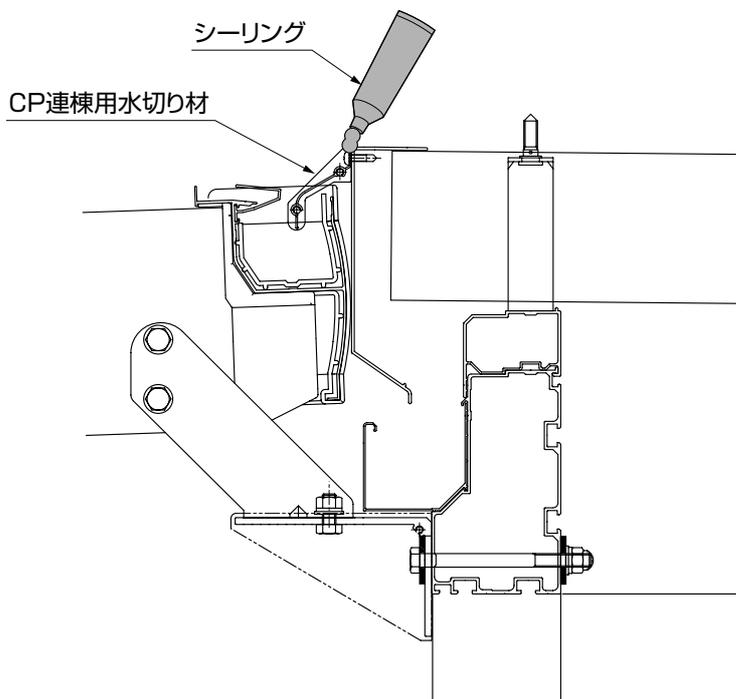


- ① CP連棟用水切り材を【38-1】で雨樋カバー端部キャップに取付けてください。
- ② キューブポート前枠に前枠ふさぎ材をあてて、位置出しをしてください。

### ポイント

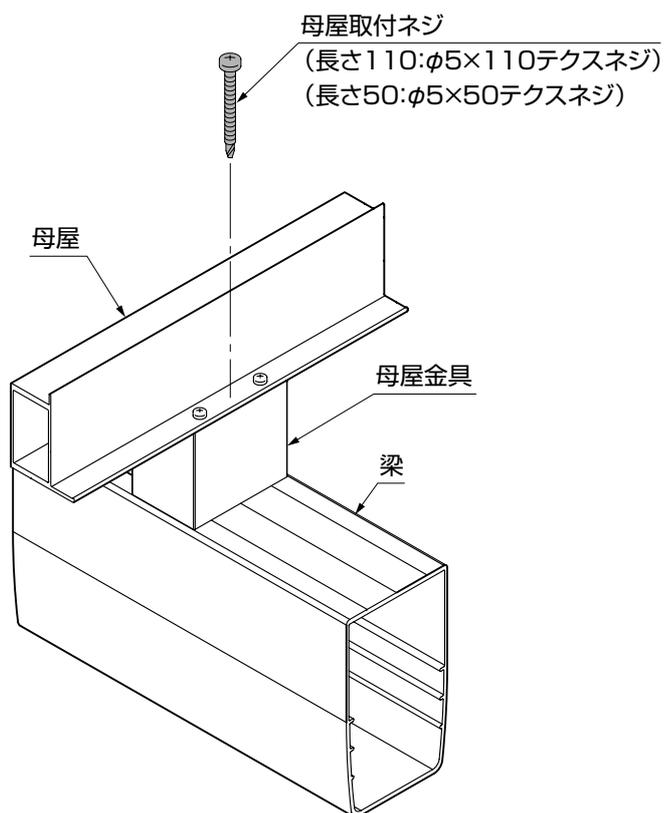
- 【38-1】は1スパンに1ヶ所と両端に取付けてください。

- ③ 前枠ふさぎ材を【38-1】で固定してください。
- ④ 雨樋カバー端部キャップとCP連棟用水切り材の接続面にシーリングをしてください。(図5-1参照)



⑤CP連棟用水切り材にシーリングをしてください。

## 6. キューブポート本体の追加施工



### ポイント

- キューブポート本体の施工時に母屋、前枠、梁の固定にネジの追加が必要です。
- 母屋、前枠、梁には下孔加工はありません。
- 柱に一番近い母屋にはネジの追加はありません。
- 前枠は母屋取付ネジで梁に固定してください。
- 母屋金具が32mmの場合は「母屋取付ネジ：長さ50」を、62mmの場合は「母屋取付ネジ：長さ110」を使用してください。

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## 12 基礎の施工

### 1. 基礎の仕上げ

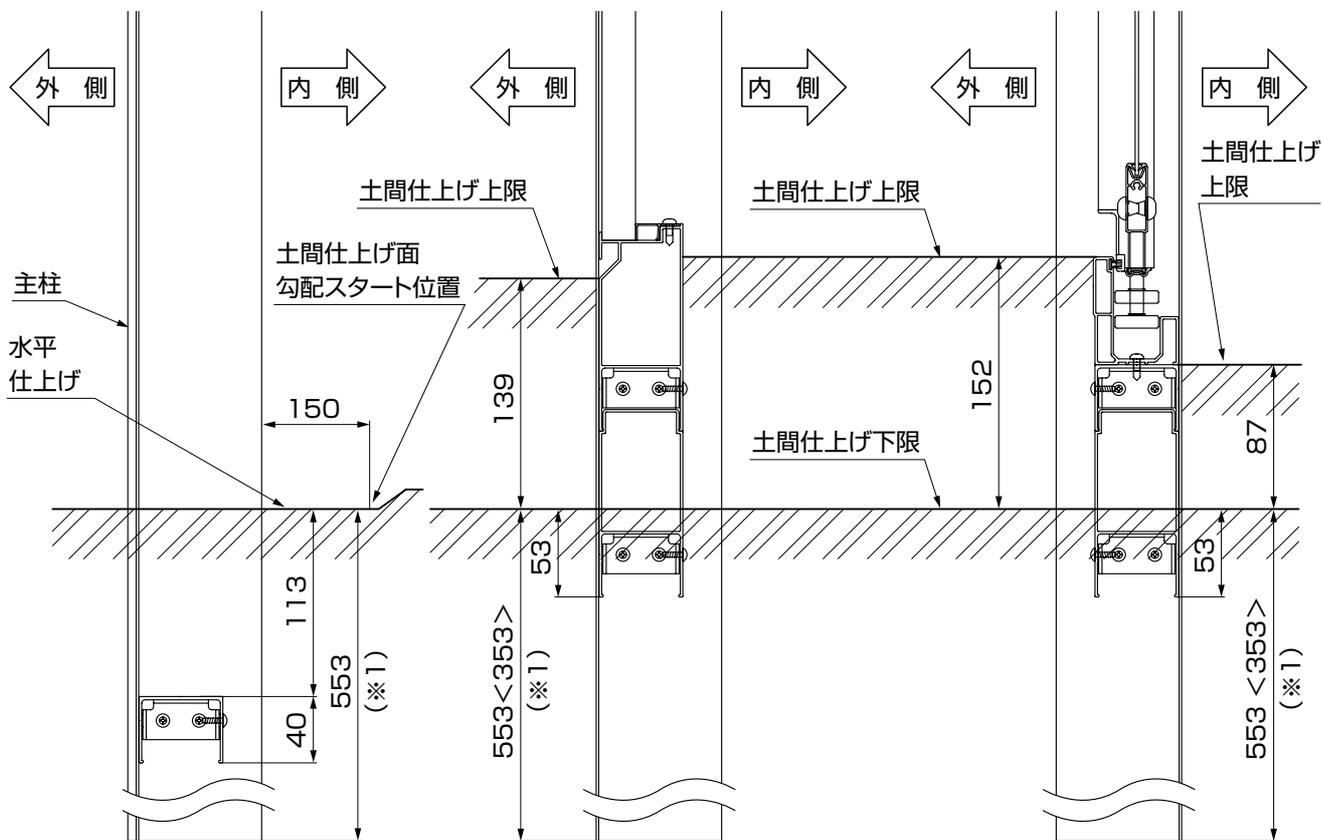
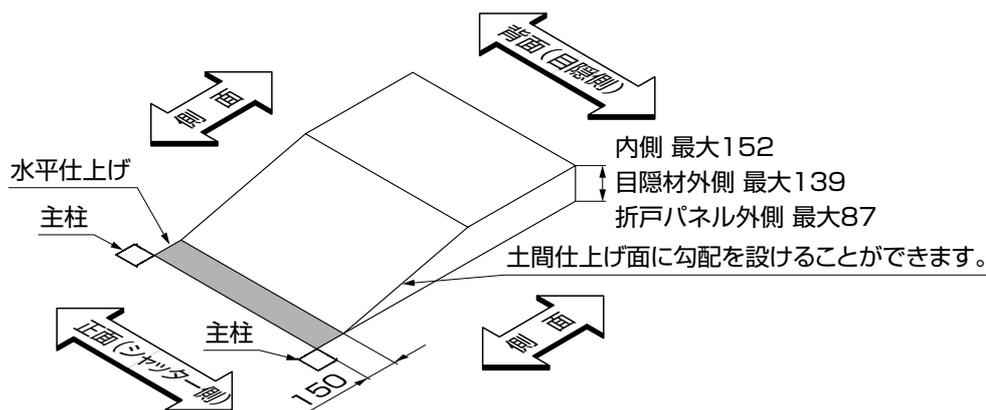


図12-1 シャッターの場合

図12-2 目隠材の場合

図12-3 折戸パネルの場合



①G.L面・土間仕上げ面を確認して、土間を仕上げてください。

#### ポイント

- 主柱内側150mmは必ず水平に仕上げてください。シャッター取付けに不具合が生じる場合があります。
- 土間仕上げ面に勾配を設けることができます。

#### 補足

- ※1は、柱埋込寸法を表しています。< >内寸法は機能柱の寸法です。

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

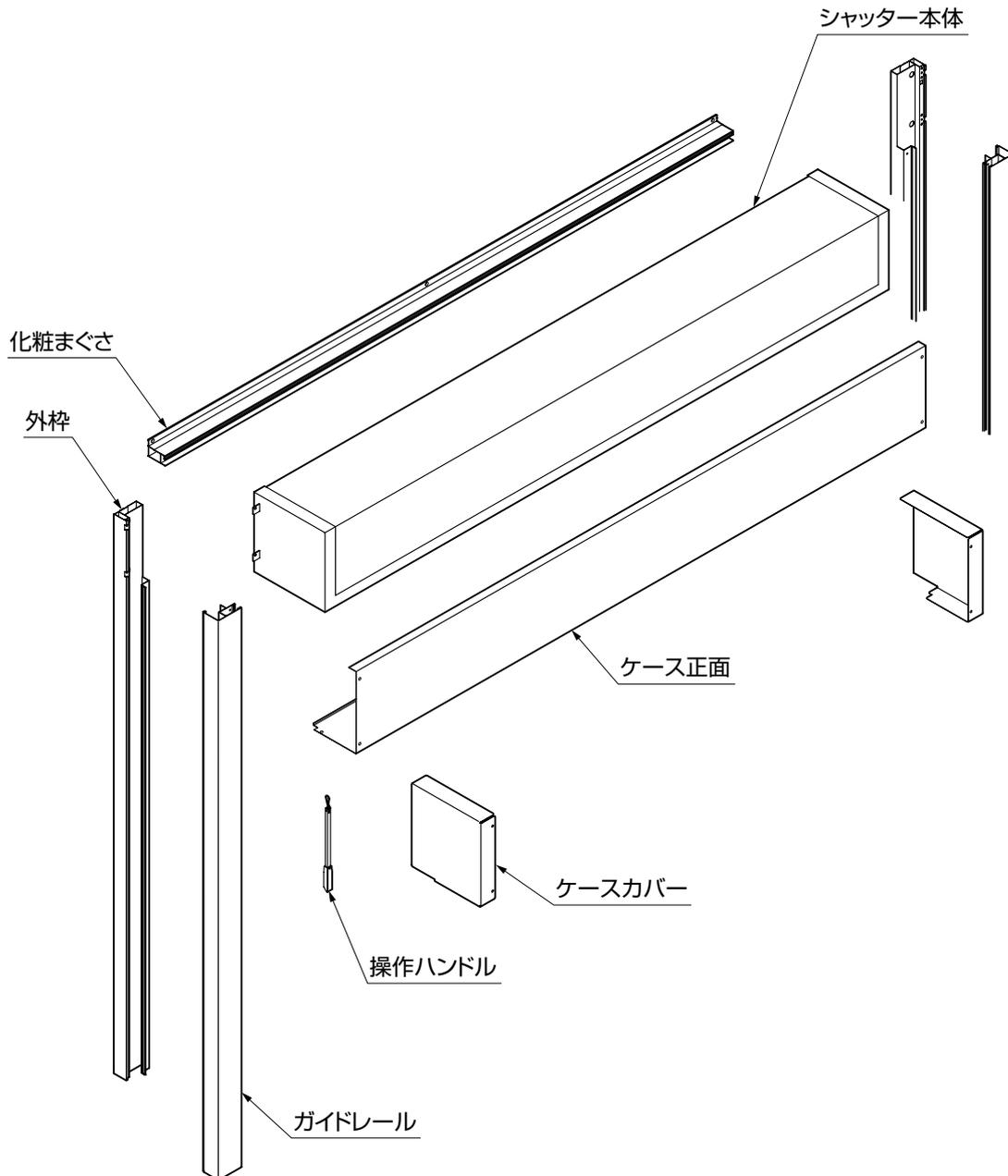
.....

.....

.....

## 13 シャッター本体の取付け

### 1. 施工前確認



①シャッター本体の施工前に各部材を確認してください。

## 2. 化粧まぐさの取付け

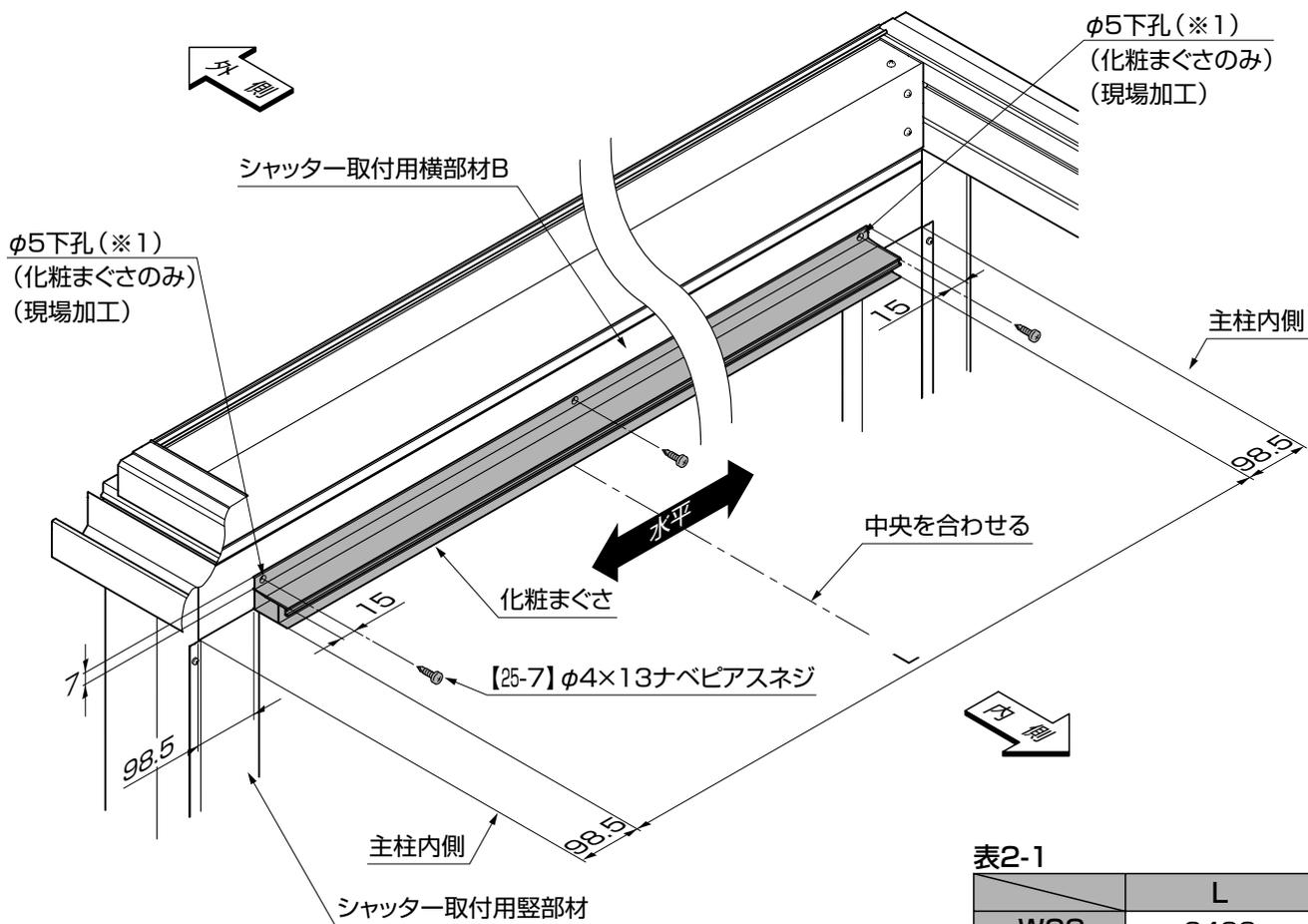


表2-1

	L
W28	2403
W32	2803
横延長W63	2803
W34	3003
W38	3003

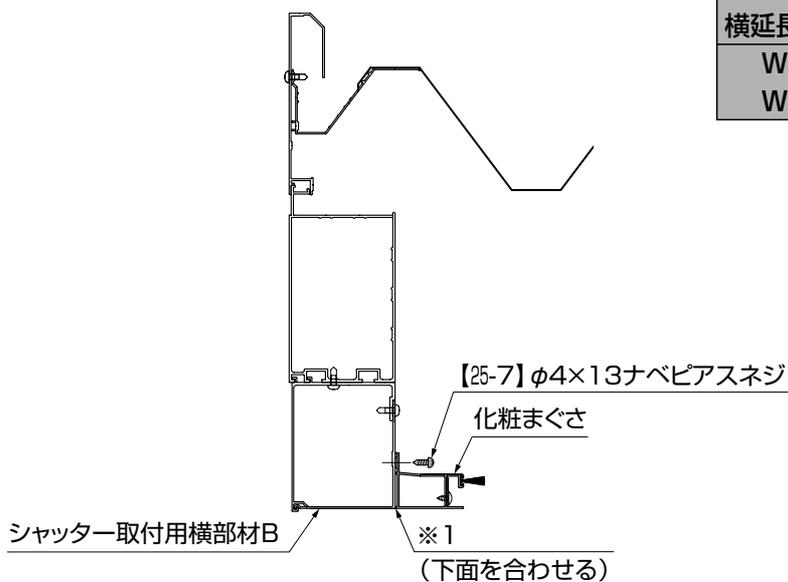


図2-1

- ①シャッター取付用横部材Bの下端に化粧まぐさの下端を合わせ(※1)、左右の出を均等にして中央を合わせて【25-7】で水平に取付けてください。(図2-1参照)

### ポイント

- 両端のみ、化粧まぐさにφ5下孔(※1)を現場加工してください。

### 3. 外枠の取付け

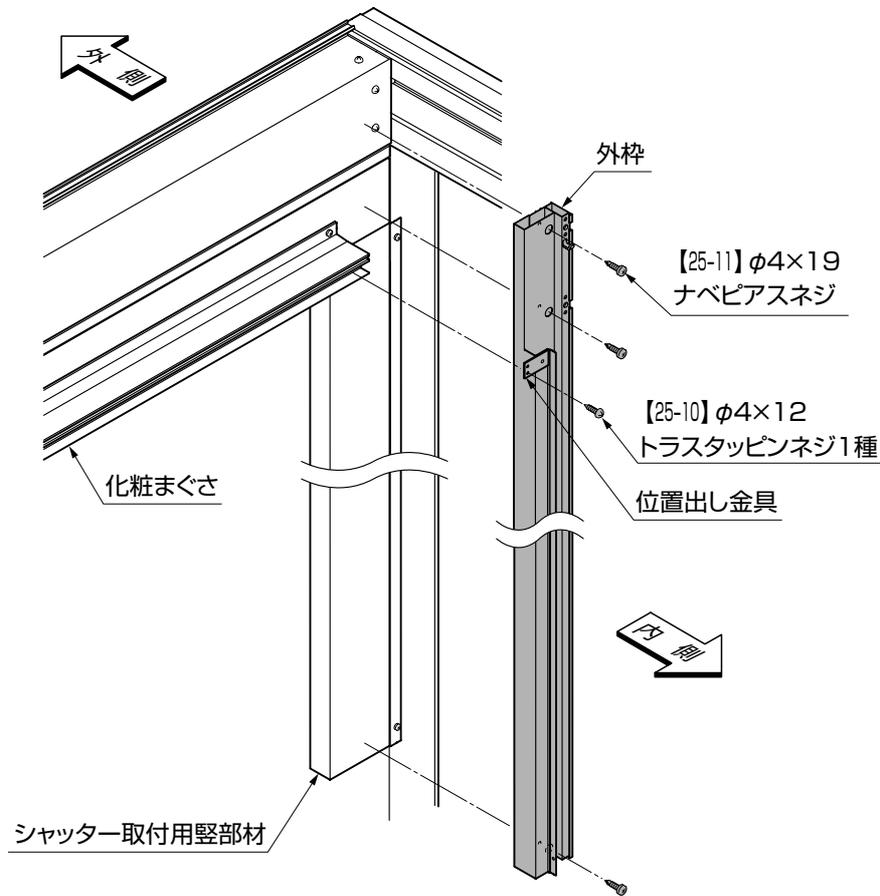


図3-1

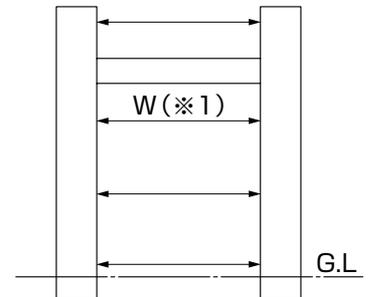


図3-3

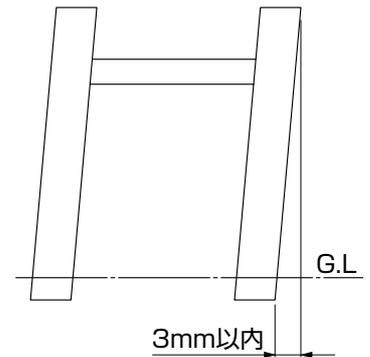


図3-4

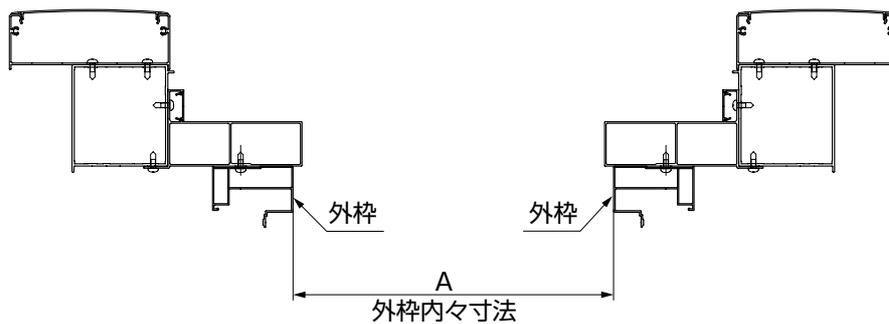


図3-2

表5-1

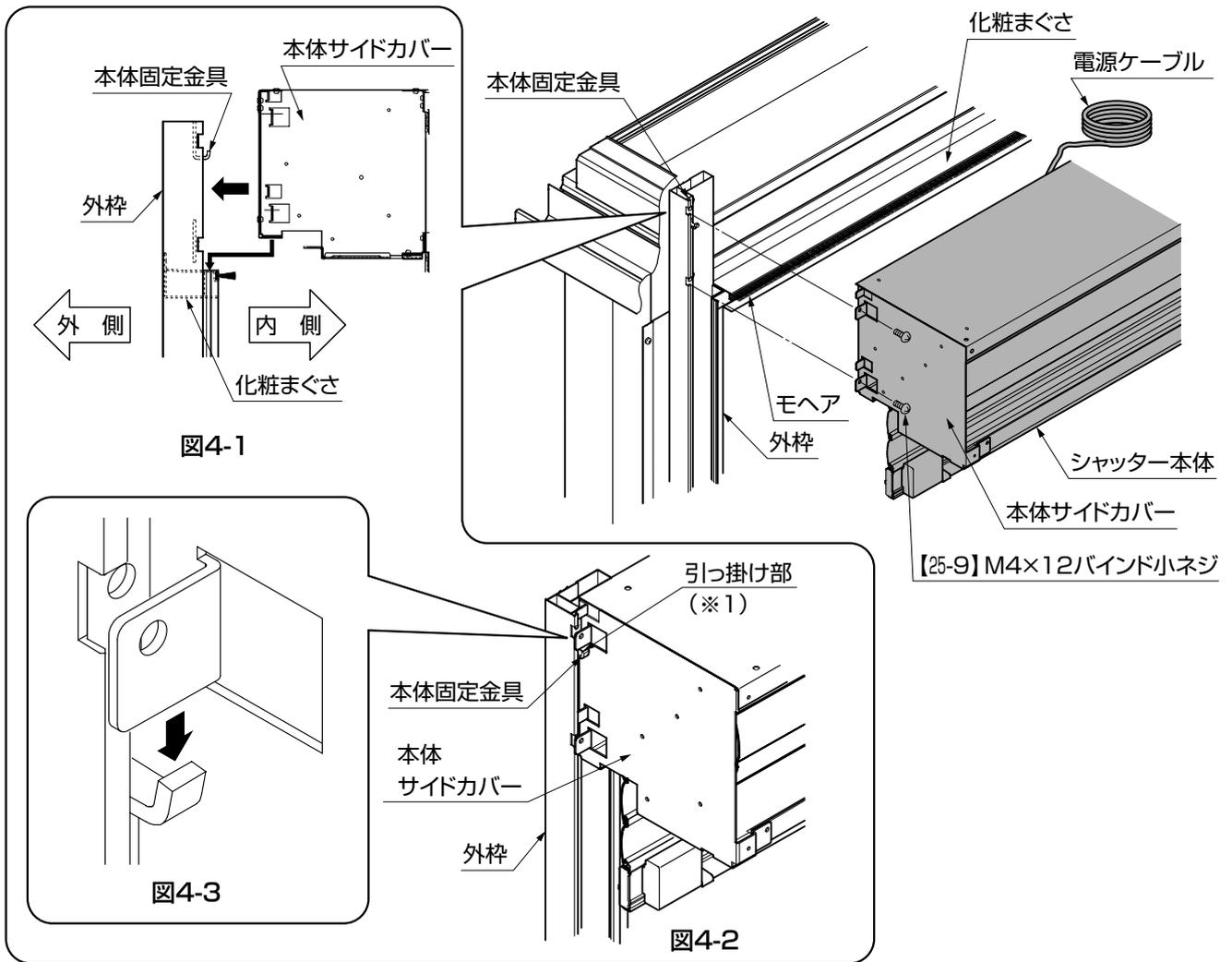
	外枠内々寸法A
W28	2404
W32	2804
横延長W63	2804
W34	3004
W38	3004

- ①外枠の位置出し金具を化粧まぐさに合わせ、【25-10】で固定してください。(図5-1参照)
- ②外枠の垂直を出し、外枠内々寸法Aを確認した上で躯体に【25-11】で固定してください。(図5-2、図5-3参照)

#### ポイント

- シャッター枠の寸法(W=3mm以内の誤差)(※1)を測り、正確に出ているか確認してください。シャッター本体が取付けられなくなったり、シャッターの開閉に支障をおよぼし、製品の取付けがやり直しになるおそれがあります。(図3-3参照)
- 枠の水平・垂直が正確に出ているか確認してください。シャッターの作動不良の原因になったり、ロックがからなくなるなど、製品の取付けがやり直しになるおそれがあります。(図3-4参照)

## 4. シャッター本体の取付け



- ①シャッター本体をダンボールから取出し、電源ケーブルとアース線を伸ばして扱いやすいようにしてください。
- ②本体サイドカバーを持ち、シャッター本体を化粧まぐさの上に載せてください。(図4-1参照)
- ③本体サイドカバーの引っ掛け部(※1)が本体固定金具に当たるまで押込んでください。(図4-2、図4-3参照)

### ポイント

- 電源ケーブルとアース線をシャッター本体とスタイルコート本体の間に挟み込まないでください。

- ④本体サイドカバーの引っ掛け部を本体固定金具に掛けてください。

### ポイント

- 本体が固定金具に引っ掛かっていることを確認してください。

- ⑤電源ケーブル・アース線は本体背面から出して、化粧まぐさの上に置いて端末をシャッター本体の上に出しておいてください。

### 補足

- モヘアにズレがあれば調整してください。

- ⑥シャッター本体が本体固定金具に掛かっていることを確認して、シャッター本体を本体固定金具に【25-9】で取付けてください。

## 5. ガイドレールの取付け

### 5-1 ガイドレールの加工

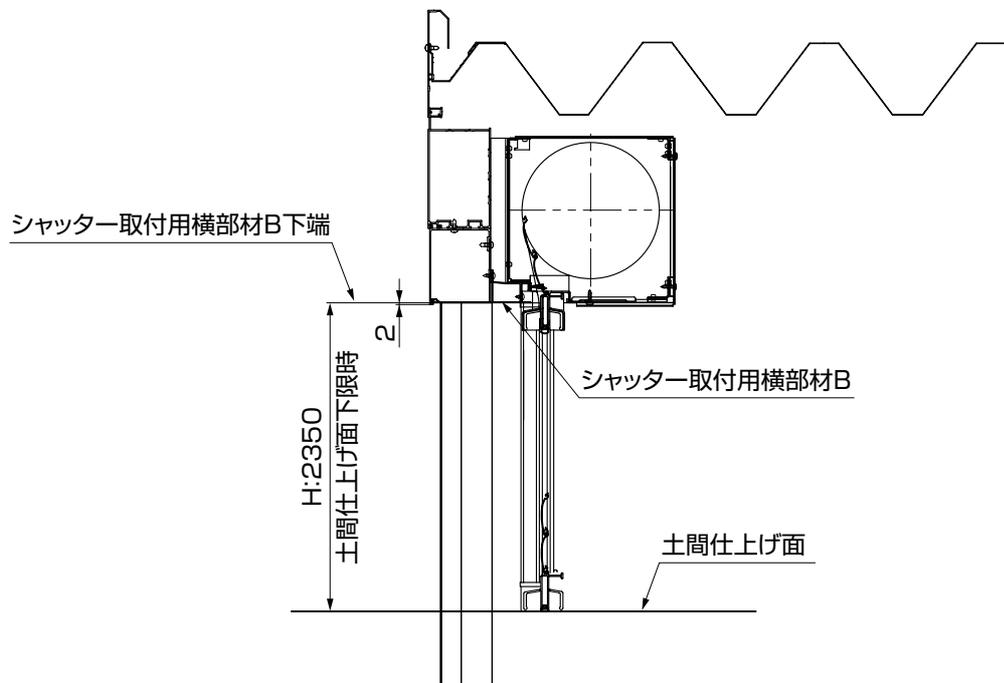


図5-1

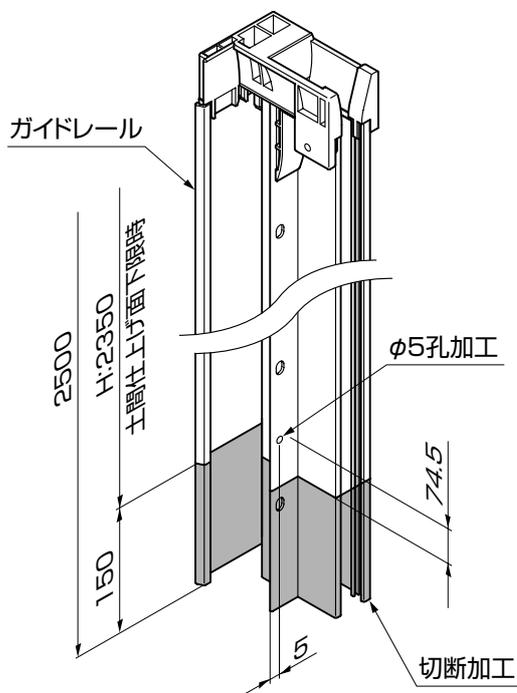


図5-2

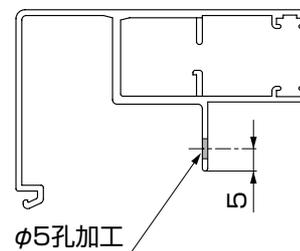


図5-3

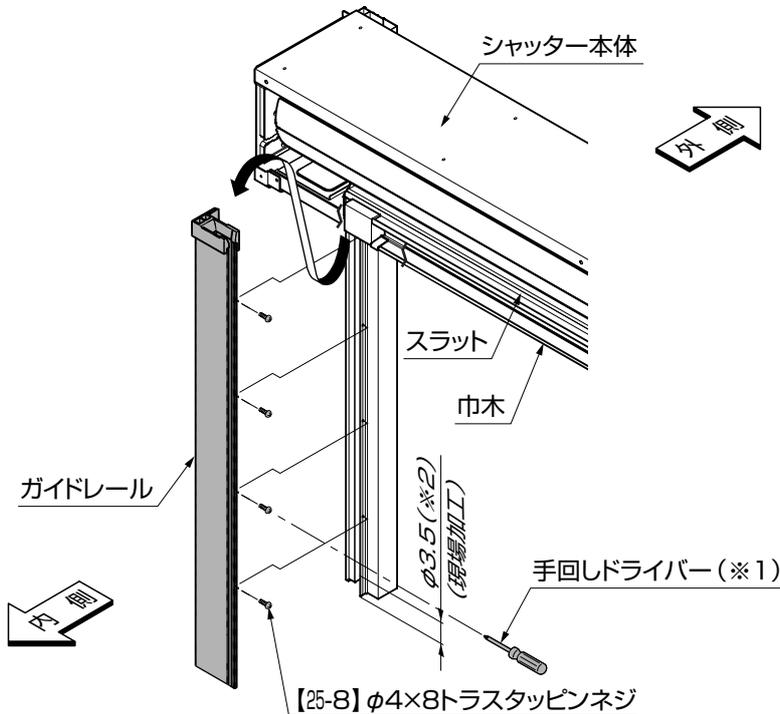
①ガイドレールを施工現場の土間仕上げ面に合わせて、切断・孔あけ加工をしてください。(図5-2、図5-3参照)

#### 補足

●加工寸法は、標準高さの場合の寸法です。(図5-1参照)

## 5. (つづき)

### 5-2 ガイドレールの取付け



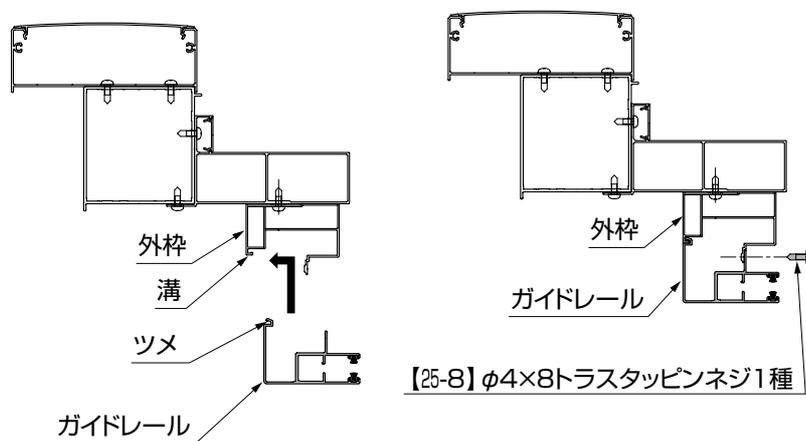
- ①巾木を引き下げ、ガイドレールの上端(部品側)に巾木を引き込み、そのままガイドレールの上端をシャッター本体内に挿入して外枠の内側に入れてください。
- ②ガイドレールをスライドさせて外枠の溝にツメ(※1)をはめ込み、外枠の下端に合わせて【25-8】で固定してください。

#### ポイント

- ガイドレールのネジ止めには手回しドライバーを使用してください。(※1)
- ワイヤーをガイドレールの外側に出してガイドレールをはめ込んでください。
- 下側端部はガイドレール加工孔に合わせ、φ3.5の現場加工(※2)をしてください。

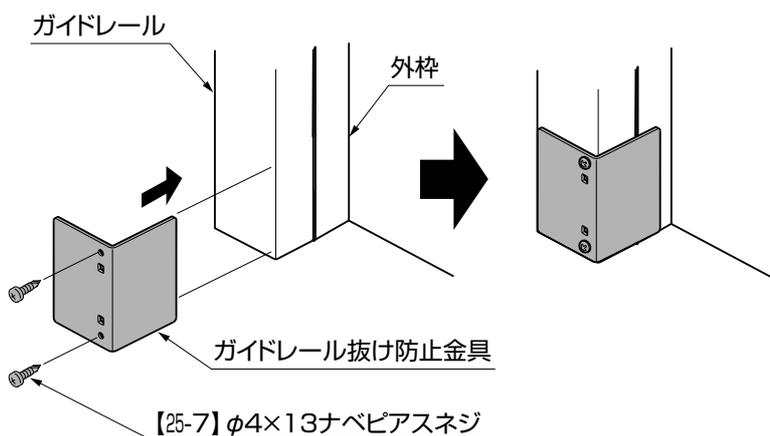
- ③本体養生材を取除いてください。

### 5-3 ガイドレール抜け防止金具の取付け

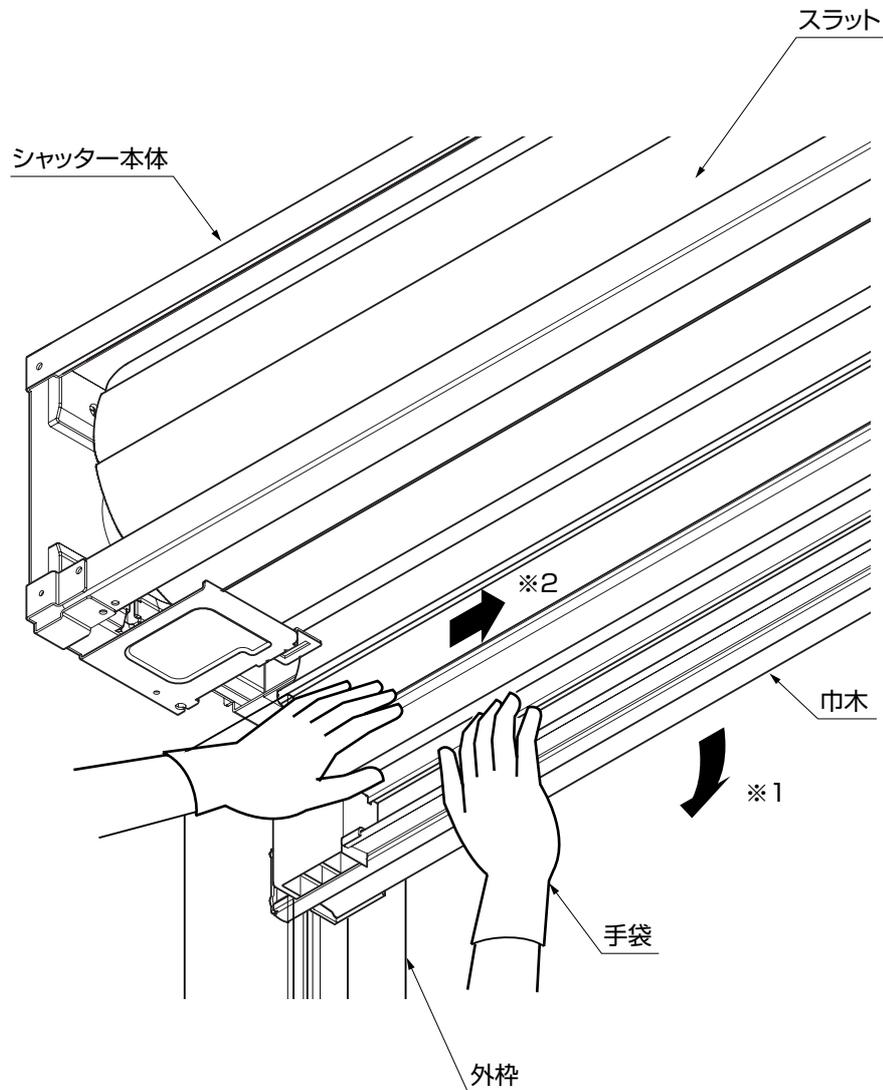


- ①ガイドレール下端にガイドレール抜け防止金具をあわせてください。

- ②ガイドレール抜け防止金具の丸孔部を【25-7】で固定してください。



## 6. スラットの横ズレ確認

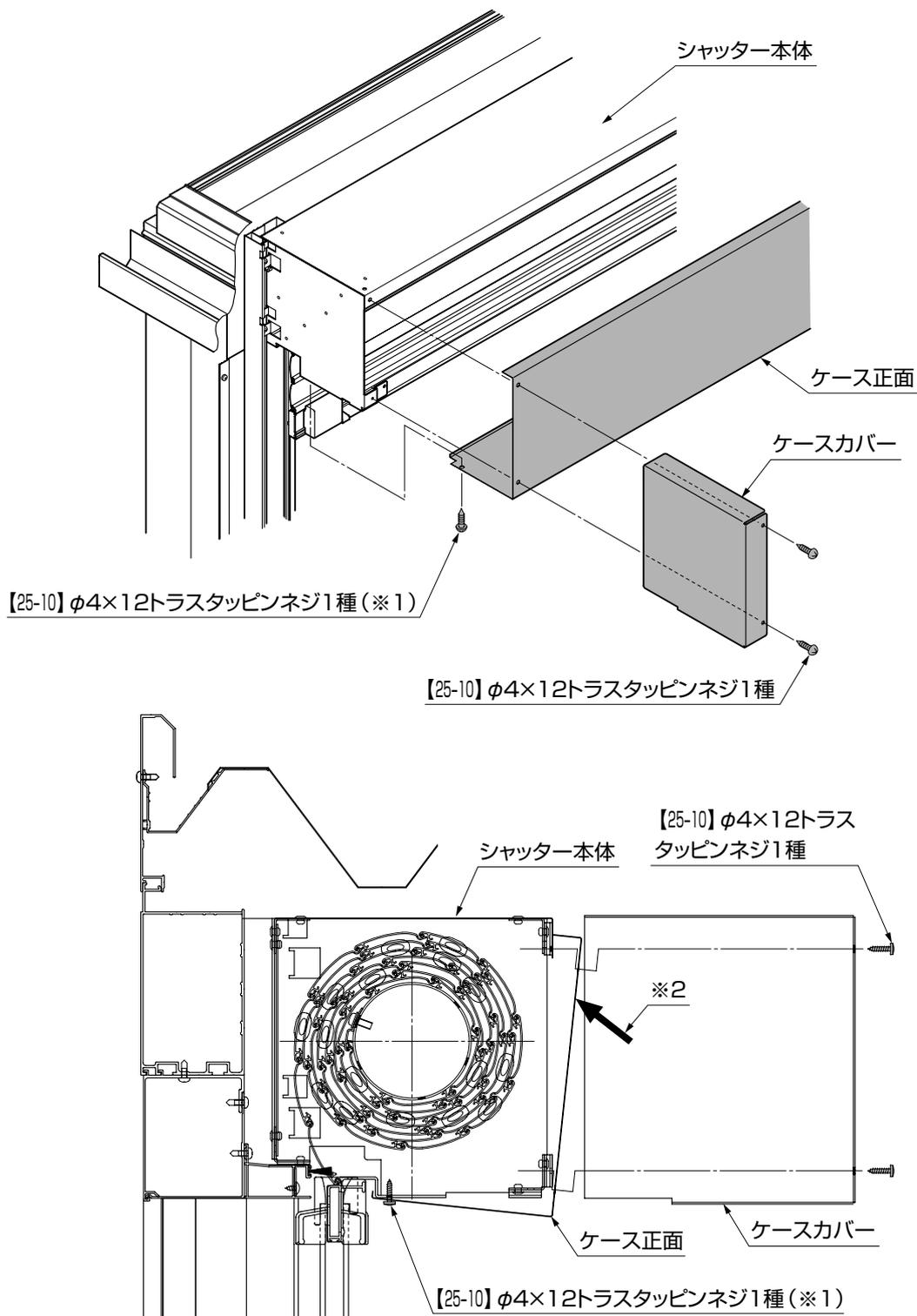


- ①巾木の中央を持ち、開口の1/3程度までスラットを下げてください。(※1)
- ②横ズレがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。(※2)

### ポイント

- スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。
- ③外枠・本体にスラットが引っ掛からないようにしてください。
  - ④スラットを上げてください。

## 7. ケースの取付け



① ケース正面を正面下方からはめ込み、下面を【25-10】(※1)で固定してください。

### ポイント

● ケースカバーを【25-10】で固定するまで、ケースを手で押さえておいてください。(※2)

② ケースカバーをかぶせてケースと共に【25-10】で固定してください。

## 8. 停電時開閉ハンドルの取付け

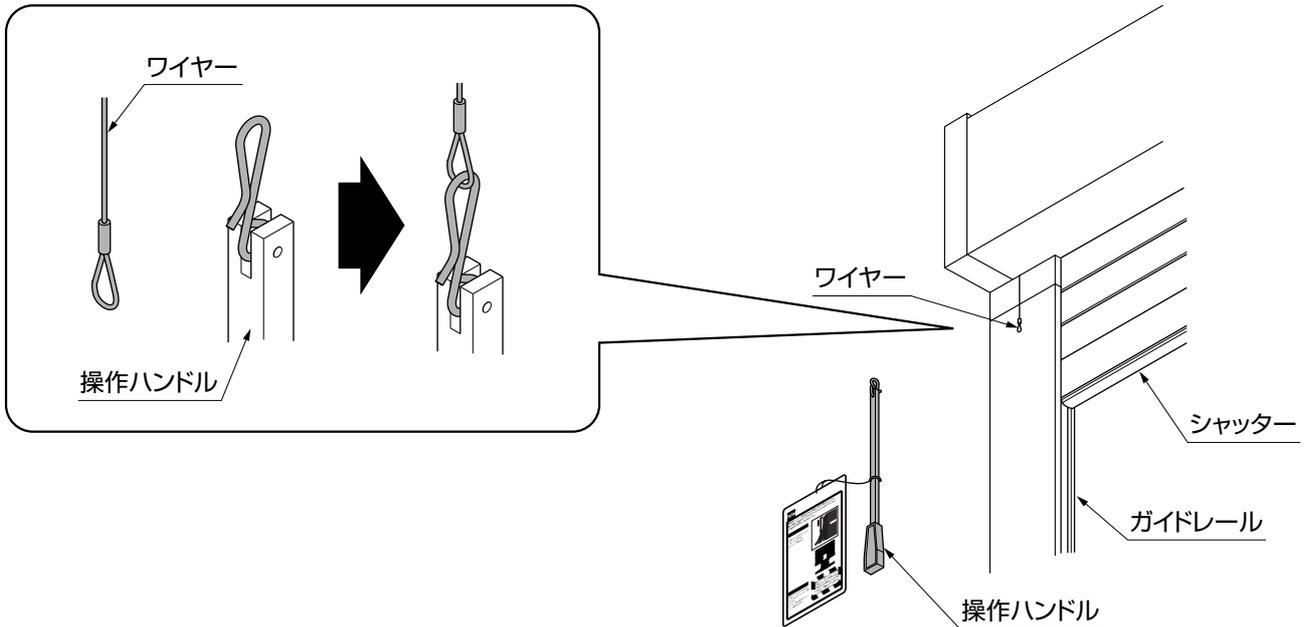


図8-1

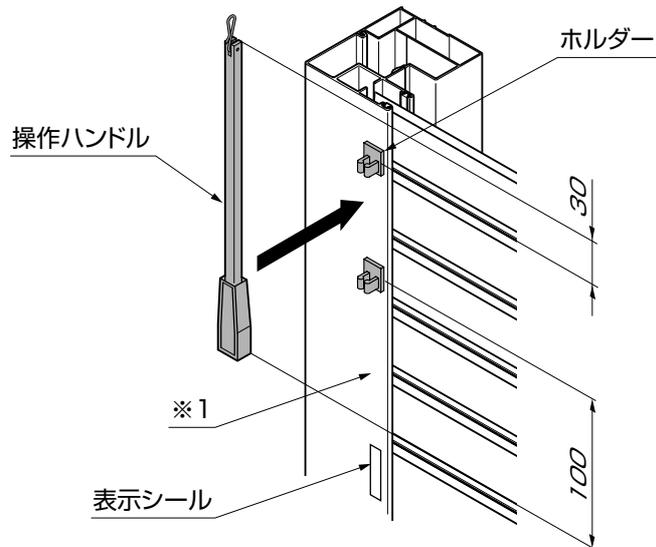


図8-2

①ガイドレール上方からぶらさがっているワイヤーに操作ハンドルを引っ掛けてください。

### ポイント

●この時、ワイヤーを引っ張らないでください。停電時開閉機構が働き、シャッターが電動で動かなくなります。

②ホルダー貼付け面(\*1)のホコリ、油分を拭き取ってください。

③操作ハンドル上端から30mmおよび下端から100mmの位置にホルダーを貼付けてください。

④操作ハンドルをホルダーに固定して、同封の表示シールを真下に貼ってください。

### ポイント

●操作ハンドルは必ず図8-2の向きでホルダーに固定しておいてください。操作ハンドルが引っ掛かり、シャッター開閉不良の原因になるおそれがあります。

## 9. 停電時開閉機構の使い方

※停電時にシャッターを内側からあける場合の説明です。

### 9-1 シャッターのあけ方

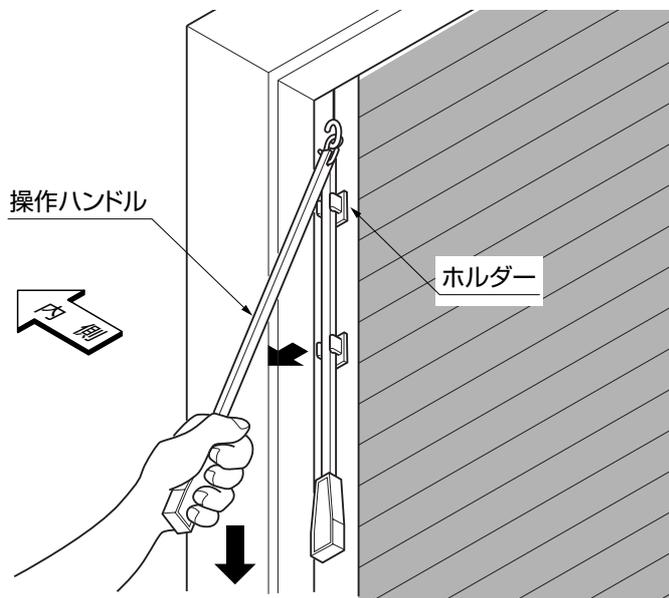


図9-1

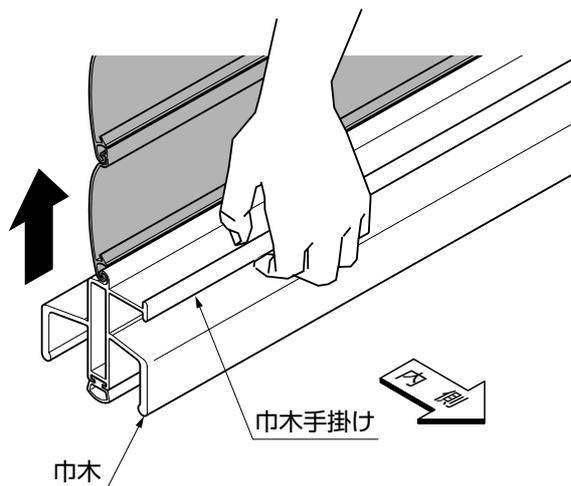


図9-2

- ①操作ハンドルをホルダーから外してください。(図9-1参照)
- ②操作ハンドルを下に引いてください。(図9-1参照)

#### 補足

●操作ハンドルを下方に引くとスラットが巻き上がり、大きな音がする場合がありますが故障ではありません。

- ③巾木手掛けを持ち、シャッターを手動で巻き上げてください。(図9-2参照)

### 9-2 シャッターのもどし方

- ①操作ハンドルを下に引いてください。
- ②スイッチを入れてシャッターを動かすとモーターが半回転してシャッターが動き出します。

#### ポイント

●空回りするような場合、一旦停止させて、もう一度操作ハンドルを引いてスイッチを入れてください。

- ③操作ハンドルをホルダーに固定してください。

### 9-3 停電復帰後の操作の仕方

#### 補足

- 停電復帰後も通常通りで使用ください。
- 停電復帰後の4回の開閉動作中は、上下限停止位置の点検機能が働きます。点検機能動作中はセーフティストップシステムは全域で停止のみとなります。また、全閉位置で止まるときは巾木が地面に当たり、少し反転して止まります。

## 10. ワイヤレス壁スイッチの取付け

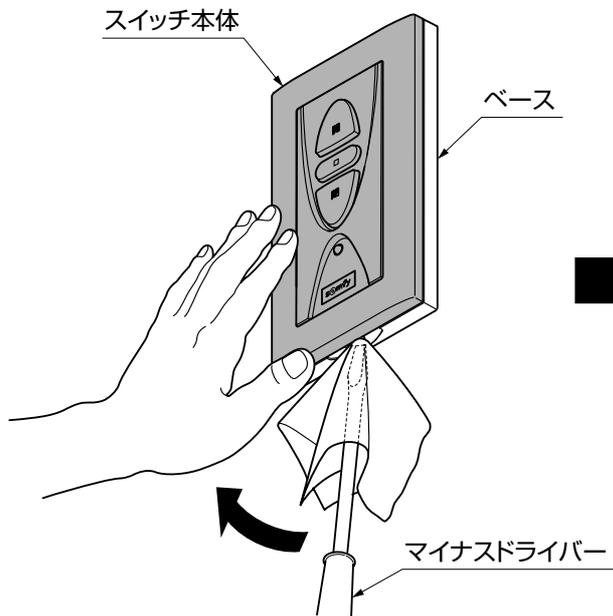


図10-1

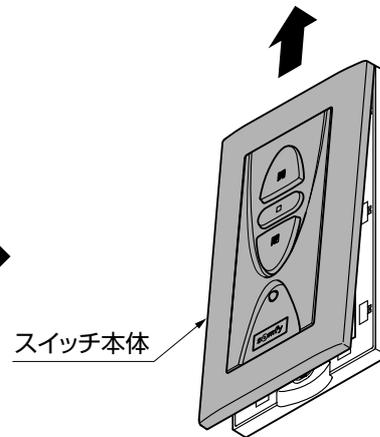


図10-2

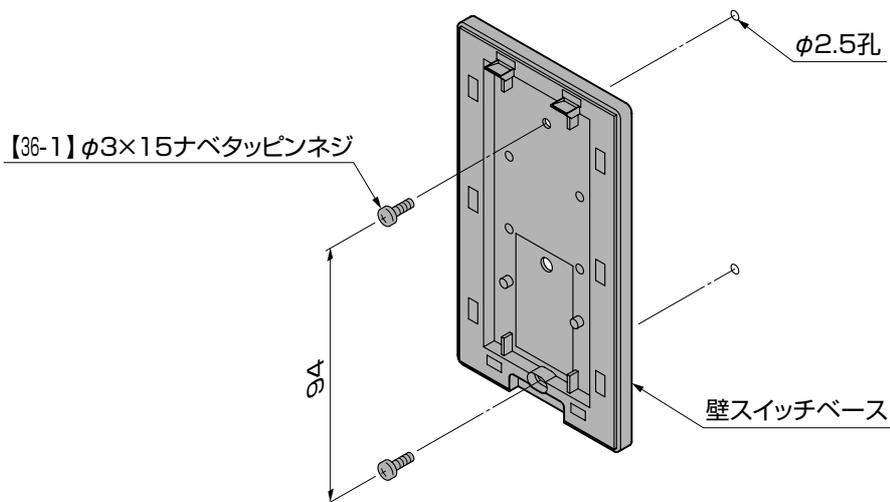


図10-3

- ①ワイヤレス壁スイッチのスイッチ本体を外してください。
- ②ワイヤレス壁スイッチの下部の溝に布をかぶせたマイナスドライバー等を差込み、スイッチ本体を押し上げてください。(図10-1参照)
- ③スイッチ本体が浮いたら上方方向に上げてください。スイッチ本体が外れます。(図10-2参照)

### 補足

- スイッチ本体が落ちないように手で支えてください。

- ④壁スイッチベースを目隠材などシャッター開閉が確認できる所に【36-1】で取付けてください。(図10-3参照)

### ポイント

- 取付箇所にφ2.5孔をあけてから取付けてください。(図10-3参照)

- ⑤スイッチ本体をベースに取付けてください。

## 11. 追加リモコンの登録

※別売りのカードリモコン（商品名：追加リモコン）を追加することができます。新たに購入した追加リモコンを使用するには、リモコン登録が必要になります。

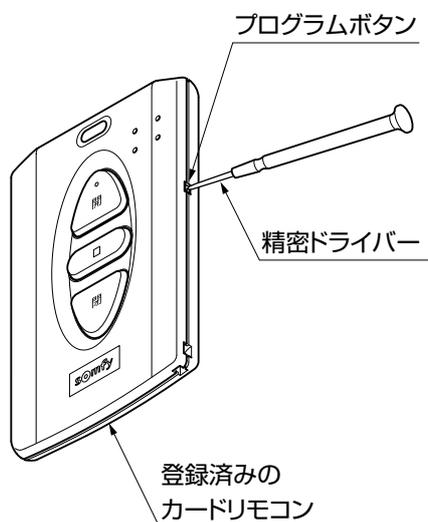


図11-1

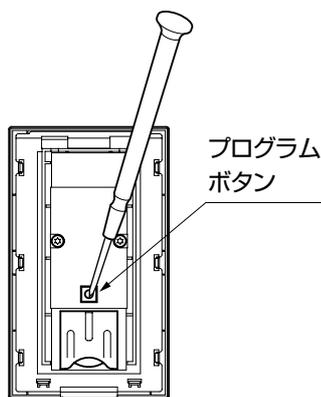


図11-3  
ワイヤレス壁スイッチ本体裏板

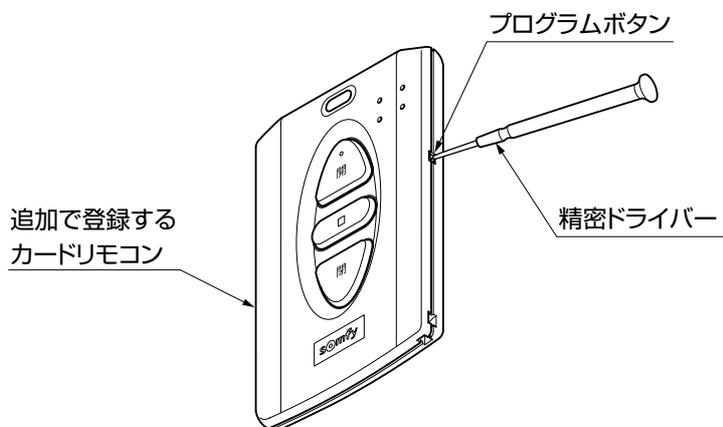
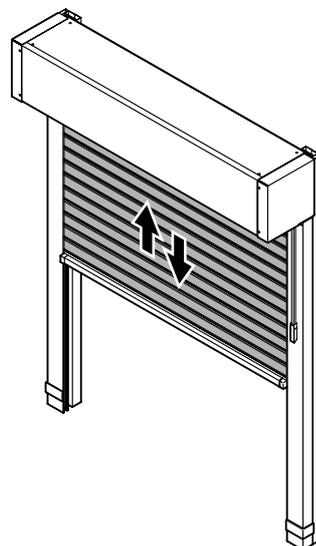
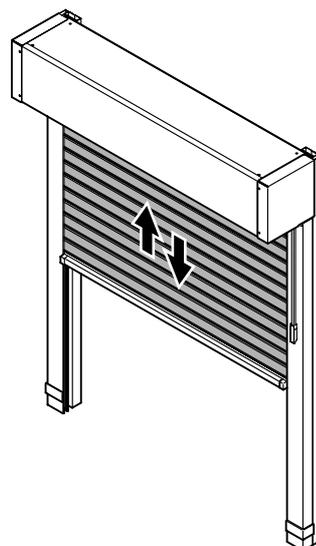


図11-2



- ①登録済みのカードリモコンのプログラムボタンをシャッターが小さく上下に動くまで精密ドライバーなどで約1秒押ししてください。（図11-1参照）

### 補足

- シャッターが小さく上下に動き、カードリモコンの追加登録の準備が完了します。

- ②追加で登録するリモコンのプログラムボタンをシャッターが小さく上下に動くまで精密ドライバーなどで約1秒押ししてください。（図11-2参照）

### ポイント

- 登録済みのカードリモコンを紛失してしまった場合、代わりにワイヤレス壁スイッチのスイッチ本体を外して、プログラムボタンを精密ドライバーなどで（約1秒）押ししてください。（図11-3参照）
- スイッチ本体の取外し方法・取付け方法は「10.ワイヤレス壁スイッチの取付け」を参照してください。
- 登録済みのリモコンも追加で登録したリモコンも以降は同様に動作します。

## 12. カードリモコン・ワイヤレス壁スイッチからの操作方法

※開閉の際は周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。はさまれてケガをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。はさまれた場合は、ただちに停止スイッチを押してシャッターを停止して、「開」スイッチを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。

※開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。

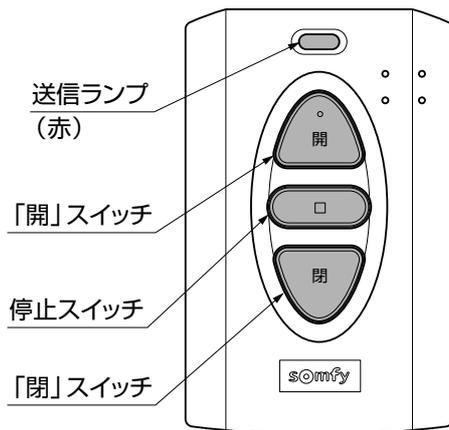


図13-1  
カードリモコン

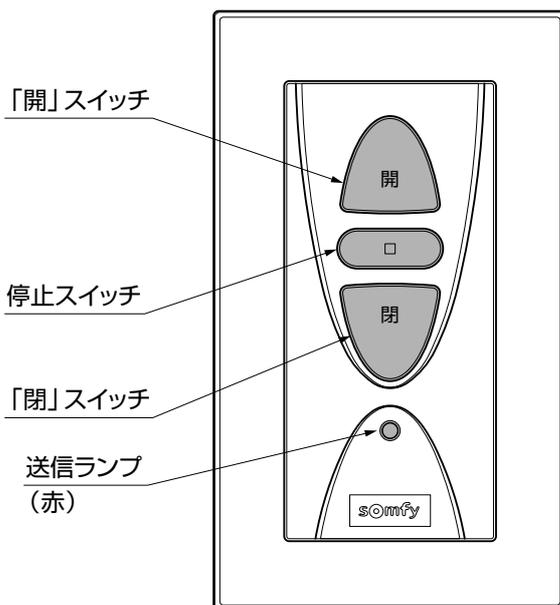


図13-2  
ワイヤレス壁スイッチ

- ①「開」スイッチを押してください。シャッターが上昇します。

**補足**

- 「開」スイッチを押している間は送信ランプが点滅します。

- ②「閉」スイッチを押してください。シャッターが下降します。

**補足**

- 「閉」スイッチを押している間は送信ランプが点滅します。

**ポイント**

- 途中で止める場合は、停止スイッチを押してください。シャッターが途中停止します。停止スイッチを押している間は送信ランプが点滅します。

## 13. 作動確認

### ポイント

- G.L面の仕上げ終了後に行なってください。
- 下限設定のため、G.L面の仕上げ前に行なう場合はG.L面の巾木部分に仮G.Lを設けてください。

①一次電源100Vとアース線を本体側の電源ケーブルとアース線に接続してください。

### ポイント

- 仮設電源の電圧が94～106Vの範囲にあるか確認してください。

②4回開閉を行ない、5回目の開閉上下限の位置確認と作動確認を行なってください。

## 14. 施工完了確認チェックリスト

表15-1

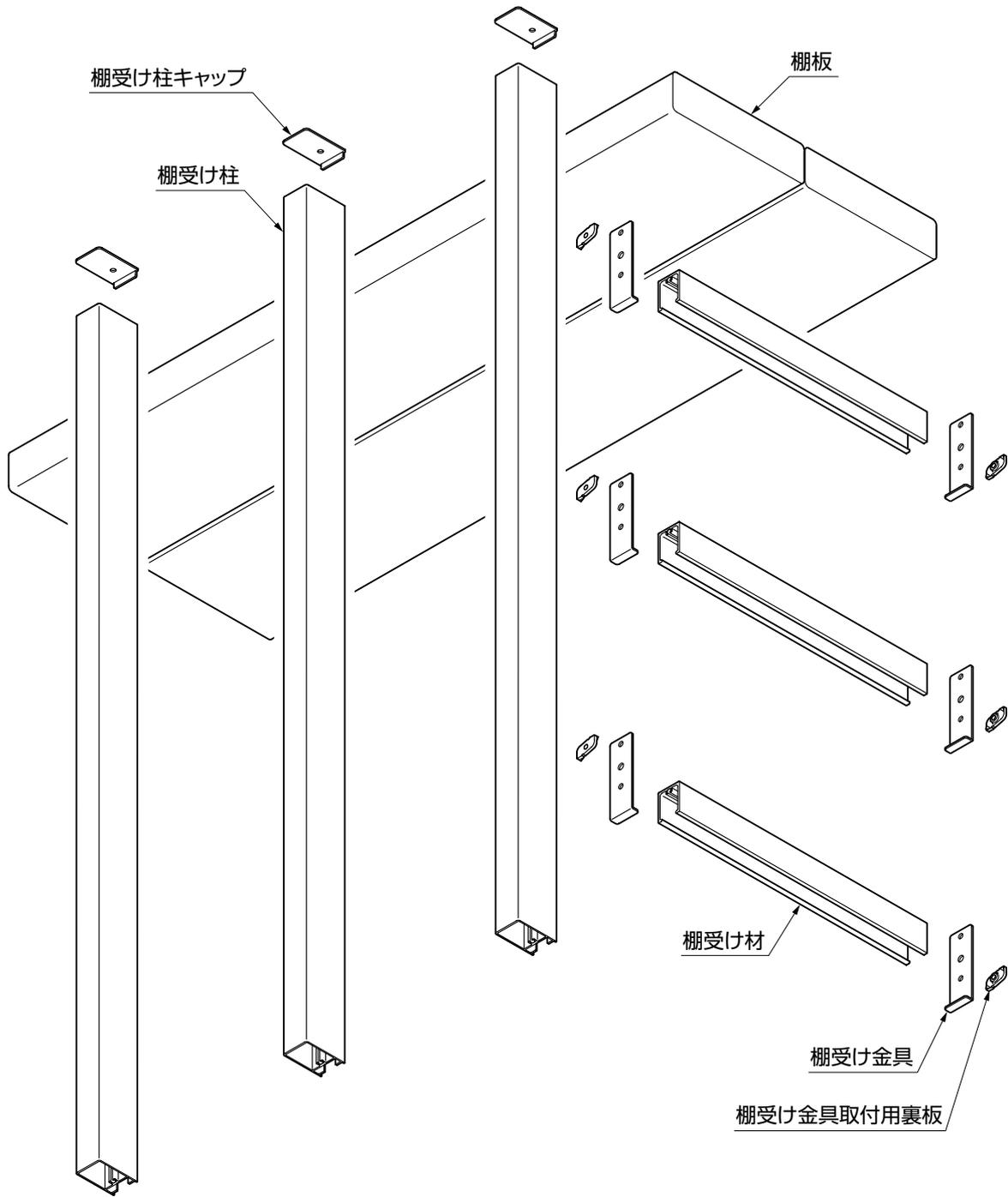
※ [はい・いいえ] のいずれかに○をしてください。

施工区分	チェック項目	チェック
外枠の取付け	外枠は、垂直（傾き：5mm以内）に取付けていますか	はい・いいえ
シャッター本体の取付け	シャッター本体が本体固定金具に確実に引っ掛かり、ネジ止め忘れはないですか	はい・いいえ
	スラットの保護材・パットの取忘れはないですか	はい・いいえ
ガイドレールの取付け	外枠に確実にはめ込まれ、ネジの締め忘れはないですか	はい・いいえ
ボックスの取付け	ボックスはすべてネジ止めされて締め忘れはないですか	はい・いいえ
外観取付け状況の確認	開閉時に異音、引っ掛かりはありませんか	はい・いいえ
	スラットの片下り、横ズレはありませんか	はい・いいえ
	キズ・ヘコミ・色調に異常はないですか	はい・いいえ
	人が触れる部分に突起、バリ等のケガしやすいような部品はありませんか	はい・いいえ
電動部	上限・下限の停止位置は適正ですか	はい・いいえ
	障害物感知装置は正常に作動しますか	はい・いいえ
	停電時開閉機構は正常に作動しますか	はい・いいえ

①チェック内容がすべて「はい」になっているか確認してください。

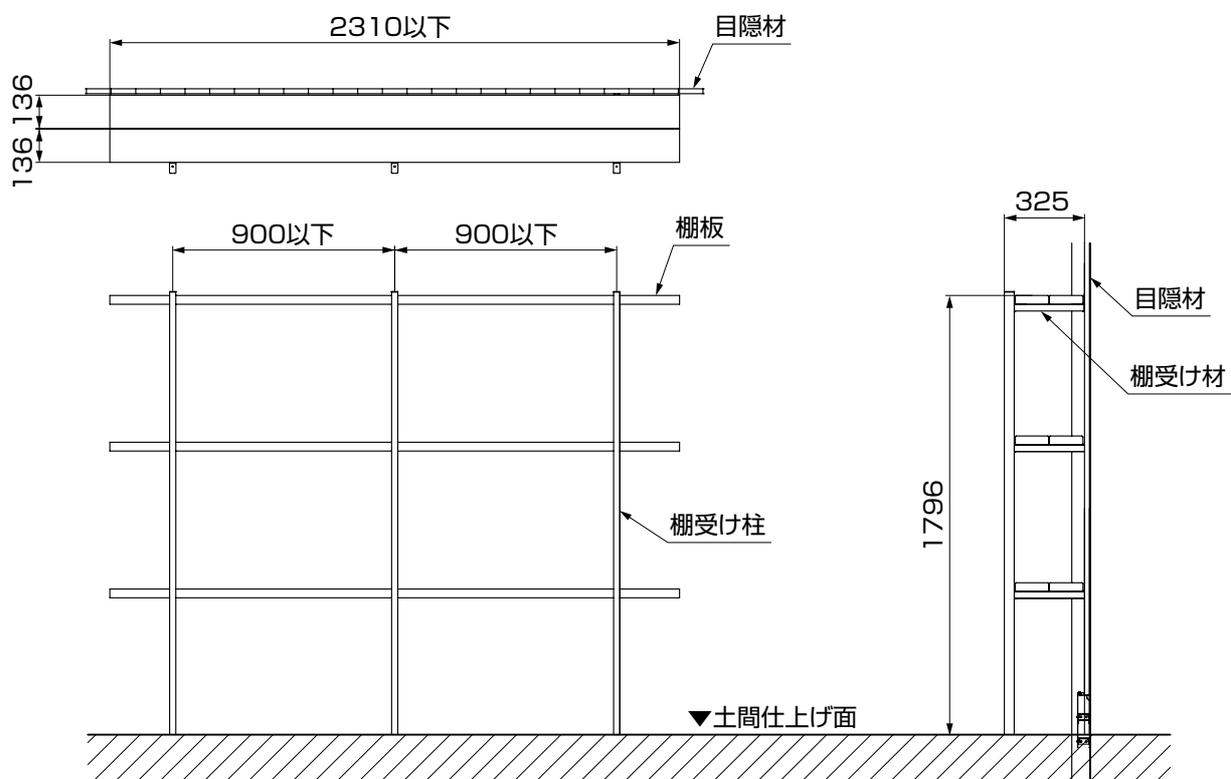
## 14 棚の取付け オプション

### 1. 施工前確認

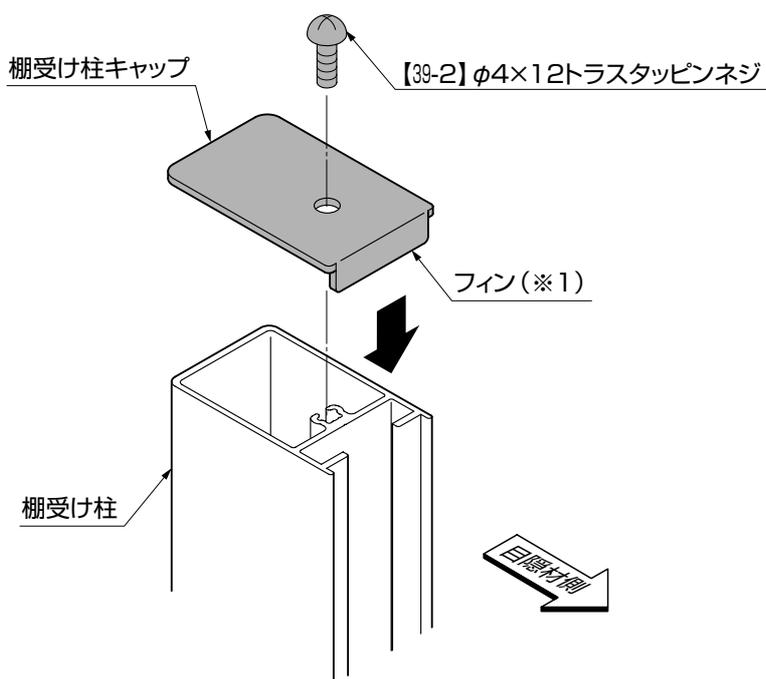


①棚の施工前に各部材を確認してください。

## 2. 基本寸法図



## 3. 棚受け柱キャップの取付け



① 棚受け柱キャップを棚受け柱に【39-2】で取付けてください。

### ポイント

● 棚受け柱キャップのフィン(※1)が目隠材側にくることを確認してください。

## 4. 棚受け金具の取付け

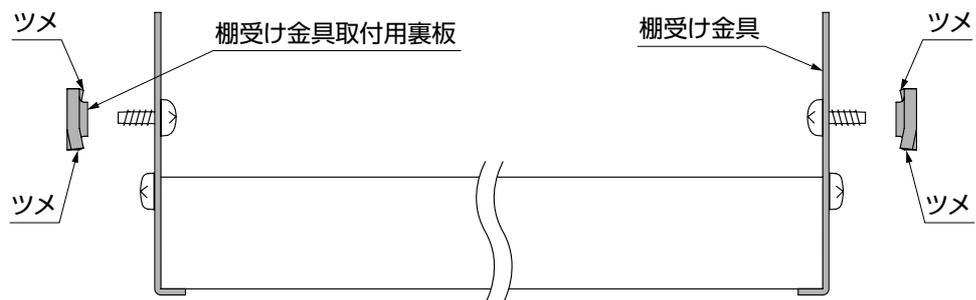
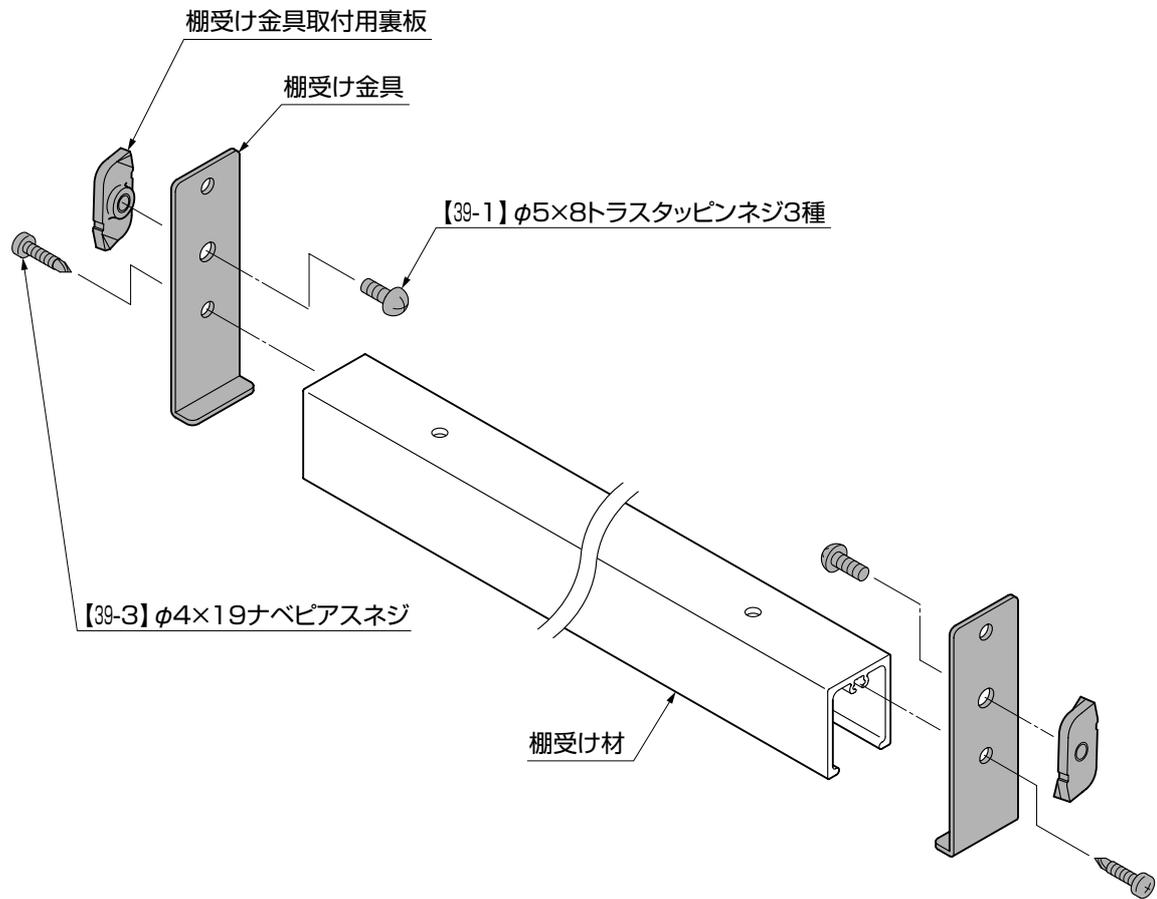


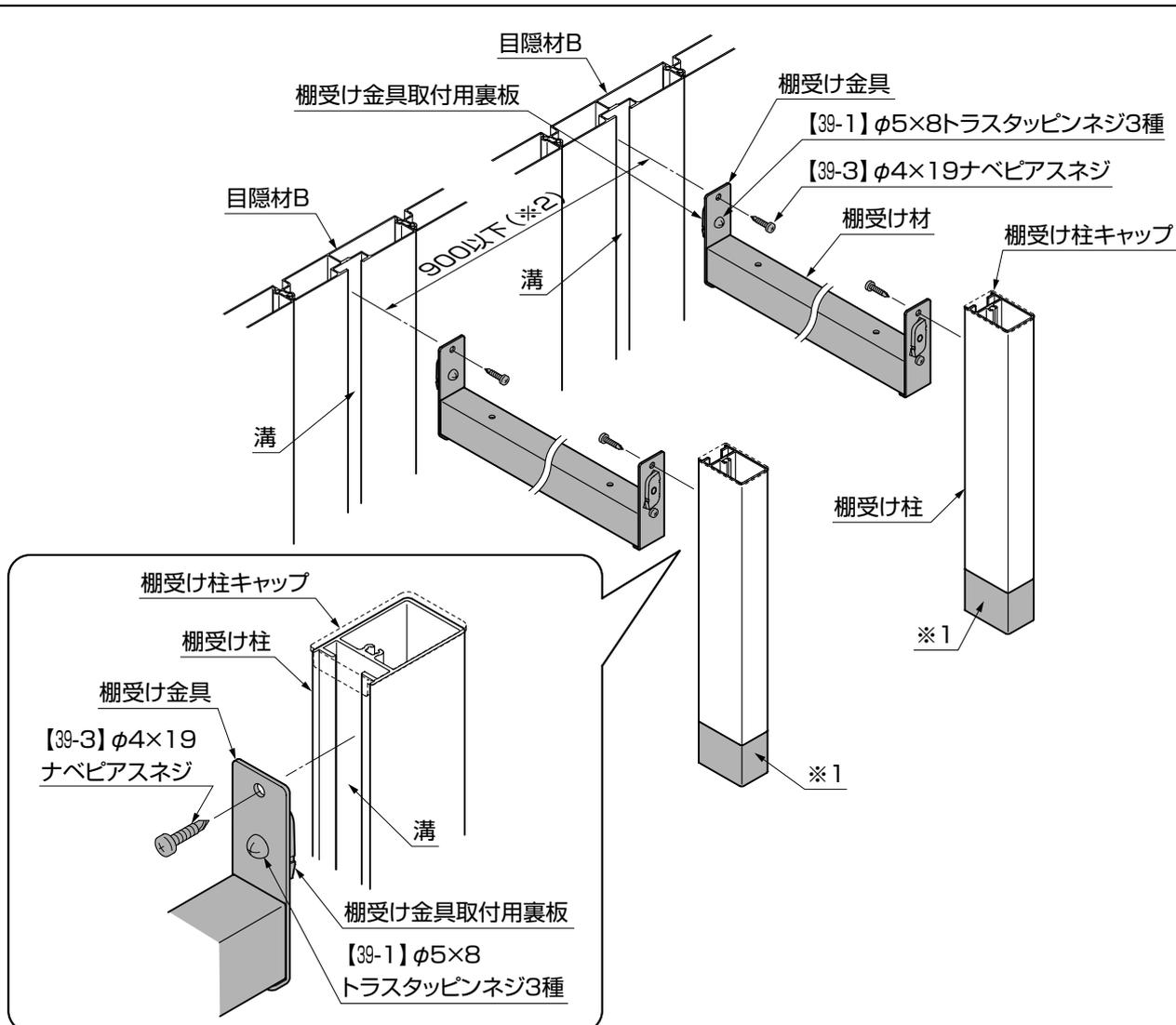
図4-1

- ①棚受け金具を棚受け材に【39-3】で取付けてください。
- ②棚受け金具に棚受け金具取付用裏板を【39-1】で仮止めしてください。

### ポイント

- 棚受け金具取付用裏板は表裏があります。角部にツメが立っている側を棚受け金具側に向けてください。(図4-1参照)

## 5. 棚受け材の取付け



① 棚受け金具取付用裏板を棚受け柱の溝に入れて棚受け材を【39-1】で取付けてください。

### ポイント

- 棚受け柱キャップを上にして取付けてください。
- 棚受け金具の高さ調整をしてください。必要に応じて棚受け柱を切断してください。(※1)
- 棚は棚受け柱1箇所につき3段まで取付け可能です。

### 補足

- 棚受け高さは土間仕上げ面より250mm～1759mmまでの位置に取付け可能です。

② 棚受け金具取付用裏板を目隠材Bの溝に入れて、棚受け材を【39-1】で取付けてください。

### ポイント

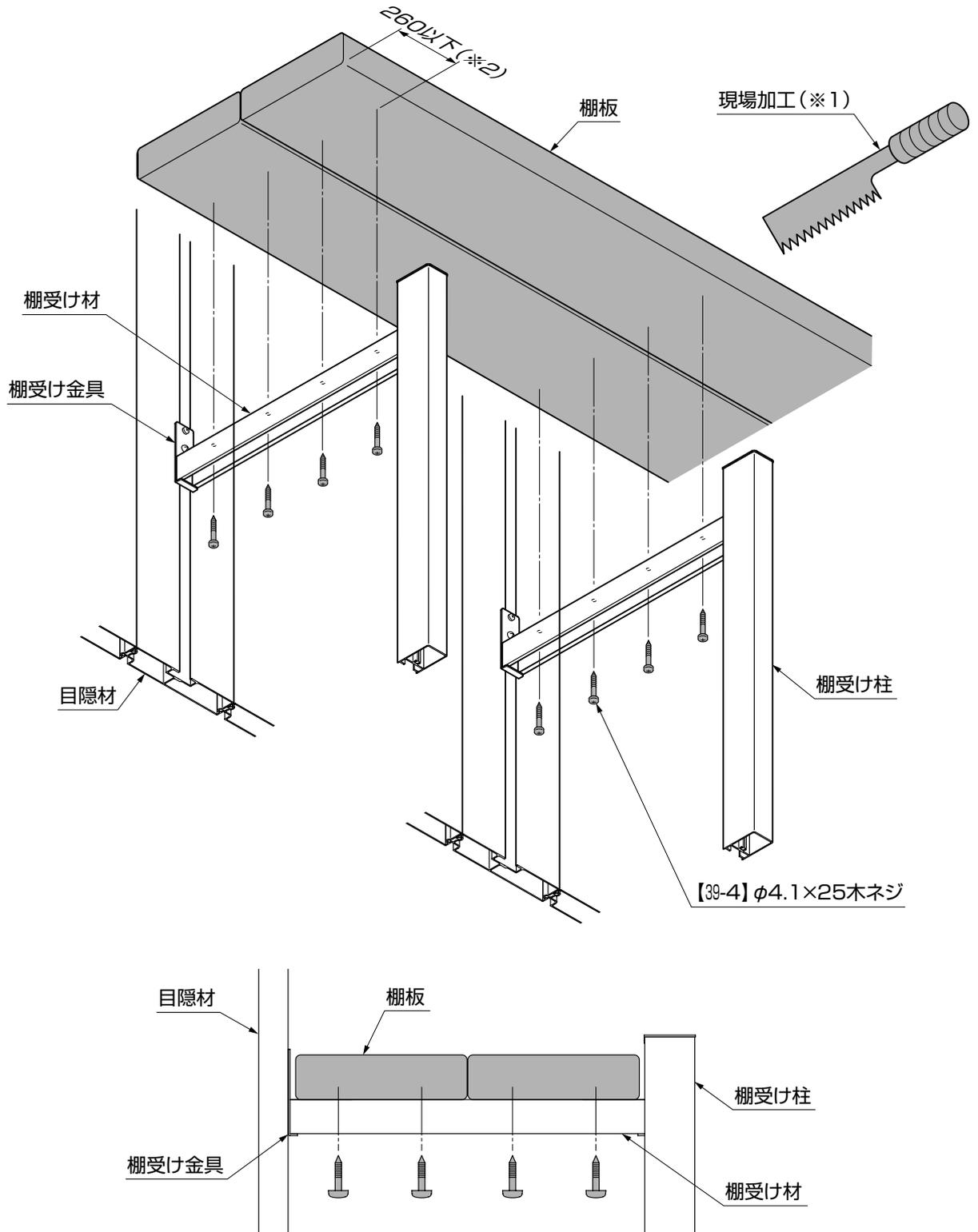
- 棚受け材の取付けピッチは900mm以下にしてください。(※2)

③ 棚受け材を目隠材Bおよび棚受け柱に【39-3】で固定してください。

### 注意

- 棚板は確実に取付けてください。外れて事故につながりケガをするおそれがあります。

## 6. 棚板の取付け



①棚板を【39-4】で棚受け材に取付けてください。

### 🔑ポイント

- 取付け箇所に合わせて棚板を現場加工してください。(※1)
- 棚受け材からの棚板の出っ張り寸法は、260mm以下にしてください。(※2)

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

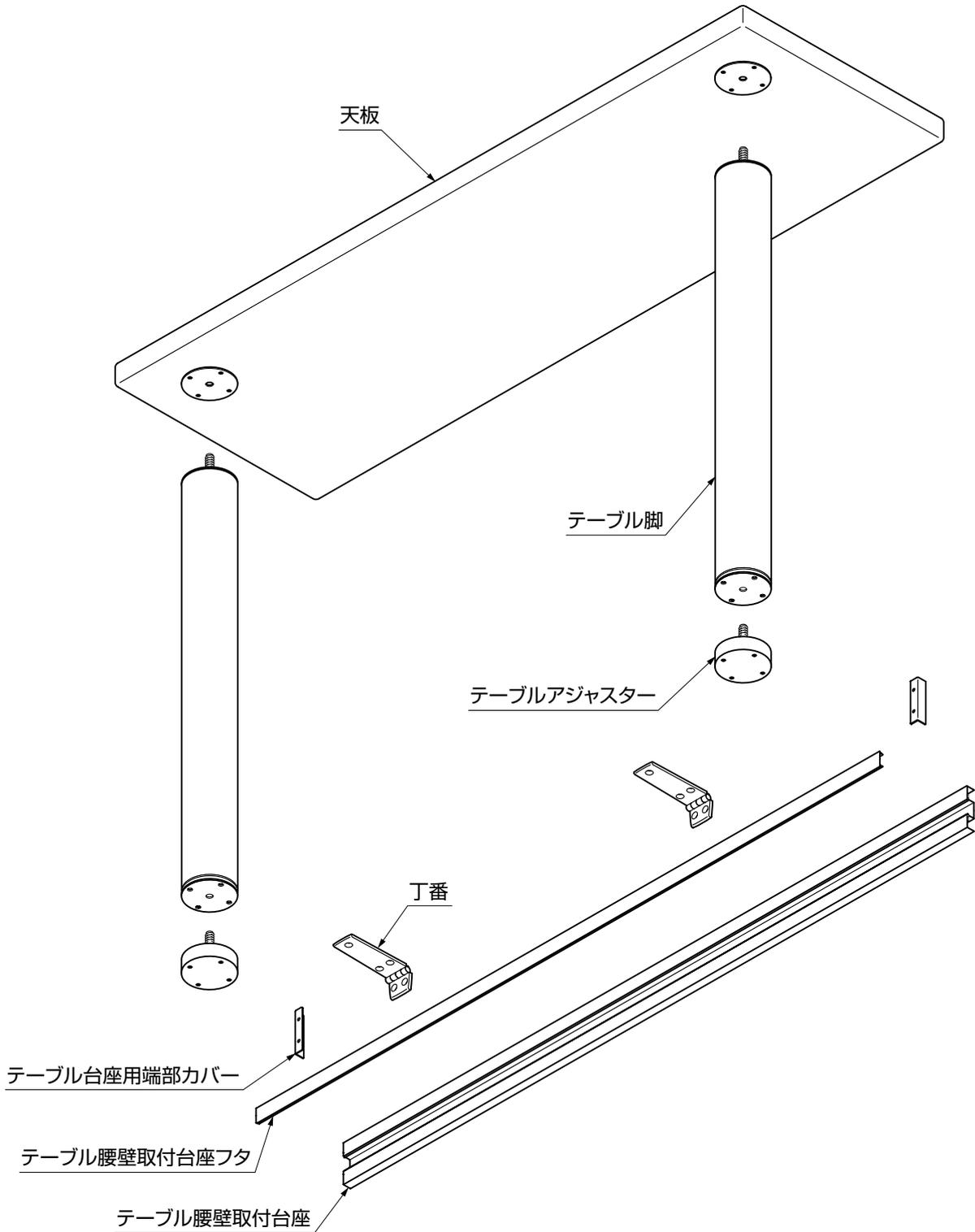
.....

.....

# 15 テーブルの取付け

オプション

## 1. 施工前確認



①テーブルの施工前に各部材を確認してください。

## 2. テーブル腰壁取付台座の取付け

※テーブルは、間口幅D24以上の目隠材取付部に取付けることができます。

### 2-1 テーブル腰壁取付台座の取付け

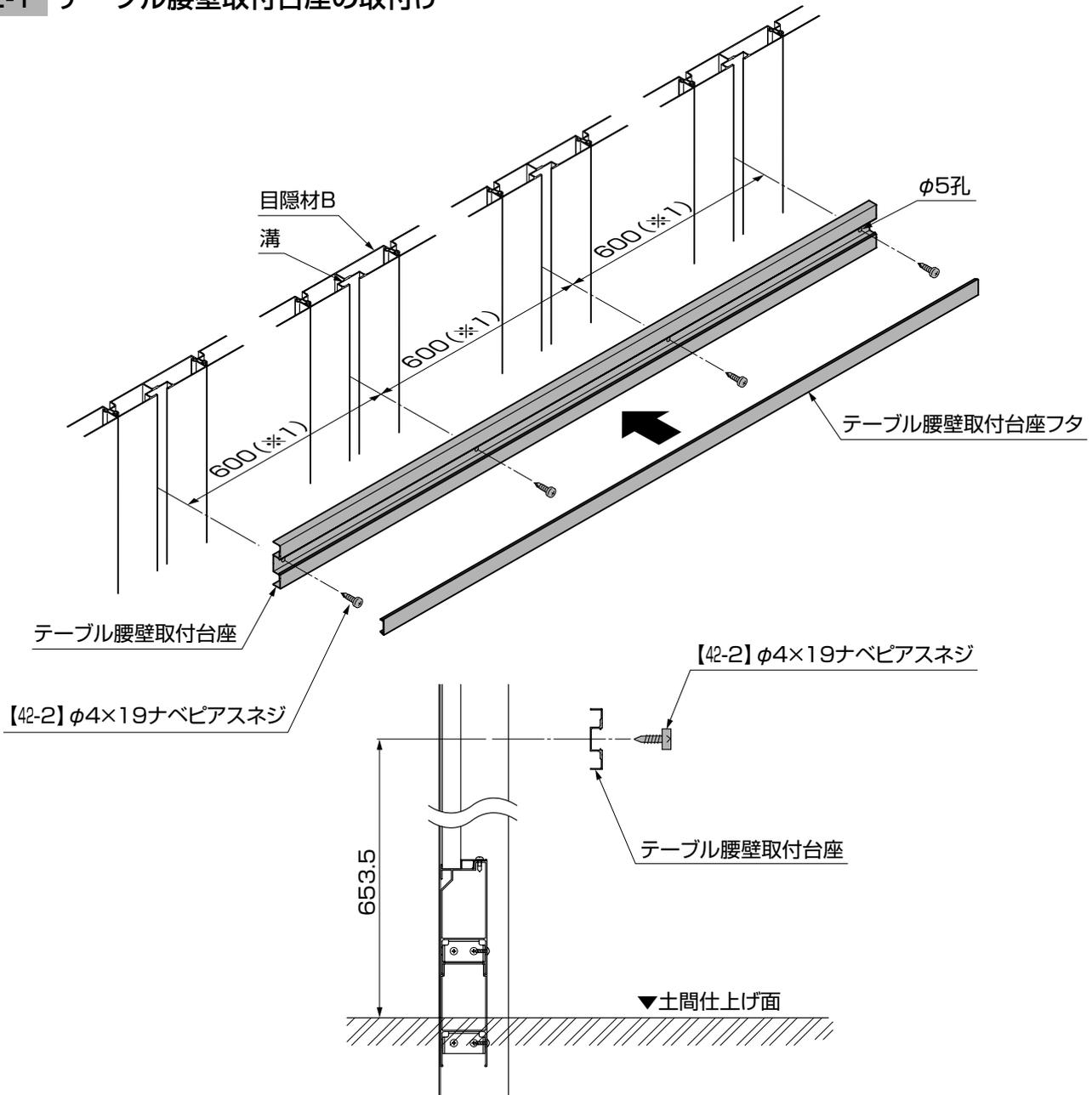


図2-1

① テーブル腰壁取付台座にφ5の孔をあけて、目隠材Bの溝に向かって【42-2】で取付けてください。

#### ポイント

- テーブル腰壁取付台座の取付けピッチは600mmにしてください。(※1)
- テーブル腰壁取付台座の高さは、土間仕上げ面より653.5mmにしてください。(図2-1参照)

② テーブル腰壁取付台座フタをテーブル腰壁取付台座にはめ込んでください。

#### 注意

- テーブル腰壁取付台座は確実に取付けてください。外れて事故につながり、ケガをするおそれがあります。

## 2-2 丁番の取付け

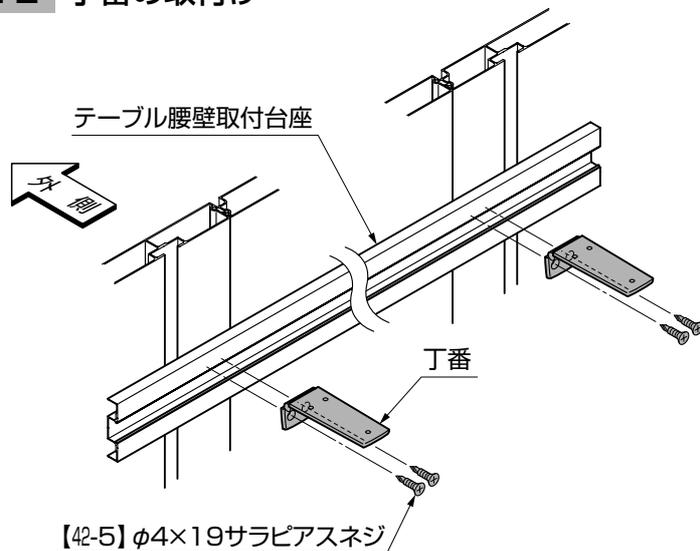


図2-2

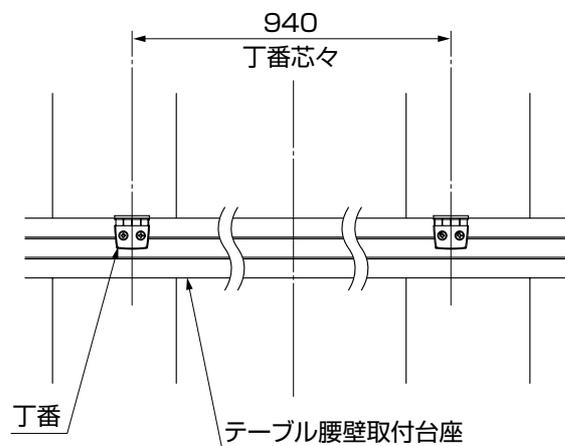


図2-3

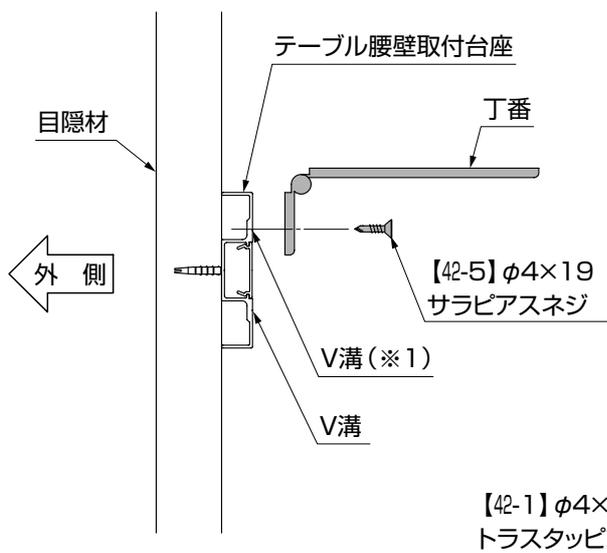


図2-4

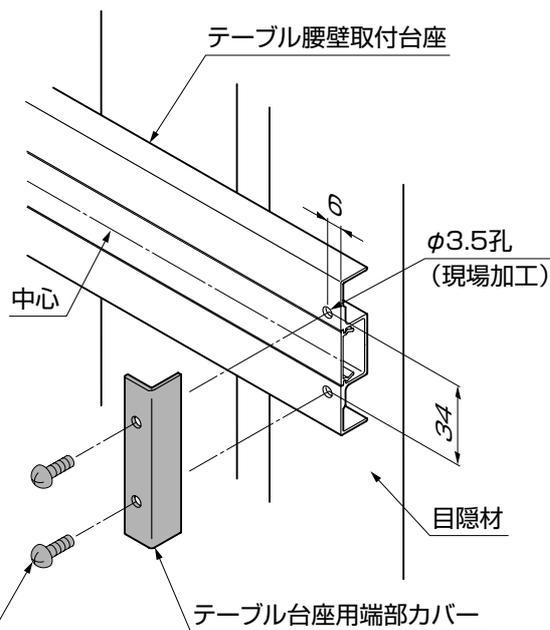


図2-5

① 丁番をテーブル腰壁取付台座に【42-5】で取付けてください。(図2-2参照)

### ⚠ 注意

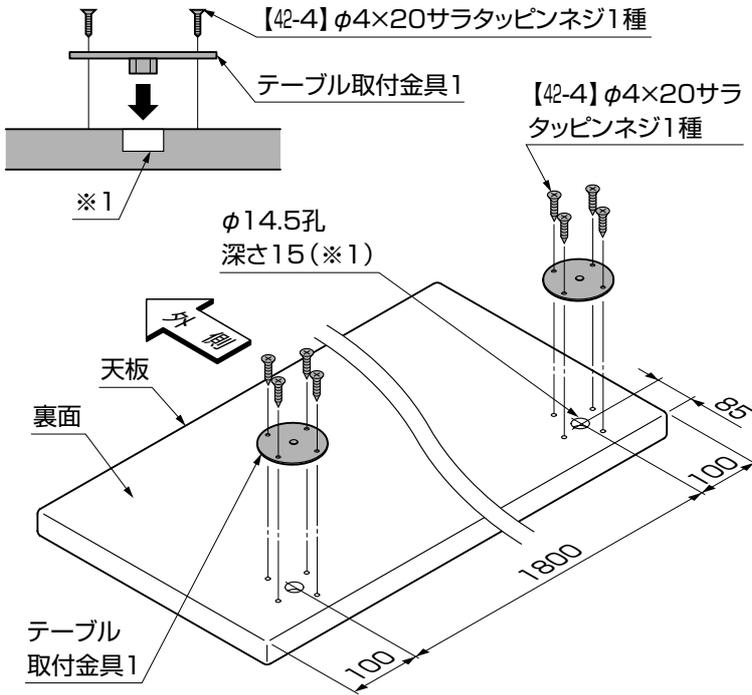
● 丁番は確実に取付けてください。外れて事故につながり、ケガをするおそれがあります。

### 🔑 ポイント

- 丁番間のセンターとテーブル腰壁取付台座のセンターを合わせて取付けてください。(図2-3参照)
- 正確な位置に水平になるように取付けてください。テーブルが開閉できなくなる場合があります。
- テーブル腰壁取付台座の上のV溝(※1)に取付けてください。(図2-4参照)

② テーブル腰壁取付台座にφ3.5の下孔をあけ、テーブル台座用端部カバーを【42-1】で取付けてください。(図2-5参照)

### 3. テーブル取付金具の取付け



- ①テーブル天板にφ14.5、深さ15mmの孔加工をしてください。(※1)
- ②テーブル取付金具1を天板の裏面に【42-4】で取付けてください。

#### ⚠ 注意

- 金具はしっかりと取付けてください。外れて事故につながり、ケガをするおそれがあります。

#### 🔑 ポイント

- テーブル取付金具1のボルトナットを、天板の孔(※1)に入るように取付けてください。

### 4. 天板の取付け

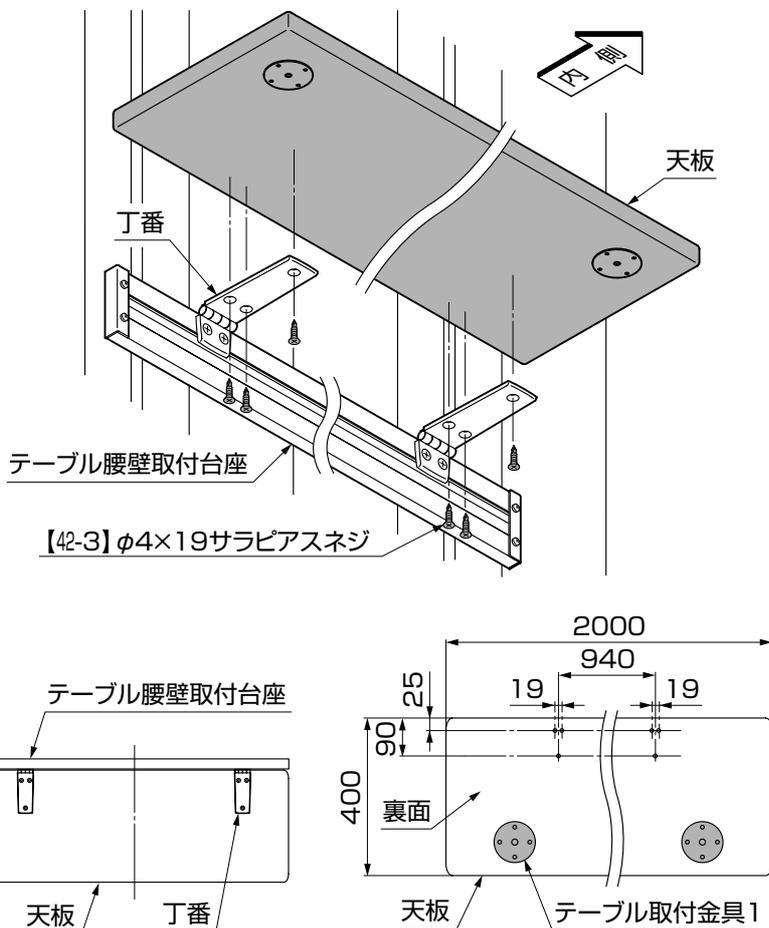


図4-1

図4-2

- ①天板を丁番に【42-3】で取付けてください。

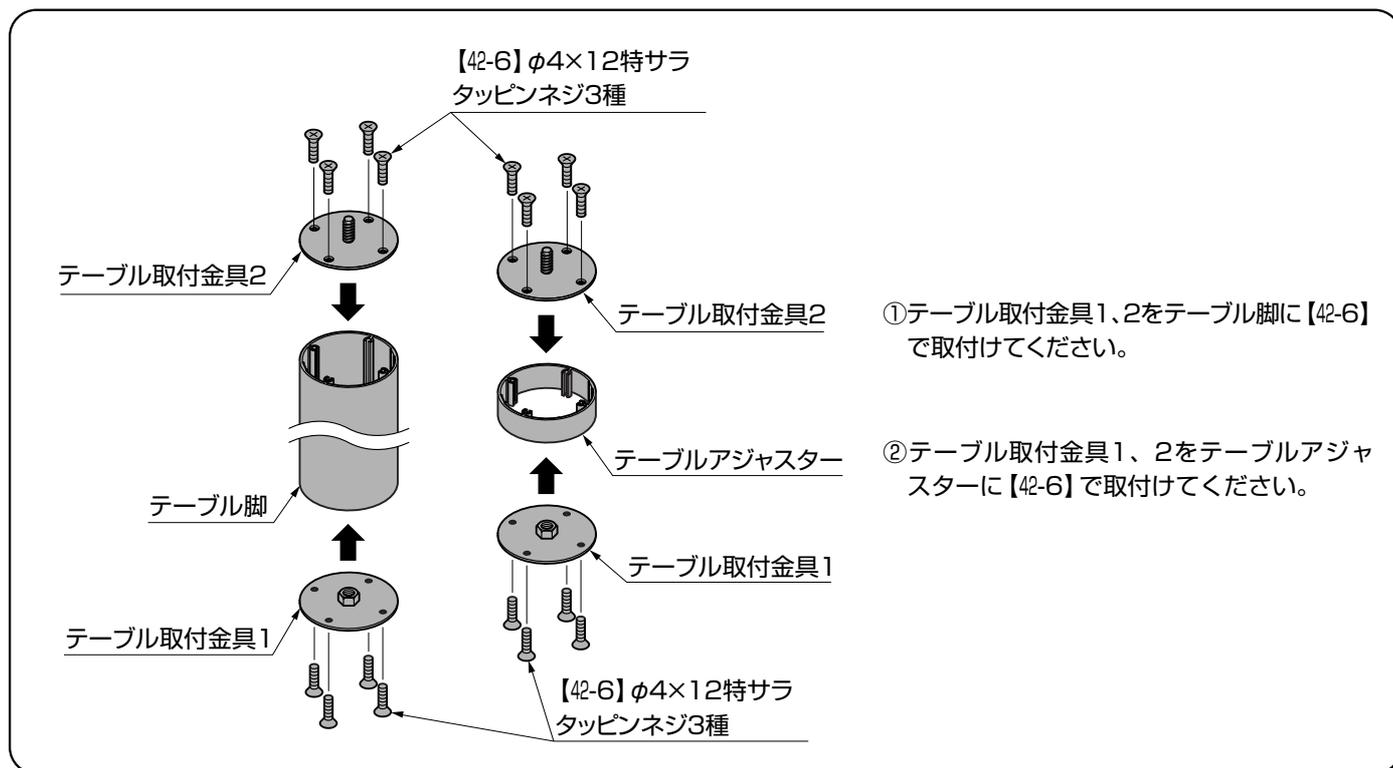
#### ⚠ 注意

- 天板はしっかりと取付けてください。外れて事故につながり、ケガをするおそれがあります。

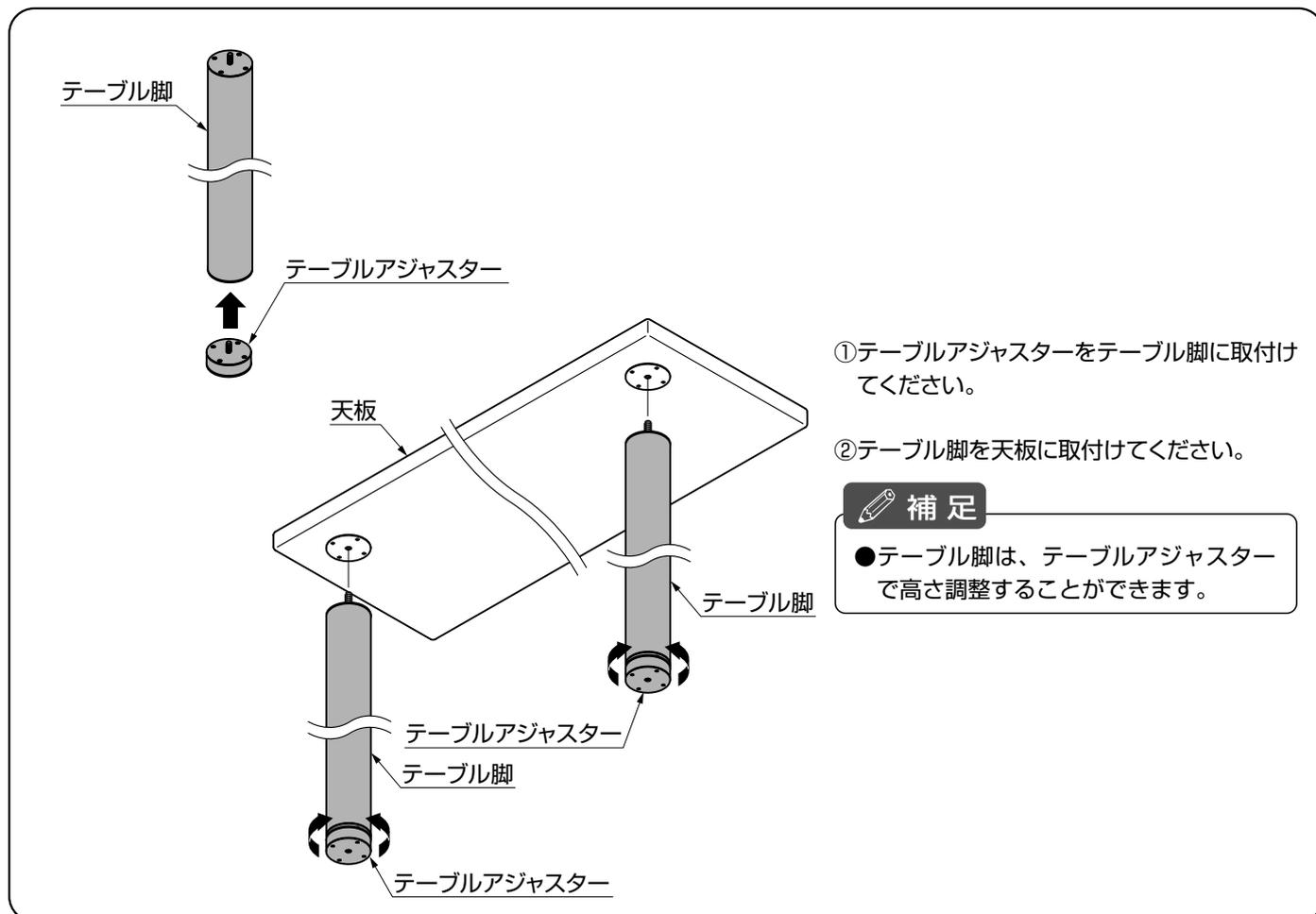
#### 🔑 ポイント

- 天板の取付け位置は、テーブル腰壁取付台座の真中と天板の真中を合わせて取付けてください。(図4-1参照)
- 天板は、テーブル取付金具1が付いている方を内側にしてください。(図4-2参照)
- 【42-3】は図4-2の寸法を参照してネジ止めしてください。

## 5. テーブル脚、テーブルアジャスターの組立て



## 6. テーブル脚の取付け



## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

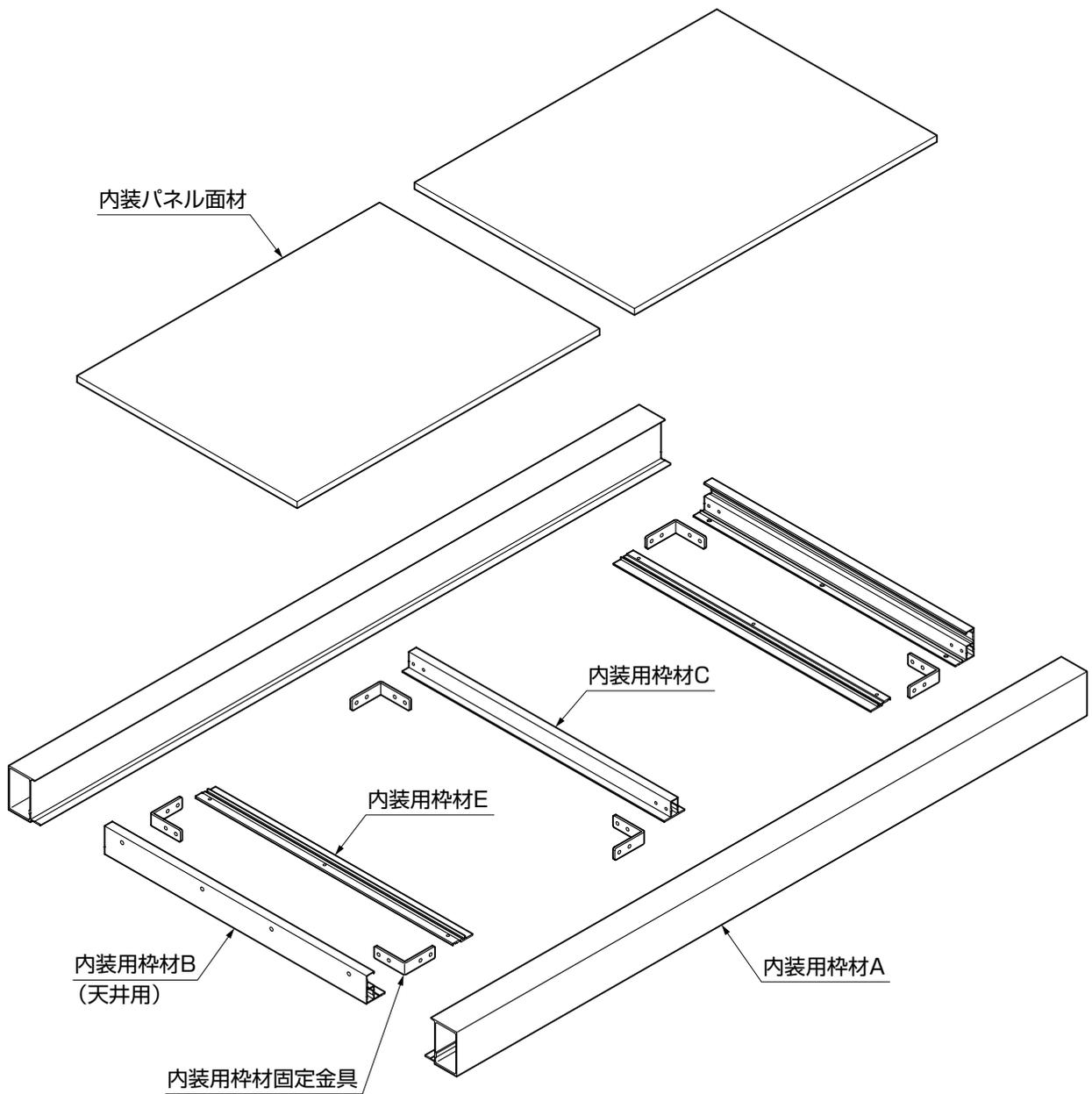
.....

## 16 内装パネルの取付け

オプション

### 1. 施工前確認

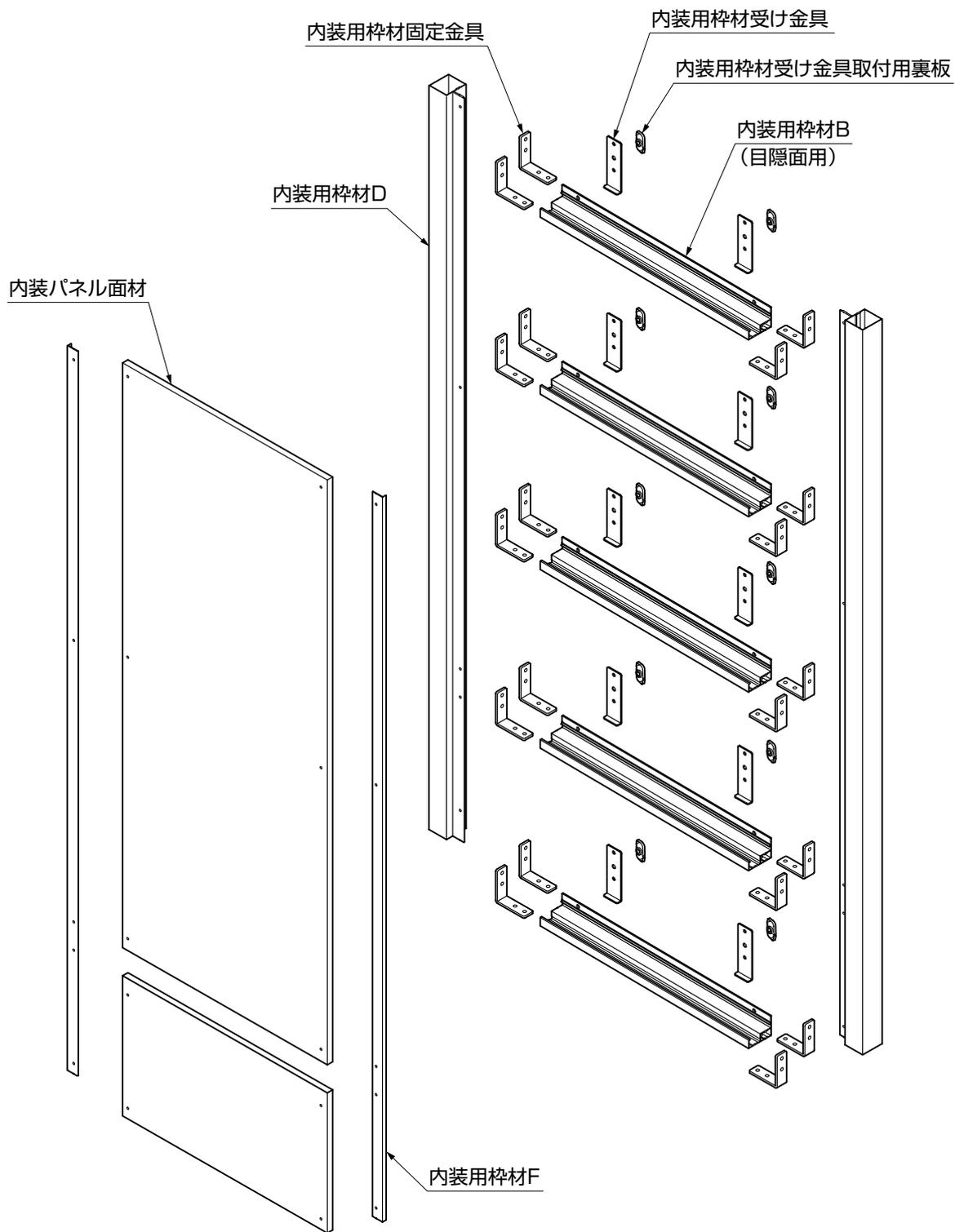
#### 1-1 内装パネル横（天井用）



①内装パネル横の施工前に各部材を確認してください。

# 1. (つづき)

## 1-2 内装パネル縦(目隠用)



①内装パネル縦の施工前に各部材を確認してください。

## 2. 基本寸法図

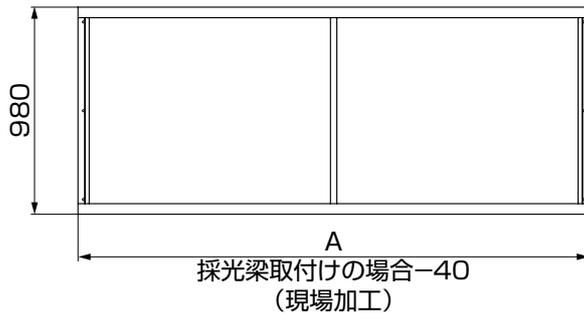


図2-1 内装パネル横(天井用)

表2-1

	A
D24	2400
D26	2600
D30	3000
D32	3200
D36	3600

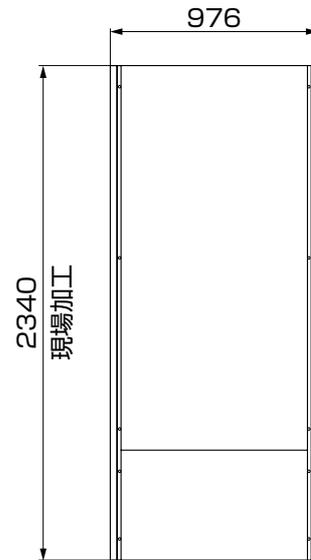
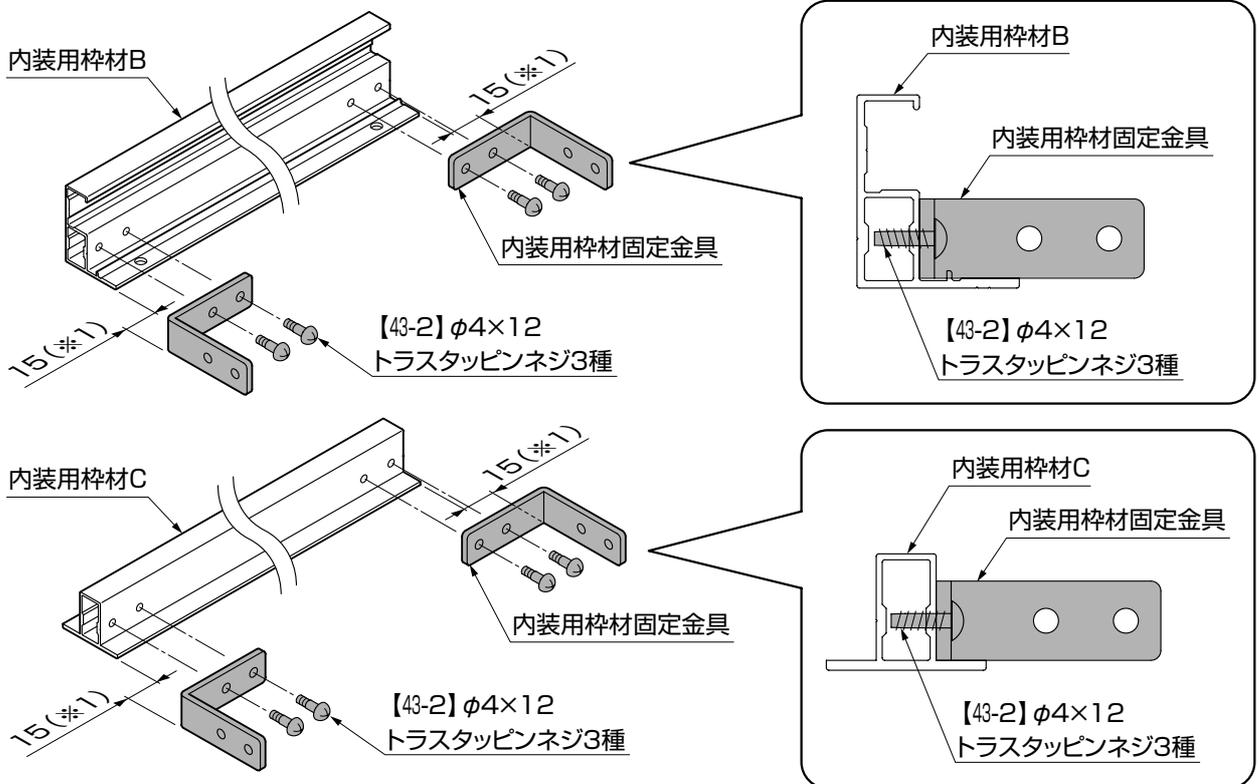


図2-2 内装パネル縦(目隠用)

## 3. 内装パネル横(天井用)の取付け

### 3-1 内装用枠材固定金具の取付け



①内装用枠材B、内装用枠材Cに内装用枠材固定金具を【43-2】で取付けてください。

#### ポイント

- 内装用枠材B、内装用枠材Cから内装用枠材固定金具を15mm(※1)出して取付けてください。

### 3. (つづき)

#### 3-2 内装用枠材の組立て

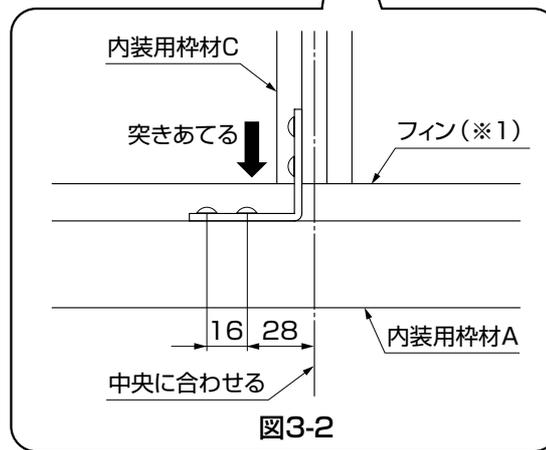
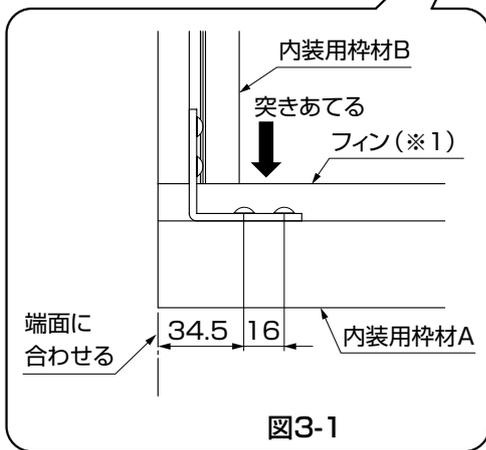
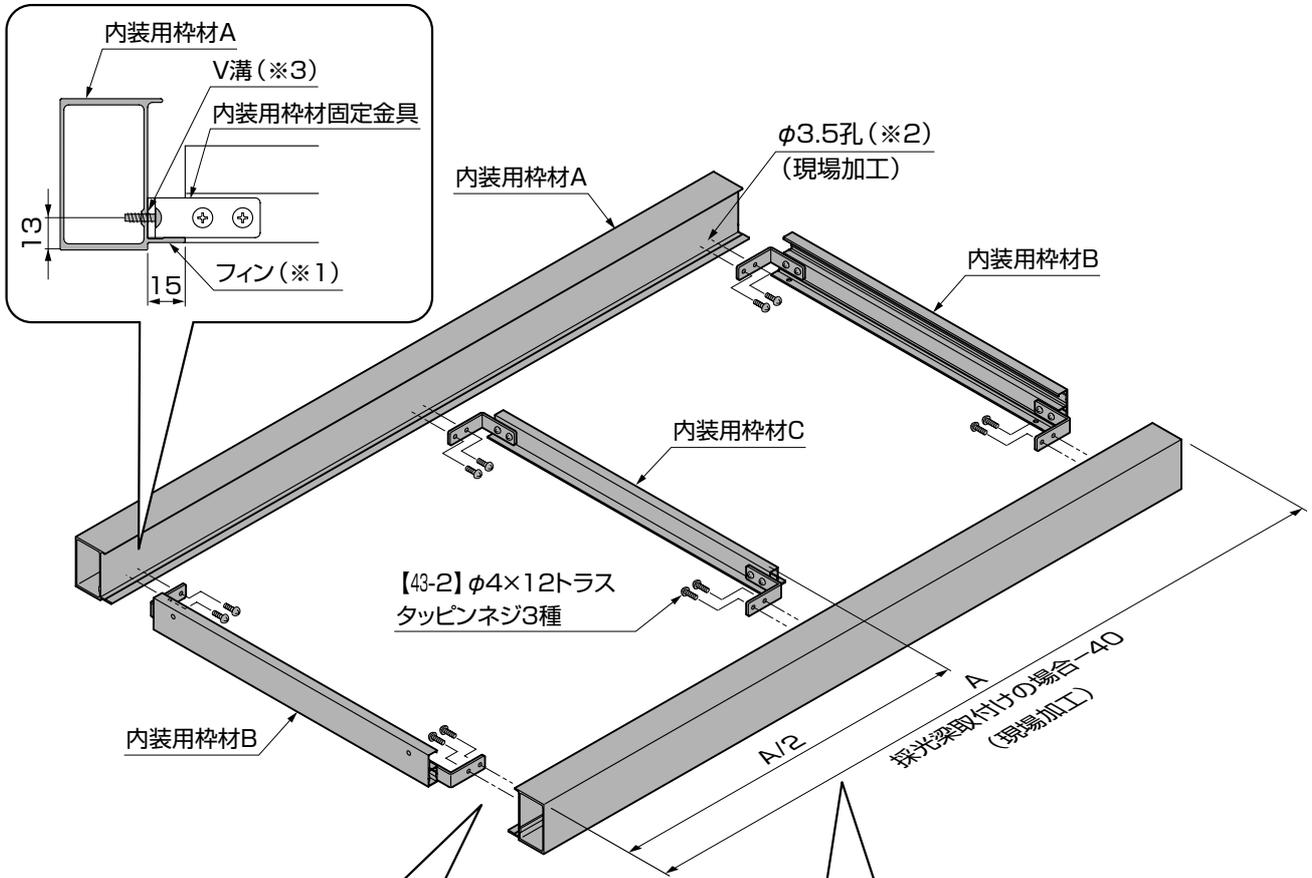


表3-1

	A
D24	2400
D26	2600
D30	3000
D32	3200
D36	3600

①内装用枠材Aに内装用枠材B、内装用枠材Cを突き当てて、内装用枠材固定金具の孔位置でφ3.5の孔(※2)をあけてください。(図3-1、図3-2参照)

#### ポイント

- 採光梁取付けの場合、A寸法を-40mm短くしてください。(現場加工)
- 内装用枠材固定金具を内装用枠材Aのフィン(※1)に乗せて取付けてください。
- 内装用枠材固定金具の孔の中心を内装用枠材AのV溝(※3)に合わせてください。
- 内装用枠材Bは内装用枠材Aの端面に合わせて取付けてください。(図3-1参照)
- 内装用枠材Cは内装用枠材Aの中央に合わせて取付けてください。(図3-2参照)

②内装用枠材Aに内装用枠材B、内装用枠材Cを【43-2】で取付けてください。

### 3-3 内装用枠材の取付け

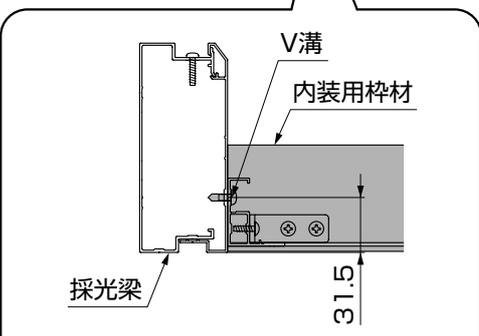
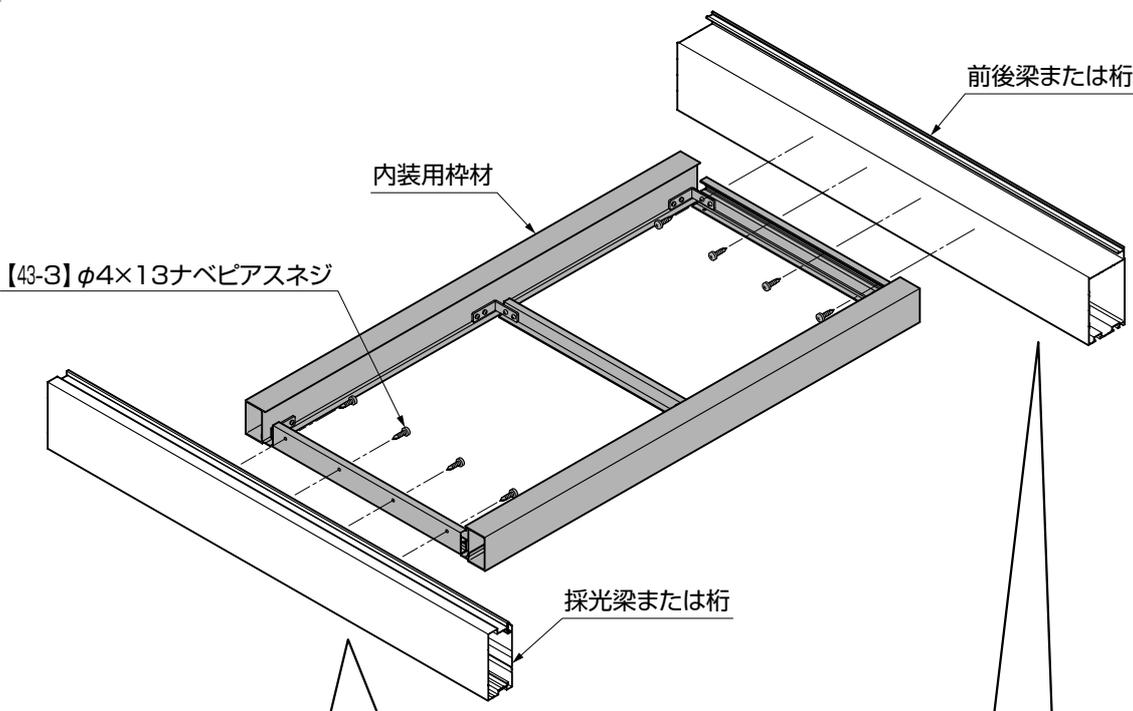


図3-3 採光梁取付けの場合

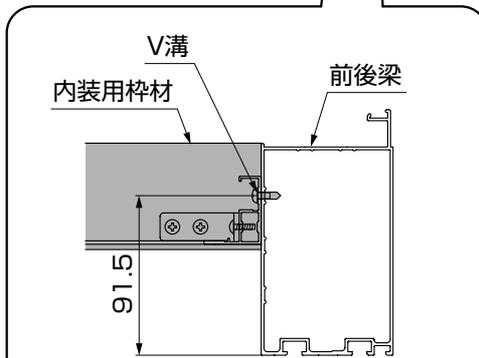


図3-5 前後梁取付けの場合

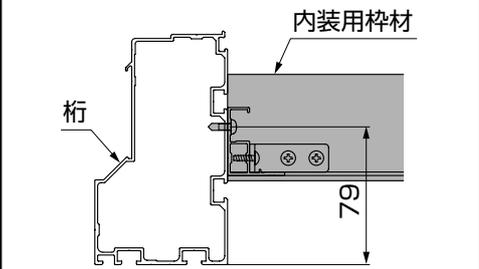


図3-4 桁取付けの場合

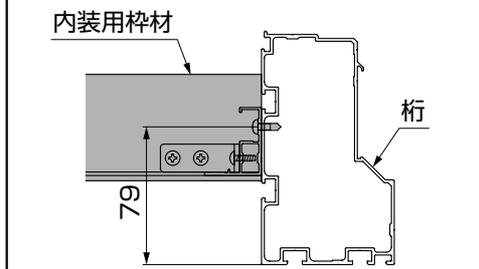


図3-6 桁取付けの場合

①内装用枠材を梁または桁に【43-3】で取付けてください。

**ポイント**

- 取付け場所により取付け高さが異なります。梁・桁と内装用枠材の位置を確認してください。(図3-3、図3-4、図3-5、図3-6参照)

### 3. (つづき)

#### 3-4 内装パネル面材の取付け

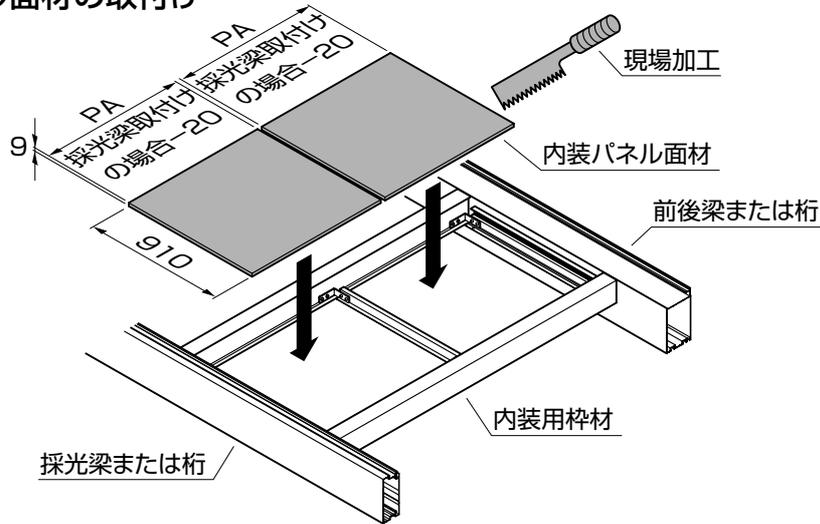


表3-2

	PA
D24	1150
D26	1250
D30	1450
D32	1550
D36	1750

①内装パネル面材を現場加工してください。(表3-2参照)

#### ポイント

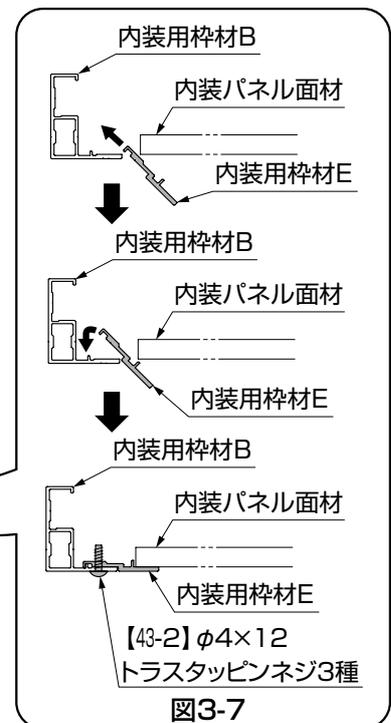
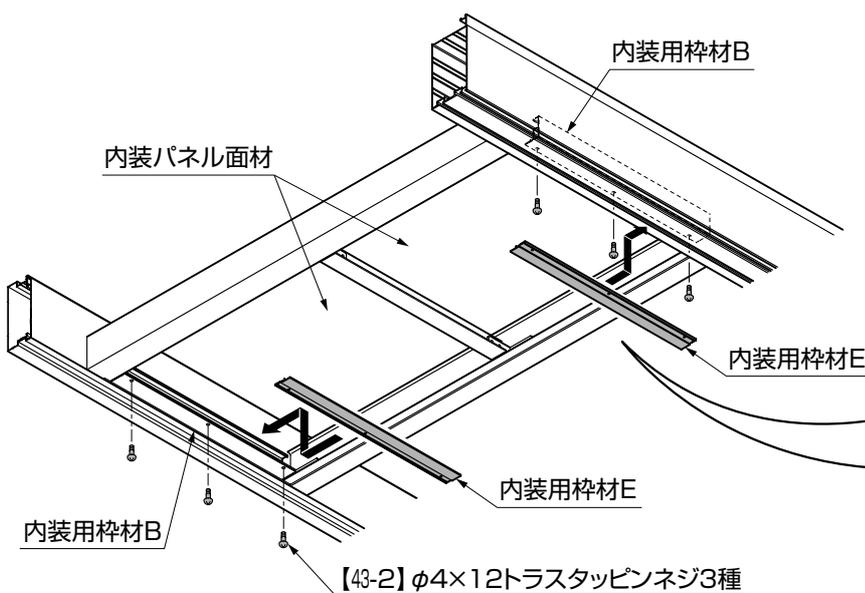
●採光梁取付けの場合、PA寸法を-20mm短くしてください。

②内装パネル面材を内装用枠材に取付けてください。

#### 補足

●内装パネル面材は、内装用枠材に落とし込むように取付けてください。

#### 3-5 内装用枠材Eの取付け



①内装用枠材Eを内装用枠材Bにはめ込み、【43-2】で取付けてください。

#### ポイント

●内装用枠材Eは内装用枠材Bと内装パネルの間から入れてください。(図3-7参照)

## 4. 内装パネル縦（目隠用）の取付け

### 4-1 内装用枠材B（目隠面用）の取付け

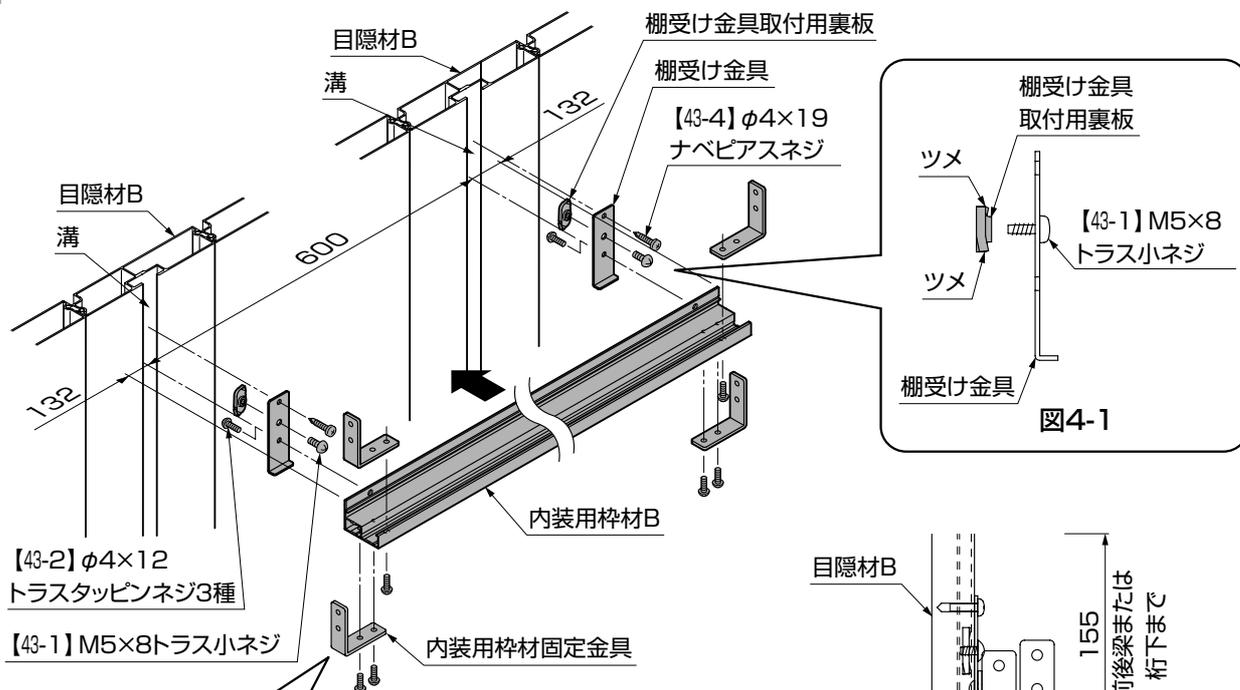


図4-1

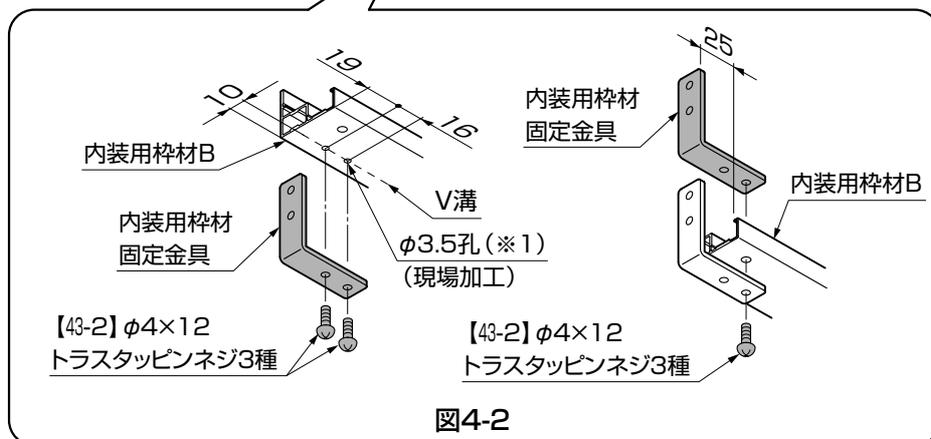


図4-2

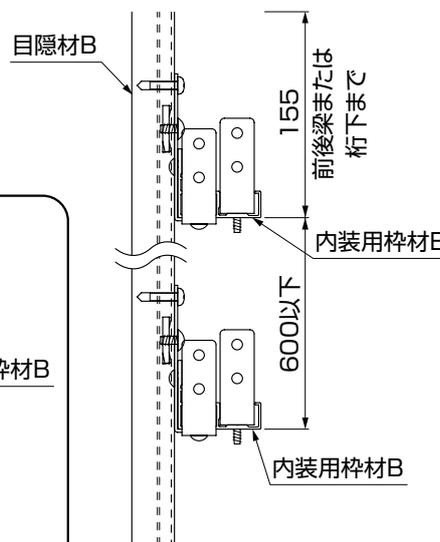


図4-3

- ① 棚受け金具に棚受け金具取付用裏板を【43-1】で仮止めしてください。

#### ポイント

- 棚受け金具取付用裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側を棚受け金具側に向けてください。(図4-1参照)

- ② 内装用枠材Bに内装用枠材固定金具を【43-2】で取付けてください。

#### ポイント

- 内装用枠材固定金具の1つは内装用枠材Bより25mm出して取付けてください。もう一つの内装用枠材固定金具はφ3.5の孔(※1)を現場加工して取付けてください。(図4-2参照)

- ③ 棚受け金具を内装用枠材Bに【43-1】で取付けてください。

#### ポイント

- 内装用枠材Bは取付けピッチを600以下にしてください。(図4-3参照)

- ④ 棚受け金具取付用裏板を目隠材Bの溝に入れて、内装用枠材Bを【43-4】でしっかりと固定してください。

## 4. (つづき)

### 4-2 内装パネル面材の取付け

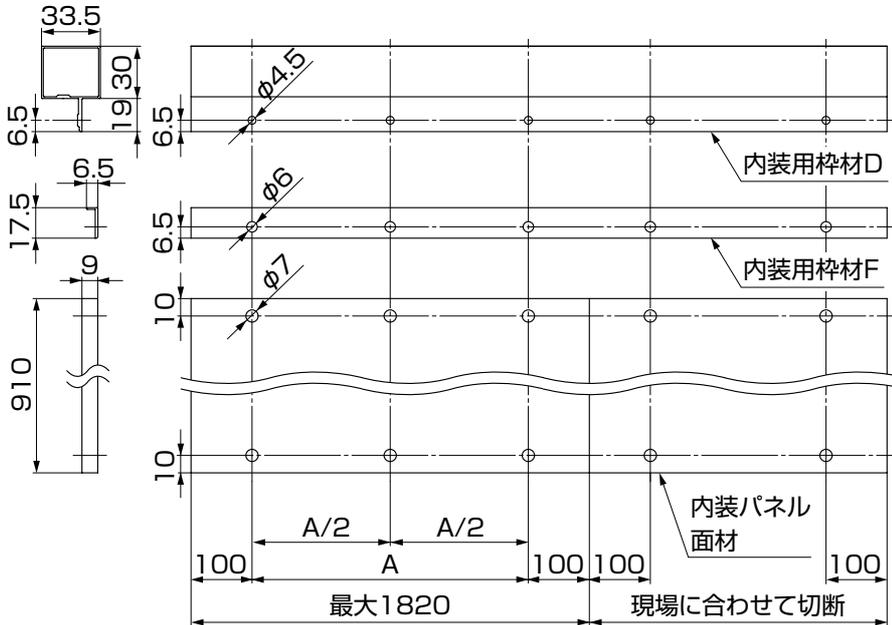


図4-4

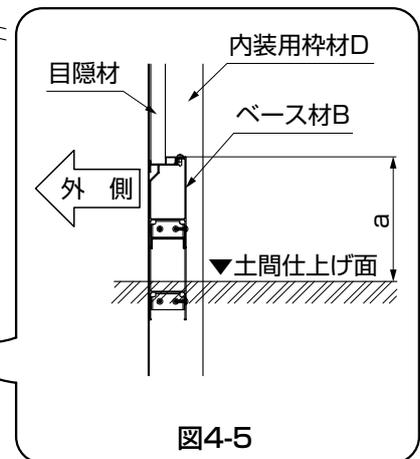


図4-5

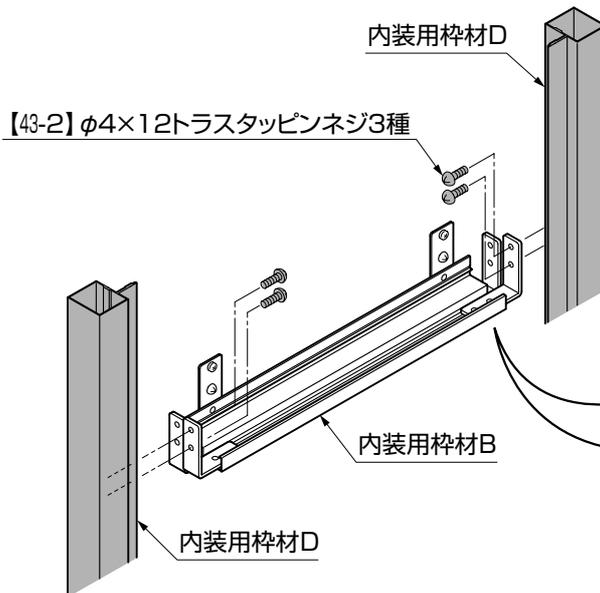


図4-6

- ①取付け部所に合わせて内装用枠材F・内装用枠材D・内装パネル面材を切断して孔をあけてください。  
(図4-4、図4-5参照)

#### ポイント

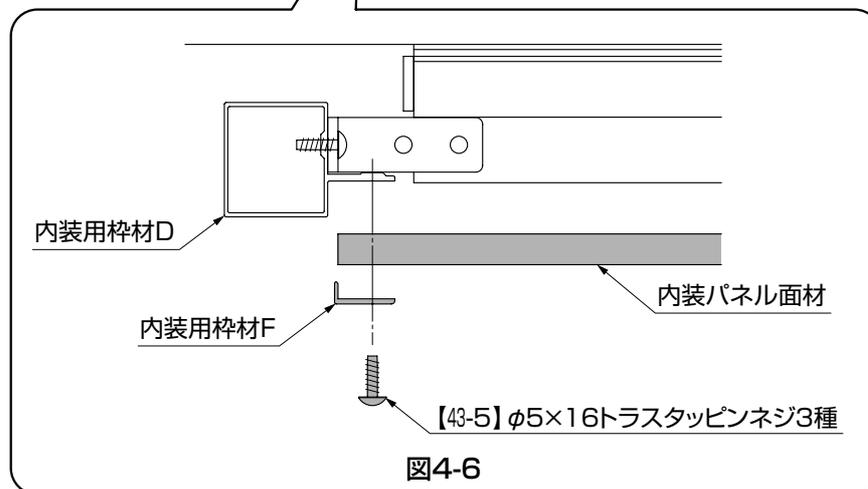
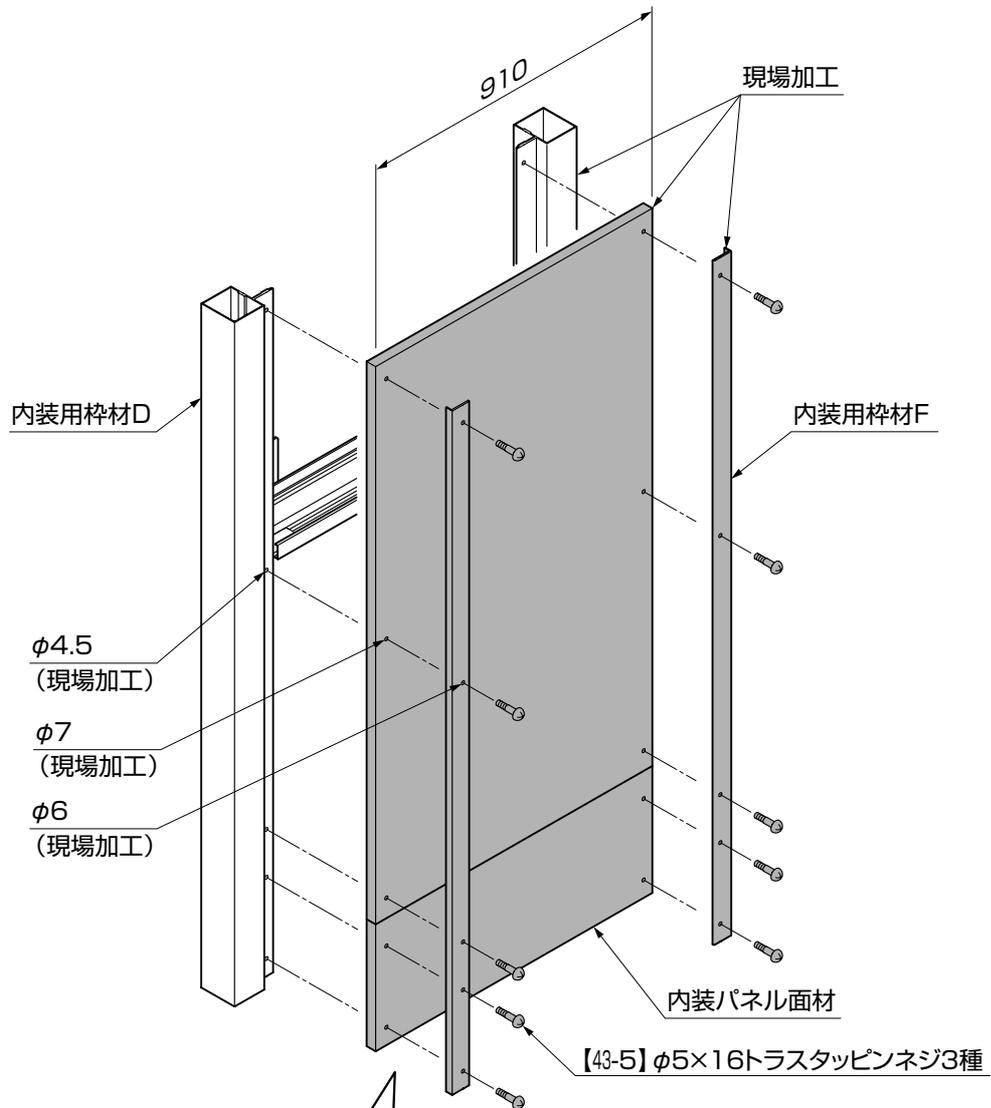
- テーブルと同時取付けの場合はテーブルの上方のみの取付けになります。その場合は、内装用枠材Dをテーブル天板上面で切断してください。(図4-5参照)

- ②内装用枠材Bに内装用枠材Dを突き当て、内装用枠材固定金具の孔位置にφ3.5の孔加工をしてください。

#### ポイント

- 内装用枠材DのV溝部分に内装用枠材固定金具を取付けてください。(図4-6参照)

- ③内装用枠材Bに内装用枠材Dを【43-2】で取付けてください。



④内装用枠材Fと内装パネル面材を【43-5】で内装用枠材Dに取付けてください。(図4-6参照)

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

# INDEX